

Kカードレスアップエンタメマガジン

特別付録 小冊子

東京オートサロン
超速報 2016

24ページの
超ボリューム!!

TOKYO AUTO SALON
2016

2016年3月号(毎月26日発売) 1月26日発売
第23巻第3号(通巻277号)

次に履く ホイール はどれか?

定番で魅せるか
最新で攻めるか

有名
ブランド

オール
新作

待ってました!
真打ち登場



SUZUKI
ALTO WORKS
アルトワークス

好評連載中 ドレスアップ実践教室

寒い時期はトラブルがいっぱい

冬のカーメンテナンス講座

新型17エブリイの情報盛りだくさん!

毎日が「エブリイ」DAY

DIYビギナーズ

いつでも目につくところだから

ステアリングをD-UPしよう

軽ONE STARS

ベース車博物館ファイナル

NEW AERO COLLECTION

何でもアンサー

ほとばしる オレのKカードレスアップ魂

K SOUL BROTHERS

2016
March
Vol.277

3





東京オートサロン2016!!52

東京カスタムカーコンテスト2016

待ってましたっ 真打ち登場!!!

スズキ アルトワークス 56

うっきうきの一気見せ!!
年賀状ありがとう!!!!!! 149

大好評車種別企画

新連載	モンスターマシン達の競演!!	
	軽トラ野郎[アゲトラモンスター]	104
	エブリイ最新情報満載!!	
	毎日がエブリイ Day!!	137
	エブリイの全国オフ!	
	ワンメイクワンダーランド☆	144

大人気連載

プロのアドバイスで脱・初心者を目指す	
ドレスアップ実践教室	41
Kカーベース車博物館 FINAL	63
ドレスアップお悩み相談室	
何でもアンサー!	68
ステアリングをD-UPしよう!	
DIYビギナーズ	97
Kカー大好き女子が大集合	
EVENT GIRLS COLLECTION	134

NEW AERO COLLECTION

プレス/ LA150S ムーヴカスタム	156
ジュファール/ DA17W エブリイワゴン	157
スパイス ブギーライダー/ DA17V エブリイ	158
ライドテック/ DA17V/W エブリイ&エブリイワゴン	159

情報満載

超 Scoop!!	93
イベントカレンダー	123
情報スクランブル	124
NEW PARTS INFORMATION	176

LIVE! 660OWNERS

2015最終決戦 in 鹿児島~Last decisive battle~	161
TOP STYLE杯 9th Stage	164
第4回オフ会だよ!軽トラ大集合2015	168
第15回ドレフェス関西2015FINAL	172

主役はキミだ!!

珠玉のドレスアップカーを見よ!	
軽 ONE STARS!!!	108
読者みんなの投稿企画	
オーナーズサロン	119
編集後記	126

■本誌に掲載した商品の価格・仕様・発売元等は編集部調べです(2015年12月現在)。■商品の価格は消費税抜きの本体価格と消費税込みの総額表記が混在しております。また、2014年4月1日から消費税率が変更になりましたが、税率5%、8%での総額表記が混在している場合もあります。恐れ入りますが、商品を購入される場合は、メーカー、ショップで必ず価格、仕様、返品方法等についてご確認の上、お買い求めください。■購入後のトラブルについて、出版元、編集部は一切関知しません。また責任も負いかねますのでご了承ください。



ほとばしる俺の
Kカードレスアップ魂

K SOUL BROTHERS



KSP Goods Navi 47
注目のパーツからアパレル、ステッカーまで全部見せます!!

ケイブレイク発 2016年
新作一気見せ!!!

The Masterpiece.

MJ21S AZワゴン

▶ 上杉 明さん(広島県) 127



いいね!をよろしく♪

f フェイスブック絶賛更新中!!

<https://www.facebook.com/kcarspecial>

2016
年版

ホイールはどれか？

とうとうはじまりました2016年！ ドレスアップの要とも言える必須アイテム「アルミホイール」は年明けから当然のごとく新作ラッシュ！各メーカー手を変え品を変え、ラグジュアリー、VIP、スポーティとあらゆるスタイル向けのアイテムを発表してきた。そんな新作をこのコーナーではどこよりも早く、ぜんぶお見せしちゃうぞ♪ 新春いち早くおニューのホイールをゲットして、アナタが流行をリードしよう！

PHOTO ● 井上 誠 / 高原義卓 / 渡部祥勝 / Kカーズスペシャル編集部
TEXT ● 杉山雄二 (adriano) / 堀口 訓 / Kカーズスペシャル編集部

最新ホイールから
見つけ出せ！

次に履く

タイヤ

最高の**1本**を見つけ
クールなスタイルをゲットせよ!!

シーンを彩る、ハイデザインの新作が続々と!

WEDS

問:ウェッズ ☎03-5753-8201 <http://www.weds.co.jp>

クレンツェを筆頭に 人気ブランドから 大挙新作が登場だ

業界を代表するホットブランド、ウェッズからは、展開する主要4ブランドからそれぞれ新作が到着だ。ブランド別にキャラの棲み分けを明確化。底ナシといえる幅広いニーズに応えるべく、例年通り万全の体制で2016年のスタートを切る。

まずはクレンツェ。ウェッズといえばコレである大鉄板ブランドの新作は、昨年のイヤーモデルをベースとした「グラベン・クラインフォルム」だ。ベースが5本のツインであったことにに対し、新作は4穴化にあわせ、スポークの本数自体を見直した、エポリレーションモデルとなっている。クレンツェと人気を二分する双壁のマーヴェリックからは、ミニバンやセダン用サイズがヒット中の「709M」を16インチ化した新サイズが登場。王道のデザインを武器に、スタイルや流行に縛られることなく履き続けられる普遍性が魅力といえる。

新作は高額系だけでなく、手頃感のあるレオニスにもあり。最新技術を駆使し品質面にもこだわった「ナヴィア05」や、ドレシー感を追及した「VT」といった、デザイン性を重視した、価格以上の満足度を狙った新作がスタンバっている。

kränze Graben Klein Form

クレンツェ グラベン クライン フォルム

サイズ: 16×5.5J~17×9J (4H-100)

価格: 5万3460円~8万8020円

カラー: SBC ポリッシュ、TSBGM ポリッシュ

付属品: センターキャップ、エアバルブ、ロングアダプター



単なるリサイズを超え、確実な進化を遂げた Kカー対応大口径サイズを引っさげ新登場!

ベースが5本のツインであることにに対し、スポークとスポークの開口の広さを狭めるなどにより、新作は8本のツインへ進化。グラベンが持つエッジの効いた鋭さはそのままに、スポークの縁取り処理もさらに際立った印象だ。2月より17インチ先行で発売。



ライトウェイトコンセプトのシリーズ最新作は 足長感も高い、フィン系スポークで間もなく登場!

高いファッション性はもちろん、ホイールに求められる品質面という機能性も重視して提案される人気シリーズの最新作。リムにスピニング処理を施し剛性を上げ、軽量に仕上げたほか、実走時に起こるタイヤとホイールの微細なズレを防ぐ特殊加工を施すなど、最新技術を駆使している。

LEONIS NAVIA05

レオニス ナヴィアゼロファイブ

サイズ: 15×4.5~17×6.5J (4H-100)

価格: 2万9700円~3万9420円

カラー: BPB (ブラックミラーカット/ブラッククリア)

MBP (マットブラック/リムポリッシュ)

付属品: センターキャップ、エアバルブ、ロングアダプター



PBK/SC



PBMC



BMCMC



LEONIS VT

レオニス ブイティー

サイズ：14×4.5～17×6.5J (4H-100)

価格：2万7000円～4万6980円

カラー：

PBK/SC (パールブラック/サイドマシニング)

PBMC (パールブラック ミラーカット)

BMCMC (BMC ミラーカット)

付属品：センターキャップ、エアバルブ、

ロングアダプター付



異なる3本の非対称スポークが奏でる ハイビジュアルなリムオーバー系

噴火口からインスパイアされたという躍動感と立体感を持ち味とするVTは、3本からなる非対称スポークを用いスパイラル系の味付けも与えるなど、デザイン性に富んだ1本だ。PBK/SCと呼ぶ、付加価値の高いマシニングカラーの設定も話題だ。発売は2月上旬より。

マットガンメタリック



プレミアムシルバー



MAVERICK 709M

マーベリック ナナゼロキューエム

サイズ：16×5.5～18×10J (4H-100)

価格：4万8600円～7万1280円(税抜き)

カラー：マットガンメタリック、プレミアムシルバー、

サムライゴールドⅡ

付属品：センターキャップ、エアバルブ、ロングアダプター

サムライゴールドⅡ



人気ラフメッシュを小径、細リム化した 16&17インチサイズが新登場!



大口径で人気を博す9交点ラフメッシュをベースとした、新サイズ16&17インチ(18インチ)。洗練されたデザイン性はそのままに、Kカー対応を見越した5.5Jのほか、ちょい背伸びして履く6.0Jなどを用意。有料でピースボルトカラーを変更できる。1月下旬から発売。

疾走感を刺激するデザインと、機能性を上げる品質を両立

軽快なデザイン性と、最新技術を駆使した高い剛性感、軽さを追求した機能派ブランドの最新作は、リムオーバー系の10交点メッシュだ。ブラボリをクリア化した、写真のWBC (ウォーズブラッククリア) ほか、色は全2色。標準キャップはハイタイプで、フラットは別売。3月発売。



WedsSport SA-20R

ウェッズスポーツ エスエーニーマルアル

サイズ：15×5J～17×7J (4H-100)

価格：1万9440円～4万4280円

カラー：WBC (ウォーズブラッククリア)、BLCⅡ (ブルーライトクロームⅡ)

付属品：センターキャップ、アルミエアバルブ

WBC (ウォーズブラッククリア)



人気シュビーゲルが、本格的にホイール業界へ

Spiegel

問:シュビーゲル ☎048-970-2800 <http://www.spiegel.co.jp>



Rein Weiß

ラインヴァイス

サイズ: 15x5J(4H-100) 価格: 2万8000円(税抜き) カラー: ホワイト

幅広いクルマにマッチする、
飽きの来ない普遍的デザイン!

奇をてらうことなくシンプルに徹したコンサバ系デザインだが、
ホイールの個性に影響されず、
いろいろなクルマやボディカラーと自由にマッチングできる。
エアロレスの純正車でも充分楽しめそうな1本だ。

ディスクホワイトにオーナメントブラックと、コントラストが効いたカラー。最近めっきり新作が減ったディッシュ系のため、かえって目立つかも。サイズは、新作中、唯一15インチのみ。市販テープなどでリムなどをデコるなど、+αのメイクも楽しめそう!

“純正車高でもはみ出さずに履けるサイズ”
と言う意味で15x4.5J+45
を用意しました。白は、純正
でカラフルなクルマが多い
ので合わせやすさを狙っ
てます。

Spiegel

シュビーゲル 逸見さん

デザイン、カラー プライスで魅せる 手頃系が勢揃い

車高調を筆頭としたサス系のほか、ボディ剛性アップパーツなど、走り系をブラッシュアップする機能系パーツを数多く取り揃えるシュピーゲルが、2016年、満を持してホイール業界に参入を決定！ 1年を通じコンスタントに新作を発表するシュピーゲルの過去の流れを見れば、今後も積極的な展開が期待できそう。ホイール業界でも新しいムーヴメントを起こせるか。動向に注目したいところだ。

そんな中で今回本誌が紹介するのが、スポークとディッシュの中間的デザインとなるコチラの4本。すべて味付けを変えたワンピースで、デモカーのハスラーが履くイチオシの「ラインヴァイス」は、どこことなくカワイくも見えるホワイトディスクがポイント。「ブレイド」は足長感のあるシャープなスポークが、攻撃的な雰囲気を出し出す1本だ。それらとはまったく異なるアプローチをみせるのが、「ライジング」と「ポルカ」。ビードロック風に見える切削リムや、オフロードにも似合う適度なゴツさが魅力といえる。嬉しいのはその価格。4本すべて、もっとも安い買い出し価格はなんと3万円以下。さあ、どれを選ぶ!?

まだまだあるぞ!

怒濤のホイールリリース!

シュピーゲルの新作群は、とにかくデザインが多彩。とくにここに挙げる2本の新作は、ペイントディスクをベースとしながら、定番のディスク天面を切削するのではなく、あえてリムのみを追加処理。独自性を際立たせている。



Rising

ライジング

サイズ: 15x4.5J/16x5J(4H-100)
価格: 2万8000円/3万円(税抜き)
カラー: ブラックポリッシュ

オールラウンドで履ける
スタイリッシュな10本スポーク

サイズ感をアピって楽しむ16のほか、純正車高、純正バンパーのままスマートに乗る場合にも様になる15の2サイズをラインアップ。スタイルの方向性を決めず、どのシーンにも合うマッチングの良さが見所といえる。



Polka

ポルカ

サイズ: 15x4.5J/16x5J(4H-100)
価格: 2万8000円/3万円(税抜き)
カラー: ブラックポリッシュ/ホワイトポリッシュ

スポークとディッシュの中間で
存在感を発揮するオフ系の顔!

オーバルサークルを採り入れ、見方によってはスポークにもディッシュにもとれる独特なフォルムを演出。2色から選べるペイントディスクと、ビードロック風な切削フランジも絶品で、オフロードでも充分イバれそう。

Braid

ブレイド

サイズ: 15x4.5J/16x5J(4H-100)
価格: 2万8000円/3万円(税抜き)
カラー: ブラックポリッシュ/ホワイトポリッシュ

足元にスピード感を植え付ける、 サブスポ付きのニューカマー!

スポークが躍動的に伸びるリムオーバー系デザインが、実寸以上に大きく見えるので効果テキメン! 写真はホワイトポリッシュだが、そのデザイン性をさらに強調したいなら、ブラックポリッシュはハズせない。



映えあるブラックオーナメントに、ブランドのSロゴを。伸びのあるスポークは、2色とも天面を切削。手持ちの純正15インチからのコンバートも可能な4.5Jという細リムのほか、インチアップして楽しむ用の16インチも用意されている。



ネオクラテイストを引っさげ、完全新設計で登場!

SUPER STAR

問:スーパースター ☎072-975-3600 <http://www.superstar-wheel.com>

LEONHARDIRITT progressline Reise

レオンハルト プログレスライン・ライゼ

サイズ: 16×5.5J~17×9J(4H-100)

価格: 5万3000円~9万4000円(税抜き)

カラー: 3D BRUSHED、COPPER CLEAR BRUSHED、CHROME BRUSHED、GOLD CLEAR BRUSHED、

TITAN GRADATION、HYPER CHROME、WHITE、RED CLEAR BRUSHED

リムカラー: アウター 光輝アルマイト/ブラック(マット含)アルマイト(8000円 up)

インナー アルマイト

ピースカラー: クローム/クラシカル(2000円 up)、ゴールド(3000円 up)

リムオーバー全盛の中で、星型スポークと全周ピアスは逆に新鮮。3ピースの特権を活かした多彩なカラバリを展開しており、ピアスポルトは3色、アウターリムは2色、ディスクは(受注生産も含め)8色から選択可。ブラッシュドベースのカラークリアが充実しており、レッドやゴールド、さらには銅系色の銅パーと、主張する色が目白押しだ。ワンポイントのオーナメントカラーも、ディスクに連動する。



クラシック3Pを 現代風意匠と色で 再現した意欲作

日本を代表する3ピースブランドとして抜群の知名度を誇るスーパースターは、セダン、ミニバン、インポートカー用の大口径モデルを数多く手掛ける業界屈指の存在だ。うちレオンハルトシリーズでは、「プロダクトライン」と銘打ったコンパクトカーやKカー向けサイズも展開するなど、ブランドホイール然とした確固たる地位を確立している。

じつはこれまで同ラインは、既存作のリサイズが基本となっていたが、最新作「ライゼ」は、同ラインのために1から企画された完全新設計モデル。古き良き時代を彷彿とさせる星型デザインに、ピアスをリム全周に施すなど、ひとつのスタイルとして定着しているネオクラを意識。高額系モデルならではのブラッシュド系カラーを充実させたほか、同クラスでは稀というクロームを用意するなど、意欲的な1本となっている。さらに3ピースという構造上のメリットを最大限に活かしたリムやピアスのカラー変更にも対応。サイズごとの付加価値を高めるべく、16インチはリバースの段なしで、17インチはノーマルの段付きでトリムのアプローチも変え、差別化を図っている。



本気度伝わるホットな3作品を一挙に発表!! HOT STUFF CORPORATION

問:ホットスタッフ コーポレーション ☎092-303-8033 <http://www.hotstuff-cp.co.jp>



多本数スポークで
迫る・魅せるを
極めた3連作!!

トレンドを見据えたタイムリ
ーな作品づくりで知られるホッ
トスタッフコーポレーションが、
年頭にあたり超本格派モデルを
相次いで発表してきた。ご登場
願うのは「シュティツヒ・レグザス
フォーベックス」、「シュティツヒ
レグザス・フューラー」、そして「ク
ロススピード・プレミアムRS
10」の3種。

いずれも昨年来人気が続く
多本数スポークデザインが採用
されており、それぞれ10本スポ
ーク、5×2スポーク、デュアルス
ポークとアプローチこそ異なる
ものの、エッジの効いた大胆なア
レンジが立体感ある表情を紡
ぐ様子はリッチなスポーツテイ
ストを望むフリークに最適。一
部大径サイズにはフローフォーミ
ング加工が採用されるなど、製
品クオリティ自体も抜群だ。

レグザス2種は光輝度の高い
ポリッシュ使用で上質感をつたい、
RS10はカラーの異なるサイド
マシニング処理にてレーシー路
線を標榜。力強い奔放な筆遣い
のフォーベックス、街中を切り裂
くがごとく鋭利な印象を秘め
るフューラー、ヤンチャなGTテ
イストが気軽に楽しめそうなR
S10、三者三様のトレンド系個
性派モデルに注目したい。

Stich LEGZAS FAUVEX

シュティツヒ レグザス フォーベックス

サイズ: 15×4.5J~17×6.5J (4H-100)

価格: 2万3000円~3万3000円 (税抜き)

カラー: メタリックブラックポリッシュ・アンダーカットポリッシュ・マシニングホール (MB/P)、
ブラックポリッシュ+ブラッククリア・マシニングホール (BC)



ソリッドな魅力にあふれるエッジ系デザイン

ディスク天面とリム上、そしてリム奥手に施された
ポリッシュ加工が上質感を飛躍的に高めており、プライス以上の存在感を訴求。
エンブレムもブラックとレッド各1枚が同梱されているので、
自分好みにカスタマイズOK。

メタリックブラックポリッシュ・アンダーカットポリッシュ・
マシニングホール (MB/P)



ブラックポリッシュ+ブラッククリア・マシニングホール (BC)





ブラックポリッシュ+
ブラッククリア・マシニングホール (BC)

Stich **LEGZAS Fühler**

シュティツヒ レグザス フューラー

サイズ：15×4.5J～16×5J (4H-100)

価格：2万2000円～2万7000円 (税抜き)

カラー：メタリックブラックポリッシュ・アンダーカットポリッシュ (MB/P)、ブラックポリッシュ+ブラッククリア (BC)

幾何学的アレンジが疾走感をうたう繊細作

いわゆるダブルフェイス仕上げとなる5×2スポークデザインが最大のポイント。

足長な印象はホイール自体をワンサイズ以上も大きく映すことに成功、アンダーカット処理も相まって圧倒的な立体感が楽しめる逸品だ。

メタリックブラックポリッシュ・
アンダーカットポリッシュ・
マシニングホール (MB/P)



ピアノブラック・
サイドマシニング
(BM)



CROSS SPEED **PREMIUM RS-10**

クロス スピード プレミアム RS-10

サイズ：14×4.5～17×6.5J (4H-100)

価格：2万円～3万4500円 (税抜き)

カラー：ピアノブラック・サイドマシニング (BM)、ピアノブラック・サイドマシニング+GOLD クリア (BMGL)

付属品価格：センターキャップ1800円、カナゴムバルブ800円

力強いリブ使いがレーシーなデュアル仕立て

やや太めのスポークゆえか、シュティツヒ名義の2作と比べて、レーシーな雰囲気をまとう。

サイドマシニング処理が高級感を添えるなど、じつは一番色気に満ちたホイール。

見飽きないシンプルな装着感が楽しめそう。

ピアノブラック・
サイドマシニング+
GOLD クリア (BMGL)



とんがったヤバい奴らがやってきた!

326POWER

問:326POWER ☎082-426-3260 <http://www.326power.co.jp>

欧州の人気スタイルをいち早く取り入れる

これまでの常識を覆すほどのインパクト! “ディスクオーバー”というまったく新しいスタイルを作り上げる326パワーの新作ホイール、その名も「ミツルホイールズ ヤバKING」。スポークとメッシュの圧倒的な個性。マジ、ヤバい。

ヤバKING SPOKE

ヤバキング スポーク

ヤバKING MESH

ヤバキング メッシュ

サイズ: 16×6J～17×10.5J (4H-100)

価格: 4万7000円～6万4000円

カラー: 標準カラー、クリスタルシルバー、マットブラック、セミアオーダーカラー、ブラックカットクリア、シルバーカットクリア、クリアカラー

付属品: センターキャップ、フラットバルブ、

フラットバルブ用エクステンション(ホイール4本に1個付属)

326POWERナット: 2700～3500円(4個セット)(税抜き)

326POWERキャップ: 900～1200円(4個セット)(税抜き)



ヤバKING
SPOKE



Kカーの足には 持つてこいの サイズ設定！

Kカーオーナーには「チャラバネ」や「チャクリキダンパー」でお馴染みといえる326パワーから登場したミツルホイールズ「ヤバKING」。デザインは定番とも思えるメッシュと星型5本スポークなのだが、思わず二度見してしまうほどのインパクトを享受可能。目の錯覚のように張り出されるディスクで「ディスクオーバー」というまったく新しいスタイルを作り出す。セダンや欧州車へ向けた18、19インチ用ディスクをそのままダウンサイズするのはなく、16、17インチ専用デザインを変更。4穴にベストマッチなメッシュ、スポークデザインでKカーの足元にドンピシャの存在感を与えてくれる。そもそもKカーの場合はリムが取りにくいということもあり、ディープではなく逆にディスク面を出してしまおうという逆転の発想。ヨーロッパやスタンス系で人気の兆しを見せる「ディスクオーバー」というニューカマースタイルをKカーへ融合させることで、これまでにない強烈なインパクト。その尖った性格は「履けるものなら、履いてみる！」とドレスアップユーザーへ向けた326パワーからの挑戦状といえるのだ。

ピアスボルトだって 326スタイル！



もちろんディープリムサイズも選べるヤバKING。別売りの326ナット&ロングキャップやピアスボルトで、さらなるヤバさを演出できるのも326流だ。



Racing Bash
making by IBS
ミツルホイールズ
KING

ヤバKING
MESH

リムオーバーという提案!!



SPOKE



リムよりもディスク面が突出するのが「ディスクオーバー」。ピアスボルト面より2cmほど立ち上げるフォルムでディスクがデザインされる。



MESH



4穴専用デザインされたメッシュディスク。錯覚で一瞬ディープのように見えてしまうが、大きく立ち上げられず鉢状に落とし込まれる。



新モデル、新サイズと、怒濤の新作ラッシュ!

LEHRMEISTER

問:レアマイスター ☎022-348-3319 <http://www.lehrmeister.jp>

デザインだけでなく、カラーでも差別化を図れる魅力作が続々と

センスフルなデザインだけでなく、手頃な価格帯のモデルも手掛けるなど、ドレスアップを楽しむ際に多くのユーザーが候補に挙げる人気ブランド、レアマイスター。2016年も精力的な動きに衰えはなく、「キャンティ」、「ヴィヴァン」といった新作を筆頭に、さらに、「ミニバン用で人気を博す「ヴェネート7」にKカー用サイズを追加するなど、例年以上に攻勢を強めている。

そんな数ある新作群のなかで気になるのは、完全新作となる先述の「キャンティ」と「ヴィヴァン」だ。誌面で紹介している写真はともにミニバン用の5穴であるが、テストは4穴Kカー用も基本同じ。広々とした面や、足の長さを存分にアピールするリムオーバー系としつつ、「キャンティ」は左右非対称のY字で動きを、「ヴィヴァン」は彫刻的といえるエッジで強さを主

張するなど、ブランドホイールにふさわしい存在感を誇示する。若干設定差はあるものの、両者ともにブロンズクリアやスパッタ系のBMCポリッシュといった、高付加価値系のカラーをスタンバイ。細リムの用意も万全と、無理なく履ける現実的提案となっている。

LEHRMEISTER CHIANTI

レアマイスター キャンティ

サイズ: 15×5J~17×6.5J(4H-100)

価格: 2万9000円~4万8000円(税抜き)

カラー: マットブラック/リムポリッシュ、ガンメタマットポリッシュ、ブロンズクリア、BMCポリッシュ
付属品: センターキャップ、バルブ

マットブラック/リムポリッシュ

ブロンズクリア

抜群のサイズ感で魅了する躍動系アンダーカットワンピ

ラフメッシュ系スポークを左右非対称に配するなど、停止時にも動きを感じさせるデザインに挑戦。デザインを強調させるポリッシュ(切削)系カラーが中心で、切削後に表面をクリア化した旬色もラインアップされている。



ガンメタマツポリッシュ



BMCポリッシュ

LEHRMEISTER VIVANT

レアマイスター ヴィヴァン

サイズ：15×4.5J～16×6.5J (4H-100)

価格：3万円～4万5000円(税抜き)

カラー：ガンメタマツポリッシュ、ブラッククリア、
ブロンズクリア、BMCポリッシュ

付属品：センターキャップ、バルブ



ブラッククリア

脳裏に焼き付く攻撃性や
サイズ感、色にも注目を

ツインの5本スポークに溝を刻み、スポーク
の内側にさらにスポークをレイアウトしたよ
うな斬新なデザイン。Kカー用はマックス16
インチだが、細リム16×5.0の用意があるた
め、背伸びせずインチアップを楽しめる。

待望のKカー用サイズ追加で
新たな可能性を披露！

ミニバン界でヒットしたラフメッシュを、4穴用としてリデザイン。
7交点や伸びのあるデザイン性はそのままに、専用色2色
を含む3色をラインアップ。色映えするセンターキャップに
あわせ、頂点部のエンブレムを全色レッドで統一した。

LM-S VENETO 7

LM-S ヴェネート7

サイズ：14×4.5J～17×5.5J (4H-100) 価格：1万5000円～2万5000円(税抜き)

カラー：シルバー/リムポリッシュ、ブラック/リムポリッシュ、ホワイト/リムポリッシュ

付属品：センターキャップ<レッド同梱>、バルブ



ホワイト/リムポリッシュ



ブラック/リムポリッシュ



シルバー/リムポリッシュ

4穴専用の極致を目指した最新2ピース、誕生

WORK

問:ワーク ☎06-6746-2859/048-688-7555 <http://www.work-wheels.co.jp>



マットシルバー(MSL)

マットブラック(MBL)

トランスグレーポリッシュ(TGP)

ブラッシュド(BRU)



人気のステップリムが選べ、インセットの別注にも対応

飽きの来ないスタンダードなツインスポークだが、4穴にあわせ専用で作り込むことで、デザインを最適化。
17インチのみ、段付きと段なしの2つのリムを選択可。2ピースのため、インセットを自由に変更可能。



抜群の足長感と バランスの良さは 専用開発の極み

ユーロ系ブランドの最高峰「グーノス」のテイストを受け継ぐ、Kカー用フラッグシップライン「リザルタード」。誕生から5年となる昨冬に、最新にして最高を目指し提案された「スポーク2」は、ブランド力を高める旬色のブラッシュドカラーや、シリーズ初の新色「トランスグレーポリッシュ」を引っさげて登場した注目作だ。

一時の話題性を狙うような奇抜さ狙いではなく、スタイルに流されることなく長く愛用できる、強い普遍性を感じさせる今作。ツインスポークの7組レイアウトは4穴とのバランスを意識したものであり、5穴ではしつくりいくデザインが、4穴になるとアンバランス……なんていう、ありがちな違和感は皆無といえる。スポークのエッジが立つように側面のアール感にこだわること、鍛造に迫るシャープさを手に入れたほか、極限まで足長に見えるようにスポークの長さや角度を精査するなど、バランスの良さはK専用ならではの強み。リム外周が僅かに高いダグリップと呼ぶリムは、低扁平タイヤとの見た目のマッチングを意識しての試みと、見過ごしがちな細部の作り込みにもこだわっている。

RIZALTADO SPOKE2

リザルタード スポーク2

サイズ：16×5.5J～17×9J (4H-100)

価格：4万4000円～7万円(税抜き)

カラー：マットシルバー(MSL)、マットブラック(MBL)、トランスグレーポリッシュ(TGP)、ブラッシュド(BRU)

付属品：センターキャップ/1個、エアバルブ/1個(V16C)



スマッシュヒット中の、アメラグの本命ワンピ!!

LEXANI

問:エスライン ☎049-293-9944 <http://www.s-line.tokyo>

S-LINE 102S

エスライン 102S

サイズ: 17×5.5J (4H-100)

価格: 5万3784円

カラー: Black and Machined Tip

Silver and Machined Tip

Machined finish with black

LA300S ミライース
平成24年式



SPECIFICATIONS

WHEEL ●レクサーニ・エスライン102S (17×5.5J+45)

TIRE ●ナンカン (165/35-17)

AERO PARTS ●F=プレジァティシモ加工、S/R=プレジァティシモ

EXTERIOR ●テールレンズ=ワンオフ

INTERIOR ●ステアリング=モモ、シートカバー=グレイス

SUSPENSION ●車高調=イデアル

MUFFLER ●プレジァティシモ

AUDIO ●ヘッドユニット=カロツェリア、ウーファー&アンプ&スピーカー=キッカー

MAKING SHOP ●オートリファインアニー、アトミックエアペイント

デザイン性を武器に 日本ブランドにない 攻勢を掛ける気鋭作

アメリカのカスタムシーンに牽引するラグジュアリーブランドとして、日本でも抜群の知名度を誇るレクサー。アメリカ系らしい煌びやかな派手系デザインを、22、24、26インチといった天文学的な大口径で展開するなど、ジャパンブランドとは大きく異なる独自の世界観で、ユーザーをトリコにしている。そんな王道ブランドのらしさを意識しつつ、Kカー用の日本専売品として展開されているのが、ここに挙げるエスラインだ。

登場時、あのレクサーがKカーで覆けるとして、業界各誌で話題を集めたことは記憶に新しいが、そのホットモデルをいち早くゲットしたのが、撮影に協力いただいた伊藤さんだ。スポークともメッシュともいえる幾何学的なデザインは、人マネを嫌うレクサーらしく、ディスクの広さや躍動感といった、パッと見て判るオリジナリティを重視しデザインされた。スポークにスリット風アクセントを与え、天面切削で差別化を図るなど、日本的な味付けを加味しつつも、ジャパンブランドにはない「個」を追求している点が、伊藤さんをはじめ、多くのユーザーから支持を集める理由といえる。

日本系のブランドにはない独特なデザインと、見る人が見ればおっとなるブランド力が気に入って迷わず手に入れました。USラグスタイルを目指している自分にはピッタリのホイールです。

伊藤志朗さん(愛知県)

Machined finish with black

Silver and Machined Tip

Black and Machined Tip



ホイール史に燦然と輝く、傑作ビンテージの12インチ

HAYASHI RACING

問:ハヤシレーシング ☎06-6782-0050 <http://www.hayashiracing.com>



**テイスト継承しつつ
小径化にあわせて、
デザインを小変更**

レーサーであり、レーシングカーコンストラクターとして名を馳せた林将二氏が代表を務めるハヤシレーシングが手掛ける「ハヤシストリート」は、クルマがもつとも熱かった時代である70年代や80年代を知るオーナーには懐かしくも憧れであった名品中の名品だ。時代とともに紆余曲折あり、ホイールの製品としての品質や精度は着実に進化を遂げるも、そのデザイン性は当時のまま受け継がれており、往年のファンはもちろん、ビンテージ系モデルを愛する若いユーザーからも高く支持されている。

そんなハヤシレーシングの最新モデルが、現行モデルでは最小となる12インチ。ハヤシレーシングといえば、いわずもがなの8本が定着しているが、新作は小径化にあわせスポークを7本としたほか、従来モデルよりもスポークをフランジより長く引くことで、足長感を強調したデザインとなっている。オリジナルホイールを手掛けた当初から採用し続けている、塗装後に天面を切削するブラボリや、グリーンのセンターキャップはもちろんだ。ひとめでハヤシレーシングと判る独自性は、新サイズにも脈々と息づいている。

HAYASHI NEW STREET TYPE SF

ハヤシ ニュー ストリート タイプSF

サイズ: 12×4J/5J (4H-100)
価格: 2万円/2万3000円(税抜き)
カラー: ブラックポリッシュ
付属品: センターキャップ、バルブ
JWL-T規格(車検対応)

新サイズ12インチの開発は、街に溢れる軽トラや軽バンといった商用車の、味気ない足元をなんとかできないかとの思いからスタート。JWL-Tといったトラック規格もクリア済みで安心安全。純正タイヤの流用など、経済的に履くことも可能。

軽トラにもベストマッチ！
手持ち純正タイヤを流用可能



業界を席巻した名作が、装い新たに、進化して登場!

BAD X

問:バドックス ☎06-6606-6632 <http://www.badx.jp>

らしさ残しつつ、
最新技術を駆使し、
意匠性を高め復活

スパイラルやツイストとも呼ばれるスポークのヒネリを、スタンダードデザインとして確立するなど、多くのユーザーから支持された名作テンペスト・タービンをご存じだろうか? 旋回する躍動的なスポークを、フランジ限界まで延長しロングスポーク感を演出し、ディスク全面にさり気ない逆ソリを与えるなど、マルチな魅力が武器に大ヒットした、あの一本だ。

最新作「タービンRE」は、その人気作を最新の技術とデザインを駆使し蘇らせた、待望のリボーンモデル。先に示した3大特徴はそのままだに、スポークに与えたスリットをフランジと融合させ、デザインの輪郭を一段と強調するなど、光のレーザビームが中心から外へ向かって照射されるような様子を表現。スポークエンド裏のアンダーカット化により、見た目の立体感を刺激するなど、表現力が格段に高まった印象だ。カラーは前作でも馴染みだった、アルミの素材感と硬質感を両立するガンメタポリッシュに限定。スパッタ系やカラークリアといった流行には迎合せず、もっともデザインが活きる色はなにかを熟考し選択した、判りやすいオトナ系カラーだ。

LOXARNY TEMPEST TURBINE RE

ロクサーニ テンペストタービン RE

サイズ: 15×4.5J~17×6.5J (4H-100)

価格: 2万7000円~3万6000円(税抜き)

カラー: ガンメタ/ポリッシュ



ひとめでタービンと判るデザイン性をしっかりと残した、ならではのスパイラル系スポーク。スリットやホールを与えることで生まれた、メインとサブという、アレンジの異なるスポークの競演。抜群のサイズ感も醍醐味といえる。



スクリーンの吸い込まれるスポークを限界まで長くするなど、見た目を重視して設計。スポークエンド裏に空間を与え、表情に奥行き感を与えるアンダーカットも見所だ。オーナメントも専用モデル。

デザインで、サイズで、色で
入魂のエボモデル、登場は春!

傑作タービンを手掛けたロクサーニは、バドックスの旗艦ラインであり、ドレッシーなモデルを数多く手掛けてきた人気ブランド。新作タービンREは、前作から引き継いだキャラクターの個性を活かしつつよりスタイリッシュにリデザインした、最新にして最強のタービンだ。

クラシック系からキャル系にも行ける、2つの最新作!

MLJ

問:エムエルジェイ ☎03-5473-7588 <http://www.mljinc.co.jp>



DAYTONA SS

デイトナ エスエス

サイズ: 14×5J~16×7J (4H-100)

価格: 1万7280円~2万5920円

カラー: ブラック (red & blue Line)、クローム

付属品: スチール製クロームメッキセンターキャップ (1655を除く)、TR413ゴムバルブ

大鉄板デイトナモデルを、鉄チン2ピースで!

北米自動車レース、ナスカー車両のホイールにも通じる、独特なテイストが活きるデイトナ。ハイエースなどのワンボックス用をKカーへと落とし込んだ新サイズは、一般Kカー用として14×5.0を、ジムニー用として16×5.5を推奨。

2016年のMLJ最新作は、ハイエースやキャラバンといったワンボックス系で絶大な人気を博している「デイトナ」のKカー専用モデルと、既存モデルをベースのディテールを微調整し、さらにキュートに仕上げた「ピノプラス」の2モデル。ともにサイズは14インチからと、純正インチキープで楽しむこともできる入門サイズがメインのラインアップとなっており、ドレスアップをより経済的に楽しみたいエントリーユーザーや、不慣れな女性にも無理せず楽しめる内容

となっている。本誌イチオシはなんといっても「デイトナ」で、ディスクに施されたこれぞデイトナ! といえる独特なホールデザインやハイキャップ、リムを縁取るカラーラインなど、その仕上がりはじつに味わい深い。マテリアルもアルミではなく、あえて鉄チンのスチールで製品化するなど、なんともいえない素朴なテイストは絶品だ。愛車の足元をどこか懐かしく、そしてクラシックに彩りてくれる見過ごせない1本となりそう。

背伸びせず、ラフに楽しめる新作は、インチキープ用としても有効だ!



パールホワイト



マットガンメタ

大ヒットワンピの進化系モデル、間もなく正式発売スタート!

HYPERION PINO+ (PLUS)

ハイペリオン ピノプラス

サイズ: 14×4.5J~15×4.5J (4H-100)

価格: 2万520円~2万2680円

カラー: パールホワイト、マットガンメタ

フェミニンな癒し系ホイールとして、ビギナーやキャル系志向のユーザーから熱く支持されてきたピノが、さらに可愛く、キュートに正常進化。既存従来モデルよりも中心部を丸くしキャップの同色化を図るなど、アレンジを変更している。

近日
発売予定

HYPERION DIAL

ハイペリオン ダイアル

サイズ: 14×4.5J~15×4.5J (4H-100)

価格: 未定

カラー: シルバー(予定)、ブラック(予定)



あるようでなかった、レトロな楕円5ホール

来る2月に発売される最新作「ダイアル」は、業界全体的にも極めて珍しいオーバルホールがポイントのディッシュタイプだ。14&15インチのKカー専用サイズで登場予定となっており、スタイルを選ばずマッチするシルバーとブラックの2色を用意するという。詳細は近日発表。しばしお待ちあれ。

トピーが擁する上級ブランドから注目の競作がデビュー!!

TOPY

問:トピー実業 ☎03-3495-6564 <http://topyep-apdwheels.com>

独創的なスポーク アレンジが息づく アバンギャルド作

視線釘付け。それがトピーが
新春に放つ「ドルフレン・フィニ
ト」と「グレール・リデュード」を
目撃しての第一印象。人気のあ
る多本数スポークデザインはや
や見慣れた感があつたのだが、
この競作は他にない刺激的なア
レンジが効いており、じつにアバ
ンギャルドな風味をもつ。

前者は高低差のある鋭いV字
スポークによるWツイン×5(カル
テット)、後者は井桁状に編み
込まれたツインVスタイルの4×
4スポーク、パーソンナリティ性を
求めるうえでこれらはどうって
つけのモデルはなく、足元に装
着するだけで一気にカスタマイズ
感が高まりそうで痛快だ。

ややアークが強い印象を受ける
かも知れないが、正調メイクば
かりでは面白味にも醍醐味にも
欠けるのは真実。今年を派手や
かな一年にするには、これくらい
濃ゆいデザインを履きこなし
てこそ盛り上がるというもの。ア
レンジ次第では誰からも好感さ
れるトリックスターに名乗り上
げられそうな予感すら。Kカー
を極めたトピーの2大上級ブラ
ンドだからこそ描き得たスタイ
リッシュフォルムであり、意外と
百戦錬磨の上級者から支持が
集まるかも知れない。



grele REDUDE

グレール リデュード

サイズ: 14×4.5J~16×5J (4H-100)
価格: 2万1000円~2万5000円(税抜き)
カラー: GML/MP (ガンメタリックミラーポリッシュ)
付属品: センターキャップ、エアバルブ

実サイズ以上の存在感を放つ独特の
ツインVスタイル4×4デザインが、アバ
ンギャルドな魅力を醸成。豊富なカラー
設定も相まって、エキゾチックな風味を
好むヘヴィフリークにはうってつけ。オト
ナの色気を放て。

シンプルながらも力強いデザイン!!



DORFREN IFYNITE

ドルフレン フィニート

サイズ: 14×4.5J~17×6.5J (4H-100)
価格: 2万6500円~3万4500円(税抜き)
カラー: BM/MP
(ブラックメタリックミラーポリッシュ)

鋭利な刃物を彷彿とさせるソリッドなW
ツイン×5(カルテット)デザインに品格
を覚えるリッチ系。コンケイブも効いて
おり、風格ある足元づくりに最適。エメ
ラルドグリーンのキャップもハイクラス感
に満ちる。

近未来感あふれる表情を浮かべる野心作



サイズ感かバランス重視か!? 似て非なる2つの個性

BLEST

問:ニューレイトン プレスト事業部 ☎03-3676-2992 <http://www.blest-wheel.com>

Kという制約の中 意匠や色に注視し 存在感を発揮する

プレストの2016年の新作は、同じスポークというカテゴリーでありながら、目指すスタイルが大きく異なるなど、明確にキャラクターが違う2モデルが登場する。よりドレッシーに、かつサイズ感を主張して楽しむなら「レグルスA1」を、シンプルにスポーツを追究し、ホイールに求められる機能的な要素にも着目するのであれば「タイプS-07」をと、一目瞭然といえるほど、両者のテイストは違っている。

前者は5本のツインスポークをベースに、その合間合間にスリット入りの5本スポークをレイアウトした、いわゆるがなのダブルフェイス仕様だ。スポークエンドをリムフランジと自然と一体化させることで表現した、大きさを強調させるリムオーバーデザインは、構造上ディスク面で高低差を稼ぎにくいKカーにとしては、見過ごせないアプローチといえる。一方後者は、強度的にもデザイン的にも、もつともバランスがよいとプレストが考える7本スポーク。奇をてらわずシンプルに走り印象づけるべく色も注視し、テカリすぎず控えめすぎない中間色である半艶に、切削リムをマッチングさせている。



EuroSport Regulus-A1
ユーロスポーツ レグルス エーワン
サイズ: 15x5J ~ 17x6.5J (4H-100)
カラー: ブラックポリッシュ
付属品: センターキャップ、エアバルブ
価格: 2万2000円 ~ 3万2000円

Wフェイス感を強める切削処理に
アンダーカットを加えより立体的に
5本と5本を交互に用いたWフェイスをリムオーバー化し、実寸よりもひとまわり以上大きく見せるなど、Kサイズの小ささを技でカバー。スポークエンド裏に空間を持たせるアンダーカット部までも切削するなど、類い稀な立体感も新作の見どころのひとつだ。2月頃発売。



EUROMAGIC Type S-07
ユーロマジック タイプ エスゼロセブン

サイズ: 13x4B ~ 16x6J (4H-100)
カラー: セミグロスブラック
付属品: センターキャップ、エアバルブ
価格: 1万6000円 ~ 2万6000円 (税別)

高い剛性とライトウェイト感を追求
背伸びせず楽しめる手頃価格もマル
スポーツ系ホイールとしてのあるべき姿として、デザイン性だけでなく、品質面にもこだわって設計した最新作。一部サイズでリムスピング加工を実施するなど、ハードユースにも耐える剛性感と軽量性も兼ね備えた、魅せて走る1本だ。3月発売。

選ばれしこだわり派に贈る、鍛造プレミアムモデル

RAYS

問:レイズ ☎06-6787-0019 <http://www.rayswheels.co.jp>

**機能性と美しさを
高次元で極めた、
贅を尽くした鍛造**

レイズというメーカーの枠を超え、業界を代表する名ブランドのひとつとして親しまれているボルクレーシングが、Kカーに対象を絞って提案する話題作、G25は、数々のレースシーンを足元で支えるレイズテクノロジの最高峰である、鍛造技術を駆使し生み出されるハイエンドな1本だ。鍛造だからならしえる高い剛性感や、圧倒的な軽さといった目に見えない性能面のアドバンテージはいうに及ばず、エッジが立った鋭いシャープなスポークラインならではの特権といえる。スポーク天面を切削がけし、持ち前のデザインを一段と引き立てたほか、リム3箇所マシンングでロゴを刻むなど、隅々まで作り込んだ様は、大口径モデルに匹敵するほどだ(天面は切削後にクリア塗装済み)。Kカーというサイズのため、デザインに高低差を付けにくい制約があるが、スポークの根元を一段落とし、逆に先端裏には空間を持たせるなど、視覚に訴えかける立体感を意識的にデザインに採り入れている。リムに施した1周分の溝も、一般的なリムオーバー系とは異なる趣向であり、輪郭を引き立てる絶好のヒトクセといえる。

サイズで表情が変わる 3つのフェイスを用意

サイズは16インチのみの3サイズだが、Kカー用の標準的サイズは5.5J。ローターやキャリパーが大きく、履けるホイールが一部に制約されがちなN-BOXやN-ONEのターボ車にも装着できる、十分なクリアランスを確保している点も見逃せない。

VOLK RACING G25 16inch Model

ボルクレーシング G25 16インチモデル

サイズ: 16x5.5J~16x6.5J (4H-100)

価格: 5万4000円~5万6000円

カラー: プレスドブラッククリアー (KK)

付属品: G25ブラックセンターキャップ、
インサイドバルブ RAYS NEW ロゴ BK



3Dを助長するアンダーカットをクリア化



MANARAY SPORT EUROSPEED MX-01

マナレイスポーツ ユーロスピード MX-01

サイズ：15×4.5J～15×5.5J (4H-100)
価格：2万5000円～2万3000円(税抜き)
カラー：グロスブラック+アンダーカットクリア、
グロスブラック+アンダーカットレッドクリア
付属品：センターキャップ、バルブ

足元を軽快に彩る10本スポークの見所は、スポークエンド裏に設けたアンダーカット。3D感を強調するそのラインをクリアペイントし、更なるインパクトを獲得。写真のレッドは、15インチの一部サイズ限定の特典。



手頃感高く、変わり映えもする魅力作が連発!

marukaservice

問:マルカサービス ☎052-746-7000 <http://www.marukaservice.com>

ドレスアップの楽しさを手軽に味わえる、ハイセンス&ロープライスなモデルを数多く展開しているマルカサービスのハウスブランド、マナレイスポーツからは、個々の味付けが大きく異なる新作が6本も!



MANARAY SPORT VERTEC VR-5 GP-LINE

マナレイスポーツ ヴァーテックVR-5 GPライン

サイズ：15×4.5J～17×7J (4H-100)
価格：2万4500円～3万4000円(税抜き)
カラー：ブラックポリッシュ+ブルーブラッククリア
付属品：センターキャップ、バルブ

5本ツインのダブルフェイス
旬色カラークリアを標準色に!

フランジ一杯に広がるツインスポークを5×5でレイアウトした、ダブルフェイスデザイン。切削した天面に掛け合わせた、鈍い色合いのブルーブラッククリアカラーが絶妙に決まった、味わい深い1本だ。

MANARAY SPORT VERTEC VR-5 SP-LINE

マナレイスポーツ ヴァーテックVR-5 DPライン

サイズ：14×4.5J～16×5J (4H-100)
価格：2万2000円～2万8000円(税抜き)
カラー：ラメフレックブラック(リムDC)
付属品：センターキャップ、バルブ

妖艶なスポークラインが際立つ
アーティスティックな新作V字

ロングセラーシリーズ、ヴァーテックの最新作は、V字スポークの曲線と曲面にこだわって造型したハイビジュアルなワンピースだ。光の当たる角度で印象も変わって見える、輝度の高いラメ入りカラーも必見!



MANARAY SPORT EUROSPEED MX-03

マナレイスポーツ ユーロスピード MX-03

サイズ：13×4B～15×5.5J (4H-100)
価格：1万6000円～2万円(税抜き)
カラー：ブラックポリッシュ
付属品：センターキャップ、バルブ

人気の既存モデルをベースに、
ブラポリ等でさらに魅力的に進化

昨年発売のMC-03をベースに、カラーをブラポリ化。同時にオーナメントもリニューアルさせるなど、ドレスアップ性を高めた正常進化バージョン。天面切削で際立った、高いデザイン性が見所。



MANARAY SPORT OFFPERFORMER XF117

マナレイスポーツ オフパフォーマー XF117

サイズ：15×4.5J (4H-100)
価格：2万2000円(税抜き)
カラー：セミグロスブラック(リムDC)
付属品：センターキャップ、バルブ

半艶ブラックと切削リムが奏でる
ワイルド感全開の骨太系1ピース

オシの強いデザインが目を引き、クロカン系の最新作。軽く艶を残したブラックカラーをベースに、リムフランジの一部をビートルック的にデザインし切削するなど、記憶に残りやすい印象派の1本だ。

MANARAY SPORT EUROSPEED MX-02

マナレイスポーツ ユーロスピード MX-02

サイズ：12×4B～15×5.5J (4H-100)
価格：1万6000円～2万500円(税抜き)
カラー：ブラックポリッシュ+ブラッククリア
付属品：センターキャップ、バルブ

ブラポリにクリア塗装を施し、魅力を倍增



5穴モデルが10本ツインに対し、4穴はバランス重視で8本と、単なるリサイズではないバランスのいいデザインを追求。塗装後にスポーク天面を切削、仕上げとしてクリアを吹くなど、手の込んだ色も大いなる見所だ。

最新作は、走りを刺激するヒネリの5本だ!

PANDORA

問:パンドラ ☎048-798-0397 <http://www.pandora-inc.com>

ホイールブランドとしても着実に実績を高めているパンドラの2016年モデルは、“ヒネリ”という躍動感をデザインに落とし込んだワンピース。走行中だけでなく、停止時もエネルギー感でいられる注目作だ。



COMPETEC ESPERFIVE

コンペテック エスパーファイブ

サイズ：15×5J～17×7J (4H-100)
価格：2万2000円～3万円(税抜き)
カラー：ブラック/リムポリッシュ

切削箇所をリムに限定し、
マルチルック感も
さり気なく主張する

視覚的な動きをもたらすヒネリをブラックで、それを囲むリムをポリッシュで仕上げた、ツートンカラー限定1色という深い提案。スポークをリム限界まで延長せず、リムとスポークの間に1周分の空間を与えることで印象つけた、マルチピーステイストも見所。



名門ブランドの45周年メモリアルモデル!

OZ

問:オーゼットジャパン ☎053-469-5011 <http://www.oz-japan.com>

2016年1月でブランド生誕45周年を迎えるOZが、記念のアニバーサリーモデルを近日発売する。イタリアの片田舎から始まった栄光の歴史を懐古させる、OZの1stモデルを現代風に味付けしたビンテージ系。



OZ Anniversary45

オーゼット アニバーサリー45

サイズ：17×7J (4H-100) 価格：近日発売
カラー：BKD(ブラックダイヤモンドリップ)、MTD(マッドチタニウムテックダイヤモンドリップ)、
RWD(レースホワイトダイヤモンドリップ(近日設定))
付属品：センターキャップ、センターカバー(レトロボウルカバー:オプション別売り)、
エアバルブ、ハブリングキット

オプションカバーで2つの表情を楽しめる、クラシックデザイン

ミニのラリー車用として生み出された1stモデルをベースに、真円ホールや切削リム、レッドキャップなどを用いつつ現代に再現。Kカー用サイズではないため、オバフェン化など、履くには相応の対策が必要だ。レトロボウルカバーというオプションで、表情を変えて楽しめる。

WARWIC Verune Type Rena

ワーウィック ヴェルネ タイプレナ

サイズ：15×4.5J～16×6J(4H-100)
価格：2万2000円～2万7000円(税抜き)
カラー：BBC(ブルーブラッククリア)、POL

4×4ツインのダブルフィン
旬色クリアも効果テキメンだ!

ツインスポークを4本ずつ配した高低差のある表情に加え、ディスク天面に施したブルーブラッククリアという先進性の高いカラーリングが、足元をスタイリッシュにイメージチェンジ。リムに与えたダミーピアスが醸し出す、マルチ感も高級感を高める。



サイズ感、マルチ感、立体感に富んだ、欲張り仕様!

MONZA JAPAN

問:モンツァジャパン ☎029-247-7772 <http://www.monza-japan.co.jp>

複数のシリーズを展開するマルチブランド、ワーウィックは、流行を見据えたドレッシー系モデルをコンスタントに手掛けている。最新作はツインスポークによる軽快感と、ブルーブラックという珍しいカラーで、付加価値を追求したタイプレナだ。

テイストの異なる、2本の新作ワンピースを発表!

KYOHÔ

問:共豊コーポレーション ☎0120-96-5553 <http://ame-net.com>

多彩なシリーズを展開する同ブランドのなかでも、比較的手軽に楽しめるブランド、シュタイナー。「SF-V」はアメリカの鍛造ホイールのテイストを意識し、「SL5」はスポーツ志向系と、アレンジを明確に変え、多彩なニーズに応える構えだ。



STEINER S-LINE SL5

シュタイナー エスラインSL5

サイズ：15×5J～16×6.5J(4H-100)
価格：2万6500円～3万1500円(税抜き)
カラー：グロスブラック×サイドカット
付属品：センターキャップ、ロングアダプター(4本に1個)、PACIFICエアバルブ(スリーブ付)

側面のサイドカット処理など、低価格帯を超える追加処理も!

視覚的に判りやすいデザインを追求したSL5は、プレーキの冷却性を意識しつつY字の開口角度を広げ、側面部を追加処理でえぐり肉抜きするなど、スポーツホイールらしい軽量性も追求している。

STEINER FORCED SERIES SF-V

シュタイナー フォースドシリーズ SF-V

サイズ：14×4.5J～16×6J(4H-100)
価格：1万8000円～2万6000円(税抜き)
カラー：エメラルドブラック×ポリッシュ
付属品：センターキャップ、ロングアダプター(4本に1個)、PACIFICエアバルブ(スリーブ付)

細部のディテールも作り込んだ、躍動感を意識した10本ツイスト!

ロングセラー中の同社の既存作をベースに、ビジュアルに動きを与えるべくスポークをツイスト。エッジ感や立体感を意識しつつ、よりワイドに見える様、スポークの長さや深さ、角度も注視している。



6穴モデルも人気の、Kカー対応4穴モデル!

FABULOUS

問:ファブレスジャパン ☎06-6656-5555 <http://www.fabulous.co.jp>

業界のビッグネームであるファブレスは、オリジナルホイールの提案も積極的。これまでも数々のヒット作を生むなど、知名度、実績ともに抜群。MC-9は、ハイエースユーザーからとくに熱く支持されている6穴モデルでも知られる1本だ。

BARONE MC-9 ヴァローネ MC-9

サイズ：12×4.5B～15×5J(4H-100)
価格：1万2960円～2万520円 カラー：マットブラック
付属品：センターキャップ レッド・LOWタイプ、レッド・HIタイプ(540円/個)

味わい深いノスタルテイストと、旬色マットの競演



12インチ

一般的なドレスアップホイールにはない、古き良き時代の旧車テイストを醸し出す、味わい深い9本スポーク。12～15インチまで選べる4穴モデルは、5穴や6穴モデルでは付属しない専用のレッドキャップ付き。ギア風デザインのハイキャップもあり。



15インチ



趣向を凝らした、高コスパな3本を同時リリース!

BIG WAY

問:ビッグウェイ ☎022-259-0545 <http://www.bigway.co.jp>

ドレスアップ性の高いモデルを1度に3本発表したビッグウェイは、ビギナーに最適なサイズ、価格帯が中心。発色鮮やかな旬色のカラークリアを採用したモデルから、大口径さをアビリンオーバー系など、キャラの異なるモデルを揃える。



ブラック/レッドクリア

ブラック/ブルークリア

EXPLODE RBS エクスブラウド RBS

サイズ：15×5J～17×7J(4H-100)
価格：2万2680円～3万2400円
カラー：ブラック/レッドクリア、ブラック/ブルークリア
付属品：センターキャップ、エアバルブ

Kカー対応の15&16インチから選べる、差し色効果も満点なカラークリアモデル!

リム全周とセンターのナットまわりを、旬色のカラークリア(レッドまたはブルー)でアレンジした注目の新製品。オーナメントは、クリアカラー同色タイプに加え、ブラックタイプがもれなく同梱される。



SBC-P(SBCポリッシュ)

BK/P(ブラックポリッシュ)

B-win ZENATO8 ビーウィン ゼナートエイト

サイズ：14×4.5J～17×5.5J(4H-100)
価格：2万520円～4万4280円
カラー：BK/P(ブラックポリッシュ)、SBC-P(SBCポリッシュ)
付属品：センターキャップ(BK/REDオーナメント2枚付)、エアバルブ

足元をスタイリッシュにイメージチェンジする3D感も絶好な、ツイスト系の8本スポークだ

フランジに対しスポークを斜めに延長し、躍動感を印象つけたツイスト系。フラットなスポークエンドの切削など、純正では味わえないエッジの効きもマル。オーナメントは2色同梱。差し色的に遊べ!



BMCポリッシュ

ブラックポリッシュブロンズクリア

Leyseen F-XV レイシーン F-XV

サイズ：14×4.5J～17×6.5J(4H-100)
価格：2万520円～4万2120円
カラー：ブラックポリッシュブロンズクリア、BMCポリッシュ
付属品：センターキャップ、エアバルブ

15本フィンをリムフランジ限界へ広げ、ランク上の大口径感を演出

スポークをフランジ一杯まで広げて魅せる、視覚に訴えかけるサイズ感。F-XV最大のセールスポイント。スポークエンドとリムを切削し表情を変化させつつ、人気のカラークリアにも挑戦と、見所多し。



第10回

プロのアドバイスで脱・初心者を目指す

ドレスアップ実践教室



寒い時期はトラブルがいっぱい 冬のKカーメンテナンス講座

季節を問わずメンテナンスは大事ですが、特に冬は気温の低下&降雪などの影響で、いろいろ不具合が起こりやすい。実際にトラブルになってしまう前に、きちんとチェックしておきたいところです。ということで、今回は誰でもできる基本レベルのメンテを、ジェットストローク・細野さんがレクチャー。休日に家族みんなでやってみるのもオススメです♪

PHOTO●木下 誠
ILLUST●吉田たつちか

取材協力

ジェットストローク

何かが起こる前に
きちんとお手入れ
しておきましょう



足まわりから板金関係、内装張り替え、オーディオ製作まで、何でも頼める腕ききショップ。カスタムのことだけでなく、整備や保険の相談にも乗ってくれる。最新の人気メニューは、塗って剥がせる「ラバーディップ」。



今回のプロ講師
細野 大介さん

ジェットストローク
千葉県鎌ヶ谷市初富178-2
☎047-446-5557
営業時間:10時~19時、
(木曜は10時~15時)
定休日:祝・祭日

エンジンルームから室内まで
コレさえやっておけば大丈夫

まずはエンジンルーム内の基本的なチェックから

STEP
01

エンジンオイルの汚れチェック

オイルレベルゲージ(たいがいオレンジ色の取っ手)を引き抜き、一度キレイに拭き取る。改めてゲージを差し込み、そっと抜いて汚れ具合&量を確認。汚れはウエスに垂らしてみ、透明なオイルが広がるなら大丈夫。真っ黒なのが広がったら要交換。量は上限/下限を表す穴(ラインの場合もあり)の間に収まっていればOKだ。



フィルターキャップ裏も
チェック! 白い付着物が
あったら注意です



CHECK POINT

- ✓ エンジンオイルの量・汚れ
- ✓ ATオイルの汚れ
- ✓ クーラントの汚れ
- ✓ バッテリーの電圧・液量
- ✓ ウォッシャー液の量



ATオイルの汚れチェック



量は車種によって正確な測り方が違ったりするので、とりあえず汚れだけチェック。要領はエンジンオイルと一緒だが、ATオイルは異物混入に非常に弱いので、キレイなウエスを使うこと。汚れは色が黒ずんでいないかで判断。交換はDIYは難しいので、必ずプロに頼むこと。

バッテリー液の電圧&量をチェック



基本的なチェックは液量を見ること。上限/下限の2本ラインの間にあるかどうか。または市販のバッテリーテスターで電圧値を調べてもいい。「エンジン停止時で12V以上あれば正常。11V近いと寿命は近いと思って下さい」。

クーラントの汚れチェック



エンジンオイルなど違ってレベルゲージはないので、リザーバータンクのフタを開けて直接目視で確認。クーラントのもともとの色は赤や緑で、劣化してくると透明感が失われて濁ってくる。「量は徐々に減りますが、急激には減らない。もしそうならどこかで漏れている可能性があります」。

ウォッシャー液の量をチェック



深刻なトラブルには繋がりにくい、イザという時に使えないのは困るので要チェック。「少なくなると水道水を足す人がいますが、それだと冬場は凍ることもある。必ずウォッシャー液を入れましょう」。

添加剤を使ってみるのも効果的 ジェットのおすすめはコレです

溢れないよう
タンク残量を見てから
入れましょう



WAKO'S クーラントブースター

劣化したクーラントでも、これを添加するだけで、防錆や防食といった機能が復活するというスグレモノ。ただしすでにラジエーター内に溜まったサビなどは除去できないのでご注意ください。1728円。

WAKO'S エコカープラス

エンジンオイルの添加剤。エンジン始動時など、オイルの油温が低い状態でもきちんと潤滑効果を発揮してくれる。油温が上がりにくいアイドリングストップ車にオススメ。1944円。



いくらクルマ好きでも、ボンネットをマメに開ける人というのは少ないと思います。特に春・秋のオンシーズンには、ドレッシングアップのことで頭がいっぱいで、目につかない部分は忘れがち。だからこそ、冬の間くらいはエンジンルームのチェックをしておきたいですね。

まずはエンジンオイル。冬はエンジン内で結露が起こりやすく、水分がオイルに混ざりやすくなります(特にチョイ乗りが多い人は注意)。結果、燃費や加速性能が落ちたり、ひどくなるとエンジン内部をキズ付けたり、最悪焼き付くこともある。交換の目安は5千キロ、または半年に1回ほどですが、走らなくてもオイルは酸化&劣化していくもの。しばらく交換していない人は、

これを機にやっておくのもいいです。続いてバッテリー。気温が低いと化学反応が鈍り、能力も落ちてしまいます。もともと弱り気味だと、暖かい時期は何とか大丈夫でも、寒くなったとたんアウト、ということもある。特に最近のバッテリーは性能が上がったお陰で、寿命ギリギリまで弱った兆候が出にくい。日頃のチェックが重要です。

その他はクーラント(冷却水)、ATオイル、ウォッシャー液なども確認。意外に大事なのがクーラントで、これも結露などで水分が混入すると、濃度が薄まり凍結することがある。そうなる前にラジエーターが壊れたり、オーバーヒートする可能性もあるので、冬だからといって油断しないで下さいね。

冬の寒さが機能低下や劣化に繋がる

車高短なら絶対に欠かせないタイヤのメンテ

STEP
02



CHECK POINT

- ✓ 空気圧
- ✓ バルブのエア漏れ
- ✓ ミゾの深さ
- ✓ キズ・ヒビ割れ
- ✓ 異物や膨らみ

空気圧のチェック&補充

チェック自体は簡単で、バルブキャップを外してエアゲージで数値を見るだけ。ゲージはガソリンスタンドなどで貸してくれるし、車種によっては車載工具に含まれていたりする。「通常サイズなら2キロ台前半ですが、165/40や165/45を6.5Jで引っ張ると、3キロ前後は必要。具体的にはタイヤ屋さんでアドバイスをもらいましょう」。

純正サイズの適正数値は
運転席のドア内側で確認



純正で
エアゲージが
付属している
車種もあり



ミゾの深さ&ヒビ割れのチェック

スリップサインを見付けるには、まずタイヤ側面を見てみよう。何力所か三角マークが付いているハズ。その三角が差した方向を辿ると、ミゾの間にボコッと盛り上がった部分があるが、それがスリップサインだ。「トレッド面とスリップサインがツライチになったら使用不可です。念のため、その手前くらいで交換するのがオススメ。ミゾがあってもヒビがあったら要交換です」。



コレがスリップサイン

ヒビのチェックは
このあたりがポイント

トレッドやミゾの奥



サイドウォールまわり



バルブのエア漏れチェック

空気圧は自然に低下していくものだが、急激に下がるようなところからエア漏れしているハズ。まず疑わしいのがバルブからのエア漏れ。チェックするには、洗剤を薄めた石けん水を作り、それをキャップを外したバルブにかけてみるといい。「ブクブク泡が出たらエア漏れ。バルブコア（通称：ムシ）を締めつけて、それでも泡が出るならバルブコアを交換しましょう」。

耐熱バルブコア（赤）
に変えておくと
安心ですよ



ムシ回して
きちんと締めたら
直ることも



フツフツ泡が出たら
漏れている証拠！

スタッドレスタイヤの見極め方をレクチャー！

“プラットフォーム”が
出てきたら要注意です



指で押してみても弾力が
なかったら寿命が近い



「スタッドレスにはスリップサインの他に“プラットフォーム”と呼ばれるもうひとつのサインがあります。これはミゾが残り50%になると出てくるのですが、そうなったらもうスタッドレスとしては使えない。「残り50%もあるならいいじゃん」と思うかも知れませんが、アイスバーンや雪路でのグリップは期待できないので要交換です。プラットフォームが出ていなくても、指でグッと押しても弾力がなくなっていたら危険。例え走らなくても、スタッドレスの寿命は3シーズンといわれています」。

温度変化に伴って空気圧も変わる？

メンテの前にまず知っておきたいのが、タイヤの温度と空気圧には密接な関係があるということ。温度が上がれば膨張し空気圧が高くなるし、冷えれば収縮し空気圧が低くなるんです。タイヤの空気圧には適正値があり、高くても低くても良くないので、偏平タイヤを引っ張って履くようなドレアップカーの場合、適正値よりも高めに入れるのが普通。これはビード落ちや、タイヤが潰れてリムがキズ付くのを防ぐためです。その分乗り心地が硬くなったり、グリップ力が落ちたりしますが、それは残念ながら仕方ないところ。バーストするよりはいいです。つまりドレアップ車は空気圧低下に弱いわけですが、冬は気温が低く路

面も冷たいので、前述の通り空気圧が低下しやすくなる。また、それは関係なく、タイヤの空気というものは常に少しずつ抜けているので、この時期はマメなチェックが重要なんです。もうひとつ注意したいのが、ゴムの劣化。トレッドやサイドウォールにヒビが入っていたら赤信号。いくらミゾが残っていても、それが原因でバーストすることもあります。特に冬は危険で、なぜなら走行すると摩擦でタイヤの温度は上がる（空気圧も上がる）のですが、乗らない時は冷えて空気圧も下がる。その差が冬は大きいので、縮んだり膨らんだり、ヒビが入りやすくなり、広がります。空気圧だけでなく、その辺もよく見ておきましょう。

室内もクリーンアップして快適な空間に!

STEP
03

エアコンフィルターの交換

ほとんどの車種は、グローブボックスの奥にエアコンフィルターがある。交換自体は非常にカンタンなので、グローブボックスさえ外せば何とかなるハズ。「今回はミライースでやりましたが、これは2ヶ所のツメで留まっているだけなのでかなりラク。ただし車種によっては、まわりのパネルも外さないとイケないこともあります」。



キレイなように
実はけっこう
汚れているんです

あとは入れ替えるだけ



CHECK POINT

- ✓ エアコンフィルターの汚れ
- ✓ ダッシュボードのホコリ
- ✓ パネルまわりのツヤ
- ✓ シートの汚れ
- ✓ 窓の汚れ・くすみ



シートの汚れ落とし&ツヤ出し



縫い目のスキマは
歯ブラシを使って
優しくかき出す

パネル類と同様に、シートもバリアスコートを噴いて拭き上げ。キレイになってツヤも出る。縫い目に挟まったゴミやホコリは、歯ブラシでかき出して掃除機で吸ってやるといい。

窓の汚れ落とし

手で触ったことによる皮脂汚れや、タバコのヤニも落としておきたい。ここも水拭き→乾拭きが基本だが、それでもベタベタが落ちない時は、市販の窓用クリーナーを併用しよう。



汚れがひどい時は
クリーナーを使う

パネルの汚れ落とし&ツヤ出し



使ったのはコレ

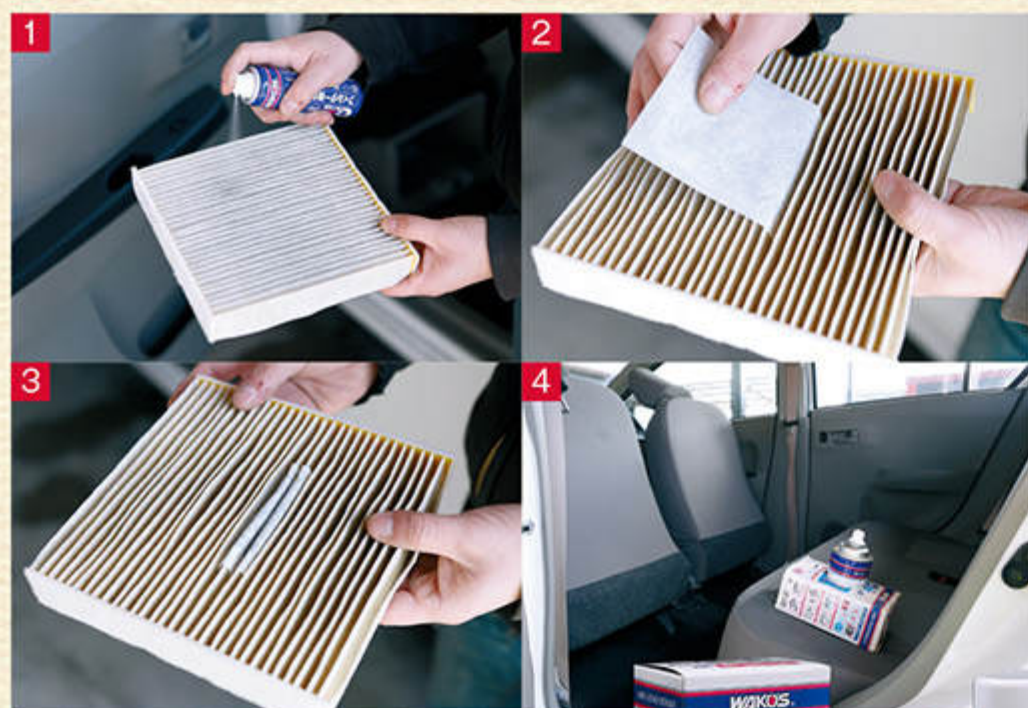


WAKO'S
バリアスコート

基本は固く絞ったタオルで水拭き→乾拭きでOKだが、「バリアスコートを使えばツヤも出せるし、手触りも良くなりますよ」。手順は、まずは乾いたタオルなどで軽くホコリを除去。次にバリアスコートを少量噴き、それを薄く塗り伸ばす感じで、マイクロファイバークロスで拭き取り。さらに別のクロスで乾拭きで仕上げ。ちなみにバリアスコートは3240円。

ドアノブなど
メッキパーツも
磨いておこう

車内のニオイ取り&除菌できるプロ用の強力アイテムをご紹介します



消臭・防カビ・抗菌・防汚効果が、1年間持続するケミカル。「ウチで施工する場合はフィルター交換も含めて2万円〜です」。手順は以下の通り。①エアコンフィルターにフィルター強化スプレーを噴いて陰干し。②③フィルター持続シートをフィルターに挟むようにセット。④エアコンを「内気循環」、吹き出し口を「前方&下方」モードにしてエンジン停止。空間浄化スプレーのノズルを回すとケムリが吹き出す。ドア&窓を閉めて1時間以上放置。



WAKO'S
エアーキャタライザー

イヤなニオイは冬の間に除去すべし

室内のメンテはエンジンルームやタイヤのように、それほど季節には左右されませんが、いつでも快適に過ごせるよう、いくつかメニューを紹介します。

まずはエアコンのイヤなニオイ取り。特に夏にひどくなりやすいですが、冬も曇り除去などでコンプレッサーを回した時に臭ったりしますよね。原因はたいていカビで、特にエバポレーター（冷却装置）がカビていることが多いのですが、これをキレイにするのはDIYレベルだとちょっと難しい。お手軽にできるものなら、エアコンフィルターの交換が効果あります。

1年に1回は交換しておきたいです。車内のニオイはエアコン以外にも原因はあって、例えばタバコだったり、こぼした食べ物だったり、ペットだったり。気になる時は、長めに換気したり、フロアを掃除機でキレイにしても効果はあります。左で紹介しているエアーキャタライザーもかなり効きますので、興味のある方はぜひ当店に連絡を(笑)。

お掃除ついでに、ダッシュボードやパネル類、シートカバーを付けている人ならシート表皮のツヤ出しもやっておきたいですね。ウチのオススメは、バリアスコートという万能のツヤ出し剤。軽く噴いて拭き取るだけで、キレイになるので、1本あると重宝します。

春が来る前にボディ各部をキレイにしよう

STEP
04



CHECK POINT

- ✓ 樹脂パーツのくすみ
- ✓ レンズ類の黄ばみ
- ✓ メッキパーツのくすみ
- ✓ ワイパーブレードの劣化
- ✓ 足まわりや腹下の汚れ

樹脂パーツのツヤ出し

ワイパーカウルトップやドアミラーの付け根、ピラーなど。樹脂パーツは古くなってくると、白っぽくくすんだ感じになる。ライト類と同じで、これもクルマが古く見える要因のひとつ。逆にいえば、ココがツヤツヤだとクルマも新しく見えたりする。バリアスコートなどのツヤ出し剤を使えば、とてもカンタンにやれるのでぜひお試あれ。



バリアスコートを
使います

ヘッドライト&テールレンズの黄ばみ取り

レンズにも
バリアスコートが効く！



コンパウンドを付けてポリッシャーで磨く方法もあるが、工具を持っている人も少ないだろうし、スモーク塗装したレンズには使えない。そこでバリアスコートの出番。他と同じように、軽く噴いてキレイに拭き取るだけ。これで新品同様とまではいかないものの、かなりクリアになるハズ。



本当は内緒
はんだけど...
ウチではこれ
キレイに
しています

ジェットがレンズ磨きに使っているのは、業務用のリスロンカーブライトというアイテム。「カーワックスなんですけど、これで驚くくらいキレイになる。ウチで何か作業を依頼してもらった方にサービスでやってあげていますよ〜」。

ワイパーブレードの交換

参考までにワイパーのブレード交換のやり方も紹介。外し方は、①ワイパーアームを立て、②アームのストッパーをつまみながら、③ブレードを引き下げる、でOK。装着は逆の要領で、「カチッ」と音がするまでブレードをはめ込む。注意点は、アームが倒れて窓ガラスをキズつけないように(割れることも)、ウエスを置いておくことくらい。



ガラス保護のために
ウエスを置いておく

ブレードを下に
引くと外れます

冬は車高調の固着リスク大 心配な人は試してみよう



1 砂利をブラシで落とす



砂利がネジ部に入り込んだ状態で無理矢理回そうとすると、ネジ山やロックシートを痛める。事前にワイヤーブラシなどでキレイにしておこう。

2 ロックシートを回してみる



専用レンチを使い、ロックシートを反時計回りに回してみる。装着時にガッチリ締めてあるハズなので、手の力だけでは回らないことが多い。

3 回らない時はハンマーで叩く



レンチをロックシートに噛ませたま、ハンマーでレンチをガンガン叩いてみる。固着していなければこれでロックシートが緩んでくれるが...

4 潤滑剤を噴いて再挑戦



市販の潤滑剤をロックシートやショックまわりに噴き、しばらく置いて浸透させてから「3」をやってみる。これでダメならショップに相談しよう。

雪が降る地域は特に注意が必要です

内装をやった外装も、ということ、で、ザッと外まわりもチェックです。冬は洗車がおろそかになりがちなので、いろんなところが汚れてくる。特に雪が降る地域は、道路に積もった雪を巻き上げながら走ったりするので、泥や鉄粉を大量に浴びていたりします。放置するとガンコなシミになりますので、なるべくこまめに洗車して下さい。さらに雪道には融雪剤がまいてあることが多く、それもボディの劣化に繋がります。なぜなら、融雪剤の主成分は塩化カルシウム。つまり塩です。ほとんど鉄でできているクルマは、これであつという間に錆びちゃいます。特に腹下・ホイール・車高調まわりは要注意。雪道を走った後は、即洗車するくらい

の気持ちでいて下さい。その時は高压洗浄機を使って、足まわりや腹下も大量の水で流してあげるといいですね。例え雪国じゃなくても、普通に走っているだけでクルマは汚れます(季節はあまり関係ないですけど)。普通の洗車で落ちにくいのが、ヘッドライトやテールなど、レンズ類のくすみ・黄ばみ。ボディがキレイでも、レンズが黄ばんでいたらクルマが古く見えちゃうので、冬の間にクリアにしておくといい。ドレスアップカーはキレイさが命ですからね。そのほか、樹脂パーツのツヤ出しや、車高調の固着チェックなどをやっておくのもオススメ。春のオンシーズンには万全に整えておきましょう！



注目のパーツからアパレル、
ステッカーまで全部見せます!!

ケイブレイク発

2016年

新作

一気見せ!!

毎年、エアロをはじめ、数々のニューアイテムをデビューさせる人気D-UPパーツメーカー、ケイブレイク。
というわけで、D-UPパーツからグッズまで、2016年一発目のニューアイテムを一気にお届けするぞ!!
東京を皮切りに始まった新年のイベントラッシュで、ぜひお気に入りのアイテムをゲットしちゃおう♪



新デザインのタイプ2が 3サイズ&8色で登場!



装着時、ナット表面にキズが付いてしまうのを保護する専用ソケットを別売りで用意している(800円※税抜き)。



タイプ2のデザインは「慧舞麗紅」「ケイブレイク」「K-BREAK」と3種類のロゴを6面に配置。キャップにはエンブレムをデザイン。



キャップを取りはずせば、オープンタイプとなり、よりレーシーな印象を楽しむことができる。キャップありなら、今風のおしゃれな足元にドレスアップ。



サイズは3種類。キャップを取り付けた全長はSが60mm(写真下)、Mが80mm(写真上)、Lが100mm。キャップなしはそれぞれ10mm短くなる。

▶ SUPER RACING NUT Type 2

色●全8色 サイズ●S、M、L 価格●3500円～4500円(税抜き)

いまや足元ドレスアップの必須アイテムになりつつあるレーシングナット。ケイブレイクからは昨年タイプ1がリリースされているが、2016年の東京オートサロン2016でタイプ2がデビューする。新タイプのポイントは、新たなカラバリ。レッド/ゴールド/ピンク/オレンジ/ブル

ー/パープル/グリーン/ブラウンの8色を用意。ボディカラーや好きな色など、ドレスアップスタイルに応じて、好みの色を選べる。また、Mサイズ以上には12角のデザインを加えて強度をアップ。4本セットで3500円～というコストパフォーマンスの高さも魅力なのだ。

▼ K-BREAKロゴ・大林軍団ラメプレート

デザイン●全3種類 色●全3色大林軍団のみ2色 価格●6000円(税抜き)



ケイブレイクの人気アイテムのひとつであるプレートにキラキラと輝くラメバージョン追加されたぞ。「慧舞麗紅」「K-BREAK」のロゴバージョンは、赤ラメ/黒ラメ/ピンクラメの3色。「大林軍団」バージョンは赤ラメ/黒ラメの2色をラインアップする。

▼ KB DICE

色●全3色 価格●3000円(税抜き)



まったくの新作として登場するのがKBダイス。昔の改造車のミラーにつり下げられていたサイコロの目を☆型にアレンジ。一の目にKBエンブレムをレイアウトする。カラーはブラック/ホワイト刺繍、レッド/ホワイト刺繍、ホワイト/ブラック刺繍の3色を用意。

▼ K-BREAK ネックパッド

デザイン●全3種類 価格●9800円(2個セット、税抜き)



インテリア小物として人気の高いネックパッドに3種類の新デザインがデビュー。「慧舞麗紅」と2タイプの「K-BREAK」ロゴの全3デザインは、すべて刺繍で質感が高いのも特徴。ベースがブラックなので、愛車に取り入れやすいのも魅力。



▼K-BREAK TRESOR

対応車種●未定 価格●未定

2016年、ケイブレイクが放つ新作パーツで一番の注目は「トレゾア」マフラーだ。これは、セダンメーカーであるセッションが仕掛けてヒットした名作。仕掛け人である山田さんと、ケイブレイク代表の大林さんは、ユーザー時代から交流を続けている同志。山田さんも「一樹くんなら……」と、名作を引き継がせてくれたという。ケイブレイクバージョンは、テールエンドに「K.BREAK」ロゴが刻まれるほか、セッションでは「山道」とプレスされていたタイコに日章と「大和魂」をプレスする。デュアルとシングルで、それぞれ5色というラインアップは踏襲。Kカー用にコンパクトにしたマフラーカッターも開発する予定とのこと。



※画像はイメージです

あの名作マフラーが
ケイブレイクの名で復活！

▼K-BREAKパーカー

価格●6000円(税抜き)



バックプリントにケイブレイクのロゴや、キーワードなどをレイアウトしたオリジナルパーカー。黒地のシンプルなデザインなので、普段着としての使い勝手もいい。

▶タオル

デザイン●全3種類
価格●1000円～
1500円(税抜き)

ジャガード織りタオル
(日章/ピンク)

ジャガード織りタオル(ロゴ/ブラック)



3種類の新デザインをリリースするオリジナルタオルは、プリントタイプにモノグラム、肌触りのいいジャガード織に日章&大和魂、ロゴの2種類を製作。プリントタイプは本体価格1000円で、ジャガード織の本体価格は1500円。

プリントタオル(ロゴ/ピンク)



▼K-BREAK Tシャツ

価格●3000円～3500円(税抜き)



Tシャツも新作をリリース。黒地に白でロゴをレイアウトしたタイプと、18クラウンで新作エアロを発表した新ブランド「JDMコンプリート」のロゴをバックプリントしたタイプを用意。どちらもS/M/L/XLの4サイズ。

ステッカーを一挙公開!!

ケイブレイクの人気グッズ「I♥ステッカー」をはじめとしたステッカーは買ったことあるという人も多いはず。2016年もパロディステッカーシリーズなど、たくさんの新デザインが追加されたぞ。というわけで、今回追加されたケイブレイク発オリジナルステッカーを全見せしちゃうぞ! 今後のイベント会場などで迷わずゲットだ!!

▼パロディステッカーシリーズ

価格●各1000円(税抜き)

ステッカーシリーズでも人気ののが、聞いたことあるような言葉をドレスアップに置き換えたパロディステッカー。今回、全部で22種類が追加された。「人気があるのは、おまわりさんが入ってるやつで、車高短系は『そんなに低くないんで』って意外と敬遠する人がいるんですよ」と大林さん。

おまわりさん! 見てもいいけど切らないで(泣)
by K-BREAK

これまでもたくさんのパロディステッカーをリリースしてきたけど、今回もおまわりさんネタや車高短ネタなど、あるあるな言葉がいっぱい。ドレスアップ好きオーナーとして、肝に銘じておきたい言葉もある。

車高を下げてレベル上げ!!
by K-BREAK

税金、保険に反則金、払ってばかりのカーライフ...
by K-BREAK

車の汚れは、心の汚れ!!
by K-BREAK

俺のマフラー音だけ先に走ってます(泣)
by K-BREAK

俺のマフラー音だけ番長(泣)
by K-BREAK

腹底の、擦り傷、車高短の勲章さ!!
by K-BREAK

そこのギャル! 俺の助手席あいてるよ!
by K-BREAK

熱い視線! くれるの子ども、おまわりさん(泣)
by K-BREAK

お姉さん車高短乗ると見えちゃいます...パンツ
by K-BREAK

俺の車は10万馬鹿力!!(笑)
by K-BREAK

百戦錬磨の車高短道!!
by K-BREAK

ドレスアップの向こう側!!
by K-BREAK

欲しがりません勝つまでは!!
by ケーブレイク

今回、新たに追加されたのが、ちょっと右寄りの言葉たち。とはいえ、戦争を扱ったドラマなどでも聞いたことあるような言葉なので、知っている人も多いはず。好きな人にはドンズバ!

逝け! 一億総特攻!!
by ケーブレイク

大日本帝国万歳!!
by ケーブレイク

贅沢ハ敵ダ!!
by ケーブレイク

大日本帝国ゆとり世代!!
by ケーブレイク

足らぬ足らぬは工夫が足らぬ!!
by ケーブレイク

大日本帝国車高短特攻隊
by ケーブレイク

春の梢に咲いて會おう!!
by ケーブレイク

勝たずして何の我等ぞ!!
by ケーブレイク

▼KBセキュリティステッカー

価格●1000円(税抜き)

セキュリティステッカーの新バージョン。ステッカーを貼るだけのダミーで使うのもいいし、実際にセキュリティを付けているのをアピールする目的としてもあり。愛車のステッカーチェーンの1枚にぜひ!



2016年の新デザイン

▼in car シリーズ

価格●各1500円(税抜き)

新シリーズとして一気に充実させてきたのが「in car」シリーズ。以前から要望が多かったシリーズで、赤ちゃんや子どもに扮した大林さんのイラストがキュート。「DRESS UP CAR」バージョンだけではなく「CAR」もあるので、いじってなくてもOKだぞ。

▶イラストは、赤ちゃんや子どもだけではなく、女の子バージョンや俺バージョンもある。実際の家族構成に合わせるのもいいし自分用に貼るのもあり。



◀ ゆっくり走ろうシリーズ

価格●各1000円(税抜き)

新しいシリーズとして登場した「ゆっくり走ろう」シリーズは、昔交通安全活動の一環として、ドライブインなどで見られたご当地ステッカーがモチーフ。K-CARなど、5タイプをラインアップする。足まわりフェチにぴったりの「びよんびよん跳ねよう」も2タイプ用意。旧車が好きなオーナーにオススメの1枚だ。



今年も大盛況！ 世界最大級のカスタムカーの祭典

東京オートサロン

最速レポート

2016

TOKYO AUTO SALON
2016

Kスベ読者なら、コレを見なくて今年が始まらないというドレスアップ&チューニングカーの祭典「東京オートサロン2016」が1月15日(金)~17日(日)に渡って開催された。世の中、暗い話題も多いけど、ここ幕張メッセはそんな停滞ムードをふっとばせ！ とばかりに大きな熱狂につつまれていたぞ。



昨年、新車ラッシュだったせいか、いつにも増して個性派Kカーが集まった今年の東京オートサロン。通常のローダウン車に加え、S660やコペンなどの軽オープンカー勢、エブリイや軽トラなどのアゲ系、またオーディオ車や発売されたばかりのアルトワークスもさっそくカスタムされ、展示されていた。

幕張メッセに個性派Kカーが大集合

学生さんたちの職人ワザに脱帽



毎年、お正月明け一発目にしてドレスアップ&チューニングカー最大のイベント「東京オートサロン」。34回目を迎える老舗イベントとして知られ、今年は過去最高となる来場者数を記録。なんとその数32万5501人！最高だった昨年の30万人を大幅に上まわった。そんな大盛り上がりだった「東京オートサロン2016」。Kカーの出展車は例年とはちよつと毛色を変えたイメージが強かった。これまではエアロ&ローダウンというドレスアップ王道スタイルが多かったのが、ベース車となるクロスオーバーのハスラーやオープンボディのコペン、S660といった個性的なKカーの登場もあり、箱バンや軽トラ、アゲ系やキャンピング系など、これまで以上に多岐に渡るドレスアップ&チューニングカーが増えた感じ。もちろん、王道ドレスアップも負けておらず、様々なスタイルが会場内でせめぎあっていたのだ。ドレスアップの好みは人それぞれ！その意味を今年は如実に痛感した。

また、今年顕著だったのが学生さんの存在。NATS（日本自動車大学校）やS-IAT（埼玉自動車大学校）など毎年の常連校以外にも多くの学校が参戦し、個性際立つドレスアップ&チューニングカーを出展。しかも、Kカーをベースとする学校も多く、これまで以上に高い完成度を誇り、プロたちにも引けを取らない技術力を見せ付けてくれた。ドレスアップ&チューニングカーの次の担い手を育てるという一面も東京オートサロンにあると実感させられた。

Fuji corporation STYLE WAGON



ブース内ではリバイバルスタンスのライブや今回出展してくれたKLCの川原社長、リョーコックさんのインタビューなども行われた。



迫力のAZワゴンと新鋭キャストを展示

今回、Kカーでは10月に行われたスタイルワゴン&Kカーズスペシャルフェスタで特別賞に輝いたリョーコックさんのAZワゴンとオリジナルの車高アゲキット「轟」を装備したKLCのキャストが展示された。



Kカーズスペシャルコーナーも 盛り上がったぞ

今年も「スタイルワゴン」と一緒にフジ・コーポレーションの協力を得て、Kスベも東京オートサロンに参加しました。ホイールフィティングの体験コーナーや多彩なゲストによるステージで3日間はいつも黒山の人だかり。「まさきに来ました」という方もいてくれて本当に嬉しかったです。遊びに来てくれたみなさん、ありがとうございました。



ブース内では自分に似合うホイールを装着シミュレーションできる「タッチ&トライ」を開催。参加してくれた方にはフジ・コーポレーションとコンドレーシングのコラボバックをプレゼント。

「タッチ&トライ」を ブースで体験中



ご来場
感謝

シルフィSツーリング
日産自動車



レクサスIS350
V-VISION/アヴァンツァーレ



セダン 部門

ハイパークラウンクロスボーン
ブラックパールコンプリート



フェアレディZ
スターロード



STI パフォーマンスコンセプト
SUBARU/STI



コンセプトカー 部門

MAZDA RX-VISION
マツダ



タムカー 2016



S660ネオクラシック
N lab.

最新型車であるホンダS660をベースに、クラシカルな装いと近未来的な要素を加えた意欲作。ヘッドライトやテールランプはN-ONE用を使っているが、その完成度は市販車にしておかしくないほど。特にリアビューが美しい。



最優秀
賞

Kカー・コンパクトカー 部門

ノートタケローズSワイド
タケローズ

まさにドレスアップカーとチューニングの融合を目指すタケローズ。今回は日産ノートをベースにオーバーフェンダー仕様を発表。ノートの持つ独特のどったスタイルを生かし、さらにワイドに仕上げたシルエットは見応え十分だ。



優秀
賞

やんちゃアルトGT-RR
はろーすべしやる

旧車ちっくなカスタムで有名なはろーすべしやるが本気で作り上げた新型アルトベースの「やんちゃアルトGT-RR」。チンスボやオバフェンはもちろん、紅白の国光カラーや屋根の上のウィングなど、そのこだわりはマニアもうならせる。



優秀
賞

ナッツCAMPFIRE
ナッツ日本自動車大学校



優秀賞

SUV 部門

フレックスカスタムL/Cブラッドアメリカンクラシック
フレックス



最優秀賞

LUV LINE ランドクルーザー
エムズスピード



優秀賞

ノブレッセ新型ステップワゴン
ノブレッセ



優秀賞

ミニバン・ワゴン 部門

アルティメットカイザーヴェルファイア
アフエクション



最優秀賞

プレビアTCR
イデアルXT★SELECTION



優秀賞

東京オートサロン2016 受賞車両を 一気見せ

来場者の投票によって選出される
「東京国際カスタムカーコンテスト2016」。
今年の受賞車は8部門から選ばれた計24台。
部門ごとに受賞車両を
一挙に紹介します。

東京国際カスタム コンテスト

GRReddy ND ロードスターターボ
トラスト



優秀賞

VARIS & HKS TF 神風R
パリス



優秀賞

チューニングカー 部門



最優秀賞

RE 雨宮スーパーシャント13B NA
RE 雨宮

エイムゲインハイブリッド50プリウス
エイムゲイン



優秀賞

エコカー 部門

でんどう虫Z
埼玉自動車大学校



最優秀賞

NACKS ギャラクシープリウス
ACG



優秀賞

ロールスロイスワルド×OFKコラボレートモデル
ヴァルド



優秀賞

インポートカー 部門

BMW i8
BBS ジャパン



最優秀賞

APR チューンドニューアウディRS3
APR ジャパン



優秀賞

打ち登場!!!

思い起こせば、2015年の東京オートサロンで、スズキのブースにあったアルトターボRSコンセプトを見て「ワークス復活か!」と胸をときめかせたのが約1年前。ちょうどホンダ・S660のデビューも近かったこともあり「ついに64馬力自主規制突破か!」など、様々な憶測が飛び交ったのは記憶に新しい。

ターボRSデビュー前の話である。実際、2015年3月に登場したターボRSは、アルトとして久々の高性能モデルだし、5AGS&パドルシフトなど、ホットハッチとしてのポテンシャルは高かった。しかし、東京モーターショー2015のスズキブースを見ていたら、ポツンとアルトワークスが置いてあった。聞けば「やっぱりアルトのターボはマニュアル車じゃないと……」といった声が多数寄せられたことで、ワークスを出すことになったという。

パツと見て分かるターボRSとの違いは、エンブレムやホイールなど、外装の一部。ただ、フロントウィンドウの奥にレカロの文字が見て取れることから、シートが変わっていることが分かる。事実、フロントには、専用のレカロシートを装備。高いホールド性を備える。しかし、何よりも特筆すべきは、フロアから伸びる5速マニュアルミッションと、アクセル/ブレーキ/クラッチの3つのペダル。真正正銘、アルトのターボ車のマニュアルなのだ。

エンジンは、ターボRSよりもさらにトルクを高めたほか、

HA36S スズキ アルトワークス

SUZUKI ALTO WORKS

問●スズキお客様相談室 ☎0120-402-253 <http://www.suzuki.co.jp>

アクセルレスポンスを向上したR06A型を搭載。そこに、専用開発のマニュアルトランスミッションが組み合わされる。これは、1速から4速までのギア比をクロスしているほか、シフトチェンジのストロークが短いショートストローク仕様(5AGSモデルは、ワークス専用チューニング)。もはやスベックを聞いているだけでも走るのが楽しそうな印象だ。

ターボRSで採用されている補強済みボディはそのままだに、サスペンションをワークス専用チューニング。純正で165幅のタイヤが組み合わされ、軽快な走りが楽しめる。早速、新型アルトワークスを乗り倒してきたので、次のページで、素直なインプレをお届けします。

SPECIFICATIONS [5MT/2WD車]

●寸法	全長3395mm×全幅1475mm×全高1500mm
●ホイールベース	2460mm
●車両重量	670kg
●燃料消費率 (JC08モード)	23.0km/ℓ
●エンジン形式	R06A型水冷4サイクル直列3気筒 インタークーラーターボ
●排気量	658cc
●最大出力	64ps/6000rpm
●最大トルク	10.2kg・m/3000rpm
●燃料タンク容量	27ℓ
●ブレーキ	F=ベンチレーテッドディスク R=リーディングトレイリング
●サスペンション	F=マクファーソンストラット、R=トーションビーム
●タイヤサイズ	165/55-15

PRICE	ミッション	駆動	価格
アルト ワークス	5MT	2WD	150万9840円
		4WD	161万7840円
	5AGS	2WD	150万9840円
		4WD	161万7840円



スチールシルバーメタリック



パールホワイト



ピュアレッド



ブルーイッシュブラックパール

待って
ましたっ



Kスペ編集部
ある太郎

真

WORKING
ALTO

速い! 安い! 楽しい!!
3拍子揃ったホットハッチだ!





Kスぺ的

“あとちょっと”がニクイ!? アルトワークスの と



S660やコペンなど、スペシャルティはあるけれど、セダンタイプとしては久々のホットモデルとなるHA36Sアルトワークス。1998年デビューのHA12/22S以来、約15年ぶりとなる5代目で、当然期待度は高い。乗ってみた素直な感想は「とてつもなく速い」ということ。以前のワークスは、高回転型だったのもあって、踏んで速い感じだけど、新型はどこからでも速いというイメージ。また、トルクがあるため、4速30km/hからの加速など、アクセルのコントロール

だけで乗れるのもポイント。マニュアル操作を楽しみたいけど、気持ち的にそういうモードじゃないときにも使い勝手がいいのだ。乗ってみて気になるところはあったけど、これは好みに合わせてドレスアップ&チューニングしたりしていける余地ということで、新型ワークスの懐の深さでもある。見た目や機能など、至れり尽くせりのクルマと比べて「あとちょっと、こうできたらいいのに……」という楽しみ方ができるのだ。何より、マニュアルってやっぱ楽しいっす!!

WHEEL & BRAKE



ワイド化されて
安定感抜群!



ブレーキのタッチに
やや不満



専用デザインのアルミホイールは、リム幅を5Jにワイド化。ターボRSの155幅から165幅に変わったこともあり、直安性はもちろん、コーナリング時も安定感抜群だ。唯一気になったのが、ブレーキタッチ。好みによるところもあるけど、ホットハッチならもっと初期のコントロール性がいい方が安心できるなあ。

SUSPENSION



よく踏ん張るし、
しなやかさもある



反面、市街地だと
ややハードな印象



ターボRSもKYB製ショックだったけど、ワークスはKYB製をさらに専用チューニング。実際、コーナリング時の踏ん張りとか、高速走行時の安定感が高い。だけど、市街地を40km/hくらいで走行しているときに硬さを感じる。フラットな路面ならいざ知らず、ちょっとしたギャップなどを越えるときの衝撃は、社外のハードめなサスキットを装着している印象だ。もちろん、ワークスだと割り切って、そのくらいしっかりしている方がいい、ともいえるので好み次第!?





ENGINE

**0.2kg・mの
トルクアップが
効いてる!**

エンジンはターボRSと同じR06A型。ピークパワーは64psと変わらないが、トルクを0.2kg・mアップしている。たかが0.2kg・mとあなどるなかれ、670kgの超軽量ボディをグングンと加速させるには十分なチューニング。ゼロスタートなら、下手なバイクよりも全然速いかもしれないくらいだ。



MISSION

クロスミッションは、はっきりいって気持ちいい。ショートストロークなのでスコスコ入るし、マニュアル車に乗ってるって感覚をビンバシ味わえる。ただ、5速80km/hで3000rpm ちょっとと回転数が高め。140km/hだと6000rpmを越えるので、6速が欲しい……と思うときも。

**小気味よく入る
クロスミッション**

**6速が欲しくなる
ときがある**

**ワークス
らしさが
弱いっす**

STYLING

アルトワークスといえば、専用のエクステリアっていうイメージ。それを考えると、新型はワークスらしさが薄い。ブラックメッキのヘッドライトやカーボン調ダクトなど、ぼさはあるもののごく一部なのが惜しい。バンパーデザインとはいかないまでも、メッキ部分がブラックメッキだったり、もう少しカーボン調の部分を増やすなど、*ワークス感、があればよかったのに……。



SEAT

**ホールド感バッチリ!
疲れ知らず**

**シート位置が
ちょっと高いん
ですよ〜**

他メーカーのスポーツカーなどにも採用されているレカロだけに、その性能はいわずもがな。しっかりホールドしてくれるので、峠などでも自分の姿勢がキープできるので、操作が無理なくできる。惜しむらくは、シート位置が高いこと。調整機能があれば……。純正シート用ローボジレールがあれば、欲しいと思う人は多いかも。



METER

これは乗って楽しい部分。タコメーターの右下にあるブーストインジケーターが、過給のかかり具合によって白からピンク、赤に変化するので、ガンガン踏んでる感を存分に堪能できるのだ。



**ブーストインジケーターで
気分満点**

真打ち登場!!!

**HA36S スズキ アルトワークス SUZUKI
ALTO WORKS**





Kカーベース車

K c a r B a s e C a r M U S E U M

博物館

第11回

FINAL

TEXT ● 内山智子
ILLUST ● 風間康志

KLC
川原宏樹

☎0439-88-0450
http://www.klc-div.com



今年の東京オートサロンには先代コペンのオーバーフェンダー仕様を発表した川原社長。若い頃はセダン乗りだったこともあり、ユーザーの立場に立ったパーツ開発には定評がある。

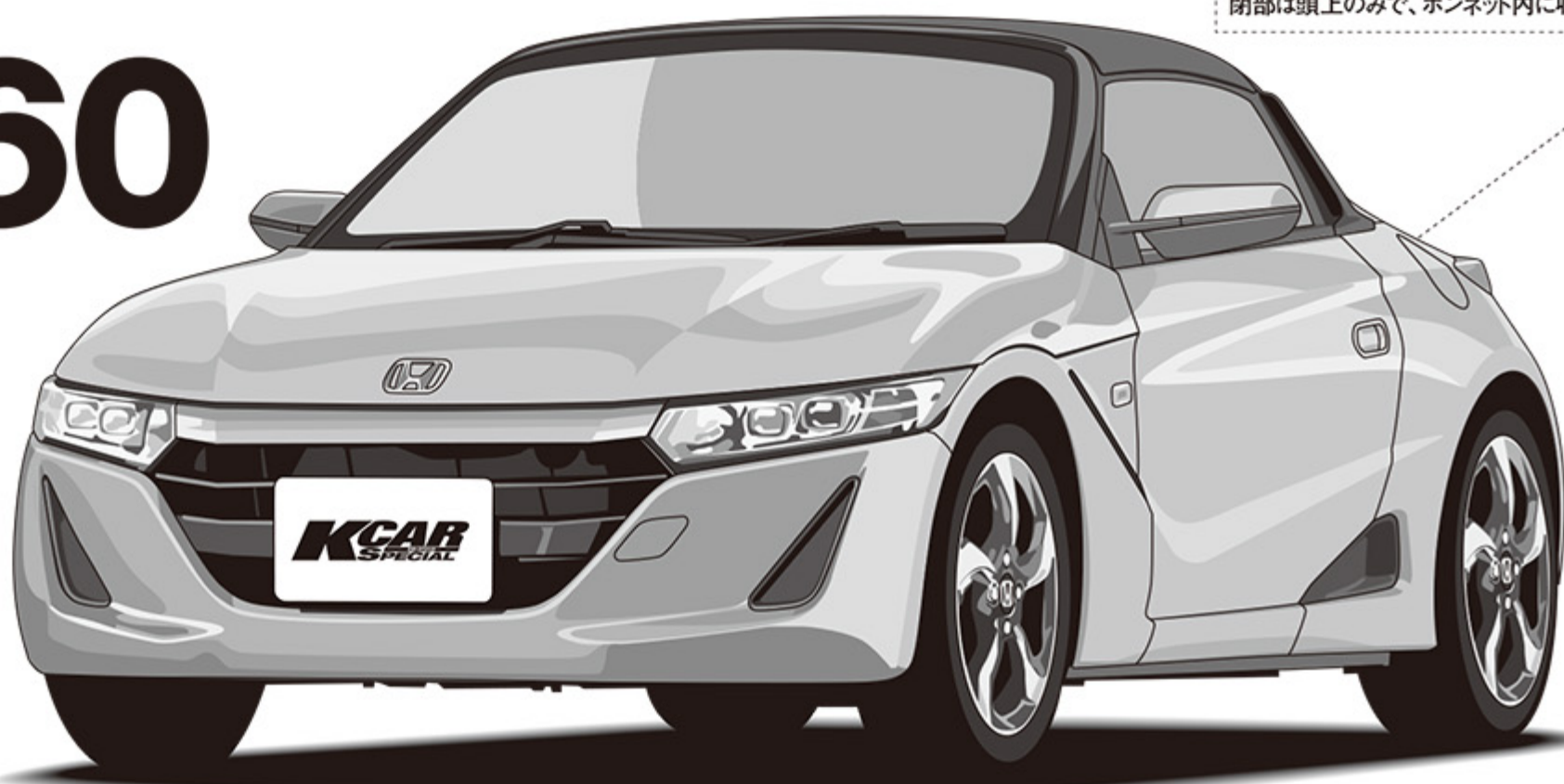
約1年にわたってお送りしてきたベース車博物館も、遂にファイナル。そこで今月は、一昨年末から昨年にかけて続々と登場した現行Kカーにスポットを当て、今後のKカードレスアップの可能性を探ることに。大トリを飾るナビゲーターは、第一回目以来の登場となる、お馴染みKLCの川原さんだ。

20年ぶりのホンダのKオープンは 納車1年以上待ちの爆発的人気

初代 S660

JW5 (2015年3月30日～)

本田技術研究所の設立50周年を記念して、ホンダが行った新商品企画提案の社内コンペで、約800件におよぶ応募の中から、見事最優秀に選ばれた案を基に開発されたS660。ホンダにとって、1996年初頭に販売を終了したビート以来、約20年ぶりとなるKオープンカーである。車名に冠した「S」は、ホンダのスポーツカーの象徴を意味する。



シャープなラインを多用し、各所にダクトを設けたスポーティなデザイン。ワイド&ローを印象づけるフォルムは、俊敏な走りを予感させる。高い剛性を確保しつつ、各部の形状を徹底的にシンプルに仕立てた「一線入魂ボディ」。完全新設計のシャシーは、定住心と前後45:55の理想的な重量配分を実現する。ルーフの開閉部は頭上のみで、ボンネット内に収納可能だ。

走り好きの心を躍らす 本格的ドライブファイル

ここ最近、Kのオープンカーってコペンしかなかったんですが、そこに登場したのがこのS660。オープンではないですけど、アルトRS、ワークスも出てきたことで、新たに「軽自動車スポーツ」というジャンルが出来て、面白くなるなという感じがします。

実際乗ってみた感想は、僕は新型、旧型どちらのコペンも持ってるのでどうしても比べてしまうけど、何て言うか、ひと言で言うところ、こっちの方が本格的な感じますね。やっぱりコペンなんかは、最近特にEコ的な感じになってきているので、なんかパワーを感じないというか。同じダイハツでも、昔のミラターボなんかにあった、ギューンと来る感じがなくて、速いことは速いけど、まあそれなりっていうかね。でも、S660は2モードあって、通常だとまあコペンと同じような感じなんですけど、スポーツモードみたいなのを押すと、昔のようなギューンって感じが来るんです。やっぱりあれが楽しいんですよね。あのガソリンを無駄にしている感じが(笑)。最近はそのようなクルマ、ないですから。コペンはやっぱり、オープンカーといっても、オシャレを追求してる感じがするんですが、S660はスポーツ系。狙いがちやうと違うんだと思います。

オーナー層もそれに伴って、走りを求める人が選ぶんじゃないですかね。ただ、ネットなんかで見ていると、S660買ったけど、屋根が電動じゃないのとか、色々気に入らないからってコペンに乗り替えている人もいるみたい。

その辺は、コペンの方がいいのかなと。

若い人というよりは、30代から上の方が多い印象はあります。だって荷物も載せられない、完全に趣味のクルマでしょう。値段も、コペンでナビとかを付けて220万、30万、S660だとそこから更に10万、15万円アップぐらいしますからね。なかなか趣味のクルマにそこまで出すのは、若い子には難しい。結局、買おうと思いついたとしても、メインで乗ることは出来ないですよ。

しかも納期がもの凄いですから。買ってから納車まで1年ぐらいかかっちゃいますから。だって俺、去年の6月に頼んで、納車予定が今年の10月ですからね。笑っちゃう。頼んだの忘れちゃいますよ。だからみんな、納車の頃には、ちやうと熱も冷めちゃうんじゃないかなって(笑)。

アンダーリップ程度で サラッとドレスアップ

うちではS660用としては、アンダーリップを作りました。元々純正バンパーが薄い感じだし、エアロの造形がしにくい車種っていう気はしなかった。ただ、このクルマを買う人たちは、おそらくオイル交換もディーラーに行くようなユーザーさんたちが、フルバンパーエアロを付けるか疑問だったので、バンパータイプは作っていないんです。フルエアロ付けて全長が伸びちゃったら、車検も通らなくなりますが。でも、コペンなんか見ても過激なエアロが人気だったりするから、これも年式が落ちてくると、また違ってくるかもしれないですね。

ミラジーンから受け継ぐ M-1N-1っぽいデザイン

ハスラーのライバルと目される、ダイハツのキャスト。元々は同社のウェイクがハスラーの対抗馬的な話だったんだけど、思いの外違っちゃったじゃないですか。そこで急遽登場したのがコレなんじゃないかな、と。

アクティバとスタイル、スポーツの3バージョン出ましたが、実車を見るとわかるんですけど、ひとつのクルマを3車種に使いまわしてる感が凄いですよ(笑)。バンパーの一番下の部分だけが外れて、それを付け替えることで、スポーツとスタイルを使い分けるとか。アクティバのフロントフェンダーなんて、外れると思いきや、シールですからね。ちよつとチープな感じはあるかなあ。

言葉にすると非常に難しいんですけど、ハスラーってイモクサイというか、なんかちよつと、FJクルーザーみたいな、オシャレだけど不細工に抑えてるというか、そんな感じがするんです。今ってどんどん近未来的なデザインになってきているところを、あえて古い感じにしているというか、ブサカワ的な所を持っている。その微妙な感じがこのキャストが好きの人にとっては、たまらないと思うんです。もう絶対指名買い。

対するキャストは、M-1N-1に完全に近づけているなと思った。欧州車感が凄いい。そういう意味では、今風にオシャレなんですよ。

ダイハツって常にM-1N-1を追いかけてるシリーズがあつたんですね。一番最初のミラジーンは、昔のローバーM-1N-1のイメージだし、それ以降の

ミラジーンもM-1N-1クーペに近いし。ミラジーンを廃盤にしたことによつて、あのシリーズがなくなっちゃったので、キャストはそこにはまると思うんです。スタイルは思い切りM-1N-1っぽく、アクティバだったらM-1N-1のクロスオーバーみたいなところに落とし込めるなと。やつぱりディーラーなんか聞くと、ミラジーンに乗っていた人が、代替えでスタイルを買っていくって言いますからね。必ずM-1N-1好きな人っているんですよ。一定数。それ系が好き人は、キャストは絶対にはまっちゃうでしょう。この丸っぽい感じに。

だからこのライバル対決でいえば、ちよつと不細工系か今風欧州車系かの戦いですよ。日本人の大多数がどっちを好んでいるか、俺にはちよつとまだわからない。街中走っているのとか見ると、今はハスラーの方が全然多いですけどね。

純正オプションが豊富 新開発は大変かも？

アフターパーツに関しては、さすがダイハツ車なだけあって、オプションのバリエーションが、まあハンパない(笑)。もう、アフターメーカーとしては、何を作つたらいいのかわつて状態です。もう大体の物は純正オプションとしてあるんでね。ヘッドライトからフォグからメッキカバーが出ちゃってますし、内装も含めて、色んな所のカバー類はかなり出ています。スポーツだったら、シートは最初からレザーですし。

とはいえK-1Cでは、アクティバ、スタイル、スポーツの全車既に購入済み。全部手掛けますよ。

初代 CAST

LA250S (2015年9月9日～)

「生活を彩る自分仕様の軽自動車」をコンセプトに開発。車名には「毎日の生活はドラマ。そのドラマの『キャスト』(役者)でありたい」との思いがこもっている。クロスオーバーSUVテイストの《アクティバ》、都会的な《スタイル》、スポーティな《スポーツ》の3バリエーション展開。キャストスポーツは、ダイハツとしては6年ぶりのKスポーツアラーとなる。

3バージョンとも丸形ヘッドライトによる親しみやすい表情と、台形フォルムによる安定感のある佇まいが特長。掲載のアクティバのみグリルが逆台形型となり、クロスオーバーテイストを狙う。他2種と比べ最低地上高は30ミリ高い180ミリで、15インチタイヤを標準装備。質感の高い内装も好評だ。

アクティバ、スタイル、スポーツ
3つの異なるバージョンで
あらゆるシーンの主役を狙う

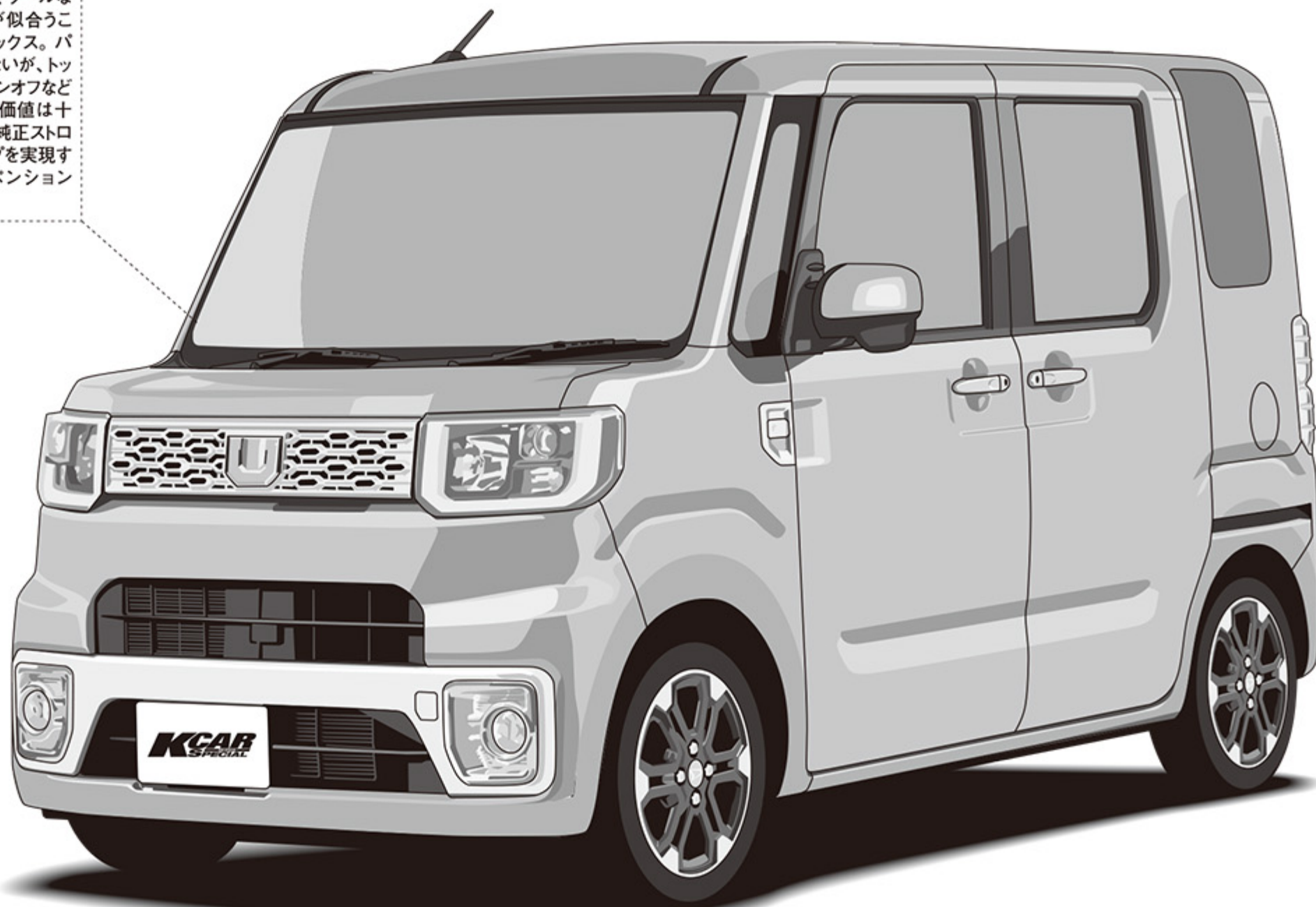


初代 WAKE

LA700S (2014年11月10日～)

日常からレジャーまで、幅広く対応出来る新ジャンルの軽自動車を目指して開発されたウェイクは、全長、全幅は軽の規格いっぱいのタントと同寸ながら、全高は85ミリも高い1835ミリと、商用バン並の大きさを誇る。キャビンの広さは圧倒的で、室内長や室内高、前後乗員間距離もクラストップ。ラゲッジの使い勝手の良さも、ミニバン顔負けである。

ボクシーなフォルムと、クールな眼差しで、「車高短が似合う」とは間違いない。ルックス。パーツ類はまだまだ少ないが、トップを狙いたいなら、ワンオフなどを駆使し、トライする価値は十分あり。KLCからは、純正ストローク内でのリフトアップを実現する、車検対応サスペンション「轟」をリリース。



他のハイトがかすむほどの
圧倒的な車内空間で
車中泊にはもってこい

とにかく広い。でも、
腹下は思いの外低い

ウェイクって、凄くいいクルマだと思
うんですよ。実際に購入して、乗って
みた感想としては。とにかく広い。あ
れに乗っちゃうと、他のハイトに乗っても
タントでさえ広さは感じなくなっちゃう
ぐらい。だから、広さを求めている
人には、本当にいいと思うんです。ただ、
とにかく価格が高い。ウェイクのNA
を買う値段で、タントカスタムのター
ボが買えますからね。メーカーの
力の入れ具合に反して、イマイチ人気
に火が付かないのは、その辺も大きい
と思うんです。200万円クラスの軽
自動車って、なかなか買えないですよ、
若い子には。わざわざなんで？ って
ことになるでしょう。それならタント
でいいじゃんって。だから狙っている層も、
ドレスアップとかする若い子というより、
ちよつと高めの年齢層なんじゃないかな。
最近のクルマって、若い子向けだったり、
ドレスアップを楽しむような車種だと、
カスタムグレードの設定があるじゃない
ですか。ウェイクにはないですからね。
ただ、アウトドア系を狙った割には、
腹下が低いです。中が広いから、荷
物を色々積めるという点では遊びに使
えるっていうのも間違っていないだけ
ど、実際どこかに行こうとなった時に
どうなのかなと。ハスラーのような、ホ
ントどこにでも突っ込んで行ける感
じはないんですね。
その辺に矛盾を感じ
る。ただ、ゲート
を開けるとテール
ルが出てきたりと
か、凄いは凄いな
すけどね。だから、

最近、車中泊とか流行ってるじゃない
ですか。そういうのをしたい人にはいい
かもしれない。車内はとにかく一番広い
ですし、そういったテールブルであつたり、
色んな機能とかも付いているので。あ
とは、KLCからも出しているんですけど、
リフトアップサスペンションなんか
を入れるとまた、使い勝手も変わると
思います。

あと、運転してみるとわかりますけ
ど、重いですよ、このクルマ。ターボじ
やないとダメですね。NAだともう、
頑張っちゃう感じが凄く(笑)。ほとん
ど全グレードで1トン超えていますか
らね、車重。新型のアルトワークスが
650kgぐらいですから。かなり重た
く感じますよ。

高価格設定が
ベース車として不利？

近年にないボクシーさがあるので、
車高短にすれば、確かにカッコイイつち
やカッコイイ車種なんです。それはわか
っているんですけど、実際に今、
200万円クラスのこのクルマを、車
高短にしてエアロを巻いてっていうのは
ちよつと、僕の中では考え難い。中には
いるんだろうけど、少数派ですよ。ね。
カッコ良くなるのは間違いないですよ。
だから、これをもっと古くなってきて、
2オーナー、3オーナー目になってきた
時にはまた違うと思いますけど。現状
だと、パーツもほとんど無いでしょう。
エアロは唯一「ブレスクリエーション」つ
てメーカーが出しているぐらいじゃない
かな。あれ、カッコイイですよ。見て、
普通にカッコイイなと思った。でもう
ちではまだエアロまでは考えられない
かな。

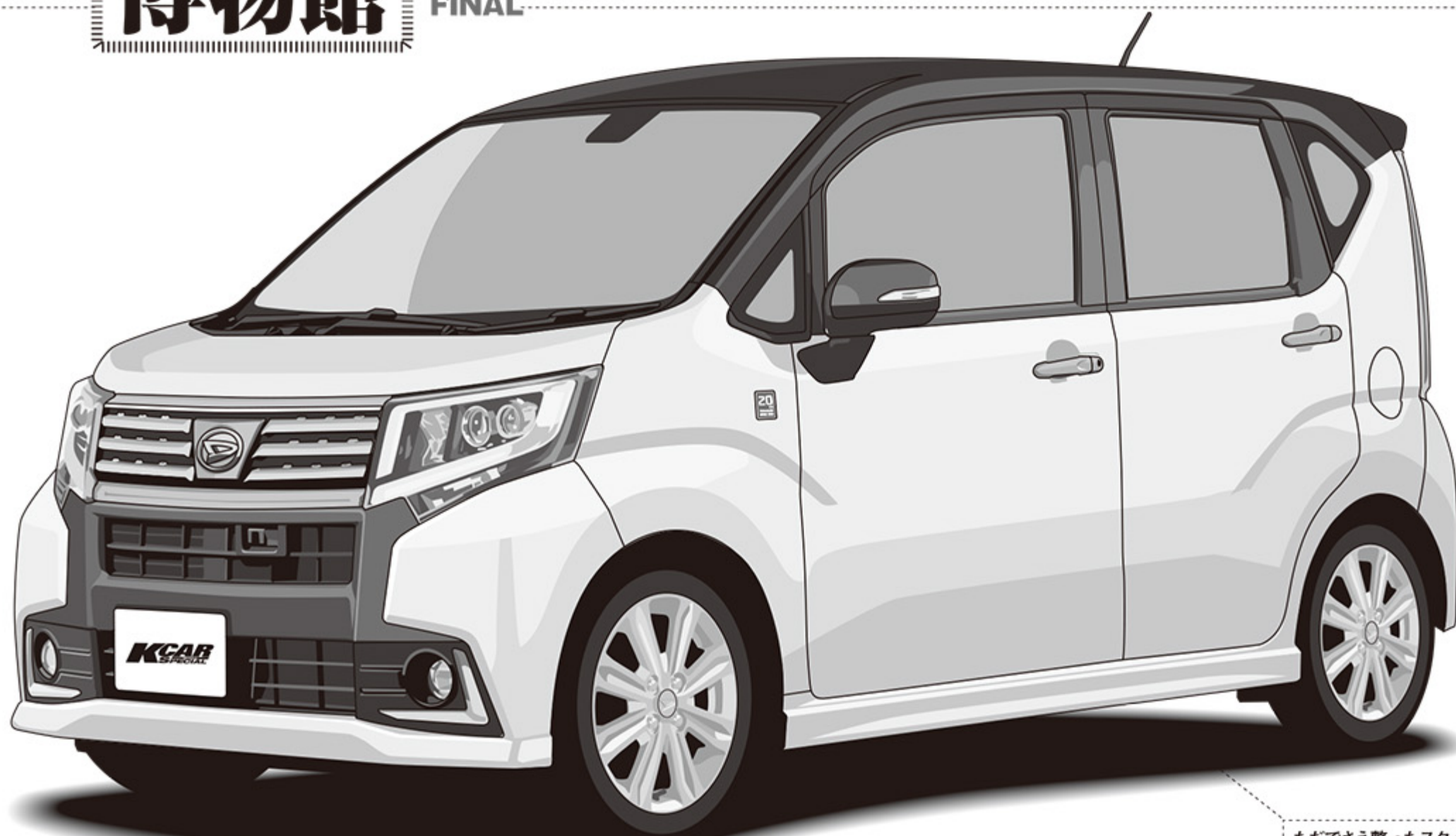
6代目 MOVE CUSTOM

LA150S (2014年12月12日～)

一昨年末に行われたFMCでは、基本性能の向上を重視。デザインでは、カスタム系はフロント・サイド・リアで「X」をモチーフとしたデザインを採用し、バックドアはベルトラインスポイラーをイメージする意匠に。ボディカラーはムーヴ・カスタム共通が5色、カスタム専用色を3色用意し、初代以来となる2トーンカラーもオプション設定する。

Kカーの枠を超えた
高級感と上質感は
そのままでも十分なカッコ良さ

Kカーベース車
Kcar Base Car MUSEUM
博物館
FINAL



ただでさえ整ったスタイリングは、手を入れてあげること、磨きがかかること請け合い。「ただ、この前のLA100の前期ですら、フルバンパーエアロはうちとケイブレイクぐらいしか出ていないんですよ。まだまだドレスアップベースとして動き出すのは、時間がかかりそうな気がしますね」。

完成されたマスクは バンパー交換が困難か

新型ムーヴカスタム、普通にカッコイイです。最近のヴェルファイアとかヴォクシーなんかもそうですけど、イカツイのが嫌いな人には向かないんでしょうけど、Kカーでこれだけやってこれらると、やっぱり凄いなと思いますよね。当然これ、車高短にすれば決まるのは間違いない。ベース車としても、全然悪くないですよ。でも、まだドレスアップのパーツはあまり出ていないんですよ。エアロはバタフライシステムと、ウエイクでも出たブレスクリエーションぐらいじゃないかな。

結局ね、僕なんかコレ言うのと怒られちゃうけど(笑)、車高を落としてホイール変えただけでも十分にカッコイイんですよ。セダンでいう、純正シブブル的な感じで、僕が仮にユーザーだったとしたら、今ならその状態で乗る気がしますもん(笑)。

フロントバンパーの、このグリル下形状が独特じゃないですか。これがないと間延びした顔になっちゃうんだけど、こうすることでひとつの顔が出来上がっているんです。ヘッドライトからバンパー下まで、もうセットですよ、これは。そうすると、フルバンパーエアロと付け替えた時に、ここなくなっちゃってどうなの？ と。レクサスのスピンドルグリルや、クラウンの稲妻グリルをわざわざ変えるかっていうのと同じで、基本、あのグリルは活かしてエアロを作るじゃないですか。セダンバンパーなら真ん中では生かして、横の部分で造形しているのも出来るけど、Kカーだともう横

がないですからね。やりようがない。リップのデザインが変わってるだけなら、バンパー交換しないでリップスポイラーでいいじゃんって話ですから。で、またさすがダイハツで、純正オプションでアンダーリップが出ていますよ。アンダーリップの形状なんて、さほど違いは出せませんから(笑)。アフターメーカーが出す定価で、純正塗装済みが出ちゃったりしてるもんだから、なかなかエアロ展開は厳しいかな、と。

数年後は確実に 主役の座を担う車種

ヘッドライトやフォグのまわりがデイトライトとして光ったりとか、純正で既にカスタマイズされてる感があるんですよ。この辺も、最近のダイハツ車は凝っているなと思います。

クルマとしては、十分に魅力的。機能も問題無く、アフターパーツも欲しいと思われる物は純正オプションでほとんど出てる。となると、一番お金をかけるのは、足まわりとホイールなのかなってなっちゃいますよね。それで現状は十分見せられる。でも絶対、この後ドレスアップをするオーナーは出てくると思いますよ。カスタム系は、数年後は絶対に主力になり得る車種ですからね。どんなドレスアップをしたムーヴが出てくるのか、楽しみです。カッコ良くなるのは、間違いないですから。自分なんかがいもいもするようなパーツが出てくるような可能性もありますよね。

パドルシフトのRS ワークスはフロアMT

昨年末、ようやくアルトワークスが
出ましたね。ワークスはまだ乗ってい
ないんですが、RSには乗りました。元々
僕、走り屋じゃないので、そういう系に
は敏感じゃないところもあるんですけど
(笑)。RSなんかはパドルシフトで、ホ
ントにゲームと同じような感覚なので、
その辺は面白っちゃ面白いのかなと。
たとえば痛車とか乗ってる子たちって、
ゲームとかも当然やっていると、その
ゲームとまったく同じような感じで実
物のクルマに乗れるっていうことで、そ
こともリンクできるのかなとか、初め
て乗った時に思ったりもしました。当然、
走り好きな人にとっても、たまらない
でしょうし。ワークス待望論ってずっと
ありましたからね。

ただこないだちよつと話を聞いたら、
今回のワークスはマニュアルフロアじゃ
ないですか。今、走りをやっている人
たちからすると、F1とかかそういう
のも含めて、パドルの方が格好いいみ
たいな風潮があるみたいで。今更フロ
アのマニュアルなんて言ってる人も
いました。この辺は個人差があるのか
もしれません。

今まで、ミライースとか、ああいうハ
ツチバックもありましたけど、ターボじ
やなかったりとか、スポーツじゃなかった
ので、本格的な走り意識のKスポーツ
が出たというのは、非常に新しい感じで。
ジャンルとして広がりが出たのは凄く
いいことだと思います。業界的にも、ア
ルトは間違いなく来るって言っている人
が多いですね。ドレスアップ的にはわか

らないですけど、走り系とか、あつちの
方ではかなり熱いと思いますよ。

RSとワークスって車体で30万の差
があるんです。そう考えちゃうと、R
S買つて30万でパーツ買った方がいいの
かなって人も出てきそうで、どっちの
人気が出るかは様子見かな。

ライバルとしては、キャストのスポー
ツを二に当て込んでいると思います。が、
ちよつとキャストには荷が重いのと思う。
そう考えると、やっぱりスズキは凄いで
すよ。ハスラーにしても、アルトにしても、
ピンポイントでターゲットを絞ったクル
マを出してくる。

好みが分かれそうな 新感覚のデザイン

デザインは、個人的にはあまり好き
な部類じゃないですけど、新しさはあ
ります。ヘッドライトが全然倒れてな
いんですから。直立なんですよ。だから
今までとはちよつと違った感じに見える
のかも知れない。なんかこれ、有名デ
ザイナーがデザインしたっていうウワサ
もありますよね。正式には公表してい
ないみたいですけど。

結構このクルマも、カッコイイ、悪い
が分かれる車種だと思うんです。リア
周りとか重いんですよ。ましてや、テ
ィラランブがバンパー側に付いているので、
余計重たいイメージがある。でも、見
ようによっては、昔の走り系のクルマの
イメージもなくなっているんですよ。純
正のグレードによっては、ハッチの色が違
うタイプとかもあって、ワゲンのUP
を意識したのかなという気もする。ポ
テツと感も、なんかそれっぽいですよ。

5代目 ALTO WORKS

HA36S (2015年12月24日～)

2014年12月、アルトの8代目モデルが誕生。翌年3月に、ターボエンジン搭載のホットハ
ッチモデル、ターボRSが登場する。ワークスの再来かと目されたが、RSのトランスミッション
は5速のAGSであった。その後、満を持して秋の東京モーターショーにてワークスのコン
セプトモデルを披露。2015年12月24日、ワークスとして5代目が発売となる。

エンジンはターボRSのユニット
を更にチューニング。最大トル
クをアップし、加速性能も向上。
トランスミッションは5速MTと5
速AGSで、専用開発のMTは
1～4速をクロスレシオ化して、
最適な回転数をキープする。内
外装も専用仕様。フロントシー
トには専用のレカロ製バケットシ
ートを採用している。

これまでにはなかった
本格的に走れるKスポーツ
デザインも革新的！



■ 外 観
■ 室 内
■ 足まわり
■ オーディオ
■ チューニング
■ 光もの
■ 新 車
■ 自 作

ドレスアップ お悩み 相談室

EXTERIOR ■
INTERIOR ■
FOOT WORK ■
AUDIO ■
TUNING ■
LED & LIGHT ■
NEW CAR ■
DIY ■

わからないことは
その道の
プロに聞け!

何でもアンサー!

ドレスアップをしていれば日々ぶつかる数々の疑問。「でも、だれに聞いたらいいかわからない……」なんてことは多々あるはず。

そこで、みんなの代わりにKスぺが“その道のプロ”に聞いてしまおうというのが、このお悩み相談室だ。

TEXT ● 小泉聡志

質問募集

ドレスアップのこと、新車のこと、メンテまでKカーのことなら何でもOK。キミの悩みをその道のエキスパートが答えてくれるぞ。質問内容はメールでのみ受け付けます、たくさんの質問をお待ちしていますよ〜。メールのタイトルに「何でもアンサー!」と書いてね。

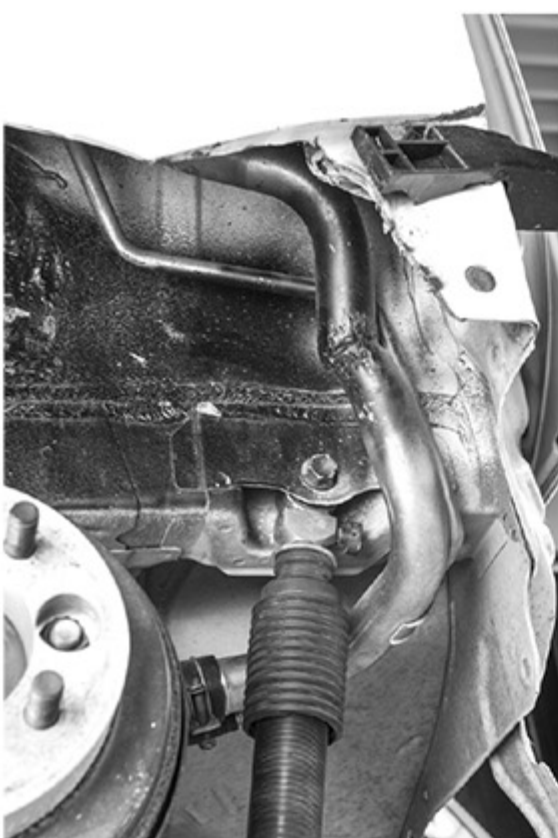
宛先

kcar.sp@does.jp

A

アックスルの交換・加工は前提 そうすれば6.5Jは履けます

スズキ車でよく聞く干渉ポイントが燃料パイプ。ただこれは「太いホイールを履いてガツリ落とす」から起こる症状。そこまで下げないのであれば、あまり気にする必要は無い。ただ、急激に落とすなら移設などが必要になる。



「6.5Jでも当たらない解決法を」ということですが、最初に確認しておきたいのがリアアックスルの状態です。もし純正のままなのであれば、だいたい6J+45あたりがターゲットゾーン。6.5Jになると干渉リスクが非常に高くなります。では、もしリアアックスルを交換・加工しているのであればどうするか? アックスルが変わっているのならば6.5Jを履いたからという理由だけで干渉することはほぼありません。

例えばスズキ車の場合、良く燃料パイプが干渉する、という話を聞くことがありと思います。これはパイプがタイヤハウスの上側を通っていることが原因。ホイールのリム被りを越えて落とすような場合に当たってくるんです。ただ、これは車高による干渉ですからもっと細いホイールであつても大きく落とせば同じこと。太さやキャンバー角はあまり関係ありません。対してダイヤツの燃料パイプはタイヤハウスの車体側にあるため、車高よりもキャンバー角の付け方が問題です。また、リアアックスルの上げ幅が小さくかつキャンバーを付ける場合にはスイングアームもよく干渉しますね。これはすべてリアの話です。ではフロントはどうか? フロントも6.5Jを入れるだけならおそらく大丈夫。ただ、フロントはハンドルの切れ角とも関係し

ますので、もう少し事情は複雑です。ちなみに「フロントのバネにインナーリムが当たる」という場合には加工をせずとも「バネ長を短くして、全長を伸ばす」という方法で回避することが可能ですよ。

では、最後に「走行中に干渉しない足まわりを作る」にはどうすればいいか? これは走行前に当たらないセッティングを作るのがセオリーです。擬似的にバンプタッチさせてタイヤをまわし、どこにも当たらないければ理論上は走行していても大丈夫というわけです。また、もし今後さらに太いホイールへの進化を考えているなら、アックスルの詰め幅はギリギリまで大きくしておくのもひとつの手。その上でセッティングを出すと良いでしょう。なにせよ、6.5J以上を履くなら、必ず足まわりに強いシヨップさんに相談してもらえればと思います。



ホーンズ&コー
松野さん

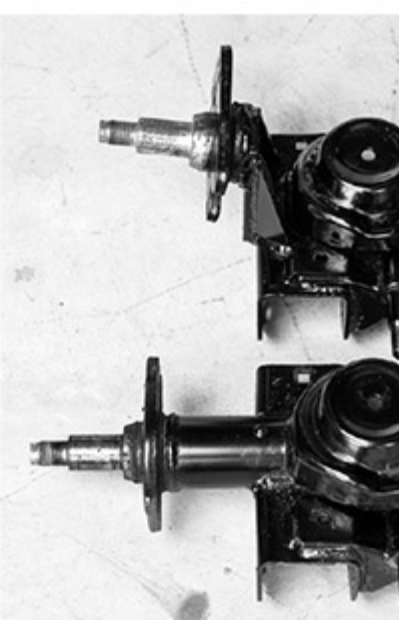
松野さんの愛車も極低車高のMHワゴンR。それだけに、ホーンズ&コーはKカーの足まわりには無類の強さを誇る。

回答者

ホーンズ&コー
和歌山県有田郡広川町広115-1
☎0737-20-5803

セッティング次第で避けられるからです。もし当たるとしたら、例えば「車高を大きく落として」「タイヤをかなりの角度で倒している」など他の要因と組み合わせられていることがほとんど。その場合は、同じ落ち幅やキャンバー角であれば6.5J未満でも干渉する可能性は残ります。

アックスルをオフセット加工することで太いホイールが履きやすくなる。MH21では片側3センチほどの詰めが可能。その場合ノーマルフェンダーでも6.5Jは履けます。



Q1

6.5Jでも当たらない解決を教えてください

6.5Jを履きたいのですが、内側を加工しないと履けないと言われました。どこに当たるのですか? 解決方法は? 愛車はMH21型ワゴンRです。

A

税金や燃費の悪化など ランニングコストのアップです

リスクの前に、まずはオーバーフェンダーのメリットを整理してみましよう。①純正フェンダーではありえない太さのホイールが履ける、②ワイドボディにすることで迫力が出る、③アライメントを同時にすることで低い車高のまま走るスタイルに有利、④ホイールサイズに合わせてフェンダーの出し幅を調整できるのでキレイなツライチが作りやすい。この4点が基本的なメリット。加えて、最近ではデザインに振ったフェンダーも増えてきており、個性的なスタイルを実現したり、裾を絞ってキャンバーやタイヤを強調するなんてことも可能なんです。

では、本題のリスクに関してはどうか。まず思い浮かびやすいのは車検でしょう。今のKカーは基本的に両側合わせて1センチ未満のワイド化までしか認められていません。それ以上のボリウムを持たせるのであれば白ナンバーへの構造変更が必要になります。そのため税金も



K'sプロデュース
小林さん

2月からはLEDバルブ、春にはホイールのキャンペーンを計画中のK'sプロデュース。小林さん自身もオーナーだ。

回答者

ケースプロデュース

群馬県高崎市大八木町517-1

☎027-393-6523

<http://www.ksproduce.com>

Q2

オーバーフェンダーのリスクは？

最近、オーバーフェンダーにする人が増えていますが、車検、税金、下取り価格など、そのリスクについて教えてください。

ETC料金も普通車扱い。特に税金は現状数千円のもの年間約2万円ほど高くなります(年式の古いクルマはもっと高くなることも)。また、クルマを下取り出すときの価格も抑えられがちです。そしてもうひとつ忘れがちなのが燃費の悪化でしょう。車体が大きくなると重くなる上に太いタイヤに変わってグリップが増す。その結果、燃費が悪くなってしまうんです。ドレスアップ性が大きく上がるメリットとランニングコストという面でのデメリット。オーバーフェンダーにする場合は、そのバランスをよく考えてから挑戦してくださいね。



最近流行のビス留めオーバーフェンダー。確かに取り外しはできるかもしれないが、構造変更をせずに走っていると高速道路の料金所止められるなんてことも(Kカーと普通車では金額が異なるため)。リスクに関しては挑戦前に整理しておこう。

A

ドライヤーで温めて剥がすか パーツクリーナーを使いましょう

まず一番最初は「ドライヤーで温めながら剥がす」という方法を試してください。ステッカーであれ両面テープであれ、温めるとノリが柔らかくなるんです。なので、そのままより少しずつ剥がしやすくなります。もしノリが残ってしまった時は指の腹で擦るか、ツメでカリカリと削ればたいいのものがキレイに剥がせると思いますよ。ただツメを使う場合は力を入れ過ぎないように注意してください。強くやりすぎるとボディやガラスを傷つけてしまうことがあるからです。

では、温めてもうまく剥がれずダメだった場合はどうするか。次はパーツクリーナーを使います。残ったノリをパーツクリーナーで落としていくわけですが、ただ、これもあまりに強い溶剤は塗装を傷めてしまいます。ですから、落ちないときは強力なものに変えるのではなく、根気よく剥がしていくようにしてくださいね。

それでもなお、剥がれないというの



Nデザイン
中井さん

個性的なステッカーを数多くリリースするNデザイン。春頃に向け現在ダイハツ車用のサイドディフューザーを開発中。

回答者

エヌ・デザイン

広島県廿日市市陽光台2-4-15

<http://www.n-design66.com>

Q3

貼りものをキレイにはがす方法は？

ステッカーとか両面テープの貼りもののアイテムをはがした時にノリがベタベタに残ってしまいます。キレイにはがす方法を教えてください。

であればスクレーパーやカッターを使いましょう。スクレーパーというのはカッターの刃が付いたようなシール類を剥がすための道具です。ただ、これも使用時の刃の向きには絶対に注意してください。そして、必ずガラス面だけで使用してください。スクレーパーもカッターも間違ってもボディに使うとダメ。キズだらけになってしまうかもしれません。

貼り物をキレイに剥がすなら、この3点が一般的な方法でしょう。逆に貼り物を維持する上で気をつけて欲しいことも。それは高圧洗車機の噴射です。これを当てるとステッカーがポーンと飛んでいくことがあるんですよ。「剥がれてしまった」という失敗を防ぐためにも注意して使ってください。



「僕は使ったことがないんですが、量販店などには“シールを剥がすため”と謳ったアイテムなんかも売っていますよ」と中井さん。使用する際は必ず説明書を理解した上で試すようにしよう。



俺はとばしる ドレスアップ魂



K SOUL BROTHERS

〆草食系男子。なんて言葉が取りざたされる反面、女の子には〆肉食系女子。ってワイルドな呼び方がある時代。いつだって主役は女の子ばかり……なんて嘆いてないで、俺らもいっちょ主役になろうぜ!!
Kカードレスアップに魂を注ぐ、熱い男たちの合い言葉——、それが[K SOUL BROTHERS]だ!!



信念を貫く男

矢貝光紳×

MITSUNOBU YAGAI

MH21S WAGON R

物

心ついたときからクルマ好き。20セルシオ前期を後期仕様で乗りまわしていたハタチの青年がワゴンRと出会ったのは22歳のとき。「セルシオを降りて、そのあとはしばらく適当なクルマに乗ってたんですけど、チームの親方から勧められたのがワゴンRだったんです」。

それがこの、平成18年式を1年落ちで手に入れたMH21SワゴンRだった。BBSを履いて足まわりも組んであったので、当初はそのまま乗っていたのだが、ちやうとずつ手を加えていくうちに、ドレスアップ熱が一気に燃え上がる。「もともとイジルののも好きだったので、エアロとか組んでイベントに出るうちに、もっともってって（笑）気がつけば、こういうクルマになってました」。

矢貝さんのドレスアップスタイルは、王道のVIP。「ジャンクシヨンとかインシュランスとか、そういう系が好きなんです。自分のクルマだから自分の好きなように作りたいじゃないですか」と、流行りに流されないクルマ作りが矢貝さんの信条。

くつきりとしたラインで造形したプリスター&オーバーフェンダーに、見るからにVIPなエアロ。VIP全盛期を知る人が見れば、思わずニヤリとしてしまう仕様は、オーナーのこだわりが詰め込まれている証だ。

エアロは巻き替えたし、色を何度か変えてるけど、基本スタイルはぶれない。それが矢貝光紳という男のスタイルなのだ。



「作ったのは4年くらい前です。オバフェンだけだとのっぺりするので、ブリスターでラインを入れているんですけど、実際、ブリスターはそんなに出してないんです。それと、ラインが途切れるのがイヤなので、給油口はつぶしてるんです」と矢貝さん。なんと給油は、テールレンズをはずして行うという。

もちろん、フエンダー以外にもVIPを買っている部分はたくさんある。例えば、サンプルフ。「当時のVIPって、一番上のグレードじゃないかな。装備が重要だったんです。セルシオでいったら、CのFパッケージとか。今回、よりそれっぽく見せるためにバイザーを付けました」。また、最近ではあまり見かけないウイングのパテ埋めスーピングも、当時のVIPでは人気のドレスアップテクニックのひとつ。「こういう仕様って、好き嫌いがはっきり分かれると思いますが、自分の好きなように作りたいんです」。

ワゴンRをドレスアップして9年。「完成度ですか？ 前の仕様より全然好きなので85点。満点じゃないのは、直したいところとかちよいちよいあるのです。でも、直しても90点くらい。残りの10点は、満点になると、そこで終わりなので、一生クリアできないと思います(笑)」。

王道のVIPスタイルにこだわる



平成18年式

これまで各地のドレコンに遠征。「全国の仲間と出会えて、ドレスアップをできてよかったです」と矢貝さん。



グッドワンファクトリーのバンパーは、文を詰めたほか、出幅も短縮。フォグは16アリストを移植した。



リアバンパーも全体のバランスを見て短縮。ただし、グッドワンファクトリーらしさは全体に残して加工している。



グッドワンファクトリーのウイングを、パテ埋め&スミージング。細かいアレンジだけど、当時のVIPを意識。



サンルーフといえばVIPの証。汎用ハイサーは、当時を思わせると同時に、閉めててもルーフに注目させる効果を狙って装着。



「VIPといえば、ハス切りデュアル!」というわけで、左右4本出しマフラーを製作。テールエンドは、ヴァルドを使用。



VS-KFがVIPらしい足元を作る。「一番太くて深いのを買って、それに合わせてフェンダーを作りました」。



ブレーキは、表面を削って陸亀の文字をブラスト。シルバーにしたのは、どんな色にも合わせやすいから。

SPECIFICATIONS

WHEEL ●ワーク・VS-KF
(16×F7J+19、R8J+7)
TIRE ●クムホ(165/40-16)
AERO PARTS ●F/S/R=グッドワンファクトリー加工
EXTERIOR ●グリル=純正加工、ウイング=グッドワンファクトリー加工、ヘッドライト&テールレンズ=LED加工、プリスター&オーバーフェンダー=ワンオフ、ボンネット=プレスライン加工、ボディカラー=チャパラル(全塗装)

INTERIOR ●ステアリング&シート&天井=張り替え、インパネ&ドア内張り=張り替え&ラップ塗装、フロアマット=ワンオフ

SUSPENSION ●車高調=ジェーラインwithモータールファム加工、リアアクスル=バルテック

BRAKE ●キャリパーキット=イデアル加工

MUFFLER ●ヴァルド

AUDIO ●ヘッドユニット=アルパイン、アンプ&スピーカー=ショップ

MAKING SHOP ●ペイントショップベスト



VIP全盛期を彷彿とさせるくつきりフェンダーは、ブリストラーを絞ってオバフェンを製作している。

矢貝's 一問一答



Q これまでの車歴は？

免許を取って最初に買ったのが20セルシオ前期。定番の後期移植で乗ってました。1、2年くらいです。そのあといろいろ足で乗って、9年前にワゴンRを買いました。それからずっとです。



Q ドレスアップの失敗談を教えて！

思ったらずぐやっちゃうことですかね(笑) やったあと「違うな」と思って、無駄にしたこともあります。黄色に塗ったとき、まわりの最初の評判が悪くて「やっちゃった」って思いました(笑)

Q クルマ以外の趣味は？

バイクです！ 小さいバイクが好きで、サリーとモンキーを1台ずつ持ってます。モンキーは、製作中もう5年くらいバラバラ(笑) いつか完成したら、家族でツーリングしたいですね。



Q 好きな女性のタイプは？

女々しくないコがいいです。ぶりっことかメルヘンなコは好きじゃないですね。顔でいうと…強いていえば桐谷美玲とか北川景子みたいな感じ。キレイな感じが好きなんですかね(笑)



ラゲッジにはアンプを2基インストール。もとはシルバーだったのをピンクで塗装して統一感をアップ。



フロントに2基、リアに1基スピーカーをインストール。「ドアにはスピーカーを2発入れたかったんです」。



チーム名の陸亀にちなんで、フロアマットにはウミガメを描く。カクレマンノミに混じって、マンボウが泳いでいるぞ。



「青を多くしたかったけど、シートは白がよかった」と、おおまかな配分をオーダーしてインテリアを仕上げているのだ。



インテリアは海をイメージして青×白でコーディネート。パネルのラップ塗装など差し色のピンクは「サンゴをイメージしてます」。



マスタングトッブユーキ×

M.T. YUKI

L900S MOVE

前

から見た時にワイド感を出したいと4灯式だったヘッドライトを2灯化し、マスタングを意識したフロントグリルを

製作したことから付けられたニックネームがマスタングトッブユーキ。ちなみにタングトッブは

いつも好きで着ているからとか。そんなみんなから愛されるキャラであるユーキさん。このムー

ヴを手に入れたのは二十歳のころ。「免許取ってフルエアロに深

リムでラルゴに乗っていたんですが、壊れたのでドリ車とかもち

よつと乗って。次のクルマを探しているときに、うちの会社の社

長の奥さんが乗っていたムーヴをもらったんです。でもその頃は

ワゴン車とかにしか興味が無くて、Kカーをちよつと軽く見て

ましたね」とユーキさん。ラルゴ時代のショップに行ったときに

ムーヴ用車高調が転がっていたのをきっかけにムーヴでのドレス

アップ人生がスタートする。

「最初はイカツい系のVIPエアロでした。3年ぐらいかけて内

外装とひと通り完成したんですが、一度スポコン系にしてみました。ラルゴにも付けていたステ

ジ21のエアロで挑戦してみたいんです。XXRのホイールと出会ったことも大きかったですね。この

サイズをどうやって履かせようかと……。アーチを切り上げたり、足まわりを加工して何とか履かせた時に前々から好きだったデミオグリーンにオールペンしたんです」と第一段階が終了。



自 作 職 人



元々は奥さまの好きな黒ムラサキで張り替えていた室内。今回はユーキさんの好きな黒イエローで張り替えた。



作業場となるガレージの持ち主と共に作業する先輩から出産祝いとして送られたインプレッサ純正シート。



取り付けられる追加メーターは「大阪の同じ名字の方から出産祝いとして頂いたものです」とユーキさん。



「子どもたちがムーヴを大好き。マフラー音とかお菓子を車内で食べていると飛びちっちゃうのが楽しいみたい」。



流行りを取り入れた トレンドヒッター



SPECIFICATIONS

WHEEL ● XXR-522 (15×F8J-25、R8J-48)
TIRE ● ハンコック&ATR-K (165/45-15)
AERO PARTS ● F=ステージ21加工、S=純正加工、R=ワンオフ
EXTERIOR ● グリル=ワンオフ、フロントフェンダー=ステージ21加工、リアオーバーフェンダー=ワンオフ、ヘッドライト=1灯化、テールレンズ=LED加工、ボディカラー=デミオ純正グリーン(全塗装)

INTERIOR ● ステアリング=ディープコーン、シート=インプレッサ純正、インパネ=塗装、天井&ドア内張り=張り替え
SUSPENSION ● 車高調=ワンオフ、リアアクスル=アヒル商会加工
MUFFLER ● ワンオフ
AUDIO ● ヘッドユニット&アンプ=カロツェリア、スピーカー=ロックフォード

現

仕様のオバフェンはちょうど1年前から作業をスタート。自作職人として知られるユーキさん。美香さんと美桜ちゃん、そして産まれたばかりの颯乃輔くんを家に残し、夜な夜な近所にある先輩の家のガレージに通い詰めたという。

「ちょうど1年前の今頃はフェンダーを磨いてましたね。フロントはステージ21のFRPフェンダーなのでFRPで作って、リアは鉄板溶接で。元々アーチ上げもしていたので、タイヤハウスも作り直してます。ハンドルを全切り直してツラを追求した足まわりです」とこだわり抜く。前後のキャンバーも「台形のムーヴを前から見た時の一番いい角度を求めていったらこの角度になりました」と以前よりも起こし気味でセッティングし直した。「内装は元々奥さんの好きな色で張り替えていたんですが、今回どうしても自分の好きな黒とイエローにしたくて、奥さんの許可を取り付けました」と内装もフルリメイク。外装の完成にともない「前回と同じデミオグリーンにオールペンしました」とイメージを変えない。

「長男の颯乃輔が産まれたとき、たくさんの方から出産祝いとしてクルマのパーツをもらったんです」とユーキさん。けん引フック、インプレッサ純正シート、車内の追加メーターなどお祝いの品で「そのお礼もかねて、今年は走れるだけ走りたいです」と力強くコメントしてくれた。



フロントは「ラルゴ」の時代にも付けていたというステージ21製バンパーを加工し、インタークーラーを配置。



ニックネームのきっかけにもなったマスタングをイメージし、立体的な造形で製作されたフロントグリル。



圧巻のセンター4本出しマフラーは「友だちがハーアに付けていたのをもらいました」という。



リアは鉄板溶接で造形したオーバーフェンダー。キャンバーはムーヴにいい角度を求めながら調整したら前5度、後11度だった。



リアはアヒル商会の独立式アックスルを加工。「自分みたいなツラを求める人間にはちょっと物足りなかったの」。



元々装着していたステージ21のFRP製フェンダーダクトをベースにフロントはFRPでオーバーフェンダーを製作。



ムーヴ用の取り付け台座の形状が気に入らず、三角窓を埋めてスッキリと装着したBEE FREE製コンベミラー。



握手を誘うようなゴールドのけん引フックも「大阪のショップの方から出産祝いに頂いたもの」と愛されるユーキさん。



ボディカラーはデミオグリーン。元々グリーンが好きで、現在は2回目リアウインドウには黒でさり気なく日章を。

妻・美香さんが見たユーキさんってどんな人？

知り合って9年、このムーヴよりもちょっとだけ長いんです(笑)。最初の頃はクルマばかりでケンカもしましたが、お出かけにも連れて行ってってくれるんで今はいいパパなのかな。

ユーキ's 一問一答

Q ドレスアップをされていてよかったこと

何もかもがよかったですね。触っているといろいろとクルマの知識も増えるし、イベントとかに行ったり仲間とのつながりが増えるのがやっぱり楽しい！

Q ドレスアップの失敗談

アンテナの穴とかを溶接でスムーズにしているとき、車内が燃えました。溶接止めたのに何か車内が明るいぞっと……。カーペットが結構燃えて、水を本気でぶっかけました。

Q ドレスアップ以外の趣味

ボーリングとか。下の子が産まれてからは全然行けてませんが、ハイスコアは277、アベレージで200〜230ぐらい。

Q お仕事とその内容

総合リフォーム会社の社員。外壁とかの塗り替えなど塗装をメインにやっています。16歳から勤めています。このムーヴは社長の奥さんのクルマでした。





小振りだけど主張する
こだわりのフェンダーメイク



オバフェンはリアからの見た目を意識して製作。リムとタイヤの間にリムガードが刺さるツラがキマる。

ドレスアップのベースラインはシンプル。エアロの造形は大きく変えず、くっきりしているけど小振りなフェンダーで個性を放つ。こだわったのは、出し方。アーチトップからボトムにかけてキレイに絞り込んでいく造形で、美しいツラを実現した。



「ショップのスタッフやチームの先輩たちの支えがあったからできたクルマです」と清水さん。さらなる飛躍を目指す。

清水 竜×
平成21年式
MH23S WAGON R



インテリアにはレカロシートを導入するなど、全体をスポーティにまとめている藤田さん。エアロや足を詰めていく。

藤田 佑斗×
平成24年式
MH34S WAGON R



リアはスペーサーなしで
アウトリップを実現！

ニュースのエアロを軸にメリハリのあるカラーコーディネートを披露するMH34SワゴンR。それに合わせるようにフォーミュラメッシュはオレンジディスクをオーダー。ワンオフの車高調&リアアクスルによって、絶品のツラで履きこなしている。



フォーミュラメッシュのサイズは16XF6.5J+19/R7J+26。リアはスペーサーなしでアウトリップ！



K SOUL BROTHERS

信念を貫く ドレスアップ のボーイズ ドレスアップ PART 1 俺のツラ編

ドレスアップに情熱を注ぐ男たちの愛車には、強いこだわりが満載。フェンダー、ホイール、サスペンション……。俺の足まわりへかける想いは、ほかの誰にも負けることはない。『TSURA is MY SOUL』

名村勝彦×
JB7 LIFE 平成15年式



エアサスで実現した
リムガードツラ！



ボディワークにもこだわっていて、三重県在住にもかかわらず埼玉のショップに製作を依頼したという名村さん。

ドラクエの天空の鎧からヒントを得たボディカラーに包まれるボディは、プレスラインを巧みに使ったグラマラスな造形を採用。エアサスじゃなきゃできない鉄板溶接オーバーフェンダー×リムガードツラは、名村ライフのアピールポイントのひとつ。

フロント6cm／リア7cmワイド化された鉄板溶接オバフェンにリムガードでツラを合わせているのだ。



実はMH21Sはセカンドカーという馬場さん。メインのL152Sムーブは、リメイク中で完成後イベントデビューさせる予定。



馬場 幹雄×
平成16年式
MH21S WAGON R



イベントに出せる
セカンドカー！

大技・小技を駆使して製作したワゴンRの見どころは、がっつり系の足まわり。日正タイヤ車高調&パルテックアクスルの組み合わせで、リムかぶりの車高を実現。とはいえ、フロントフェンダーのアーチを上げ、ハンドルが全切りできるようにするなど、実用性も考えているのだ。

ナチュラルにふくらませたプリスターフェンダー。このかぶり具合でも、ほぼ全上げというから驚き。



マイナー車の悩みを消す
すべてワンオフの作り



リハティウアウトクをイメージした後付けフェンダーやボルドワイルド特注アサスで句の足まわりを構築している。



この仕様を製作するにあたって2年半の歳月を費やした。「その時間があったから、このカタチができたんだと思います」。



パーツがないからこそそのワンオフ。TODOステラカスタムのドレスアップは、いつだってワンオフが基準。例えば、フェンダー。既製品を加工するのもありだけど、プレスラインの位置に合わせてワンオフ。大変だけど、それが面白いところでもある。

TODO X RN1 STELLA CUSTOM

平成18年式



スティングレーは初めて買った愛車。次のステップとして、内装のドレスアップを進めていく予定の岡坂さん。



岡坂直輝 X MH23S WAGON R STINGRAY

平成23年式

足まわりはRS-Rブラックiとワンオフアックスルでセッティング。インナー加工&ガソリンパイプ移設もこなしている。

4WD改2WDによって 実現したローフォルム

地元が雪国ということもあり4WDを購入した岡坂さんだが、当初から純ベタ仕様で乗っていたが、2WD化という大技によって、一気にドレスアップを加速させた。「ジュンのシンプルさは絶対」と理想のスタイルを貫く様は、まさにK SOUL BROTHERS。

ボディにインパクトを
プラスするフェンダー



フロントに8J・リアに9.5Jというワイド&ディープリムをアウトトリップでマッチング。



センスのマフラーをバランスよく左右出しにしたリアも気に入っているという上田さん。内装メイクに取り組む予定だ。



小さいボディにインパクトを出すためにフェンダーを作ったという上田さん。高い位置から膨らませることで、しっかりとボリュームをもたせているのがポイントだ。エアロをシンプルに加工しているところも、フェンダーの存在感を際立たせるのに貢献している。

現仕様に合わせてリアアックスルを製作する際、寸法を間違えたという柴山さんだが、功を奏していい感じのツラを実現。



フェンダー製作に合わせ バネレートをアップ!

オーバーフェンダーを製作するというので足まわりを仕様変更。動きすぎていたリアを落ち着かせるために、リアスプリングを変更。さらにヴィッツRS用ブレーキを移植してリアディスク化。これらすべて自分でやっているというのも柴山さんのすごいところなのだ。



リザルタードメッシュ16×F7J+7/R8J-4をワンオフバフェンに収める。ツラ感がたまらない!

柴山清治 X L150S MOVE CUSTOM

平成13年式



「仲間と過ごす時間を大事にしたい」としよーへーさん。「イベントに行くのだった、友だちに会いにいくようなものだから」。



俺 これが こだわり

薩摩の好青年



上野隆博×

TAKAHIRO UENO

L375S TANTO CUSTOM



暮

れも押し迫ったとある休日、待ち合わせ場所に現れた、鮮やかなブルーメタリックボディのタントカスタム。17インチのBBS R.G.IIをベタ落ち車高で履きこなしたフォルムはインパクト満点！果たして、どんなエキスパートオーナーが現れるのか？思わず身構えてしまっただか（笑）。「おはようございます」と、爽やかな笑顔と共に降りて来たのはタイトル通りの好青年、上野さん。

タントを購入したのは今から7年前。それまでは中古のCTワゴンRでせつせと貯金に励んでいたとのこと。そしていざ、新車を購入！という時が来たが、意外にも当初ターゲットとして狙っていたのはムーヴだったとか。ディーラーに当時新車で売られていた175ムーヴを見に行ったら、その時、たまたま横にタントカスタムが展示されていました。で、何故かうちの方がカッコイイかも？と思いはじめ、計画変更。その場でハンコを押しました（笑）。

実はカスタマイズについても現在のような全身スキ無し！というレベルまでは想定されておらず、ノーマル17インチの仕様で乗るつもりだったと語る上野さん。ところが、行きつけのショップ、ウオストックに集まって来る常連のドレスアップカーを目にしていくうちに徐々にテンションが上昇。エアロ加工、オールペンと、月日を追うことに独自の個性が花開いて行った。

と、

ここまでの話だけでは少々場当たりの印象が否めないかも知れないが、上野さんは以前から潜在的にカスタマイズへの興味を持っていただけに、スイッチが入ってからの展開は実にアグレッシブ。エアロは当初、他社のハーフを装着していたが、フルバンパーのケイブレイク・プラチナムに変更。さらにボン付けでは物足りず、同じくケイブレイクのハイパーゼロカスタム18クラウン用をニヨイチに。フェンダーはフロント12mm、リアはスライドドアと干渉ギリギリの20mm幅で叩き出し、サテイスファクトリーのアクスルでワイドトレッド感を強調。人とカブるのはイヤ、という理由から選択されたボディカラーはインプレスサ用をベースにオリジナルの調合を加えたもので、ルーフパネルのセンターやグリル、ダクト周囲などは高級ブランド「ティファニー」のブルーをモチーフとした水色で塗り分け。インテリアもオーディオをメインに手が加えられている。

現在の仕様が完成したのは昨年5月頃。低車高キープでの走行を可能としたトータルバランスに優れた仕上がりを見せているが、本人はまだまだ満足していない様子。

「リアのエアロの見直しや、独立アクスルの投入など、もう少し煮詰めて行きたいですね」。

常にワンランク上を目指す好青年のドレスアップマインドは、桜島のようにアツく骨太なのだ！

自分だけのブルーに 包まれた爽やかタント!



上野's 一問一答

Q このクルマの一番のこだわりは？

ボディカラーと実走可能な低車高ですね。リア側には8kのスプリングを入れてストロークを規制しています。ただ、時々家族でも乗るので、今後は独立にしてツラと快適性を突き詰めて行きたいですね。

Q ズバリ、苦労している点は？

リアを20mmオバフェン化させたため、左側の電動スライドドアが使えなくなりました(笑)。ロングヒンジにすれば良い話ですが…。ただ普段は右側の手動スライドを使うので、不便はありません。

Q カスタム費用のやりくりは大丈夫？

BBSはたまたま履き替える人がいたので、安く譲ってもらいました。ケイブレイクのクラウン用エアロも、カットされたダクト部分をショップがストックしていたので。ホント、ラッキーと思います(笑)。

Q カスタムのヒントはどうやって探すの？

雑誌やネットなどありますが、ヴォストークの社長との話し合いの中から生まれることが多いですね。今回もスピンドルのラインをいかにナチュラルに溶け込ませるか、何度も確認作業を行いました。

敏腕ドレスアップも、家庭では良きパパ。左からとっても美人な奥サマのみゆきさん、夢月ちゃん、歩夢くん。

Owner
上野隆博さん (鹿児島県)
L375S TANTO CUSTOM
平成20年式

ディテールにディファニーブルーを多用したこと、メインカラーのフルメタリックがより際立っている。

フィラーリッドの車名ロゴはステッカーではなくペイントによるもの。これもさりげないこだわりのひとつ。



全面、ディファニーブルーとしたルーフパネル。あえて目に見え難い部分に主張性の強いカラーを使用している。



まるでこんな市販エアロがあるかのような、まとまりの良さを見せるフロント。グリルから続く自然なラインにも注意。



リアはケイブレイクのタンクトンを活かす。ディファニーブルーのフラック部分にはラメも加えられている。

サイドステップはバタフライシステム。カットラインに沿ってディファニーブルーで塗り分けを施す。



17インチ、7JリムのBBS-RGII。前後ともフェンダーはワイド化されているが、あえて純正風のラインを保つ。



バックドア背面にもMTXのスピーカーを4連で埋め込む。ちなみに、よく聴く音楽は洋楽全般とのこと。



純正風のデザインで張り替えられたドアまわり。アームレストのパネル部分にもラップペイントを用いる。



カーゴスペースにはMTXのサブウーハーを埋め込み、アクリル台座を作り同じくMTXのアンプを装着。



ダッシュボード助手席側にモニターを埋め込んだ他、センターパネルをラップペイントで仕上げた前席まわり。

妻・みゆきさんが見た隆博さんってどんな人？

優しいパパさんですよ(笑)。

ドレスアップも自分のお小遣いの範囲内で留めてくれるし、お酒やタバコなど、他にお金がかかることをしてないので、好きな趣味がひとつくらいあってもイイと思います。

SPECIFICATIONS

WHEEL ● BBS-RG II (17x7J)
TIRE ● ATR-K (165/40-17)
AERO PARTS ● F=ケイブレイク・コンプリートプラチナム&ハイパーゼロカスタム (18クラウン用) ニコイチ、S=バタフライシステム・■■■■、R=ケイブレイク・コンプリートプラチナム
EXTERIOR ● グリル=ケイブレイク、フェンダー=たたき出し、テールレンズ=社外LED、ボディカラー=オリジナルブルーメタリック(全塗装)

INTERIOR ● ステアリング=モモ、シートカバー=グレイス、インパネ=ラップ塗装
SUSPENSION ● 車高調=RS-R、リアホーシング=サティスファクトリー
MUFFLER ● ケイブレイク
AUDIO ● ヘッドユニット=カロツツェリア、アンプ&スピーカー&ウーファー=MTX
MAKING SHOP ● ヴォストーク ☎ 099-204-7958



真

つ赤なラッピングシートにエンボス処理で左右に龍虎を浮かび上がらせるムーヴを7年間乗り続ける波多さんとつて今年が特別な年になる。

18歳で免許を取得してから走り屋としてローレルやシルビア、マークIIなどを乗り継ぎ、結婚を機にステップワゴンに乗り換えるのだが「嫁のお兄さんがエアブラシの入ったハイエースのオーディオカーに乗っていて、それを見て度肝を抜かれました」とドレスアップに目覚めることになった。「当時VIPワゴンが流行っていて、3〜4年乗って雑誌にも取り上げてもらえるようにならしてもらって……。でも、通勤にも使っていてガソリン代を節約するためにKカーにしよう」と今にムーヴを手に入れたんです」と波多さん。

通勤の足として考えていたムーヴだったが、とりあえず「モ

ドパルファムエアロをポン付けして、ほとんどの車高にホイール入れてという感じだったんですが、イベントに行き出してから火が付きました。イベント出るからにはトロフィが欲しくなり、欲が出た感じですね」と拍車がかかる。その後ユーロ意識でエアロ加工を施し、パールホワイトに純正色からキャンディレッドへオイルペン。その後スピンドル加工の時にゴールドへ変更。そして現在のラッピングスタイルへと進化を遂げることになる。「ただオイルペンじゃつまらないので、ラッピングにして長男の龍昇(りゅうしょう)、次男の琥麗(こうれい)にちなんで左右に龍と虎をエンボス加工で入れたんです」。



波多優作×

YUSAKU HATA

L175S MOVE



頼れる兄貴

ゴ ルドボディで2014年6月号のカバーカーを

射止めた後、ボンネットダクト、オーバーフェンダー、ホイール、インタークーラー、GTウイングとさらにユーロスポーツを極めつつ、真っ赤なフルラッピングを施した。「フェンダーをしてしまったので、足はガチガチにしていな」と干渉してオーバーフェンダーのビスが飛んでしまう」と行きつけのシヨップオリジナル加工の藤本SPLの車高調をセット。ESBバトルワークスフェンダーも「旬な部分もあるんですが、ただ単にビス止めをポン付けというのはいやだったので、ロケットバニー風にフル加工した藤本SPLです」という。

これまで様々なイベントやオートメッセにも出展している波多さんだが「今年には出さないんです。娘が産まれたばかりというのがあるんですが、自分の中ではやりきった感があるんです。

ちょうど今年の7月にムーヴの車検が来るので、ちょっとひと区切りしようかなと考えています。まゝ別にガツツリやめる訳ではないので、とりあえずひと休み。ムーヴに7年間お疲れさまでと言っておきたいですね」と衝撃コメント。「誰かに乗ってもらうのもアレなんで、手元に置いておきたい。子どもの次に大事なものですから。将来的に長男が乗ってくれたらいいんですけど……。今のうちからムーヴの良さをだいたい刷り込んでいきます(笑)」と語る波多さん。しかし、最後に産まれたばかりの紅蘭(くらん)ちゃんのためにムーヴにはもうひと頑張りしてもらう必要があるそう。

「今からムーヴの良さを刷り込んでいる」と将来的にこのムーヴオーナーとなりそうな長男の龍昇くんと一緒に。

波多優作さん (愛媛県)
L175S MOVE
平成19年式

ロケットバニー風のフル加工されたESBバトルワークス。短縮加工されたモールドバルファムサイドにはアンダーフラップを装着。

左サイドは次男の琥麗くんのために迫力のある虎を浮き上がらせる。オーバーフェンダー部までエンボス加工。

右サイドには長男の龍昇くんのために入れられる昇り龍。ラッピングシートのエンボス処理で見事に表現する。

Aピラーからドアミラー取り付け部を通るカタチでL字に盛り上げられるプレスラインをインストール。

グリルのデザインは「最初、アストンマーチンとレクサスで迷って、見た目のインパクトを担ってスピンドルを取り入れました。

ユーロフォルムをさらに底上げするGTウイング。砲弾マフラーとの組み合わせで迫力のリアビューを演出。

モールドバルファムのリアバンパーもフロントに合わせレクサス風に加工。マフラーはワンオフ砲弾を左右2本出してセットする。

SPECIFICATIONS

WHEEL ●XXR-527 (16x8.25J)
TIRE ●ケンタ (165/45-16)
AERO PARTS ●F/S/R=フローデザイン・モールドバルファムファントムバージョン加工
EXTERIOR ●ウイング=GTウイング、フェンダー=ESB加工、ヘッドライト=プロジェクター加工、テールレンズ=LED加工、ボディカラー=赤(ラッピング)
INTERIOR ●ステアリング&天井&ドア内張り=張り替え、シート=レカロ張り替え、インパネ=リアルカーボン、フロアマット=オリジナル
SUSPENSION ●車高調=オリジナル、リアアクスル=バルテック
MUFFLER ●ワンオフ
AUDIO ●アンプ=μディメンション、スピーカー&ウーファー=ロックフォード、追加モニター=6個

波多's 一問一答

Q ドレスアップの失敗談

何か自分の思ったことをやってみたら違ったことは良くあります。やってみないと分からないというところがあるので、何事も失敗を怖れず、成功の糧にすることが重要だと思います。

Q ドレスアップをされていてよかったこと

やっぱり「つながり」ができることですね。僕、結構イベントに行かしてもらったんですけど、行かなければ絶対に会えていない人たちですからね。

Q ドレスアップ以外の趣味

子どもと戯れることですね。本気でムーヴのことをカッコいいと言ってくれているのでうれしいです。

Q 密かな自慢

息子たちが自分に激似なところですね。娘はまだ産まれたばかりなのでハッキリとは分からないので、今はちょっとドキドキしてます。



立体的にインストールされるラゲッジオーディオ。ロックフォードウーファーにμディメンションアンプ。



前席2脚ともレカロ製セミバケに変え、オレンジ×グリーンのレザーで張り替え、室内に合わせる。



フロントドアスピーカーは地元の愛媛を貫くみかんデザイン。カラーもオレンジとグリーンで統一。



インパネやダッシュ部にはオレンジリアルカーボンを貼り、上質さのあるスポーティ感を作り上げる。

ユーロ×スタンスの新機軸



前仕様は鮮やかな赤だったさとしんさん。ムーヴに乗って5年、自分が理想とするスタイルを見つけた。



さとしん×平成21年式
L175S MOVE CUSTOM

幾度かの仕様変更の末、ゴルフ純正のガンメタでオールペンし、落ち着いた大人っぽいスタイルを作り出したさとしんさん。フォーミュラメッシュはいつか履きたいと思っていたホイールだが、似合うと思える仕様になるまで履かないでいたこだわりの1本なのだ。



ラゲージは空間を残しながらオーディオをレイアウト。インテリアは赤を中心に張り替える多用。

ケイブレイクのエアロを加工してインタークーラーをセット。両脇には新たにフィンを追加した。



クラシックなスポーティが
オレ流おしゃれスタイル!!



走れる仕様だけに走行距離はぐんぐん伸びて今や13万kmオーバー。冬の間はエアロ加工だとか。



佐藤久幸×平成19年式
L880K COPEN



エアロはひと目惚れのエリクサーをチョイス。ウイングにはメッキガーニッシュを装着しラグ感を向上。



NR-Fのキットでカルウィング化。シフトの中に時折派手さが同居するのが佐藤さんらしさと言える。



派手なだけはもう卒業!!
走りとスタイルを両立する

以前はスポーツカーでドリフトを楽しんでいた佐藤さん。その後、ミニバンを経てこのコペンに乗る。以前の愛車と違いは大人路線で仕上げていく点。ただし「車高の低さ」「走れること」は佐藤さんのアイデンティティ。現在のコペンでも継承される。



フロント、リアともにバンパーはがっつり加工。モチーフであるC25のインパクトのある一台を作り上げた。

ベンツ SL65AMG をベースにチューニングされたカールソン C25 をイメージした伊豆丸さん。そこで本物同様にボンネットからルーフにかけてオレンジのラインを走らせた。しかしそれに引っ張られ過ぎないのも伊豆丸さんらしさ。バンパーはオリジナルティ満点の加工を施した。



伊豆丸和也×平成19年式
L175S MOVE CUSTOM



シートにもオレンジのラインを入れたため、正面から見るとインテリアを含めた一直線になっていることがわかる。



C25意識をオレンジのラインで表現



前仕様ではグリル流用のみだったが、今回は210系アスリート純正バンパーをコピーした。

クラウン・グリルこそ俺のアイデンティティ



カツキン×平成21年式
MK21S PALETTE

ボディカラーも210系限定車からチョイス。そのセンスの良さはMKファクトリーが送り出すクルマにも現れている。

自作オーナーからプロショップのオーナーへと転身した後も、自分のクルマのドレスアップを続け積極的に活動するカツキンさん。前仕様では18クラウン・グリルを入れて、一躍有名車へ。仕様変更にあたりクラウン・グリルも現行用に変更するほど強いこだわりを持っている。

バランス良くテーマに
塗り分けて個性を出す



「バランス良く」をテーマにドレスアップしている杉原さん。そこで各部をブルーで塗り分けることで、エアロなど素材の良さを活かしながら個性を獲得した。マフラーは加工し、理想的な排気音を実現。ただし出口にエアロ専用部品を使うことで統一感はしっかりキープ。



エアロはあえて無加工。 Fog まわりのルーバーをブルーで塗り分けた。リアも同様にディフューザー部を塗り分け。

「できることは自分でやりたい」という思いからドアの内張りなどは塗り分けに使った色でDIY塗装している。

杉原克弥×
MH23S 平成24年式
WAGON R
STINGRAY



徹底したこだわりが生んだ
リアルセダン仕様



L700顔にスワップしたオプティビークス。それだけでひと目見ただけでは車種判別が難しいのに、E46テールや往年のVIPセダンを意識したフェンダーなどがさらに加速させる。でも悪目立ちしない。そのトータルバランスこそ青山さんのこだわりだ。

テールランプはE46用。ただ本物を使うだけじゃない、トランクに食い込ませることでよりリアルに。



ラゲッジオーダーイオは、ビークスならではの奥行きを活かしたレイアウト。トランククリッド裏もばっちりカスタム。

徹底したトータルバランスの追求は、かつてやりたいことをバンバン詰め込んだキューブ時代の反省だという。

青山佑樹×
L802S OPTI BEEK 平成10年式



自作のポイントも多いなっちゃん号。とにかく低いけれどガンガン走る。低さへ執着が尋常でない男だ。



これが俺のこだわり



ホイールはスポーティなマイスターCRO1を。キャリパーもイエローで全体の統一感をアップ。



ボンネットは自分でデザインしたスポーティなダクトをレイアウトし、グラインダータトゥーを入れた。



極低車高対策で移設したガソリタンク。エアブラシで塗装することで、しっかり魅せ場へと昇華させる。



すべては低さのため
ガソリタンクも魅せ場に!!



一見ちゃらそうだけど、ドレスアップにはひたむき。購入後約1年で現仕様を作り上げた。

目立つと確信したイエロー
カラーコードで勝負する

ちゃらばん× 平成15年式
HE21S LAPIN

街を走っていたスイフトを見て「黄色は目立つ」と思い、スイフト純正イエローでオールペン。そして各部はつや消しの黒で塗り分けることでメリハリを効かせた。直感的でありながら、計算されたカラーコーディネイトがちゃらばん号最大の武器と言える。



バンパーは開口部をつくり上げたような形状に加工し、イカつさをプラス。アンダーリップは両端を立ち上げた。

なっちゃん× 平成20年式
MK21S PALETTE

フェラーリレッドもさることながら、その低さに目がいくのがなっちゃん号。車高調、リアアクスルをワンオフし、極低車高対策としてガソリタンクをラゲッジに移設。さらにエンジン換装を目論むなど、これからも「低いまま走る」にこだわっていくつもりだ。





■ 翔プロデュース

SHO PRODUCE

問:翔プロデュース ☎079-232-7877 <http://sho-produce.com>

ラインスタンプ製作中だぜえ!!



精力的に軽トラエアロをリリースする翔プロデュースは、大人気メッセージアプリ「LINE」のスタンプを製作中だ。金岡さんを思わせるキャラクターが挨拶や、するどいツッコミを入れたりトークを盛り上げてくれるはず。翔プロファンなら必須でしょう!

■ シンケ×サーカスプロジェクト

SHINKE × CIRCUS PROJECT

問:シンケ ☎0725-53-3719 <http://www.shinke-box.com>
サーカスプロジェクト ☎072-363-4460 <http://www.circus-project.com>

DA17W
エブリイ
ワゴン



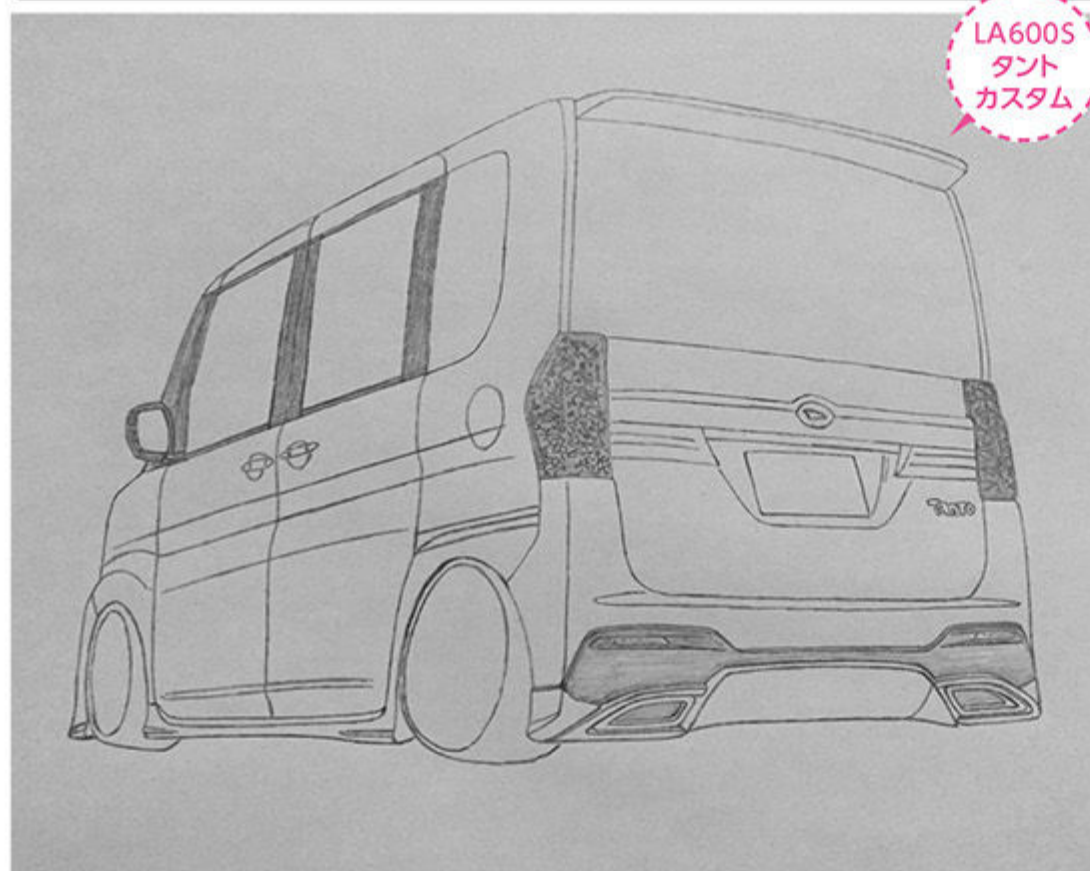
2大ブランドのコラボモデルが登場!!

ベッドキットやエブリイアイテムで知られるシンケとサンクチュアリブランドを展開するサーカスプロジェクトのコラボモデル。シンケのジュファールにサンクチュアリの600タントカスタムにも取り入れられたスピンドル風マスクが合体したようなデザイン。お披露目は2月頃を予定。

■ プレジアティシモ

pregia tissimo

問:ループ ☎0725-90-2888 <http://www.pregiatissimo.jp>



LA600S
タント
カスタム

600タントカスタムの
リアデザインが
お披露目

現在開発中のタントカスタム用エアロのリアデザインが公開された。「ブラッシュアップリアハーフスポイラー(仮)」と命名されたこのリアハーフのコンセプトは「ハーフに見えないハーフスポイラー」。アグレッシブな意匠で、塗り分けることでイメージチェンジを狙えるそう。



■ ダックスガーデン

DUCKS-GARDEN

問:イバフル ダックスガーデン事業部 ☎0291-32-6478
<http://www.ducks-garden.co.jp>

間に合わなかった、ゆるしてっ!

当初は2015年12月の発売開始を予定していたS660用エアロだが「(年内の発売に)間に合わなかった、ゆるしてっ!」とダックスガーデンの有働さん。気になるメニューはフロントリップ、サイド、リアスポイラー、ボンネット、さらにフロントグリルを予定している。



JW5
S660





↓巻き替え



↓交換



↓カバー



第7回

DIYビギナーズ

ステアリングはお手軽なカバーから塗装や巻き替え、さらにはステアリング自体をまるっと交換まで、さまざまなアレンジが楽しめる。そのためビギナーからベテランまで多くの人がおこなっている。今回は3つのメニューをご紹介します。自分にあったアレンジを見つけて、ぜひチャレンジして。

数あるメニューから選べる!

ステアリングを イメチェンしよう!

いつでも目につくところだから!

あなた
頑張っ♪



KSP47
和歌山県代表
かあこちゃん



オススメ
アイテムも紹介!!



鷲本Family

和歌山県にお住まいの鷲本さん一家は、ダンナ様がDIYでドレスアップしている。その腕前はプロ級で自身の愛車であるハイゼットは大阪オートメッセに出展したことも。ちなみにかあちゃんの愛車はラパンで、現在は育休中。



ダンナ様
泰伸さん



プラスドライバー



マイナスドライバー



ラチェット&ソケット



十字レンチ



パーツクリーナー

今回使う
工具はコレ!

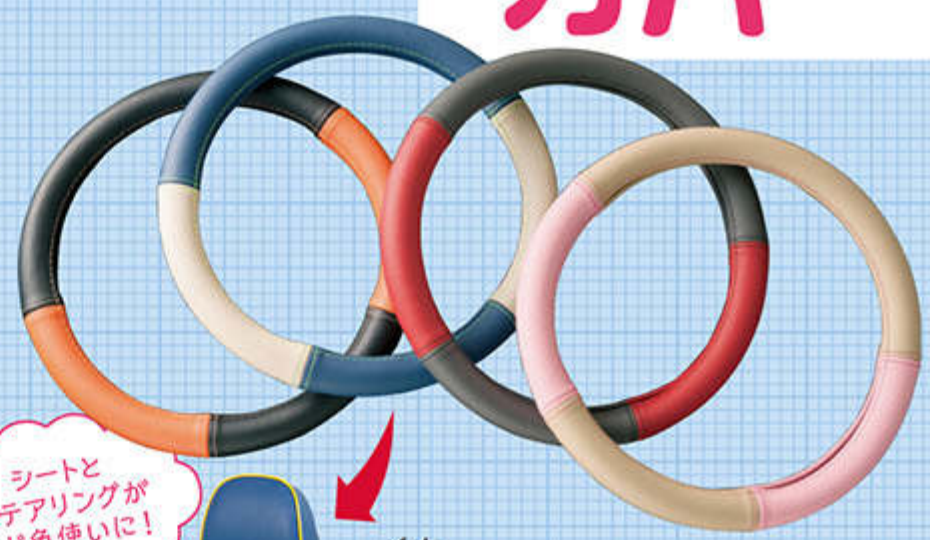


PHOTO●駒杵智子



工具もばっちりそろえており、エアー加工からオイルペン、内装までなんでもござれ。

カバー



シートとステアリングが同じ色使いに!



多 少力が必要なので女性は苦戦するかも知れないけれど、ステアリングに限らずドレスアップ全般を見てもこれほど簡単なメニューはない。シートカバーと同じデザインのステアリングカバーを用意しているメーカーも多く、トータルコーデがしやすい。

難易度
99ページへ→



ただの輪っかとお
あなどることなかれ

クルマに乗ればイヤでも目に入るのがステアリング。そのドレスアップの手法はさまざまあるけれど、もっとも簡単なステアリングカバーであれば、ドレスアップに興味がない人でも装着しているほど敷居が低く、DIY初心者も挑戦するのに最適なポイントだろう。反対に変わった感が大きいメニューほど難易度が高まる。

どんなメニューにするか考える際、作業の難易度はもちろん、ステアリングもインパネやシートなど含めた内装メイクの一手であるということも忘れずに。例えば、純正インパネ+ステアリングカバーであればちよつと



ステアリングは運転中どうしても視界に入ってくるもの。お気に入りのデザインにイメチェンすれば、いつものドライブがもっと楽しくなること間違いなし。

したアクセント感覚。しかしインテリアのトータルコーデという視点に立てば、ほかのパーツと色の組み合わせをはじめ、施工後に得られる質感や形状などを総合的に考慮した上でどんなメニューにするか決めよう。せつかくDIYが成功したのに、ステアリングだけ浮いてしまうという状態は避けたいもの。

交換

自分にあった

仕上がり&難易度で選ぶ

ステアリングメイクを見つけよう!!



とにかく変貌度が高いのが交換のメリット。ただし運転し易さも左右されるので注意が必要。

難易度
101ページへ→



交換にもいくつか種類があって、味気ない純正からウッドコンビなどに交換としたパターンと、モモなど純正とはまるで異なるステアリングに交換するパターンだ。前者は純正の雰囲気のまま高級感や統一感をプラスし、後者はユーロやスポーツに振る人に多い。

塗装



バイルを塗装し、高い質感を出す植毛塗装も可能。プロショップでのメニューとなる。

難易度



自分の好きな色にできるので、ほかの内装パーツとコーディネートしやすいのがポイント。ただし手で握る部分でもあるので、塗装がはがれやすいのがデメリットだ。ステアリングを一度外さなくてはいいけないので手間がかかる。

巻き替え



塗装にはない質感が手に入れられる巻き替え。純正のカタチをキープできるので握り心地を損なわないのもメリットだ。インテリアに張り替えを使う人がおこなうことが多く、当然高い統一感を得られる。また刺繍を使って個性を出すことも可能。

難易度
102ページへ→



12はミミシーもあー!!



とにかく簡単だよ♪

【施工車両】
S200P
ハイゼット
トラック

After

mio ハンドルカバー

ステアリングカバーをつけよう!!



価格●7560円 サイズ●S(36cm~37cm)、M(38cm~39cm)
カラー●全8色
プレジァティシモのインテリアブランド、ミオのステアリングカバー。グリップ部は黒レザーに白のステッチ。
問:ループ ☎0725-90-2888 <http://www.pregiatissimo.jp>

**求めやすい価格で
取り付けも簡単**

ステアリングカバーはその名の通りステアリングに被せるだけ、と非常に簡単なアイテム。注意することは、自分のステアリングのサイズにあったサイズを用意すること。取り付けに少し力が必要。デザインを正位置に合わせることも。特に取り付けは、操作性を考慮してぴったりと作っているモデルなどは強くひっぱる必要がある。女性にはちょっと大変。

現在、さまざまなメーカーがステアリングカバーをラインアップしておりお気に入りのモデルを見つけるのも楽しい。だいたい5000円前後で買えるものが多いので、いくつか持っていて、その日の気分ですて替えてもいいかも。

courreges line
ハンドルカバー



価格●5800円(税抜き)
サイズ●
S(36cm~37cm)
M(37cm~38cm)
カラー●全4色

ケイブレイク待望のインテリア新シリーズ。ダッシュマット、シートカバーも設定あり。
問:ケイブレイク ☎072-931-1000
<http://www.k-break.com>

オススメ
ステアリングカバー
カタログ



愛車のステアリングのサイズをはかっておこう!

SHO PRODUCE
オーダーハンドルカバー



価格●4000円(税抜き)~
全10色から上下・左右で自由に色を組み合わせ可能で、どんなインテリアにもマッチ。
問:翔プロデュース ☎079-232-7877
<http://sho-produce.com>

D.A.D
ロイヤルステアリングカバー
タイプディルス

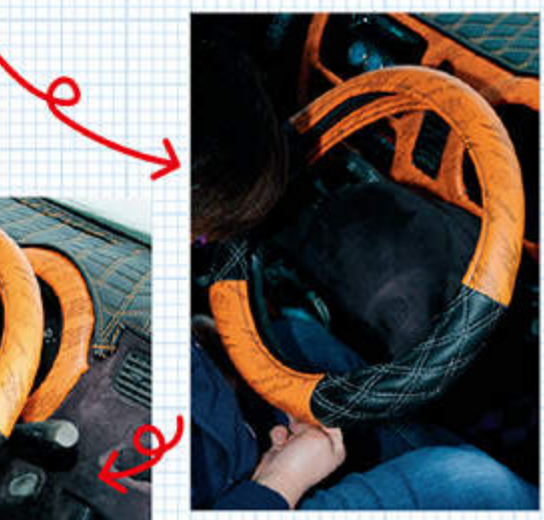
価格●4000円(税抜き)
サイズ●S(36.5cm~38cm)
M(38.5cm~40cm)
カラー●ホワイト、ブラック
クロームメッキリングが高級感を演出してくれる。上部のロゴ刺繍もインパクト大。
問:ギャルソン事業部 ☎072-952-0567
<http://www.garson.co.jp>



ステアリングを正位置に合わせて12時方向からかぶせ、6時の方向にひっぱる。



ステアリングの手前部分をかぶせるには力が必要。この時点では多少ずれてもOK。



左右のズレを修正し、ステアリングカバーのデザインを正しい位置に合わせる。

作業時間
10分

Color Lineup



●レッド



●ブルー



●オレンジ



●クリア



●グレー



●ブラック

注目のNEW ITEMをPICK UP!



Team LINEA

シリコンウルトラグリップステアリングカバー

問:クリムソン ☎06-6180-1511 <http://www.crimson-inc.co.jp>

価格●3280円(税抜き) 対応サイズ●35cm~39cm カラー●全6色

ばないのも嬉しい。

ネオクラシックデザインのRSシリーズをはじめ、人気ホイールを手がけるクリムソンの「ユーアイテムがこの「シリコンウルトラグリップステアリングカバー」」。素材に特殊シリコンを採用しており、グリップ性が高い上、非常に良く伸びるので取り付けも簡単なのが特徴だ。グリップ部や頂上部のセンター、ブランドロゴなどデザイン性も高く、装着すればスポーティな印象に早変わりする。カラーは6色をラインアップしており、サイズはひとつながら伸縮性の高さから35cm~39cmのステアリングに対応する。装着する車種を選

特殊シリコン採用したスポーティなカバー



【施工車両】
S200P
ハイゼット
トラック



6時方向に向かって引っ張っていく。伸縮性が高く、少ない力でOKなのが嬉しい。



ステアリング上部から引っ掛ける。センターラインが目印にすれば正位置を見つけ易い。



Before



右↓左の順にひっかけっていく。引っ張りながら左右にスラセはセンターの調整も簡単。



最後に全周をしっかりと握り、全体を馴染ませれば取り付けは終了だ。



After

作業時間
7分



両サイドの持ち手部分は段差を付けたグリップ性の高いデザイン。握り心地は抜群だ。



上部にはセンターラインとステッチ調デザインをあしらう。細部にまでこだわりを注入。



裏面はバンプ形状を採用。見えないところもしっかりデザイン性をもたせている。



特殊シリコン素材は伸縮性抜群。グリップ力と取り付け易さの向上に貢献している。

中級編

Before

【施工車両】
LA100S
ムーヴ

After

ステアリングを まるっと交換しよう

エアバッグの有無が
難易度を左右する

ステアリングの交換は純正のハンドルボスをそのままに、持ち手のみを交換するタイプと社外のハンドルボスを用意してセンターから持ち手まで一体になったモデルと交換の2種類に分けられる。またエアバッグがあるクルマの場合、エアバッグユニットを取り外す必要がある(なしの場合はホーンのヒューズを抜けばOK)。今回装着するプレジァティシモのコンビハンドルは持ち手のみの交換。しかしウッド部分をカーボンにしたり、ステッチの色を変更したり、さらにはレザー部にスワロを入れることまでできるデザインの自由度の高さがポイントだ。



●カーボン/レッド

pregia tissimo
Ptコンビハンドル



●ウッド



●カーボン/シルバー

価格●4万2984円～
純正ステアリングを加工するタイプで、ウッドは全36色、カーボンは全12色から選択できる。スワロやカラーステッチにも対応してくれる。
問:ループ ☎0725-90-2888
<http://www.pregiatissimo.jp>

オススメ ステアリングカタログ

REAL

オリジナルシリーズ

カラバリはもちろん、その握りやすく見た目もスポーティなリングリブ形状にも注目。



価格●3万3000円～4万9000円(税抜き)
カラー●本カーボン:ブラックカーボン、天然本木目:全2色、高彩度塗装:全6色 対応●MR31S ハスラー
問:レアル事業部 ☎052-625-9994 <http://real-s.biz>

NARDI

カリスタ メタル35

価格●5万5000円(税抜き)
バガニ・ゾンタに採用されたことでも知られる人気モデル。レザータイプもあり。

問:アサヒライズ ☎027-280-8001
<http://www.fet-japan.co.jp>



②ステアリング本体を外す



引き抜くには力が必要のため、急に外れるのを防ぐためボルトは緩めるのみに留める。全体重をかけて、思いっきり引き抜こう。



作業時間
30分

①エアバッグユニットを取り外す



エアバッグユニットを外したら、ステアリングを固定しているボルトを緩める

③コンビハンドルを取り付ける



ステアリングの裏側にあるカバーをドライバーで取り外し、コンビハンドルに移植。

④エアバッグユニットを取り外す



エアバッグの誤作動を防ぐため、バッテリーマイナスを外す。その後10分以上置いておく。
トルクスレンチでハンドルのカブラーのうちの、まず内側から出ている2本のネジを外し、エアバッグユニットを手前に引く。
残りのカブラーはマイナーストラッパーでカブラーロックを外しながら、引き抜く。



ステアリングを 本革で巻き替えよう

Spiegel 本革巻き替えキット

車種毎に専用設計となっているのでフィット感
は抜群。糸や針、糸切りはさみなどオールイ
ンワンキットなのがなにより嬉しい。



価格●1万5000円(税抜き)
カラー●レザー:全11色、ステッチ:全9色 対応●スズキ車多数
問:シュピーゲル ☎048-970-2800 <http://www.spiegel.co.jp>



ハンドルは
やったこと
ないよ～

裁縫は
キミのほうが
得意だろう



[施工車両]
HE22S
ラバン

全部入りキットで 面倒な作業をパス

ステアリングの巻き替えとい
うとプロショップでお願いするハ
イレベルなメニュー。インパネや
ピラーを張り替えても、ステア
リングだけは同系色のカバーな
んて人も多い。それはインパネ
やピラーが表面のみ張り替えれ
ば良いのに対し、ステアリングは
ぐるっと一周張り替え、仕上げは
手縫いという手間の多さが理由

だろう。

今回使うシュピーゲルの本革
巻き替えキットは、レザー生地
はカット済みなので、採寸し生
地を切り出す必要はなし。さら
にレザー生地には縫製用の糸が
通してあるので、一本の糸で縫い
合わせるだけで、おしゃれなヨ
ロピアンステッチを実現してく
れる。また、裁縫が苦手という
人でも、一旦ステアリングを外し
てしまえば比較的簡単に縫い合
わせることができるはず。

①両面テープを 貼り付ける



本革の両端に両面テープを貼る。ステア
リングの内側に押し込む部分には貼らない。

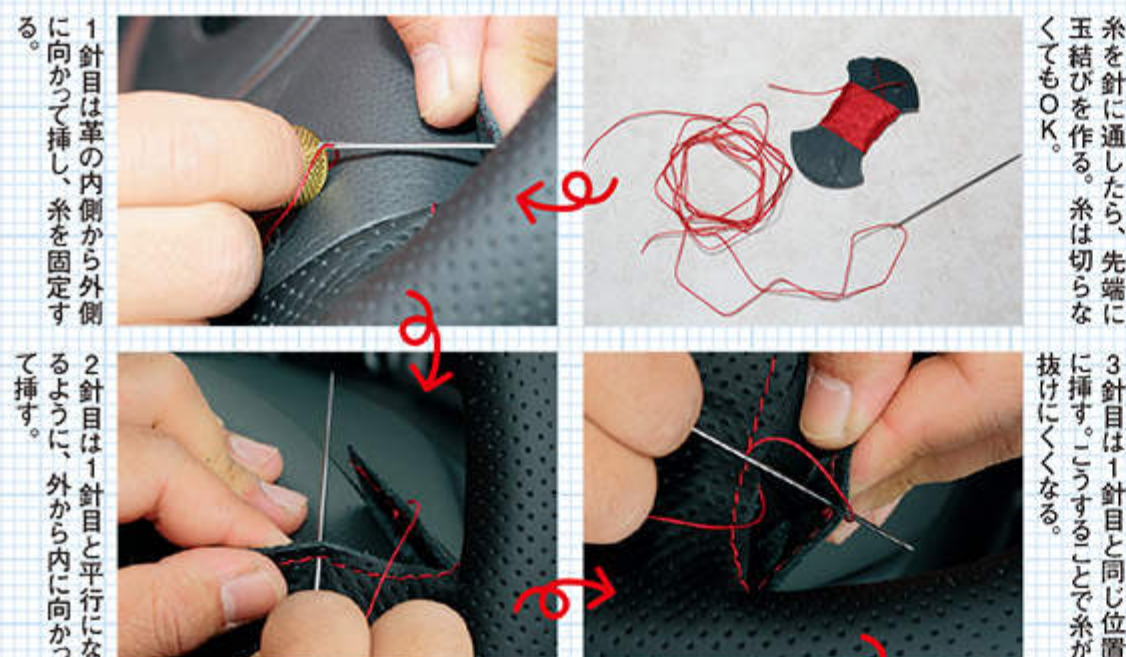


巻き替え用本革はステアリング
の形状にカット済み。裏返して
両面テープを貼っていく。



ここには貼らない

③上半分を縫製する



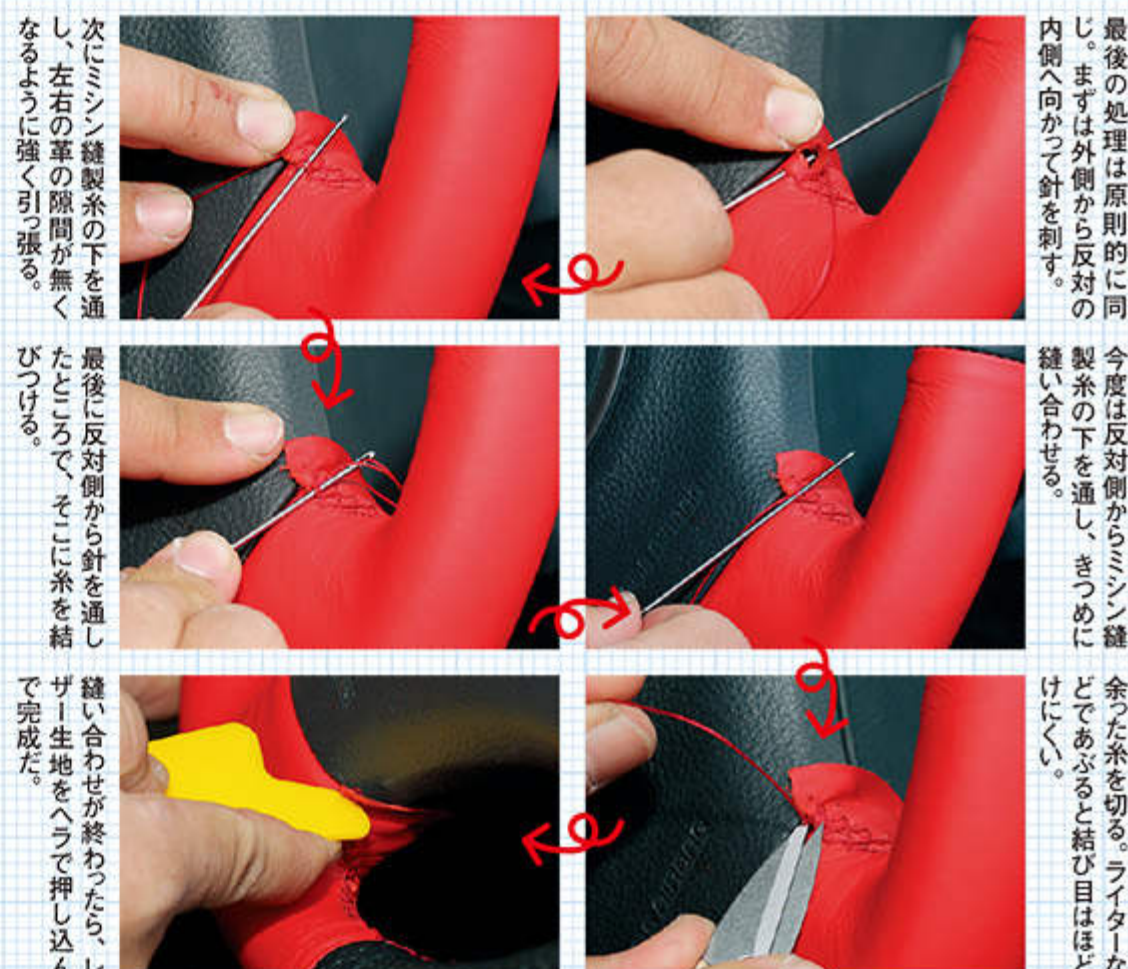
②本革をステアリングに貼り付ける



⑤レザー生地をなじませたら完成



④左右を縫製する。



不定期連載! 軽トラ野郎 アゲトラモンスター

VIPから旧車スタイル、デコトラにドリフトまで、どんな方向に振っても楽しめる軽トラックの世界。また、クロカンちっくに仕上げたリフトアップスタイルも大人気。そこで今回は、プロショップが製作したアゲアゲなデモカーをご紹介します!

「今後これ以上車高を上げた軽トラが出たら、ウチはまだまだ上げますよ」と、自信たっぷりの若本さん。



SHOP DATA

TRANCE PRODUCT

▶トランスプロダクト
☎06-6964-5151
大阪府大阪市城東区東中浜9-7-6
営業時間: AM10:00~PM8:00
定休日: 日曜・祝日

しゃがまなくても向こう側を見渡せるほど上げられた車高、そしてBFグッドリッチの肉厚M/Tタイヤ。このインパクトはまさに超絶級である。製作したのは、ワンオフ全般を得意とする大阪のトランスプロダクト。「海外のリフトアップ車をネットで見、負けられないと思って作っちゃいました」と若本さん。足まわりのキットはすべてイチから作り、自転車用のフレーム(!)など使えそうと思ったものは積極的に取り入れる。強度をしっかりと計算して最適に走れるようにセッティングしているので、決して見た目だけではないのだ。その数値は、驚異の26インチアップ! しかもこれらのパーツはボルトオンで開発されているため、ノーマルに戻すのも簡単だ。



バイク用のパイプを加工して作ったワンオフカチ上げマフラー。出口は砲弾を採用。



フロントは試作の車高調を装着。さらにランチョのショックを足して乗り味を補整。



SPECIFICATION

- EXTERIOR: トランスプロダクトハーフ、ケイブレイクリアウイング、はろーすべしやるオーバーフェンダー
- SUSPENSION: トランスプロダクトオリジナル
- WHEEL: ミッキー・トンブソン
- TIRE: BFグッドリッチ
- TUNING: トランスプロダクト左右出し4本出しマフラー
- INTERIOR: トランスプロダクトシートカバー

リアのショックは何と7本。そう簡単には曲がらぬリフトのしなり具合もポイント。



大阪府

26インチアップで実力を見せつける TRANCE PRODUCT

DA63T CARRY





SPECIFICATION

- EXTERIOR: ウィンチ付きバンパー、オリジナルキャリア&荷台、マッドグリーン塗装
- SUSPENSION: オリジナル4インチアップキット
- TIRE: カナダ製クローラー
- TUNING: ワンオフマフラー

北海道

FEEL

DG63T SCRAM TRUCK

道なき道を爆走する 驚異の4輪クローラー



最高速度は不整地で40km/hほど。クラッチを傷めぬよう、副変速機4Lでの走行を推奨。



エアクリが水を吸わないように、シュノーケルを装着。万が一水害に見舞われても走れる。



キャリアにブルーシートなどを被せれば、ちょっとした雨風をしのげる簡易避難所にもなる。



救命道具などの収納を目的とした引き出し。消防署に行き、消防車の作りを参考にしたとか。

本来4本あるはずのタイヤが、何とキャタピラに！ この4輪クローラーを製作したのは、4駆のカスタマイズに力を入れる北海道のフィール。「災害救助に役立つクルマ」をコンセプトに開発し、ガレキなど普通のタイヤでは困難な路面状況でもガンガン走れるように、カナダ製の4輪バギー用キャタピラを採用。ボディと干渉しないように、自社の4インチアップキットも組んでいる。また、デモカーならではの遊び心もプラス。ボディ色は、サンダーバード2号をイメージしたグリーンでペイント。2号は国際救助隊としての役割を担っており、クルマの方向性にもピッタリ。ドア横に入ったイエローの縦ライン、赤い2本出しマフラーも2号のディテールを再現したもの。芸が細かい！



ソリなどを積めるように、ルーフにはワンオフのキャリアをセット。ジョイントをかませば重いモノも積載できる。

SHOP DATA

FEEL

▶フィール
☎011-776-4220
北海道札幌市北区屯田町969-6
営業時間: AM10:00~PM8:00
定休日: 10月~4月は毎週火曜日
5月~9月は毎週日曜日
<http://www.sweetgarage-feel.com>

「アメリカのように、自由な発想で軽トラをカスタマイズしたいと思っています」。気になる軽トラ乗りはぜひ問い合わせてみよう。



京都府 CAR STYLE DA63T CARRY

どこよりも先に、「アゲトラ」という新たなスタイルを提案した京都のカースタイル。デモカーのキャリイは、カリフォルニアで人気のSUVカスタマイズをイメージ。ルーフに付けたワークライトやデイトナのメッキホイールなど、都会寄りのスタイリッシュなテイストを加えた。ワンオフのチューブバンパー&ビス留めグリルも、現地のトレンドなのとか。そして気になる足まわりは、自社の4インチアップキットを装着。リアのショックは硬めのプロコンプ製を採用し、ストロークを長くすることで軽トラ特有の車体の軽さによるハネを防いでいる。ゆえに乗り心地もバツグンだ。



ビス留めのオーバーフェンダーは、はろーすべしやる製。下部をカットしてフィット感を向上。テールランプはアオリに装着。

オシャレなカリフォルニアスタイル

ハイラックス用を編み出したワンオフのステップバンパーも、USの薫りを放つ。



チューブバンパーにはライトバーをセット。バッドフェイスボンネットは自社製品。



SHOP DATA CAR STYLE

▶カースタイル
☎0774-46-8272
京都府久世郡久御山町市田東大門11-1-2
営業時間：AM10:00~PM8:00
定休日：水曜日・変則祝日
<http://www.carstyle.jp>



SPECIFICATION

- EXTERIOR：バッドフェイスボンネット、60mmオーバーフェンダー、オリジナルロールバー、ピックアップUSリアバンパー
- SUSPENSION：オリジナル4インチアップキット
- WHEEL：デイトナ
- TIRE：マキシムUDDER

「アゲトラ文化をここまで広めて下さった、はろーすべしやるの小田さんに感謝です」と岡田さん。現行の16系にも力を入れる。

アウトドア派に捧げる アクティブなキャリイ

京都府

FINAL BEAST DA63T CARRY

SPECIFICATION

- EXTERIOR：ファイナルビーストフロントバンパー&オーバーフェンダー、キャンピング仕様
- SUSPENSION：ファイナルビースト4インチアップキット
- TIRE：マキシムBRAVO (185-14)
- TUNING：ワンオフマフラー
- INTERIOR：オリジナル迷彩塗装





神奈川県

GARAGE-Z1

KS4 SAMBAR TRUCK

ハイエースと軽トラのドレスアップにめっぽう強い、神奈川のガレージZ1。数ある軽トラの中でも、特に力を入れているのがサンバー。これまで3・5・8インチアップキットを開発してきたが、こちらのサンバーはワンオフのボディリフトキットによってタイヤ込みで18インチも上がっている。「オフロードタイヤなので少しガタガタしますが、乗り心地はノーマルとあまり変わらないです」。力強い雰囲気を出し出すジムニー用のフロントAバンパー、眩しく輝くワークライトもインパクト満点。現在は鮮やかなグリーンにオールペンされ、今年の東京オートサロンに出展された。



ボディとフレームの間にブロックをかませる手法。純正ショックなので乗り心地良好。

旧型サンバーを18インチもアップ!

リフトアップキットで15インチ、肉厚タイヤで3インチ。合わせて18インチ上がっている計算。ホイールは極太のXXRを採用。



SHOP DATA

GARAGE-Z1

▶ガレージセットワン
☎042-856-0001
神奈川県相模原市中央区陽光台6-10-10
営業時間: AM10:00~PM7:00
定休日: 年中無休
<http://www.garage-z1.com>

「軽トラなら、上げはもちろんローダウンもお任せ下さい」。なおこの足まわりは、オーダーがあれば製作してくれる。

SPECIFICATION

- EXTERIOR: ジムニー用フロントバンパーガード
- SUSPENSION: 18インチボディリフトキット、90mmワイドスペーサー
- WHEEL: XXR(8.5J×16+25)
- TIRE: スワンバー (33×12.5×16)

車中泊に最適な収納式テント。サイドオープニングは、要望があればワンオフ可能だ。



SHOP DATA

FINAL BEAST

▶ファイナルビースト
☎0771-83-9313
京都府船井郡京丹波町下山土淵57
営業時間: AM10:00~PM8:00
定休日: 火曜日
<http://final-beast.com>



軽トラだけでなく、ジムニーやエブリイなどの箱バンも得意とするファイナルビースト。「足まわり加工は朝メシ前。気軽にご相談下さい」。



不定期連載! 軽トラ野郎 アウトロモンスター

注目

軽トラックのカスタム本の決定版「Kトラパーツブック2016」は全国書店にて絶賛発売中。真っ赤な表紙が目印ですよ。



ホイールはスバルタンな8本スポークを装着。90mmワイドを実現するオリジナルオーバーフェンダーも装着して、力強さを盛り上げる。



京都のファイナルビーストが手がけたキャンリイは、キャンプやバーベキューなどアウトドアシーンで使える1台を目指した。ルーフのテントやワンオフのサイドオープニング(日除け)など、現場で役に立つアイテムを数多く盛り込んでいる。ボディはオリジナルベージュでオールペンし、ボンネットは迷彩柄の塗装を施してワイルドなイメージに仕上げた。足まわりは4インチアップキットで上げているが、乗り心地を損ねないボディリフト仕様。キャスター角の補正もしてあるので、ここまで上げてあくまで純正に近い乗り心地だとか。ストレスなく走りたい人にはうってつけだ。



ホイールは今までリムなしばかりだったので、「試し履き用として買った」ステルスレーシングにチェンジ。近々履き替えるとのこと。



軽ONE STARS



SPECIFICATIONS

WHEEL ●ステルスレーシング・K35 (16×7J+25)

TIRE ●クムホ (165/40-16)

AERO PARTS ●F/S/R=ワンオフ

EXTERIOR ●ヘッドライト=イカリング&LED加工、テールレンズ=LED加工、ボディカラー=マットブラック(ラッピング)

INTERIOR ●ステアリング=イソotta、シートカバー=グレイス、インパネ&

天井&ドア内張り=張り替え、フロアマット=M.I.C

SUSPENSION ●エアサス=ボルドワールド、リアアクスル=ワンオフ

BRAKE ●キャリパーカバー=ウェーバースポーツ&プロバイル

MUFFLER ●ブジョー用加工

AUDIO ●ヘッドユニット=イクリプス、アンプ&スピーカー&ウーファー=MTX



バンパーとアンダーフラップの間に黒カーボンのリップを足してすき間を作り、空力効果の向上をイメージ。



フロントはアウディ純正バンパーから型を取り、セルボのボディに合わせて幅を詰めて製作。アンダーフラップはカーボン。



ノッペリ感を抑えるために、ドアの下部に入るフレスラインをリアハンスポにも追加。マフラーカッターはフンヨー純正。



ランボルギーニをモチーフにしたワンオフのサイド。後部のダクトがその証。別体フラップもカーボン加工。



あまり使用する機会がないリアシートを思い切って取っ払い、オーディオスペースとしてアレンジ。奥行きを稼ぐことに成功した。機材は力強いサウンドを放つMTXで統一。



ドア内張りも白レザー×紫スエード。ステッチは紫との相性が良いと思い、イエローをチョイス。スピーカーのインストールも美しい。



ハンドルはレーシーなイソotta。ダッシュも張り替え。なおメイン色に紫を選んだ理由は、「ももクロの高城れにが好きだったから(笑)」。



天井までしっかり張り替え。センターに紫のラインを通して、夜でもメリハリが効くようにアンバーのELチューブで縁取る。



張り替えたかのようなスタイリッシュなデザインが気に入り、グレイスのシートカバーをセレクト。白レザーと紫ラムースでオーダーした。

メンバーたちの力も借り 希少なセルボが大胆に進化!



OWNER
谷奥亮一
さん
(兵庫県)

最近なぜか「殿」と呼ばれるらしい、オーナーの谷奥さん。「細部を仕様変更しつつ、まだまだセルボで頑張ります!」。

HG21S / 平成19年式

CERVO

MAKING SHOP ●

Masquerade ☎078-203-1395

KMScraft ☎06-6409-4814

G CREATE

T-connection



カーボン加工で質感を大幅に高めた純正ドアミラー。カーボンの織り目がクッキリと見えるのは、キャンディペイントならではの。



パーツの少なさにも負けず、ドレスアップベースとしては珍しいセルボでイベント最前線へと突き進む谷奥さん。エアロもフルバンは出ていないため、イチから製作。実は結構前に完成させたものだが、ユーロテイスト漂うスポーティなディテールは今でも非常に新鮮である。少々変更や修正を加えながら、今でも大事に愛用している。

しかしカラーリングはガラッと一新。以前はホワイト×キャンディライムゴールドの組み合わせだったが、現在は精悍なマットブラックのシートでフルラッピング。リアルカーボン加工を施した部分はキャンディグリーンで塗装し、渋さと華やかさを兼ね備えたコーディネイトで魅せる。この組み合わせは「寝る前に思いついた(笑)」そう、その翌日にはショップに入れたというエピソードも楽しい。

谷奥さんはハイレベルなクルマ揃いの有名チーム、「マスタークラス」に所属。このセルボを作る上で、自作派も多いチームメイトも全力でサポートしてくれた。例えば、パツパツのアウトリップは、夜な夜なメンバーが集まって試行錯誤しながらセッティング。白×紫の内装&オーディオに関しても、自作が得意な仲間の手で製作。次は溶接が得意なメンバーに、マフラーを作ってもらう予定とか。チームの強い結束力、素晴らしい!

HE21S / 平成18年式

LAPIN

MAKING SHOP ● GLOSS LINE ☎086-287-8100

<http://www.gloss-line.com>

SOUND MARINA ☎086-231-8326

<http://www.soundmarina.com>



「全国のラパン乗りの皆さんと交流したいです!」と三村さん(右)。お隣はチームメイトのハレンチ松本さん。

OWNER
三村和弘
さん
(岡山県)



ディフューザーをツヤ消しシルバーで塗り分け、立体的な造形を際立たせる。エアロはもともと小ぶりなので、短縮はなし。

開口部のフィン一本減らし、スッキリとした表情に。グリルはMH21S後期をイメージして、太めのフィンを追加した。

テールはLED加工。上はスモールで枠のみ、ブレーキを踏むと全点灯する凝った作り。ウインカーは矢印。



200マジェスタのバックランプは寒冷地仕様。ゴチャゴチャしないように、メッキの枠はあえて使用していない。

フォグはLS460中期純正。奥にオフセットさせ、さらにフィンをフォグの手前にかけて小ぶりに見せている。

以前は目立ち度重視のどハデ仕様。今回はもう少ししんしんぷるに決めるべく、ボディをブラウンでオールペン。BMWミニ純正のホットチョコレートメタリックに深みを持たせ、キツくない程度にフレックをプラス。渋さと鮮やかさを兼ね備えた色合いに對し、各部をツヤ消しシルバーで塗り分けて引き締めた。

したままかつ飛ばす。エアロは初代ラパンでは数少ないイマドキなデザインを持つ、パルファム雅夢レガリアで統一。レガリアの造形を崩さないように、フォグやフィンの本数を変更して他と差別化を図る。リアにはLED加工を施した200マジェスタ純正バックランプを埋め込み、高級感を底上げ。そして内装の色使いも落ち着いたブラウンを基調とし、外装と統一感を持たせている。ただ単調にならないように、2色のブラウンを使ってメリハリを効かせた。さらにリアシートをつぶして作ったハイクオリティなラゲッジオーディオにより、強烈なインパクトを手にした。

SPECIFICATIONS

WHEEL ● BBS・RS (16×F7J+50、R7J+25)

TIRE ● クムホ (165/40-16)

AERO PARTS ● F/R=フローデザイン・モードパルファム雅夢レガリア加工、S=フローデザイン・モードパルファム雅夢レガリア

EXTERIOR ● フェンダー=アーチ上げ、ヘッドライト&テールレンズ=純正加工、ホットチョコレートメタリック(全塗装)

INTERIOR ● シートカバー=クラッツィオ、インパネ&天井&ドア内張り&カーペット=張り替え&塗装、フロアマット=オリジナル

SUSPENSION ● 車高調=日正タイヤ&ジェーラインwithモードパルファム、リアアクスル=クロスライン

BRAKE ● キャリパーキット=ウィルウッド

AUDIO ● ヘッドユニット=ダイヤトーン、アンプ&スピーカー&ウーファー=JLオーディオ

極低フォルムを見て欲しいから あえてオトナな色使いで攻め込む



フロントは日正タイヤ、リアはバルファムの車高調でダウン。グロスラインオリジナルアクスルは、キャンバーと上げの調整が可能。



フロントのブレーキはウィルウッド。キャリパーは4potで、いつかリアをディスク化する時に移設予定。



高級ホイールの代名詞、BBS RS。全バラして組み換え、ディープなリムを実現。磨きを入れてピカピカに。



アンプを仕込んだ室内側は、荷物を積めるようにあえてフラットに仕上げた。「遠征時はスベアタイヤも積みます」。



音のキレイさと遠くまで飛ぶスピーカーが気に入って、機材はJBLオーディオのマーチンシリーズで統一。中央にはモニターを投入。



クラッツィオのシートカバーは、座面と背もたれを茶色のスエード調生地で張り替えた自分だけのオリジナルモデル。





最初はカローラ純正鉄チンをそのまま履くつもりが、物足りなくてワイド加工。スタンダードな仕様は、鉄チン+メッキのリムリング。このリングを付けることで、リムがさらに深く見える。自作でサビ風ペイントを施した、N-ONE純正ホイールキャップもスタンバイ。



JG1 / 平成24年式

N-ONE



グリルとボンネットに貼ったチェッカー風テープは、雑貨屋で見つけたもの。USテスト漂うノーズブラは輸入車用を自作で加工。



ライトの枠は1000円ショップで買った。パドミンのラケット。ガットを針金で張り替えて強度を確保。
エアコン吹き出し口にジヤバラのハイブをセットして、後席に風を送り込む。「レシーブな雰囲気も出ます」。



リップはホームセンターで見つけたタンスのコーナークッション。柔軟性がある素材なので擦っても割れない。
純正のエアクリナーボックスに、バイク用のフアンネルを装着。キャブのような吸気音を堪能できるとか。



リアは車高調のアジャスターを抜き、キャンバープレートにワッシャーをかませる手法で角度をさらに付けた。

SPECIFICATIONS

WHEEL ●鎌ヶ谷ワイドてっちゃん (14×F7J+34、R7.5J+27)
TIRE ●ダンロップ (155/65-14)
AERO PARTS ●F=自作リップ
EXTERIOR ●ヘッドライトカバー=自作、ノーズブラ=ワンオフ、フェアリング=スーリー、ルーフバスケット=CuRT、デコライン=ルノースポール、各部カッティング
INTERIOR ●シートカバー=ユニクロ(Tシャツ)、ダミーエアダクト、ダミーNOSボトル
SUSPENSION ●車高調=RS-R加工、リアキャンバープレート=ケーファクトリー加工
MUFFLER ●ブラックペイントマフラーカッター

お金をかけずにアイデアで勝負！
DIYで魅せるレトロスポーツ

OWNER
豊島孝行
さん
(埼玉県)



給油口には20年以上前に買った、貼り付けタイプのダミーボンピンを装着。「潜水艦のハッチっぽく(笑)」。



シャシブラックで塗り、存在感を抑えたマフラーカッター。中央に青のトーフックを付けて今風に演出した。

「外装をもっと古臭〜くしたいですね」と豊島さん。撮影後に、ホイールを13インチのマークIIに履き替えた。



4色で構成されたルノースポールのデコラインは当時モノ。サイドデカール後方のプロテクターはカッティング。



スリリーのフェアリングとカーのルーフキャリアを組み合わせて、バスケットを積んで「お出かけ感」を表現する。

他のクルマと被るのがイヤだから、極力既成のパーツは使わないのがポリシー。しかもネタ探しは、もっぱら100円ショップやホームセンター。誰も思い付かないユニークなアイデアを駆使して、DIYで進化させた豊島さんのNONEだ。

コンセプトもまた斬新で、70年代の欧州車のイジリ方にイマドキのスタンス系をドッキングさせた新旧融合スタイル。昔のルノースポールのデコライン、クラシカルなホンダロゴをモチーフとしたボルシエセラ風のサイドデカールなど、数多くのユーロなワザを仕込む。スタンスで人氣のフェアリングやトーフックも、ミスマッチと思いきやとてもお似合いである。

もうひとつの見どころは、ホイール。社外のアルミホイールは他と被るから、カラーラ純正の鉄チンをベースに、老舗ショップの鎌ヶ谷ワイドホイールでワイド加工。ディープナリムで足元に重厚感を与えた。さらにこのホイールをベースに、手を変え品を変え……で様々なアレンジを楽しんでいる。「出かける時に好みの靴を履く感覚で、いろいろなバリエーションを用意しました」。N-BOXスラッシュ純正を加工したフラットなセンターキャップにアメリカンなムーンディスクなど、1本のホイールをここまで遊び倒すオーナーはなかなかいないだろう。





リアも純正インパルK13マシ用。左右の開口はボディと同じ色を使い、塗り重ねの回数を変えて深みを出すという手法に挑戦。



ダイヤモンド型グリルもインパルで、エンブレムは取っ払う。ライト下には三角形のアクリル板を仕込み、間延び感を消す。



テールも自作。ボディをここまで加工したら何の車種か分からない人いたのでLEDで車名をアピール。



フル自作のライトは、ファイバーチップにアクリルフィンなど最旬ワザを投入。奥にパンチングメッシュを張ってメカメカしく。

JB1 / 平成12年式

LIFE

MAKING SHOP ● Re-works

☎076-466-2721 <http://www.re-works.biz>



年式をまったく感じさせない 超アグレッシブなサイドビュー

パツと見は16年前に作られたJB1ライフとは思えない、自動車メーカーが開発したコンセプトカーのような近未来的な佇まい。秘密はライフのボディラインを一切無視して作り上げた、独創的なボディワーク。

オーナーが特に気に入っているというのがサイドビュー。フロントフェンダーからリアドアにかけての深い落とし込みが、非常にダイナミック。実はこの落とし込みの部分は、ライフ純正の鉄板をそのまま残している。すなわち上部だけをボコッと盛り上げて、グラマラスなフォルムを演出しているというわけだ。リアフェンダーに関しては、徐々に幅が広がって行くプリスター+オバフェンで構成。すべて滑らかに仕上げるのではなく、パキッとしたラインも加えてしっかりとワイド感を際立たせている。このサイドビューのデザインにはモチーフはなく、オーナーの菅井さんが自分で考えたというからビックリである。

エアロも抜かりなく加工しており、フロントはスパーカーを連想させるロングノーズなデザイン。ベースは純正で、付け根から下はインパルのK13マーチ後期用。前への出幅が大幅に伸びたこともあり、ボンネット自体も延長してバンパーと流れを繋げて、この上ない一体感を披露。さらに自作のライト加工も、未だ感アップに貢献！



インパルらしさを消すべく専用フォグ&デイルイトを外し、メッシュの奥にフォグを装着。この位置から見るとフェラーリF430のよう。



リアドアの落とし込みにダクトを入れており、同じくリアに刻んだダクトへと風を抜くイメージを演出する。



フロントフェンダーにも縦に長いダクトをプラス。中に白のLEDを入れ、ラインにより一層立体感を与える。



ドアノブはフェンダーとツラにして自然に。その上のクッキリとしたプリスターラインが、迫力を底上げ。



OWNER
菅井康人
さん
(富山県)

ライフは昨年10月に完成したばかり。「今年はまだ手を付けていない、内装とオーディオに力を入れようと思っています」と菅井さん。期待します！

ホイールを履き、エアサス全下げ状態でフェンダーを製作したこともあり、すき間なしのアウトリップを実現した。



ディープコンケイブのXXR・551。Kカーでは履いている人が少なく、ちょうど良い極太サイズが決め手に。

SPECIFICATIONS

WHEEL ● XXR・551 (16×8.25J ±0)

TIRE ● ナンカン (165/40-16)

AERO PARTS ● F/R=インパル(K13用)加工、S=ワンオフ

EXTERIOR ● プリスターフェンダー=ワンオフ、ボンネット=延長加工、ヘッド

ライト&テールレンズ=自作、ボディカラー=Showup アシッドカーム(全塗装)

SUSPENSION ● エアサス=ACC

リアバンパーはエゴスタイルのラテ用とESBのミラー用をニコイチ化。シルバーのアクセントも効果的。



エゴスタイルのラテ用を部分的に使いつつ、ESBのワゴンRを前面に。メッシュネット内のフォグにも注目。

L550S / 平成17年式

MOVE LATTE

MAKING SHOP ● SOUND TIME ☎0985-34-9643

OWNER

小倉宏美
さん
(宮崎県)

ラテが秘めたデザインポテンシャルを十分に引き出した小倉さん。「今後はブレーキ&ホイール変更など、足元を煮詰める予定です」。



フアニーからクールに大変身！
反主流派カスタムの底デカラ



インナーケースをワンオフで作り、2連プロジェクターを純正風にビルトイン。三角のマーカはなんとバイク用！



スポーティな雰囲気にもマッチしたシルバーリム／ゴールドディスクのワークRS-β。サイズは機能性を重視した15インチ。



ボルドワールのエアサス+アヒル商会の独立リアアクスルが可能としたナチュラルキャンパー。フェンダーはノーマル。

歯切れの良いサウンドを奏でるオートエースのセンター2本出しマフラー。バンパーからの突き出し幅は最小限。



ワゴンR用では4段となっているグリルを2段に。ボンネットのバッドフェイスからのラインにも気を配る。



SPECIFICATIONS

WHEEL ●ワークRS-β(15×F6.5J、R7J)
TIRE ●ブリヂストン(F165/50-15、R165/55-15)
AERO PARTS ●F=ESB・CLSアニバーサリー(MH23S用)ニコイチ、R=ESB・CLSネオエディション(LA300S用)ニコイチ
EXTERIOR ●グリル=ワゴンR用加工、ボンネット=バッドフェイス、ヘッドライト=ワンオフ
INTERIOR ●ステアリング=モモ、シート=レカロ、天井&ドア内張り=張り替え
SUSPENSION ●エアサス=ボルドワール、リアアクスル=アヒル商会
MUFFLER ●オートエース
AUDIO ●ヘッドユニット=ダイアトーン、アンプ&ウーファー&スピーカー=グラウンドゼロ





オーディオメイクは宮崎のサウンドタイムによるもの。アンプやサブウーファなど、アイテムはグラウンドゼロで統一。



内装はフル張り替え。ルーフセンターにはワンオフ製作によるブリッジ状のLEDバーを装着。両脇からLEDの光りが流れる。



オレンジのハッフル部分だけでなく、まんまドア内張り一枚をリメイク。あえて純正風としたアレンジもGOOD!

インテグラR用レカロシートやルーフ内張りなど、インテリアはジャージ生地でフル張り替え。シートベルトも巻き替え済み。



この写真だけを見て、瞬時にムーヴラテだとワカった人は、なかなかのドレスアップ通。オーナーの小倉さんはカラーラワゴンやエスティマなど、これまで様々な車種でカスタマイズを行なってきたエキスパート。ムーヴではなくラテをセレクトしたのも「男性ユーザーは誰も手を出さないでしょ(笑)」という理由から。確かに、ラテはムーヴのペットネームを持つものの、曲線を多用したフォルムや丸型ヘッド&テールライトなど、女性ユーザーを意識したプロフィールが与えられている。このため、市販のラテ用パーツをそのまま組み込んでもイメージを大きく変える事は困難だ。

そこで小倉さんはすべてをワンオフでおこなうという、手間とコストを要する方法を選択。バッドフェイスのボンネットやコイチ加工のエアロなど、独創的なアイデアをフル投入している。興味深いのは、大幅なイメージチェンジを図りながらも、テールレンズやルーフウイングなど、ラテらしさを細部にあえて残した点。全体のまとめ方も普段乗りにはガンガン使えるように、シンブル路線に徹しているのもポイントだ。

独創的なセンスで思い切りビターな味付けに生まれ変わったムーヴラテ。2016年は、ヒネリを効かせたベース車選びがトレンドになるかも知れない。



owner's Salon

オーナーズサロン



読者の
みんなの
ダベリバ

それが
**owner's
Salon**

読者のみんなとKスペ編集部
の憩いの場「オーナーズサロン」。
ドレスアップにまつわる秘話か
ら、身のまわりで起きたあんなこ
とやこんなこと、なんでもいいか
ら聞かせてネ♪

あんなコト!
こんなコト!
**何でもお便り
募集!!**

ネインイチの
大掃除!

年末にクルマの大掃除をしま
した。頻繁にクルマの掃除は
するほうだと思うのですが、
しばらく見ていないなか
った結婚指輪がシ
ートの下から出て
きました。妻には指
輪を無くしたことを話して
ませんし、全然気づいてなか
ったみたい。でもこれでホッ
とできます。よかった〜♪

編・おおつと!!! そりゃ、年末に縁
■茨城県 斉藤さん

話を合わせて
います♪

起が良い! 年明けから清々しい気
持ちで新年を迎えられますね! (笑)
そと、何もなかったということ振
る舞っちゃいます♪ (オオオ)
バッテリーを買いに行くくと、
アルバイトらしきかわいい女
性に対応してくれた。バッ
テリーの選び方か
らエンジン始動時
にバッテリーに負荷
が掛かることなど、
基本的なウンチク
を丁寧親切に話し
てくれた(笑)♡ 内心
「知ってますけど」と思いな
がら……。そんな時、みな
さんも知らないふ
りして聞いている

オーナーズサロンで
ひそかなブームとなっている

癒しの アニマル ワールド☆

ジェントルな対応に
ちよと感激

夜中にワンコ(7歳・

み・ハロー)と散歩し

ていつも思うのは

対向車のヘッドライ

トが眩しいこと。クル

マ同士の場合、対向車

に配慮してハイビーム

をロービームにする

ことはあるが、歩行

者がいてもハイビーム

のまま走行してくる

クルマが多い。夜中

だから真つ暗だし

見えづらいのもあ

るし、しょうがない

と思っていた。でも

ある晩のこと、駐車場
ゲートで清算中のク
ルマがボクたちをハ
イビームで照らした
瞬間、ライトをオフ！
ロービームへ切り替
えてくれるだけでも
ありがたいが、眩しい
ボクたちへ最大限の
配慮をしてれてのス
モールライト状態。
実に嬉しかった。

■佐賀県・ハローバさん

編：ジェントルなドライバーさんと
の遭遇、よかったですね。ちよと
した気遣いに感動することありま
すよね。でも夜道のお散歩は注意
してくださいね。ドライバーから発
見しやすい服装や懐中電灯を持
ち歩くなど、事故に巻き込まれな
いように！ (あつこ!!!)

遠慮無用!!

親バカさんも 大募集!!

当コーナーでは、ペットとクルマにまつわる
エピソードを大募集!! いまや家族同然
のペットちゃんたち。ドライブや旅行にペッ
トちゃんが同行する機会も増えていますよ
ね♪ そんな日常の珍事やホノボノシー
ンなどをお寄せください。写真も大歓迎!!
この際、恥ずかしがらずに親バカぶりを発
揮しちゃいましょう。

ペットのお名前、年齢、
性別も忘れずに♪

のかな。と素朴な疑問

(笑)

■千葉県・マメ太さん

編：おおお〜〜わかりますよ!!!

つい、応援しちゃいますよね〜うん

うんつ……って、オーナーに領いちゃ

たりしてね。4月になれば新入社員
も増えて、あちらこちらでそんな初々
しい姿が見られるのでは? 特にか
わいい女性とかだと、おじさんとして
は余計ほのぼのと応援したくなりま
すよ! きつとみんなそうだと思います
すよ! (オオオ)

食らっちゃい
ました(笑)

53キロオーバーで二
発免停、8万円罰
金wwwwwしか
も90日免停、
さらに2点累積中
で、免取り目前orz

KSP

ズバツと
解決!!

お悩み相談室

取っ手部の細かいキズなんかありませんかね

新車で購入したワゴンR。かれこれ3年の月日が経とうとしていま
す。欠かさずピカピカに磨き上げてはいますが、どうしてもド
アの取っ手部の細かいキズが気になるようになりました。こま
めに磨いて、キズにたまる汚れを取ってやればキズも目立ちに
くくはなるのですが……他に手はないでしょうか。■北海道・七田さん

編：確かに、ドアノブって開けるときに絶対引っ張るので、そのまわりは細かいキズが付き
やすい部分なんですよ。指輪とかアクセサリーでキズが付いてしまう話もよく聞きます
し……。キズが付くのを防ぐには……よく高級ブランドのショーケースから商品を取り
出すときにスタッフの方がしているように、白い手袋をつけてドアノブを開ける、というの
はいかがでしょうか? オートドアロックではなく、自動ドア化されれば、そんな心配もなくな
るんですけどね(笑) (ある太郎@透明のステッカーで保護する手も!)

しやれになつてませ
んwwwwww

■埼玉県・内山さん

編：若かりし頃は私もよくやつちやい
ました(汗) 罰金ももったいないで
す。そんなお金があるならナニかこ
ちそうしてほしいです。2016年
からはゆつたり運転でお願いしますね
(笑) (アツコ・デラックス)

やっぱり新しいの
イイですねー!

今年は暖冬と言われてます
が、雪を求めてゲレンデへ毎週
出かけてます。で、今シ
ーズンはニュースタ
ッドレスタイヤを投
入しましたっ! 4シ

ーズンぶりのニュータイヤ!
やっぱりぜんぜん性能が違いま
す! そんな気がするののは気
のせいじゃないですよ(笑)
運転も軽やかに気分
がイイ! ☆

■神奈川県・古田さん

編：気のせいではないです(笑) 夏
タイヤもですが、年々進化している
といつもいいます。ほんとメー
カーの技術力というか、開発力とい
うのはすごいです。そのうち、アイス
バーンでも普通に運転できるタイヤ
ができるかもしれません。そうなた
ら、ドライブも季節関係なく、どこ
でも行けるのに……。 (ある太郎@
雪道は苦手です……泣)

なんか
踏んじやった

こんな割り込みつて
あり?

コンビニの駐車場に止めよ
うとしていた時、すごい
勢いでクルマが駐
車場に入ってきて、
オレが止めようと
していたスペース
にそいつはちゃっか
しクルマを止めて
店内へと消えて行
った。なんていやな気
分なんだ。文句も言えずただ

ただ唖然……。オレならそん
なことしないけど頭にきま
した! あまりまわりを見
ていないのかもね。

■高知県・井上さん

編：オイオイ、って感じですよ。横
入りつて。クルマの運転もしかり、
レジの割り込みもムムムって思いま
す。でも、悪気があって割り込んでい
る人ばかりではなさそうですね。
並んでいることに気づいていないとか
……。高齢者の方によくありがちか
もしれません。でも、薄々分かって
割り込んだらうならこれはムカツキ
ますよね。私も井上さんと同じで
す。年末にムカツクことがたて続け
に起きたんですが、でも年越しと共
に胸がスッキリしてしまいました。と
つても不思議。よい一年になりそう。
(話がそれてしまった……あつこ!!!)





5/15(日) **広島県**

**ドレスアップオールスターズ祭り
チャリティーin広島 Vol.7**

開催場所 広島県廿日市 めがひらスキー場 第8駐車場

エントリー 締め切り

5/10(火)

エントリー費 7000円

入場料 1人1000円(同乗者・見学者)

問:N-design イベント事業部 ☎0829-39-2005 info@n-design66.com

5/15(日) **兵庫県**

CUSTOM&LUXURY RIOT 2016

開催場所 兵庫県淡路市 淡路島 国営明石海峡公園

エントリー費 First seat=2万円
(officialグッズ&昼食付き) / Second seat=1万4000円 / Third seat=1万2000円 / Standard seat=7000円(当日=8000円)

入場料 1人1000円(一般・同乗者) 駐車料金=1000円

問:RIOT PLANNING ☎090-7104-0004 http://clubosakahigasi.jp/riot/

5/29(日) **滋賀県**

TOM杯 1st

開催場所 滋賀県甲賀市 田村神社特設会場

エントリー費 Arena席=1万7000円 / S-VIP席=1万5000円 / VIP席=1万3000円 / 一般席=7000円(当日=8000円)

入場料 1人1000円(同乗者・見学者)

事前エントリー 締め切り

5/13(金)

問:Garage Royalty ☎0748-47-8883

5/29(日) **福岡県or佐賀県**

KC-STYLE presents 第2回 がばいCUP

開催場所 福岡県または佐賀県(未定)

エントリー費 未定

入場料 未定

問:KC-STYLE ☎090-3010-1620(田中)

6/12(日) **広島県**

**TOP STYLE杯 10th stage
Anniversary 第2回 中国王座決定戦**

開催場所 広島県呉市 グリーンピアセとうち

エントリー費 SS席=1万5000円 / SA席=1万3000円 / SB席=1万円(要電話連絡予約) / 一般席=7000円(当日=8000円)

入場料 1人1000円(同乗者・見学者)、中学生以下無料

事前エントリー 締め切り

6/6(月)

問:TOP-STYLE事務局 ☎090-3378-9977 ☎082-426-3355
LINE ID:top-style 2012 Mail:top-style.japan@gmail.com http://www.top-style2012.com

7/9(土)~10(日) **愛知県**

**第十弾 大將戦
NAGOYA AUTO FESTIVAL 2016**

開催場所 愛知県名古屋市 ポートメッセ名古屋

エントリー費 3万9000円(税抜き)、電気使用量1万5000円

入場料 1人1000円(同乗者・見学者)、中学生以下無料

問:D・S・U 執行部 ☎0584-81-5436 / ☎090-3588-2036 / ☎090-8338-8999 / ☎090-8135-9000
〒503-0893 岐阜県大垣市藤江町2-185

全国ドレコン情報大募集!!

ケーカースペシャルでは、ドレコンの情報を大募集中。

掲載希望は、下記の番号までファックスか、メールを送ってください。

FAX 03-5842-3912
kcar.sp@does.jp

掲載は
もちろん
無料!

2/12~14(金~日) **大阪府**

第20回 大阪オートメッセ2016

開催場所 大阪府大阪市 インテックス大阪

開催日時 12日/13日/14日

入場料 入場料:2700円(前売り券2100円)
※チケットは11月より販売開始
※中学生以下無料(但し保護者同伴に限る、要生徒手帳)
オートサロンが東の大イベントなら、西の大イベントといえばこのオートメッセ。

問:大阪オートメッセ事務局 http://www.automesse.jp

3/20(日) **兵庫県**

第1回 F.S.P杯~Free Style Project~

開催場所 兵庫県神戸市 神戸総合運動公園 第18駐車場

エントリー費 S-VIP席=1万5000円 / VIP席=1万3000円 / 一般席=8000円(当日9000円)

入場料 1人1000円(一般・同乗者)

神戸総合運動公園の駐車場にて行われる記念すべき第1回目のF.S.P杯~Free Style Project~!!

Free Style Project事務局 ☎090-6050-7899(大西)

3/27(日) **茨城県**

SEA SIDE Carニバル Vol.1

開催場所 茨城県鉾田市 市営駐車場南側

エントリー費 SV席=1万5000円 / S席=1万2000円 / 一般席=6000円(当日7000円)

入場料 1人1000円(一般・同乗者)

大竹海岸餃子・常総地区水害 復興支援イベントでもあるSEA SIDE Carニバル Vol.1! みんなで盛り上げよう!

問:SEA SIDE Carニバル企画部 ☎090-4459-4881(高橋) northernlights.Ltd.1224@gmail.com

3/27(日) **滋賀県**

第4回 V1グランプリ

開催場所 滋賀県高島市 国境高原スノーパーク

エントリー費 SS席=1万6000円 / SA席=1万4000円 / SB席=1万3000円 / S席=1万2000円 / 一般席=7000円(当日8000円)

入場料 1人1000円(一般・同乗者)※中学生以下無料 / 駐車料1000円(1台)

Kカーやセダン、ワゴン、アメ車などオールジャンルのグランプリ。車種別賞は事前エントリーの台数により増設予定。

問:V1 GP事務局(塩月) ☎090-6759-0001〒503-0812 岐阜県大垣市万石1-6-5

4/3(日) **山梨県**

第4回 LOW FORM杯

開催場所 山梨県南都留郡 山中湖交流プラザきらら

エントリー費 S-VIP席=1万6000円 / VIP席=1万4000円 / 一般席=7000円(当日=8000円) / マスターシート=1万5000円(過去に全国のイベントで総合受賞した方のみ)

入場料 1人1000円(一般) / 1人2000円(同乗者・見学者)・駐車場

ドレスアップコンテストあり、サウンドコンテスト、音圧測定/バルありなど、オールジャンルのイベント。

問:LOW FORM ☎090-2758-7441(白井)

4/10(日) **山梨県**

第19回 春のドレミ♪

開催場所 山梨県南都留郡 富士スバルランドドギーパーク

エントリー費 ロイヤルシート(最前列/2列目)=1万5000円 / 3列目以降事前エントリー=7000円

入場料 1人1000円(一般) / 1人1500円(同乗者・見学者)

内外装、オーディオなどのコンテストから、のど自慢やビンゴゲームなど盛りだくさんのイベントだ!

問:エルティード ☎042-313-4123

4/10(日) **岡山県**

**2016FUKUYAMA
DRESS UP CAR FESTIVAL**

開催場所 岡山県笠岡市 笠岡ふれあい空港

エントリー費 5000円(1台) / ダブルエントリーは8000円(1台)

入場料 1人1000円(同乗者・見学者) / 駐車場代1000円

笠岡ふれあい空港にて行われるドレスアップカーと外向きオーディオのコンテストイベント!

問:広島オートサウンドネットワーク ☎084-943-0392

4/24(日) **滋賀県**

第50回 D・S・U杯/第13回東西王座予選 (K-CAR)

開催場所 滋賀県高島市 国境高原スノーパーク

エントリー費 SS席=1万6000円 / SA席=1万4000円 / SB席=1万3000円 / S席=1万2000円 / S2席=1万円 / 一般席=7000円(当日8000円)

入場料 1人1000円(同乗者・見学者)※中学生以下無料 / 駐車場代1000円

記念すべき50回を迎えるD・S・U杯。予定台数に不次第締め切られてしまうので、申し込みを急げ!

問: D・S・U 執行部 ☎0584-81-5436 / ☎090-3588-2036
〒503-0893 岐阜県大垣市藤江町2-185

5/1(日) **兵庫県**

Find Rich Car Show Vol.10

開催場所 兵庫県豊岡市 兵庫県立 但馬ドーム

エントリー 締め切り

2/1~4/17

エントリー費 S-VIP席=2万円 / VIP席=1万5000円 / 準VIP席=1万円 / 一般席=8000円(当日エントリー無し)

入場料 1人1000円(同乗者・見学者)午前中ビンゴカード付き

アルティメイト(究極)、フル(究極1歩手前)、ストリート(これから究極を目指す)の3クラス(自己ポイント申告)に分けて行われるカスタムイベント!

問:ファインド Find Rich Car Show事務局 ☎0795-32-1689 http://findrich.net

**EVENT
CALENDAR**

みんなで
参加だ!!

全国各地で開催されるドレコンはこのイベントカレンダーで一発検索! トロフィー目指してエントリーするもよし♪ 交流を求めて参加するもよし♪ このイベントカレンダーをチェックしてイベントへ足を運んでみよう♪

2/6(土) **栃木県**

第2回 激アツ!!! 軽トラ祭り in 日光逆走祭り

開催場所 栃木県宇都宮市 日光サーキット場内

エントリー費 3000円 / グリッドクラス走行+1万円

※サーキット走行、同乗走行希望の場合は別途参加費。

希望すればサーキット走行も可能な軽トラユーザーのための楽しい激アツイベント!!! (別途料金)

問:AUTO GARAGE RED K ☎04-7121-3266(浅川)

3/6(日) **福岡県**

**ドレスアップ PARTY 2016
九州王座決定戦予選会 1st. 春の陣**

開催場所 福岡県福岡市 恋の浦ガーデン

エントリー費 S席=1万2000円(ドライバー含む)先着限定30台 / VIP席=1万円(ドライバー含む)先着限定60台 / 一般席=6000円(当日=7000円)(ドライバー含む)160台

入場料 1人1000円(一般・同乗者)※小人無料

全体総合トロフィは2m10cmの超特大サイズ!!をはじめ、たくさん賞を用意したご機嫌なイベント。

問:PARTY事業部 ☎090-9499-7772(井上)

3/6(日) **兵庫県**

第8回 ニュージェネ杯

開催場所 兵庫県三木市 三木総合防災公園

エントリー費 Aブロック=1万3000円 / Bブロック=1万2000円 / WIDE ZONE=1万2000円 / Cブロック=1万1000円 / Dブロック=1万円 / E&Fブロック=8000円 / 事前一般=6000円(当日=7000円)

なんと8回目を迎える「ニュージェネ杯」。もちろんオールジャンルで、益々パワーアップしての開催だ。

※台数制限262台

問:N.G.C事務局 ☎090-4567-0050 http://newgenera.wix.com/event

3/20(日) **静岡県**

EXCITE KING VOL.7

開催場所 静岡県駿東郡 富士スピードウェイ

エントリー費 SS席=1万3000円 / SV席=1万2000円 / VIP席=1万円 / 一般席=5000円(当日=6000円) / バイク(原付・ビッグスクーターのみ)=3000円

7回目となるEXCITE KINGももちろん富士スピードウェイにて開催。オールジャンルで楽しめるイベント。

問:EXCITE KING事務局(11:00~22:00)
☎080-4838-1208(一般席) / ☎090-9198-8237(SS/SV/VIP席)

3/20(日) **栃木県**

**第17回 Dress up CAR
コンテスト in 栃木**

開催場所 栃木県宇都宮市 道の駅うつのみや るまんちっく村 第3駐車場

エントリー費 S-VIP席=1万5000円(30台) / VIP席=1万円(限定80台) / 一般席=6000円

入場料 1人1000円(一般・同乗者)

参加台数500台のドレスアップコンテスト。トロフィ総数150本、抽選会などのイベントも用意されているぞ。

問:club stylish wagon ☎090-6650-0119(瀬内) / ☎080-4631-0320(久保田) ※17:00~22:00

情報新コンプレックス

気になる最新トピックスを先取り!

丸目のセロにも上級グレード追加!

コペンセロS

ローブ、エクスプレイに設定される上級グレード“S”が第3のコペン、セロにも設定された。セロをベースに専用設計のビルシュタインショックを採用したことでフラットな乗り心地と操縦安定性を獲得。インテリアではスエード調生地のレカロ、革巻きのモモステアリングとスポーツプレミアムブランドのアイテムを盛り込み高級感あふれる空間を構築している。またメーカーオプションでレッドインテリアパックを用意。こちらはレッドのレカロシートを専用設定とした特別な一台だ。



コペンセロS 205万2000円～207万3600円

問:ダイハツ工業お客様相談室 ☎0800-500-0182 <http://www.daihatsu.co.jp>

カロマット生誕35周年を記念!!

35周年記念プロジェクト



最高級オーダーメイドフロアマットとして知られる“カロ”が35周年を記念したキャンペーンを展開中だ。人気の2アイテム、フラクシーは記念カラー“ブリリアントホワイト”が追加、クロネはツイードボルドーがマイナーチェンジされた。また期間中にカロマットを購入すると、記念デザインのエンブレムを取り付けてくれる。

問:KAROお客様相談室 ☎03-3374-1955 <http://www.karo1980.jp>
期間●7月31日(日)まで

圧倒的在庫で欲しい一台が見つかる

ネクステージ仙台泉ミニバン&軽自動車専門店



新車&中古車販売で知られるネクステージの新店舗が仙台市にオープン。それもミニバン&Kカーの専門店というから要チェックだ。厳しい社内基準をクリアした高品質な未使用車、中古を常時200台近く展示。欲しいクルマの在庫がない場合でもネクステージのネットワークを使って見つけてくれる。国道4号線沿いというアクセスの良さもポイント。

住所●宮城県仙台市泉区松森太子堂18番1
営業時間●10:00～19:00 定休日●水曜日

問:ネクステージ仙台泉ミニバン&軽自動車専門店 ☎022-375-4907 / 022-375-4906 <http://nextagestore.com>

全国140店舗達成!!

アストロプロダクツの新店がオープン

所有欲を満たす海外ブランド品や高品質でお求めやすい価格のオリジナルブランドまで幅広い工具を取り扱うアストロプロダクツ。その新店舗が昨年12月、全国各地に4店舗オープンした。全

店共通のセールだけでなく、毎月各店舗毎にお買い得な商品が登場するので狙っているアイテムがある人はホームページをこまめにチェックしてみよう。

釧路店

住所●北海道釧路郡釧路町桂1-22
☎0154-64-7331
営業時間●10:00～20:00
定休日●年中無休 ※年末年始除く

熊本南店

住所●熊本県熊本市南区富合町大字清藤45-2
☎096-227-6601
営業時間●10:00～20:00
定休日●年中無休 ※年末年始除く

広島マリーナホップ店

住所●広島県広島市 西区観音新町4-14-35
広島マリーナホップ内
☎082-275-4700
営業時間●10:00～20:00
定休日●年中無休 ※モール休業日除く

岡山東店

住所●岡山県岡山市東区東平島23-3
☎086-238-9020
営業時間●10:00～20:00
定休日●年中無休 ※年末年始除く

問:アストロプロダクツ <http://www.astro-p.co.jp>

“すべらない”特製お守りをプレゼント!

BLIZZAK ガンバレ!受験生!! 応援キャンペーン

ブリジストンでは、受験生を応援するキャンペーンを実施中。特設サイトからクイズに答えて応募すると合計2000名にスタッドレスタイヤ・ブリザックに使われる氷上でもすべりにくい「アクティブ発泡ゴム」入りのお守りを受験生にプレゼントしている。現在の応募期間は1月29日(金) 24:00まで、次回の申し込み期間は2月1日(月) 10:00から。

申し込み期間●1月29日(金) 24:00まで



問:BLIZZAK ガンバレ!受験生!! 応援キャンペーン事務局 ☎03-5550-3377 <https://blizzak-juken.jp>

人気テレビ番組とのタイアップイベント

モーターゲームスin西宮店

カーポートマルゼン西宮店では、3月5日(土)と6日(日)に人気テレビ番組「モーターゲームス」とのタイアップイベントを実施。当日は番組収録のほか、レイズやワークといった人気ブランドが出演し、イベント限定価格でお買い物ができる。また3月12日(土)と13日(日)は枚方店にてアルヴェルイベントが、26日(土)と27日(日)は東大阪店にてハイエースイベントがおこなわれる予定。



開催日●3月5日(土)6日(日)
開催場所●カーポートマルゼン西宮店(兵庫県西宮市)

問:カーポートマルゼン西宮店 ☎0120-925-717
http://www.maluzen.com

よりパワーアップしたエーモンに注目だ!

エーモンがロゴマークを一新

amon
[é:mon]

電装系DIYアイテムをはじめクルマいじりを楽しむアイテムを手がけるエーモンが2016年よりコーポレートロゴマークを変更した。新しいロゴは「m」「o」が「ユニークな発想とアイデアの閃き」と「太陽が昇る様子」を表現しているそう。今後は既存シリーズのパワーアップはもちろん、クルマを使って働く人々をサポートする新ブランドがスタート。どんなアイテムが登場するか、期待して待とう。

問:エーモン ☎0790-22-6262 http://www.amon.co.jp

キズ補修について教えてくれる

「99工房」LINE@アカウントを開発

ソフト99は、人気のスマホアプリ「LINE」にて自動車DIY補修ブランド「99工房」公式アカウントを開発。99工房補修キャラクターのズギちゃんに質問に応じて番号を入力すると、愛車のキズ補修に対する悩みを解決するアドバイスしてくれるという。LINEアプリのメニュー「友だち追加」の「ID検索」より、「@99kobo-soft99」を検索し、友だち追加しよう。



QRからでもOK!



問:ソフト99コーポレーション ☎06-6942-2851
http://www.soft99.co.jp

快適なカーライフをサポート

どらあぶver. 1.5

ソフト99がリリースした「どらあぶ」は給油やオイル交換時に必要な情報を記録することで燃費を管理したり、次回のメンテナンス実施日をお知らせしてくれると、とにかく便利なアプリ。今回、ver. 1.5にアップデートされ「燃費管理機能」に給油金額とリセット機能を追加されるなど利便性をさらに向上。iOSとAndroidのどちらにも対応する。

対応●iOS 7系,8系,9系、Android OS 4系のスマートフォン
価格●無料

問:ソフト99コーポレーション ☎06-6942-2851
http://www.soft99.co.jp/app/drapp

カーメンテナンス入力

レクサス HS250h

洗車
次回: 2015年04月01日

お車のメンテナンスを記録することができます。メンテナンスを行った日付を登録することでポイントが取得できます。メンテナンス情報を入力するには、+ボタンを押してください。

2015年03月27日 インジニアリ交換

2015年03月25日 ミッションオイル交換

2015年03月17日 洗車

2015年03月16日 インジニアリ交換

2015年03月11日 タイヤ空気圧確認

2015年02月28日 洗車

これまでになかった色が決め手!

「オートカラーアワード2015-2016」のグランプリが決定

毎年、日本流行色協会が主催するその年に販売された自動車を対象としたカラーデザインコンテスト「オートカラーアワード」。昨年のハスラーに続き、今年もKカーのラバンがグランプリを受賞した。「心ときめくカラーコード」というデザイナーの思いがしっかりと世界観を構築していること。自動車にこれまで採用されにくかった色域に果敢に挑戦し、実現したこと。生活者のライフスタイルが見えるカラーデザインであること。この3点が受賞の理由。このほか特別賞にはCX-3が選ばれている。



アルトラバン

エクステリア:フレンチミント3トーン/インテリア:グレージュ内装 X キャメルシートファブリック

エクステリア:コフレピンク3トーン/インテリア:グレージュ内装 X ベージュシートファブリック

エクステリア:フォーンベージュ3トーン/インテリア:グレージュ内装 X ブラウンシートファブリック

問:JAFCA ☎03-5275-1016 http://www.jafca.org



CX-3

エクステリア:セラミックメタリック/インテリア:ピュアホワイト

イベント限定商品をホームページで販売

バタフライシステム ネット限定イベント



バタフライシステムは現在社屋移転の準備中で春のカーショーには出展しない。そこで、大阪オートメッセ、名古屋オートトレンドの会期中にキャンペーンを実施する。期間中、例年のイベント時のようにWEB上でイベント限定商品の販売や通常商品のイベント特価による販売をおこなうというもの。今までイベントに遊びにいけないかったという人も必見。

期間●2月12日(金)・13日(土)・14日(日)・27日(土)・28日(日)

問:バタフライシステム ☎092-943-1888 http://www.butterfly-system.com

2016年も翔プロが盛り上げる!

オフ会だヨ!軽トラ大集合
翔プロver.vol.2&Show的
K-carFestival開催決定!

昨年春に開催され大盛況だった翔プロデュース主催の2大イベント、オフ会だヨ!軽トラ大集合翔プロverとShow的K-carFestivalの開催が今年も決定した。軽トラ乗りもそのほかのKカーオーナーも楽しめるイベントで場所は三木総合防災公園もしくは明石海峡公園を舞台に5月下旬の開催を予定しているとのこと。続報を待て。

開催日●5月下旬予定
開催場所●三木総合防災公園(兵庫県三木市)または明石海峡公園(兵庫県淡路市)

問:翔プロデュース ☎079-232-7877 http://sho-produce.com



NEXT ISSUE!

Kカーズスペシャル2016年4月号は 2月26日発売です



EDITOR'S ROOM | 編集後記 |



今月の①コマ

スタワゴ×フジブースご来場
ありがとうございます♪♪

年あけ一発目のビッグイベント、東京オートサロン2016。Kスベは今年も北館のスタワゴ×フジブースにユーザーカーを展示していました。そして本当にたくさんの方に足を運んでいただきました♪ありがとうございます!!! 今年もKカーズスペシャルをよろしくお願いいたします♪

最近気になっているクルマ。HA36S アルトワークス、NDロードスター、86 GRMN、BMW M2……って、後ろふたつなんて絶対買えない(笑) というわけで、目下、おいらの興味は、いつプレステ4を買うかということ。去年、値段が下がったばかりだし買い時だと思うけど「ペルソナ5」か「FF VII REMAKE」が出るタイミングでいいかな〜と思う自分もいる。そうすると、先にnasneをゲットするという作戦もありかな〜。(ある太郎@最近、ブツ欲がヤバイ笑)

オートサロン、終わりましたね〜〜〜たくさんの面白いクルマが発表されていてとても楽しいイベントになりました。来月号はネタがたくさんあって、何から紹介しようか考えちゃうほどです。みなさんは、足を運んだのかな? もし見逃したのなら、今月号の付録をぜひご参考に! 来月号もがんばります! (オオオ)

今年の東京オートサロンは3日間、皆勤賞でした。日曜日に行ったのは初めてでしたが、もう電車で降りた所から人だかりなのはビックリしました。今年の入場者は過去最高の32万人だそうです。まだまだクルマ好きはいっぱいいるのだな〜。少し嬉しかったです(郡)

あけましておめでとうございます。今年もKスベはオートサロン速報小冊子からスタートです。今月は15日に取材したものを18日未明に印刷屋さんに渡すという、殺人的スケジュールでした。でも案外どうにか頑張ったものです(僕はとくに活躍していませんが)。ライター、カメラマン、デザイナー、そして取材にご協力いただいたみなさま本当にありがとうございます。今年も色々ご迷惑をお掛けすると思いますが、何卒よろしくお願いいたします。(かわぐち)

本誌で掲載した商品の価格・仕様・発売元等は編集部調べです(2015年12月現在)。商品を購入される際には、必ずメーカーやショップで価格や仕様、返品方法等についてご確認の上、お買い求め下さい。購入後のトラブルについて、出版元・編集部は一切関知しません。また、責任も負いかねますのでご了承下さい。

K-CAR special TEAM

Editorial Staff

Chief Editor 郡司智治
Deputy Chief Editor 山口 功
Editors 大森和幸
川口祐貴

Contributors 小泉聡志
清水 勤
てらだあつこ

Writers 岩田一成
岩田直人
内山智子
酒井賢次
杉山雄二
高橋陽介
堀口 訓

Photographers 秋元栄二郎
稲田浩章
井上 誠
ガ ン ツ
木下 誠
木村博道
駒井智子
佐藤 武
高木博史
高原義卓
西野キヨシ
藤井 修
横村太郎
渡部祥勝

Illustrators アキワシヤ
風間康志
吉田たつちか

Art Director 飛倉啓司(Vincent)
Designers 高橋美里(Vincent)
近藤 智(Vincent)
長野 誠(Vincent)
CONCENT LIMITED

Advertising Division 中村 実(三栄書房)

Producer 吉岡範幸(三栄書房)

Publisher

発行人 鈴木賢志
編集人 赤嶺文昭
発行 株式会社三栄書房
〒160-8461 東京都新宿区新宿6-27-30
新宿イーストサイドスクエア 7F
販売部 ☎03-6897-4611
FAX03-6897-4651
受注センター ☎048-988-6011
FAX048-988-7651
広告部 ☎03-6897-4622
編集 有限会社ダズ
Kカーズスペシャル編集部
〒112-0004
東京都文京区後楽2-23-7 宮田ビル3F
☎03-5842-6954
FAX03-5842-3912

Kカードレスアップ応援マガジン

KCAR SPECIAL

※本誌掲載の記事、写真・図版の一部または全体の無断転載・複写を禁じます。

AD CONTENTS | 広告索引 |

【ア】	
ウェッズ	4-5
エーモン工業	表4
S-LINE	10
エムズスピード	12
【カ】	
カーポートマルゼン	184-185
K-BREAK	表2見開き
ごんた屋	70
【サ】	
サンエイ・ウエルク	182-183
ズーム	61

スズキアリーナ橋本	70
【タ】	
TYS works	70
トピー実業	40
トレジャーワン・カンパニー	8-9
【ナ】	
日本自動車用品・部品アフターマーケット振興会JAWA事業部	118
ノア	96
【ハ】	
パタフライシステム	92
BADIX	6-7、表3見開き
ふいるむ屋さん	155

フジコーポレーション	180-181
フレダーマウス	46
プレスト	60、62
ボルトワールド	11
【マ】	
マークマスタース	136
ミスタータイヤマン那須	70
326POWER	133
【ラ】	
レアマイスター	94-95
【ワ】	
ワーク	178-179

The Masterpiece.

最高傑作

ワゴンR MJ21S AZ WAGON × 上杉 明 AKIRA UESUGI

寝ても覚めても たぎ 滾る妄想力



自分ひとりでエアロの造形を決める
それは思っている以上に大変で時間のかかる作業
そこで勝負を決めるのは“イメージする力”
妄想することを楽しいと思えたら
きっともう半分は成功を約束されている

PHOTO ● 高原義卓 TEXT ● 小泉聡志
製作ショップ ● IBS ☎0826-52-3911

AZ WAGON KRAUGESUGI

The Masterpiece.

人類の進歩は妄想が促した、
というのは少し大きく出過ぎか
もしれない。が、このAZワゴン
に限れば、妄想によって進化し
てきたのは間違いない。何しろ
本人がそう言うのだから。
実はフロント、そしてリアのワ
ンオフエアロは上杉さん自身が
デザインしたという。
「元々クルマの写真を見るのは好
きだったんですけど、エアロを作
るためにもめっちゃ見ましたよ、
色んなクルマを。もう画像フォ
ルダがパンパンになるぐらい集
めて、その中から「これならイ
ケそうだ」って選んだのがフロ
ントのモチーフになったファルコン
F7だったんです」。
と、ここで目覚ましい活躍した
のが件の「妄想力」。
「ああしてみようか、こうしてみ
ようか、でもこれをやるとこん
な風になるかな。なんて、寝て
も覚めても妄想しまくりですよ
(笑)。でも、そうやっているとき
が一番楽しい時なんです。それ
に、考えて考えて考え尽くして、

あらゆるクルマの画像を収集 それがデザインの礎になる

その形ができたなら、凄じ嬉しい
じゃないですか。だから、妄想
力がある方がクルマ作りは絶対
に楽しいと思いますよ(笑)。
ただ、かつて一度その妄想力が
暴走したことも。リアのデザイ
ンは当初、もつと別の形を考え
ていたという。ところがそれが
コンセプトカー顔負けの複雑奇
抜な造形。「さすがにコレを作
るのは厳しい」と、現在のM3
モチーフに変わったという。
だが、製作ショップにアドバイ
スを聞かなかったのだろうか？
「自分のクルマなんだから、自分
で考えた方が絶対に良いと思う
んです。うまくいったこともう
まういかなかったこともこれか
ら先の糧になるはず。だから敢
えて一切口出ししなかったんです」
とは車両を製作した相庭さん。
「でもね、相庭さんと会話して
いると学ぶことがいっぱい、ど
んどん妄想が開花していくん
ですよ」と上杉さん。
「どうやら妄想家には日常会
話すら素材になるようだ(笑)」

MJ21S A



4 326パワーの新作ホイール“ヤバキング”を誰よりも早く装着。ディスクカラーは内装色に合わせてグリーンを選んだ。「元々5本スポークが好きだし、凄くカッコいいと思います」。

5 キャンバー角は「あまり付けすぎると好きじゃない」と前後約6度。リアのバネは選択肢の広い直巻きに変更。

1 鋭く尖ったロングナット。ハードなスタンス系を思わせるアイテム選び。

2 プレーキッドはIBSのオリジナルアイテム。「製品化されて第一号の装着車両なんですよ」。

3 「リムを拭く時にすごいチクチクするんです(笑)」というトゲトゲのピアスボルト。「でも、一般的なピアスボルトだけよりもこの方が絶対おもしろい。だからとても気に入ってるんです」。

誰よりも早く履いた326ホイール 「1番」がドレスアップのアイデンティティ



1 リアバンパーのモチーフはBMW M3。直線的な造形のデフューザーがレーシーな雰囲気を醸し出す。
2 サイドにはエヌデザインのアンダーフラップ。フロントリップの黒いラインをそのまま後ろに流すようなイメージ。
3 「細い柱の造形が一番大変だった」とは製作者の相庭さん。オレンジ×黒にシルバーの差し色を追加して、少しだけ華やかさを演出。

SPECIFICATIONS

WHEEL 326パワー・ヤバキングスポーク(17×F8J+8、R8J-4)
TIRE ハンコック(165/40-17)
AERO PARTS F/R=ブローデザイン・モードバルファムファントム雅夢加工、S=エヌデザイン
EXTERIOR オーバーフェンダー=ワンオフ、ボンネット=ファブレス、ボディカラー=オレンジ(全塗装)
INTERIOR ステアリング=スバルコ、シート=レカロ張り替え、リアシート=一体化&張り替え、インパネ&ドア内張り&天井=張り替え、フロアマット=ゼロ
SUSPENSION 車高調=IBS、リアアクスル=ワンオフ
BRAKE ブレーキキット=IBS
MUFFLER ワンオフ
AUDIO ヘッドユニット=イクリプス、スピーカー=カロツェリア



4 天井にはサンルーフ。これはショップ「IBS」に通うオーナーには定番のメニュー。凹凸のあるルーフに自然に収めているのが見事。
5 ワンオフの真円4本出しマフラー。リアバンパーのスポーティな印象を高めるにはピッタリの組み合わせ。
6 ファブレスのボンネットでパッドフェイス化。助手席のみ、トリコロールのラインを入れてアクセントに。ちなみに赤×紺×氷色の3色はBMW Mのイメージカラー。

上杉さんが本格的にドレスアップを始めたのは、このAZワゴンから。勤めた会社に屋根切りAZワゴンを駆る松川さんみたいな縁の始まり。

「当時はまだ屋根を切っただけじゃなかったんですけど、駐車場に止めている姿を見て衝撃を受けたんです。『ヤバイクルマがある』って。そこからクルマのことをたくさん教えてもらって、今も通うIBSさんも紹介してもらって。ライバルが多いこの車種でイジって行くのは大変だぞって言われた時に、『僕はそこで勝ちたいです』って答えたのは今でも覚えてますね」。

最初はモールドバルファムエアロを無加工で巻いてベタ車高に。そのタイミングで雑誌の企画ページに登場したのが第二の転機。「そこからはもうテンションがダダ上がりですよ、ちよっと調子に乗ってたぐらい(笑)」。

一気にワンオフエアロを製作に着手し、ボディは黒からBMWの純正色をベースにしたオリジナルカラーにオールペン。「おも

ちゃつぽくならないように」と選

んだのは鮮やかなオレンジ。さらに、オーバーフェンダー加工を施してインパクト抜群の足まわりに。約5センチほど膨らませて、パツパツのツライチにホイールをセット。車高調でそのまま走る足を作り上げている。

「二度だけ相庭さんが『オーバーフェンダーをやってみようかな』と漏らしたことあったんですよ。これはチャンスだって『やりましょう』って言い続けたんです」。

なお、最新仕様が326パワールのホイールやバキング。これはKカーでは初のフルセット装着車両。実はこの1番が上杉さんにとっては大事なこと。

「シヨップオリジナルの車高調もブレイキキットも装着車両としては1番。フェンダーもIBSにとっては初めての製作です。何でも1番が良いんですよ。1番早く付けて、1番カッコよくしたい。しかもそれを自慢したいんです。でも、それってクルマだけなんですよね。クルマ以外は逆に譲る方なんですよ」。



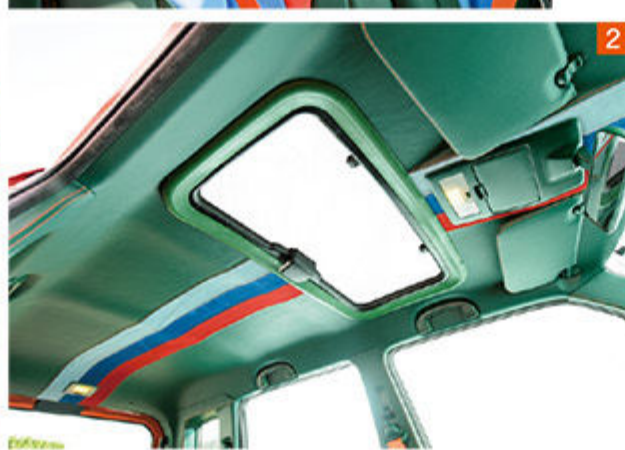


濃いグリーンをベースに3本ライン 不安を乗り越えての個性派仕様

The Masterpiece. MJ21S AZ WAGON 平成16年式

内装は濃いグリーンがベース。ただ外装で発揮された妄想力はちよつとだけトーンダウン。「この色の内装ってあんまりないじゃないですか。だから妄想しにくくて。3本のラインなんかはやり過ぎかな、なんて不安もあったんですけどどうしてもやってみたかったです。できあがってみたら意外に合ってるし、良いかもって思いましたね」。

実はこの内装は外装と違ってI・B・S相庭さんのアイデアも多
く取り入れられている仕様。シートデザインだけでなく、2列目のヘッドレストもそう。「あれは僕では思いつかないですよ。いつも話を聞いているだけで『凄いなあ』って思うんです」。多くの人の世話話になって完成したAZワゴン。その感謝をぜひ伝えたいという上杉さん。中でも「I・B・Sがなければ絶対にうまくはいかなかった」と。「僕にとつて相庭さんは師匠と言っても良い存在なんです」。



1 インテリアの中でも一番の自慢点がリアのヘッドレスト。元々分離する構造を一体化した上で張り替え。さりげなく違いを出している。2 シートのラインと対応させて、天井にも3本のラインをアレンジ。統一感のある内装に仕上げる工夫。3 バケットに乗せ換え、さらに張り替えも施したシート。座面と背もたれをトリコロールがつなぐデザインはBMWのM4を参考にしたという。



4 ダッシュボードの上側はレザーで張り替え。下側は塗装仕上げを採用。「予算の面もあったんですが、結果的には良かったかも。意外に馴染んでわかりにくいんですよ。」5 「カートみたいな雰囲気を出したかった」というステアリングはスバルコ製。6 足元を彩るフロアマット。ベースカラーを濃いグリーンにし、縁取りを外装と合わせたオレンジに。インテリアとエクステリアのバランスを取っている。7 広い面はレザーで張り替え。ドアハンドルの周囲の純正モケット部分のみ薄いグリーンのスエード生地を使い、同系色でも変化を出している。



OWNER
上杉 明さん 広島県

このAZワゴンは2台目。1台目は乗り始めて2週間で廃車に!? さらに、セカンドカーも同じ車種という驚異のAZマニアな上杉さん。





EVENT GIRLS COLLECTION

イベントガールズコレクション
Kカー大好き女子が大集合

TEXT●岩田直人

ショップで
塗装のやり方を
勉強中です



リアゲートもスモーキングした
上でダイヤブロック塗装。エ
アロの特徴的なラインを赤で
塗り、メリハリを強調。



JB1 ライフ
平成13年式

RIE

長崎県 理恵さん

01



天井は張り替えではなく、やはり塗装でキメ。同じく自作ダイヤブロックで統一感を高めた。



ダッシュボードのダイヤブロックは仕上がりに納得が行かず、何と3回もやり直したのだとか。



ラインストーンでデコったメーターに、女の子らしさを感じる。針までペイントと芸が細かい。



キャンディレッドで塗装されたドア内張り。ダイヤブロックの凹みを赤で塗装したのが決め手。

赤 ×白の2色でインパクトを狙った理恵さんのライフ。赤は透明感のあるキャンディレッドを選び、ダイヤブロックやグラインダータトゥーといったカスタムペイントでやっている感をアピールする。しかもダイヤブロックは自分で仕上げたというからビックリ。エアロはアグレッシブなベビーキャッツでまとめ、フォグは3連プロジェクターを投入。加工したヘッドライトとの相性もバツグンだ。内装も赤×白でまとめ、ダッシュやドア内張りに自作でダイヤブロック塗装を施す。次はエアロ加工やガルウイングに挑戦したいとか。



触らなくても立体感が伝わる、ボンネットのダイヤブロック。脇にはヒョウ柄のエアブラシ。



ライトに移植したプロジェクターの化粧カバーも、艶やかな赤で塗装してイメージチェンジ。

SPECIFICATION

WHEEL●レイズ・ベルサス(15×6.5J+38)
TIRE●ディトン(165/50-16) AERO
PARTS●F/S/R=ベビーキャッツver.2
EXTERIOR●フェンダー=ワンオフ、ヘッド
ライト&テールランプ=ワンオフ加工 INTER
OR●シートカバー=クラツィオ、インパネ=
紅白ダイヤブロック塗装 SUSPENSION
●車高調=RS-R、リアアクスル=純正加工
MUFFLER●ベビーキャッツ AUDIO●ア
ンプ&ウーファー=ロックフォード MAKING
SHOP●カーラインSYO-YA

妖艶なペイントマジックに注目!



愛車のために
仕事掛け持ちで
頑張ってます

L175S ムーヴカスタム
平成20年式

MIYUKI

熊本県 みゆきさん

02

こだわりの満載のエアロ加工

み ゆきさんのムーヴカスタムは、細部まで妥協なく加工されたエアロメイクが最大の武器。ケイブレイクのフロントは両脇にダクトを刻み、プロテクターモールを埋めてスッキリ。サイドはKLCを短縮加工して高さを揃えた。そしてオ

ーナーが特に気に入っているリアは、ケイブレイクをヴァルドのBMW風に加工。かなり大胆なスタイルへと進化を遂げた。ボディカラーとの相性良いキャンディレッド、そしてシルバーでの塗り分けも効果バッチリ。



ケイブレイク愛を感じる、リアのエンボスロゴ。フロントにもナンバーの上に入っている。



インナーをレッドで塗装したライトは自作。ハイ側にはバルブプロジェクターも仕込む。

SPECIFICATION

WHEEL ● クリムソン・クラブリニア L566(17×F5.5J+42, R6.5J+38) **TIRE** ● ルッチーニ(165/35-17) **AERO PARTS** ● F/R=ケイブレイク加工、S=KLC加工 **EXTERIOR** ● ヘッドライト=自作、テールレンズ=ワンオフ **INTERIOR** ● シートカバー=ディオーム **SUSPENSION** ● 車高調=RS-R、リアアクスル=ジェーライン **MUFFLER** ● ワンオフ4本出し **AUDIO** ● アンプ&ウーファー=ロックフォード **MAKING SHOP** ● リトルウィング、オートランド



超立体的なディフューザーにより、躍動感が大幅にアップ。中央にはバックフォグを投入。



ラゲッジはオーディオスペースとしてアレンジ。大きなロックフォードウーファーが圧巻。

ダクトメイクで男らしく！



フロントバンパーの脇にもダクトを刻む。シャープなフィンのアクセントが効いている。



モモ×ボークオーディオのスピーカー&ウーファーも、ビビッドなピンクで印象を一新。

ガ ツツリと深く落とし込まれたボンネットをはじめ、各部にダクトを刻んでたくましいスタイルに仕上げた理佐さんのムーヴカスタム。エアロはドッシリ感に満ちた黒死蝶を加工し、リアはケイブレイクのアクア用とニコイチ。ライトのインナーはレインボーラメで塗装し、個性豊かな表情を実現。一方内装は、女の子らしくピンクをメインカラーに採用。塗装や張り替えで完成度を高めた。「イベントに向けてリメイクに入ります!」とのこと。



ピラーと天井はレザーで張り替え。ピンクのラインはふくらとしたダイヤキルト仕上げ。

L175S ムーヴカスタム
平成21年式

RISA

福岡県 理佐さん

03

父親の影響で
クルマが好きに
なりました



クレンツェエルアボラの奥に見えるのは、黄金のキャリパーが際立つイデアルのブレーキ。



SPECIFICATION

WHEEL ● クレンツェ・エルアボラ(17×6J) **TIRE** ● ルッチーニ(165/35-17) **AERO PARTS** ● F/S=黒死蝶加工、R=黒死蝶+ケイブレイクニコイチ **EXTERIOR** ● ヘッドライト=7色ラメフレック&インナーブラック、テールランプ=LED加工 **INTERIOR** ● ステアリング=モモ、シートカバー=ケイブレイク **SUSPENSION** ● 車高調=RS-R/バネ交換、リアアクスル=ジェーライン **MUFFLER** ● 黒死蝶+LS460マフラーカッター **BRAKE** ● イデアル **MAKING SHOP** ● KCスタイル



いろんな使い方ができる**注目**の軽自動車だ!!

毎日
が

エブリイDay!!

遊ぶ、働く、かっこよく!
エブリイの魅力を120%楽しむコーナー!

新型DA17系登場からそろそろ1年と、エブリイの魅力を底上げする専用パーツが続々とデビューするなど、活況を呈すエブリイ。そんなオイシイベース車を、もっと楽しく格好良く、そして実用的にアレンジするパーツやノウハウ、ユーザーの生声をお届け!



快適車中泊や休憩に便利な
17専用のお手軽ベッド!

ユーアイ
ビークル

UI-VEHICLE

問:ユーアイ ☎0120-190-200 <http://www.ui-vehicle.com>

SPECIFICATIONS

マルチウェイベッドマット 8万8000円(税別) ●対応:17ワゴン ●カラー:ブラック、タンベージュ

ニューラインアップ!
さらに座り心地を高めている!



SPECIFICATIONS

レザーシートカバー

●価格:2万4000円(税別)

●対応:17ワゴン

●カラー:ブラック、タンベージュ

シンプルなバンチングデザインを採用したレザーシートカバー。立体裁断によりフィット感抜群。タンベージュにはブラウンステッチを採用する。



奥行き最大1880mm、横幅最大1220mmという広大なフラットスペースを作り出す。セパレートタイプなので、片側シート、片側ベッドという仕様も可能だ。



リアシートが使用できるポジション時。シート背面にマットを収納できるのが賢いところ。リアシートを最後部までスライドしても、奥行き520mmを確保する。

ハイエース用の実用便利アイテムを数多くリリースするなど、箱車界でその名を知らぬ人はモグリといえるユービークル。その人気ブランドが提案する新作ベッドは、車中泊や休憩時にあると便利な、シンプルなベッドキットだ。17ワゴンの純正形状を隅々まで検証した結果生まれたそれは、後席を畳んだ際にできるデコボコを解消するだけでなく、ヘッドレストとエクステの併用で、最大長1880mm×最大幅1220mmをフラットにした状態で利用できるスクレモノ。使わないときは後席背面に折り畳み、荷室空間をしっかりと確保したうえで収納できるなど、至れり尽くせりな仕様となっている。

ライト

REIZ

問:エル・シー ☎0774-52-3331 <http://reiz.biz>



for
17ワゴン

ポジション点灯時

ウインカー点灯時



リバース点灯時



流れ式と点滅を付属のスイッチで簡単に切り替えできる。「均一の光」を表現するニューライトバーを使用。特殊素材と合わせ、非点灯時のライトバーカラーを選ぶのがポイント。

SPECIFICATION

オールLEDテールランプ 4万2984円
●装着カラー:レッドクリアレンズ

細部を見直しさらに進化を遂げた、 ライトバー搭載のLEDテール、誕生!!

純正交換テールのフルLED化はもちろん、先進的なLEDライトバーを精力的に仕掛けている。DA17用レンズが登壇だ。ワゴン、バンともにスタンバっており、ブレーキやバックなどの構成要素をすべてLEDに。ポジション連動で点灯する、均一に光るライトバーが、そこに組み込まれる仕組みだ。とくにワゴン用

は傑出しており、新開発のキューブブロックと呼ぶハウジングを採用。見た目をより立体的としつつ、LED素子が見えないように工夫するなど、見た目にこだわった。さらにワゴン用のウインカーは、点滅と流星の2つのモードを切り替えて楽しむ事が可能。レンズカラーはともに7色からと、ドレスアップ性の極めて高い新作となっている。



リバース点灯時



ポジション点灯時



ブレーキ点灯時



ウインカー点灯時



for
17バン

フル点灯時

ワゴン同様、「均一の光」を表現するライトバーを搭載。非点灯時にクリアバー、スモークバー、レッドバーなどから選ぶことができる。

SPECIFICATION

オールLEDテールランプ Ver.2 3万4560円 ●装着カラー:レッドレンズ/クローム

ディテールパーツで さりげなく上質に仕立てる!

鏡面仕上げにより、サイドビューの質感を高めるサイドドアガーニッシュ。貼り付けるだけでOKだ。1万2960円。



ブルーとホワイトから選べるイカリングに、透明のライトバーと高輝度LEDを内蔵。LEDイカリングパワーフォグランプ ver.2。2万3760円。



サイドのピラーに硬質感をプラスするステンレスピラーパネル。ドアガーニッシュと合わせたい。1万2960円。



フェイスを引き締めるフロントバンパーグリルカバーを装着。7452円。

エクステリアにもパーツをたっぷり用意。エアロは現在開発中とのことだが、LEDパーツやクロームパーツなどをポイントに装着することで、上質感をアップさせている。例えばフェイス。形状の違うワゴン&バンのグリルに装着する鏡面仕上げカバーにより顔つきが引き締まっている。その他、魅力的なアイテムが目白押しだ。

SPECIFICATION

ベッドキット
12万8000円(フルキット)/7万8000円(リアキット)
●対応:17ワゴン

※価格は税別

歴代のエブリイで様々な提案をおこなってきたハーテリーの新提案は、実用性大なベッドキット。4段階で高さを調整できる専用フレームを用い、専用マットを敷きベッド化するもので、大小の2つのマットを使い分ける「リアキット」と、リアキットにあわせ、さらに後席背面を前倒して使う「フルキット」の2つの選択肢を用意している。注目の「フルキット」時

では、前席後から荷室端までの最大長が1800mm、左右両端の最大幅が1210mmと、広大な空間をフラットの状態利用できる。高さ調整は専用のダイヤルをまわすだけで単純明快で、ベッド下を荷室としてももちろん利用可能。積載物の大きさに応じて、高さを調整して効率良く活用できるなど、1度使ったら手放せなくなる機能派だ。



フルキット



リアシート前スライド時

リアキットは前後2枚のマットで構成。リアシートを前にスライドした状態では、2枚を使用する。



リアシート後スライド時

リアシートを後ろにスライドさせたときは、リアキットの前側マットを取り外せばOK。どちらも対応するのがいい。

17ワゴンの使い勝手を損なわない
最長1800mmを誇るベッドキット!



ステアリングカバーやダッシュマットも、シートカバー同様のデザインを採用。ダッシュマットにはLEDバイピング仕様(8000円UP)も用意。



真鍮金具とベルト、市松模様のバンチングレザーを組み合わせたシートカバー。LEDバイピング仕様(6000円UP)も用意。

SPECIFICATION

シートカバー 6万5000円(LEDバイピング仕様 6000円UP)
ダッシュマット 1万5000円(LEDバイピング仕様 8000円UP)
フロアマット 2万4000円
ハンドルカバー 7000円
※上記はハーテリー&コー・シリーズ カラーは全5色
フロントテーブル 1万7800円
※すべて17エブリイ(ワゴン/バン)用(シートカバーはバンPC/PGAは不可)



専用設計したフロントテーブル。ジュースホルダーを3つ備え、使い勝手も高い。フルメッキモール オプションは1000円UP。



シートカバーなどとカラーを統一できるフロアマット。縁取りとのコントラストが、室内のボトムを彩ってくれる。



コンプリートカー

クルマ買うならまとめてお得に!!

マーク
マスターズ
バブリー
タイプR

MARK MASTERS

BUBRY TYPE-R

問:マークマスターズ ☎0532-39-8280
http://www.markmasters.jp



64Vで人気を博す、
あのエアロが17に!!

1 フロントバンパーは3D感に配慮した造形で、純正ののっぺり感を巧みに払拭できるスタイリング。中央ボトムの大開口形状、左右両端のダクトが疾走感も演出。2 サイドはシンプルでプレーンな印象。ボトムは巻き込み、メリハリある造形に。3 フロントはバンパーだがリアはハーフ形状。やわらかな面を基調としたシンプルでデザインで、上級感が漂ってくる。



味気ないバンを、一気に格上の存在にブラッシュアップする注目の新作エアロが、バブリーのタイプRキットだ。紹介するのは、先代64系でスマッシュヒットとなっている人気エアロのテイストを踏襲した17版。好評を博すダクトや上下グリルまわりのアレンジなど、純正の物足りなさをイッキに払拭するに余りある、貫禄のでき映えとなっている(フロントはワゴンにも対応)。このエアロはエアロだけの購入はもちろん、サテライトショップである愛知県のマークマスターズにて、コンプリートカーでの購入もできる。近県者だけでなく、全国納車ももちろん可能! 詳しい内容はウェブサイトを、またはお電話にてぜひ一度確認を。

通常価格	車両価格(PA ハイルーフ)	パーツ&工賃合計
115万3000円	93万円	22万300円
コンプリートカー価格		
105万8000円		
9万5000円お得!!		
コンプリート内容		
●バブリーエアロ3点セット(F/S/R) ●エアロ取付塗装一式 ●LEDフォグランプ ●フォグスイッチ		

豊富なオプション設定に注目



LEDパッケージ

10万8000円

ヘッドライトのH4バルブ、ポジション、ウインカーバルブやテールランプ、ハイマウントなどの外装パーツから内装のルームランプ、フットランプなど14点をLED化できるパッケージを用意している。



バックカメラKIT

3万8880円

コレがあればバックも怖くない便利なバックカメラKIT。純正ドアハンドル、国産バックカメラ、オリジナルステッカーをセットにしたパッケージ。



ミラーパッケージ

1万5000円

フレームレスミラーにビッグフットボタンキット(取付けキット)をパッケージ。フレームのないルームミラーがクールな室内を演出する。

OWNER'S VOICE オーナーズの声

コンプリート購入後にエアサス付けました

小川清人さん ベース車 PZターボ

コンプリートカーを購入してドレスアップライフを楽しんでいるのが小川さんの特徴。余裕のある支払いにしたのでコンプリート購入後もドレスアップが可能に。なんとコンプリート購入後にエアサス、ヘッドライト加工、フロントハーフスポイラーをバンパータイプへチェンジ。ちなみにラゲッジのオーディオとピラーの追加メーターなどは自作で製作。



ハイエース顔が気に入ってます

出岡健史さん ベース車 JPターボ

出岡さんは一生乗るつもりで初の新車購入。人と同じが嫌なのでエブリイエースを選んだ。実はこのエブリイエースは購入からまだ一年しか経っていない。ボディの天井、ボンネット、リアゲートのラッピングは看板屋さんで作って自分で貼り付けた力作。外装だけでなく内装もDIYしているのが特徴で、サンバイザーやダッシュマットは彼女が作ってくれたそう。ちなみにトノカバーも自作と言うからビックリだ。



進光自動車

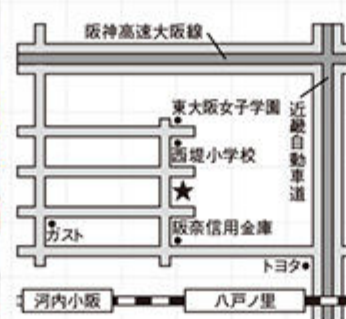
SHINKO

<http://www.shinko-net.co.jp>

ハーテリーのコンプリートカー
販売プロショップだからできる
スペシャルなプライス



SHOP DATA



進光自動車
住所: 大阪府大阪市西淀川区2-4-2
☎ 06-6782-7433
営業時間:
8:30 ~ 20:00
(水曜 ~ 17:30 日曜祝日
10:00 ~ 17:00)
定休日: 不定休

NEW エブリイ (ワゴン) 新車コンプリート

通常価格	車両価格(PZターボ 標準ルーフ)	パーツ&工賃合計
191万8000円	145万円	46万8000円
コンプリートカー価格 29万8000円お得!!		
コンプリート内容 ●ハーテリーLS-LINE ハーフエアロ3点セット(F/S/R) ●フロントグリル ●アイライン&ヘッドライトガーニッシュ ●エアロ取付塗装一式 ●ダウンサス ●16インチホイール&タイヤ		

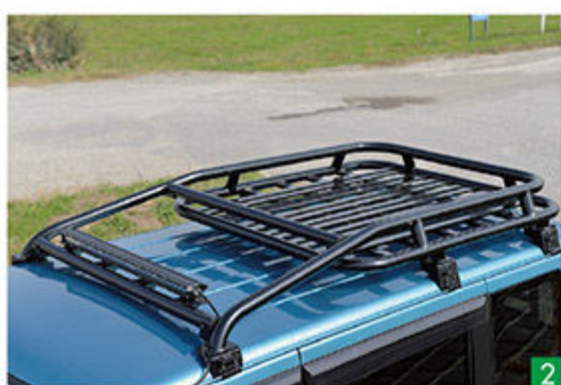
※価格は税別

進光自動車はハーテリー特約代理店認定ショップ。コンプリートカーは特約代理店だからこそ実現できたスペシャルプライスが魅力。現時点ではハーテリーの17エブリイ用のエアロパーツが完成していないので、エアロパーツが完成したらコンプリート販売開始の予定。コンプリート内容としてはエアロ、ホイール、2インチのローダウンが基本のセットで、そこから追加オプションが可能。自分の好きなパーツを組み込んで自分だけのハーテリー仕様を作りあげることが可能だ。今後は車中泊ができるキャンピング仕様のコンプリートを計画中。



1 コンプリートプランでは、ホイールは「バサージュデュオ」を設定。サイズは今の14インチからグレードアップして16インチ。オプションでサイズ変更も可能。ちなみにデモカーは17インチを装着。2 ショップ内には常に何台かのフルオプションを組み込んだハーテリーのデモカーを展示。実際のコンプリートカーの仕上がりを実車で確認できる。3 店内に飾られているトロフィーはユーザーさんがドレコンで入賞したときの物。これを見ると進光自動車が買った後もドレスアップをサポートしてくれるのがわかる。

今ハヤリのアゲ系 スタイルはいかが!?



1 車検対応のカディスオーバーフェンダーは出幅7ミリ。別売りのダミーリベットを装着すれば、エブリイがスバルタンになること間違いなし。デモカーは試作品。2 50φのアルミパイプにブラックパウダーコートをしたこだわりの逸品。クロカンで培われたノウハウを投入し、使い勝手を考えてプレートタイプの床面を採用している。3 5インチアップされたスタイリングに見事にマッチしているホイールはブラッドストックケース。オフロード系で人気のブラッドストック初のKカー用ホイール。



ひとつのムーブメントとして確立されている、ローダウンの真逆を往くアゲアゲスタイルにエブリイを仕上げたのは、オフロード系のスペシャリストとして知られる埼玉県にあるロードハウス。俄然注目の車高は、オリジナル車高調+4インチアップキットを併用した驚異の5インチ(13cm弱)アップ仕様と、エアロレスであつてもまったく違和感のない、エブリイの新しい魅力を感じさせる1台となっている。ダミーリベット付きオーバーフェンダーやルーフラック、バックドアにたらしりアラダーといった、クロカンらしさを強く印象づけるアイテム群は、新鮮そのもの。エアロやローダウン、インチアップといった、王道のドレスアップにはない、新しい可能性を感じてもらえるはず。

ブラックパウダーコートをしたアラダーはルーフレールラック同様にロードハウスこだわりのアイテム。細部にはカディスのロゴがデザインされているのもニクイ演出だ。45φアルミ製。



潜在的魅力を引き出す、
クロカンのアゲメイク

リアエンドを美しく演出するテールレンズガード。スチール製のパイプにブラックパウダーコートをした同品を見るとカディスマインドの技術を垣間見ることが出来る。



SPECIFICATIONS

ヘッドライト	ワンオフ加工
ルーフレールラック	14万8000円
テールレンズガード	2016年3月発売予定
リアアラダー	2016年3月発売予定
オーバーフェンダー	2016年3月発売予定
足まわり	
4インチキットウォーカーサプライズ	10万円
KADDIS車高調キット	13万8000円
ホイール/ブラッドストックK'S(ケース)	
(15x4.5+43)	2万7000円/本
※デモカー10ミリスパーサー装着	
タイヤ/ヨコハマ・ジオランダーA/T・S(175/80-15)	
※価格は税抜き。	

ウォーカーサプライズ 4インチキット+ カディス車高調キット

大径タイヤを装着する際のタイヤがストラットに干渉するのを解消するためにオリジナルの車高調を装着。4インチキットを組み合わせて5インチアップを実現。ちなみに車高調キットのリアは30ミリアップのスプリングをセットしている。

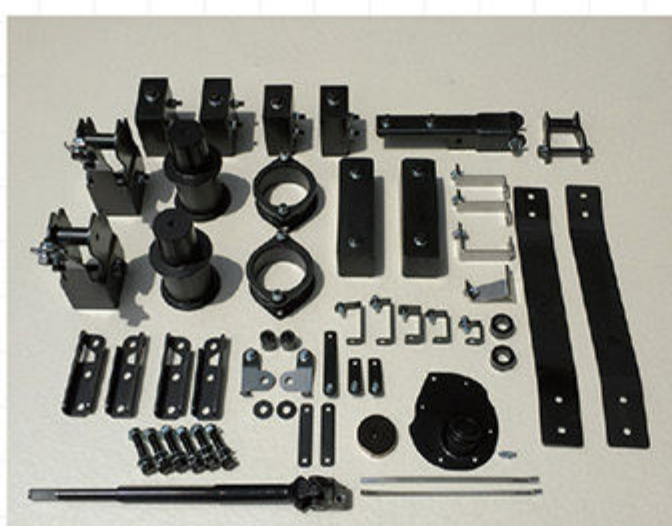


アゲスタイルの基礎知識

②リフトアップキットで上げる

ハイスไตล์4インチリフトアップキット

キットの場合は純正サスとボディの間にブロックをかませることでリフトアップさせる。つまりブロックの分だけ車高が上がる。バネやショックのストローク量はそのままなので、乗り心地の変化は少ない。ただし、ロールしやすくなるので注意。またキットの場合はボディのみが上がるイメージなので最低地上高を上げたい場合は外径の大きなタイヤを履く必要がある。



腹下の高さはほとんど変化しない。つまり純正車高で通れなかったところが通れるようになるわけではない。



問: プラスライン ☎072-949-5000 <http://plusline-inc.com>

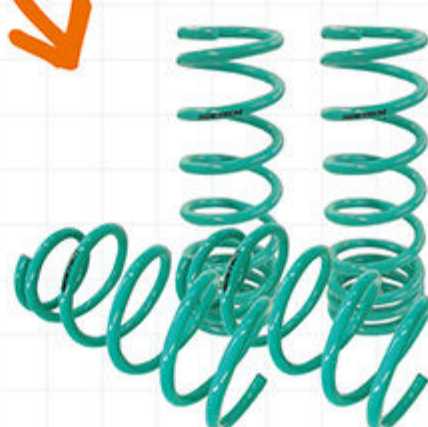
あなたはどっち?

DA17Wで比較



基本的な考え方は大きく分けて2種類。バネ交換で上げるか、キットを組み込んで上げるか。前者は車検を気にせず、2~3cmアップのちょい上げ。後者は4cm以上のアップとなるので構造変更が必要。これを踏まえた上でふたつの違いを見ていこう。

①スプリングで上げる



ライドテック アップスプリング

純正スプリングをリフトアップスプリングと交換してリフトアップする場合は、キットに比べ低予算でおこなえるが、上げ幅はあくまでほどよく。80扁平のオフロードタイヤなどを履くのはキビシイので、本格的なアゲスタイルを作り出すのは難しい。それでも車検に支障がないのは大きなメリット。



問: NEXT STAGE ☎042-554-7020 <http://www.nextstage.tokyo.jp>

Walker Supplis

ウォーカー サプライズ

問: ハートランドインターナショナルジャパン ☎04-7143-2494 <http://heartland-japan.jp>



4インチキット

対応: DA64V/W, DA17V/W
価格: 10万円(税別)

ウォーカーサプライズの4インチキットは前後ともに純正サスペンションをそのまま使用することで、コストパフォーマンス性に優れたリフトアップキットだ。キットにはフロントアンダーガードも入っているため、リフトアップ時のバンパー下の丸見えを防いでくれる。



装着車両	DS64V
ホイール	オートウェイ・ヴァーティカル BS10 (14インチ)
タイヤ	ナンカン (185/65-14)



カラーリングオプションもあり!

標準ではグレー塗装となるパーツだが、オプションでフェーリレッドにすることも可能。別途2万円アップとなるが、その効果は絶大だ。

ロングストロークの動く脚を目指す!



4インチリフトアップキット

対応: DA17V/W
価格: 19万8000円(税別)

装着車両	DA17W
ホイール	14x5.5J
タイヤ	BF グッドリッチ (195/75-14)

ATHLETE

アスリート

問: カーハウスアスリート ☎045-929-1182
<http://www.car-athlete.com>



64系キットも販売するアスリートが手掛ける17系用4インチリフトアップキット。64系とはフロントの構造が異なり、ブラケットで上げるのではなくロングストロークショック&スリムスプリングを採用。大型タイヤに対応しつつも、動ける脚を目指している。



KADDIS

カディス

問: ロードハウス ☎048-963-7600 <http://www.roadhouse.co.jp>

大径タイヤとの干渉をクリアする車高調キット。全長調整&15段減衰力調整の高機能モデルで、フロントで約25mm、リアは30mmアップサスペンションをセット。デモカーではこの車高調キットにウォーカーサプライズの4インチキットを合わせ、約5インチアップを実現させる。



装着車両	DA64W
ホイール	エルフォード・ブラッドストックケース (15x4.5+43)
タイヤ	ヨコハマ (175/80-15)



車高調キット

対応: DA64W/V
価格: 13万8000円(税別)
アップ量: F: ~25mm, R: 30mm

大径タイヤとの干渉クリア
全長調整&15段減衰力調整



ハイリフトからローダウン、キャンパーまで、いろんなスタイルが見られるのがエブリイの良いところ。そんなエブリイ自慢がたくさん集まった見所満載のオフ会がコレ！ その中から抜粋してご紹介しよう〜♪ 次会はぜひ、貴方の参加してみては!?

たくさんさんの仲間で
盛り上がり!!



車種限定ミーティングに突入!

ワンメイク ワンダーランド☆

ここは一車種限定でのオフ会やミーティングなどの模様をお届けするワンメイクコーナー。同じクルマをみんながそれぞれの個性でドレスアップしてくるワケで、それを参考に自分もメイクしたり、その車種の魅力を存分に堪能しちゃうってことなのだ!

今回は

エブリイ



2015エブリイ&スクラム全国オフEAST

開催日 10月11日(日) 開催場所 朝霧高原もちや(静岡県)

①②③アスリートの4インチキットでリフトアップされたボディに迫力のドデカタイヤを装着! ④KANAGUさんこだわりのエブリイに仕上がっているぞ。⑤グリル内のメッシュ加工や室内のベッドキットなど自作部分も多数! ⑥ベッドキットも自作、1ヶ月くらいかかったという大作だ!



軍艦カラーを採用し
自衛隊スタイルを具現化!!



①②③今後はステッカーチューンで自衛隊感をアップさせるとか。④⑤室内も物々しく雰囲気たっぷり。エンクロージャーのスピーカーなど実はこだわりの多いのが野口さんのエブリイなのだ。⑥ボンネットのダクトも自作加工。

DA64V バン 平成23年式
OWNER 野口智一さん(神奈川県)



DA64W ワゴン 平成24年式
OWNER KANAGUさん(長野県)

SPECIFICATION

WHEEL●ワーク・ユーロラインDH(14x5.5J+38)
TIRE●MAXXIS(14インチ)
EXTERIOR●ヘッドライト&テールレンズ=ライト、フロントダクト内メッシュ自作
INTERIOR●シートカバー=クラッツィオ
SUSPENSION●アスリート・4インチアップキット
MUFFLER●柿本改



SPECIFICATION

WHEEL●レイズ・ボルクレージングCE28 KCR(16x5.5J+45)
TIRE●トーヨー(165/45-16)
AERO PARTS●F=フレア・マウス・レジーナ アルタイル自作、S&R&ウイング=不明
INTERIOR●ステアリング=モモ・コマンド2、シート=スバルコ・R333、インパネまわり=自作
SUSPENSION●スプリング=スズキスポーツ・ストリート コンフォート
TUNING●ブレーキ=ヴェローチェレーシング・ドリルドスリットローター、タービン、コンピューター
MUFFLER●タナベ・g-FORDAN





小旅行もなんのその
居心地抜群のインテリア！

DA17V バン 平成27年式

OWNER 勝又道男さん(静岡県)



DA64W ワゴン

平成18年式

OWNER 内藤良樹さん(三重県)



①②とにかく低い！そしてツライチ！そんな硬派なエブリイスタイル！③④ワンオフだというリアの独立アックスルが、こだわりのキャンパー仕様を生み出している。⑤ヘッドライトは純正を加工した特別仕様。⑥フェンダーのツメ加工など気合い充分の1台だ。これからの進化にも期待です。



①②③④いち早く新型エブリイで登場してくれた勝又さん。なんと言っても見所は内装。とにかく居心地のいいキャンパー仕様なのだ。⑤新型エブリイ専用のカップホルダーなどユーザーならではのアイテムも。⑥バンパーのアミ風ステッカーもオリジナルで作っているとか。気になる人はチェック！

SPECIFICATION

WHEEL ●マナレイスポーツ・ユーロスピード FINE (14x5J+45)
TIRE ●ブリヂストン (155/65-14)
AERO PARTS ●F&S&R=ワンオフ アンダーフラップ
INTERIOR ●フロアマット=FJ CRAFT、内装オリジナル

DA64W ワゴン 平成17年式

OWNER 水畑正洋さん(長野県)



①②③④ボンネットとリアゲートはカットティングとラッピングを施し、さらに和柄とお城のエンボス加工が施される。ボディサイドの大きな和柄カットティングシートと相まって強烈なインパクトを放つ1台に仕上がっているぞ。⑤今後は内装も手掛けていくそうだ。⑥エアサスはボルドワールド。インテリアにエアタンクがディスプレイされる。

こだわりのエンボス加工と
ボディステッカーを見よ！

SPECIFICATION

WHEEL ●ホットスタッフ・トラフィックスター (16x6.5J+35)
TIRE ●ルッチーニ (165/40-16)
AERO PARTS ●F&S&R=ケイブレイク・アスリート
EXTERIOR ●ヘッドライト=クリスタルアイ、テールレンズ=ヴァレンティ、和柄カットティングシート、ボディラッピング
SUSPENSION ●エアサス=ボルドワールド
MUFFLER ●ケイブレイク



サビ塗装で独自の
不思議ワールドをかもした

DA64V バン

平成20年式

OWNER SEXYバモさん(東京都)



SPECIFICATION

WHEEL ●ワーク・シーカー CX (16x7J)
TIRE ●クムホ (165/40-16)
AERO PARTS ●F&S&R=ワンオフアンダーフラップ
EXTERIOR ●グリル=スズキスポーツ、フェンダー=ツメ加工、ヘッドライト=純正加工、テールレンズ=ライツ加工
INTERIOR ●シートカバー=ベレッツァ、フロアマット=ライツ、インパネ=イエローウッド
SUSPENSION ●車高調=オートモーティブ・グレイスワンオフ、アックスル=ワンオフ独立
TUNING ●ブレーキ=イデアル・ヴァルムント (F&R)



①②ドアやルーフなどにデッドニングを施す見えないうちにも見逃せない！③リムをバフ処理しオシャレに演出された純正ホイール。④塗装業ならではのテクが光る仕上げ！⑤フロント全体に施されたサビ塗装。驚くほどリアルで見る人を釘付けにするインパクト。⑥シルビア純正のシートが鎮座する独特の室内。

SPECIFICATION

WHEEL ●純正+リムカバー (12インチ)
TIRE ●トーヨー (145SR12)
EXTERIOR ●グリル=スズキスポーツ、ヘッドライト=クリスタルアイ、テールレンズ=ヴァレンティ、サビ塗装、L700ミラ用ドアミラー
INTERIOR ●シート=シルビアS15純正
SUSPENSION ●車高調=ファイナルコネクション+RS☆R (インナフェンダーカット)
MUFFLER ●フジツボ





2

DA64V バン

平成18年式

OWNER

中島 潤さん
(岐阜県)



1



2



3

DA64V バン 平成23年式

OWNER 飯田俊介さん(静岡県)

1②③ 個性的なスタイルを提案する飯田さんのエブリイ。エブリイのフォルムならどんなスタイルもバタリとハマル。④イカリング仕様に自作されたヘッドライトやジムニー用のパイプタイプのバンパーでカスタムする。⑤クリムゾンのRS DP CUPホイールなど独特のスタイルを作り出している。



4



5



6

SPECIFICATION

WHEEL ● クリムゾン・RS DP CUP (16x6J+45)
TIRE ● ダンロップ (165/50-16)
AERO PARTS ● F=決戦・ジムニー用バンパー
EXTERIOR ● ヘッドライト=イカリング自作
INTERIOR ● ステアリング=コンビハンドル、シート
カバー=ベレッツァ・ワイルドステッチ、シフトノブ=RAZO
SUSPENSION ● スプリング=FAF・リフトアップスプリング
MUFFLER ● ロッソ モデルO・Nail Two



1



3

空を駆け抜ける!?
F-14トムキャット仕様

1②③ ボディ全体のリベット打ちにはじまり、よごしペイントやフロアマット鉄板化などいたるところを極限まで質感を高めたF-14トムキャット仕様! ④⑤ ドアの内張りのコストコレー仕様や、フロアマット外側の鉄板塗装など、内装もカッコイイです! ⑥ オーナーの中島さんもヘルメット被ってムードを高めます!

SPECIFICATION

WHEEL ● (15x5.5J+45)
TIRE ● ナンカン (165/45-15)
AERO PARTS ● F&S&R=バブリー
INTERIOR ● ステアリング=ビレット
ハンドル、シート=迷彩張り替え、フロア
マット=鉄板、リベット打ち
SUSPENSION ● エアサス=ボルド
ワールド、ブレーキ=CSD
MUFFLER ● ワンオフサイド出し



4



5

デモカー仕様の
迫力エブリイスタイル!



2



3

DA64W ワゴン

平成20年式

OWNER

中嶋 聡さん
(東京都)

DA64V バン

平成18年式

OWNER

-hide0505-さん
(千葉県)



4



5



1



3

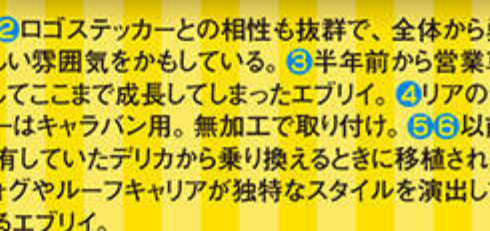
オリジナル塗装で
絶対的な存在感!



2



4



5



6

1② ロゴステッカーとの相性も抜群で、全体から勇ましい雰囲気をかもし出している。③ 半年前から営業車としてここまで成長してしまっただけのエブリイ。④ リアのラダーはキャラバン用。無加工で取り付け。⑤ 以前所有していたデリカから乗り換えるときに移植されたフォグやルーフレックが独特なスタイルを演出しているエブリイ。

SPECIFICATION

WHEEL ● (14x5.5J+46)
TIRE ● ナンカン (185/65-14)
EXTERIOR ● フォグ&ルーフレック=デリカ移植
INTERIOR ● ステアリング&インパネ=ライツ
SUSPENSION ● ハートランド・4インチキット
MUFFLER ● ワンオフサイド出し



1

1② 元々はアヴァンツァーレのデモカーだったというエブリイ。エアロをアヴァンツァーレとしつつも足まわりにエアサス、内装もフルカスタムととにかく見所満載に仕上がっている。③④ 追加モニター23枚という力作のディスプレイ。リアもキッカーのウーファーボックスをベースに作り込まれている。⑤ エクステリアからサウンドまでこだわりを見せる中嶋さん。

SPECIFICATION

WHEEL ● (16x5.5J+45)
TIRE ● ハンコック (165/40-16)
AERO PARTS ● F&R=アヴァンツァーレ・アデッソ
EXTERIOR ● テールレンズ=ハーテリー
INTERIOR ● ステアリング=純正加工
SUSPENSION ● エアサス=エアダイン



6



年賀状

ありがとうございます!!!!!!

うつきうきの
一気見せ!!



あけましておめでとうございます!!
2016年最初の号ということで、ここでは
読者のみなから編集部へ届いた年賀状を
ご紹介します。愛車の写真やお子さんの写
真など個性溢れる年賀状の数々をじっくり
チェックしてね。そして年賀状を送って
くれたみんな、本当にありがとう!



東 健太郎さん(長崎県)

オブティにスピンドル顔注入了東さん。なんとこれ、自
作というからおどろき。



Master Class
谷奥 亮一

谷奥亮一さん(兵庫県)

マットブラックのラッピングに差し色のグリーンが鮮やか。詳
しくは108ページで。



下江達也さん
(広島県)

下江さんのアルトはエンジンチ
ューンもばっちり施された全方
位隙なしの仕様だ。

菅原倫也さん
麻美さん
(埼玉県)

2015年はゴールドから
鮮やかなレッドにオー
ルペン。実は内装も見
所の一台。



迎春

あけましておめでとうございます
昨年中は大変お世話になり
ありがとうございました
今年もよろしくお願いいたします
菅原 倫也
麻美



辻上裕哉さん(和歌山県)

辻上さんはジュンをベースにインタークーラーをアピールす
るため開口部を加工した。



櫻井美咲さん(鳥取県)

モードパルファム・ファントム雅夢にメッキを使ったジュン用フ
ォグを移植した。



奥山和仁さん(徳島県)

自慢のインテリアを披露してくれた奥山さん。エアサス
タンクもキレイにレイアウトした。



HAPPY new year

新年は大変お世話になりました。
ありがとうございました
今年もよろしくお願いいたします



2016

セクシ〜♥な
花魁姿を披露!

森山愛美さん(千葉県)

愛車と同じ紫の着物でとった写真を使
った森山さん。男子をドキドキさせる
一枚だ。



謹賀新年
河久保 さん
あみさん
(広島県)

河久保さん
あみさん
(広島県)

雰囲気あるモノク
ロ写真を使った河
久保さん。ボディ
カラーは実車で見
る価値あり。

大江ゆりさん・山本悠樹さん(北海道)

2014年12月号のカップル特集に登場し
てくれたふたり。なんだか安心しました。

新見
徹さん
(愛知県)

全国ダンク
軍団に所属
する新見
さん。おさ
るさんの
イラスト
がとっても
キュート。



白土奈緒
さん
(茨城県)

白土さんは、
スポーティ
な仕様のワ
ゴンRにび
ったりな筑
波サーキット
での一枚。



謹賀新年

昨年中はお世話になりました。
ありがとうございました
今年もよろしくお願いいたします



マリリン
モノーさん
(群馬県)

ノボリと横断幕でチ
ーム名をアピール。魅
力的な女性ばかりのチ
ームなのだろうか。



宇田泰宏
さん
(徳島県)

純正バンパーでロシ
ア風。足元にはリリス
エッセイを。



謹賀新年

2016 元旦

坂本 亘さん
(兵庫県)

お正月ということでお寺の前で一枚。ドレスアップベースとしては珍しいミラターボ。



川上英樹さん(北海道)

イベントガールと写真に収まる川上さん。ちなみにホイールは北米仕様。

羨ましすぎる
シチュエーション!



山本大地さん
夏代子さん
(岡山県)

イベントで水着ギャルとの集合写真。AZワゴン乗りのリョーコックさんも一緒。

江尻
政和さん
(茨城県)

CT(江尻さん)、アルトワークス、MCの3台はいつも集まってクルマいじりをしている仲良し。



謹賀新年



しまむらさん(愛知県)

最新仕様はシルクブレイズのフロントグリル。以前にも増して精悍な表情になった。



2016年1月1日

新年明けましておめでと御座います。昨年大変お世話になりました!! 今年も宜しくお願いしますm(_ _)m 少しずつ弄るので進化したタント君を見てください! イベント、集まり等でまたお会い出来るの楽しみにしています! 57月。



Happy New Year 2016

飯田正和さん(山口県)

DIYでユーロスタイルに仕上げた飯田さん。エアロはアニバーサリーをニコイチ。



浅野目 光さん(山形県)

"ラン"戦士のニックネームでおなじみの浅野目さん。遠くに見えるのが彼の愛車です。



林 浩司さん(愛知県)

スクラム乗りの林さんはオカダエンタープライズでの一枚。三河安城駅から徒歩5分です。



佐々木将哉さん(宮城県)

菅生のわくわくでKスベ賞を獲得した佐々木さん。2015年は念願のマイホームも。



謹んで新年のお慶びを申し上げます



橋本 茂さん・はるなさん・徠那さん(三重県)

フル自作でドレスアップする橋本さん。徠那ちゃんは可愛いお猿さんの衣装。



あきなちゃん(新潟県代表)

KSP47+1新潟県代表のあきなちゃん。2015年はさまざまな企画に協力してくれました。



今年もよろしく~!!

原 潤一さん(神奈川県)

2台のKカーを所有する原さん。右のセルボは20年目に突入!! 大切に乗りつね。



えみステインさん(群馬県)

ゲリルイェルミ、グラインダータトゥーのボンネットなど強烈なフェイスでアピール。



櫻井 春江さん(愛知県)

2台のワゴンRのコラボ写真。オーナーはふたりとも浜崎あゆみのファンなのかな?



蓮見 謙弘さん(埼玉県)

自作でドレスアップしている蓮見さん。大迫力のフロントバンパーはランボイメージ。



謹んで新春のお慶びを申し上げます

氏家大介さん(新潟県)

クラウンゲリルとベンツクラスのフォグを移植。高級感溢れるマスクを構築した。

HAPPY NEW YEAR 2016 家族みんなでカスタム計画♪

みんなでD-UPすれば
もっと楽しい!



HAPPY NEW YEAR
2016



坂本さやかさん・
蓮太郎さん・麗菜さん
(島根県)

坂本さん一家はワゴンRと
2台のステイグレイをドレ
スアップ。お母さんと子
ども2人で愛車いじりに夢中
なんだって。

HAPPY NEW YEAR
MAY THIS YEAR
BE HAPPY
AND FRUITFUL! 2016



中安貴子さん
(東京都)

彼氏とのコラボ。久しぶ
りのワゴンRですが2
台とも隙無くカスタムされ
ています。

蓮井 敦さん
真由美さん
(神奈川県)

センスブランドの3
本出しマフラーを
これでもかとアピ
ール。割り切った
大胆な構図です。



あけましておめでとうございます

今年もよろしく
お願いいたします。
平成二十八年 元旦

蓮井 敦
蓮井 真由美

謹賀新年

明けましておめでとうございます。
今年もよろしくお願いします。



久々のワゴンRとの
彼氏とのコラボです。



純正バンパーでシンプルに
ドレスアップ。足元にはル
クソールのデジッショをセッ
トした。

福岡
寛さん
(大阪府)

謹賀新年

あけましておめでとう



矢沢昌和さん(新潟県)

程よいローダウンとメッシュホイールで足元から
スタイルアップ。ドレスアップの基本だね。



ちるみりやさん(埼玉県)

MCが好きすぎて同じ型のクルマを乗り継いだ。
去年は青→赤にオールペンでイメチェン敢行。



杉浦主基さん(愛知県)

すべて自作でドレスアップしている杉浦さん。フェ
ンダーダクトやボンネットが魅せ場。



DIYマイスター
の原田さんは足
ももちろん自作。
メッキ製のキャ
ップもアピール
度大。

原田裕次さん
治美さん
(大阪府)

HAPPY NEW YEAR 2016.1.1



石田 巧
さん
(千葉県)

BBSはもちろん、バル
ベックにチャクリキと使っ
ているパーツもしつかりア
ピールしている。



謹賀新年

高地直樹さん
紫乃さん
楓華さん
(千葉県)

18インチのF85J、
R95Jをインテール
エンジン加工しタイヤ
ラで収めた足元は強烈。



謹賀新年
2016

土井彰乃
さん
(兵庫県)

普段乗りでもできて、なお
かつパナソニックホイール
をしっかりと見せられる車
高がこだわりの。



五十嵐愛美
さん
(山形県)

フェンダーをリムまで被せ
て低さを強調。サイドデ
カールが地元愛を表現し
ています。

自慢の
足まわりを
見て!!!

2016
Happy New Year



春佳ワークスさん(静岡県)
ワンちゃんがとってもかわいい春佳ワークスさん。左のはがきではクルマの中にいますよ。

今年の巨匠は、
愛車を描く!

タビオカ次郎さん
(岡山県)

毎年秀逸なイラストを送ってくれるタビオカ次郎さん。バンパーのディテールなどはじっくり表現されています。



謹賀
新年

申

皆川
裕子さん
(山梨県)

スピンドル顔が強烈な皆川さんのステイグレイ。モノクロで激シブな一枚に仕上げた。



謹賀
新年

TOMO
さん
(兵庫県)

クーペ意識の丸みとシャープさが共存するフォルム。カラーは誕生石のトパーズから。



謹賀
新年



BBK

山口
雄一さん
(東京都)

桃色革命は2016年で終焉だそうです。詳しいことはよくわかりませんが、残念ですね。



桃色革命
2016年桃色革命終焉



謹賀
新年

生天目 正さん・稚都さん・望羽さん

白ナンサイズのワイドボディが迫力満点の生天目号。望羽ちゃんはブリキキュアと3ショット。



明けましておめでとうござる(猿)

昨年はお世話になりました
本年もどうぞよろしくお願い致します
平成二十八年 元旦



和道@改
さん
(奈良県)

申年なのでダジャレの挨拶を誰かがやってくれと信じていました。和道さんでした。



謹賀
新年

今年もよろしくお願いいたします
平成二十八年 元旦



山崎邦彦さん
(埼玉県)

SKFのS1グランプリでは2014年のリベンジを果たし、見事に優勝した山崎さん。

はるなやん
ちゃん
(長崎県代表)

メインはムーヴ、セカンドでワゴンRに乗っているはるなやんちゃん。カステラ娘を自認するほどのカステラ好き。



A HAPPY
NEW YEAR
今年もよろしくお願いいたします
平成二十八年 元旦

KSP47
+1

中山
裕文さん
(兵庫県)

先月号に登場し記憶に新しい人も多しはるなやんちゃん。2013年に表紙を飾った後、リメイクを敢行。



謹賀
新年
昨年中は大変お世話になりました
今年もよろしくお願いいたします
平成二十八年 元旦

今年も熱いぜ!!
軽トラ魂!!

金澤
康雄さん
(広島県)

ワイルドなリフトアップ軽トラで爆走。高速道路ですれちがったら思わず振り返るよね。



謹賀
新年



大屋 勲さん(山形県)

愛車と同様に赤と白でカラーリングされたプラモデル。奥にいるのはサンバーかな?

高山
忠さん
(栃木県)

シンプルスタイルながら、ミラーなど随所にメッキを使いアクセントを与えているハイセンスな仕様の高山号。



西村勝太さん(大阪府)

ナイトミーティングでの1枚でしょうか。楽しそうですね。西村さんの愛車はどれかな?



羽田中 愛さん(鳥取県)

ブラックで統一されたボディにシルバーのマキシライトがよく映えている羽田中JG1。



離婚師祐さん
ミラーユウコさん
〔長野県〕

昨年6月に結婚式を挙げた離婚師祐さんとミラーユウコさん夫婦。ジュンブライド、さらに愛車も一緒に撮影しました。

わたし達、
結婚しました



里 佑弥さん(佐賀県)

右下に「COMING SOON」の文字が。もうすぐリメイクから明けるってこと!?



谷本 崇さん(広島県)

フェンダーがインパクト大の谷本号。アナザーストーリーに登場していただきました。



TOMOYOさん
〔大阪府〕

カッキンさん
〔大阪府〕

昨年10月に入籍したカッキン&TOMOYO夫妻。ちなみにカッキンさんのお父さんとお母さんもKカー乗り。親子4人でドレスアップを楽しんでいる。

赤松聖一さん
〔福岡県〕

ちょっと珍しいプレオネスタとプレオ。プレオには艦隊これくしょんのラッピングを。



謹賀新年



菅 一則さん(兵庫県)

淡路島のプロショップ・ファイナルにて。デライトを珍しい位置に取り付けている。



渡辺 光さん(岡山県)

クルマはノーマルだが「ボディのつやびきは負けてません」と渡辺さん。☆のステッカーで表現。



小島 優也・美保さん
〔福島県〕

風力発電の風車をバックに撮影した小島さん。環境に優しいエコな運転を心がけたいものです。



大原晶子さん
〔広島県〕

ステイグレイトとランのコーポ。ステイグレイトの足元にプロフッサーMS1Rが。

十津川 尚さん
〔兵庫県〕

ブローデザインのエアロを巻いてローダウン。足元にはワークマインスターをセットした。



江藤 希さん
〔熊本県〕

いつかは大きいトロフィーをもらうのが夢と語ってくれた江藤さん。着実に前進中。



謹賀新年
平成28年 元旦

北村良彦さん(京都府)

キングオブKカーで部門1位を獲得した北村号。エアロ加工と塗り分けが特徴的だ。

ぬいぐるまGP
初代チャンピオン!

HAPPY NEW YEAR 2016



勝部香織さん(大阪府)

その北村号のぬいぐるまがこちら。一昨年おこなわれたぬいぐるまGPで優勝した。

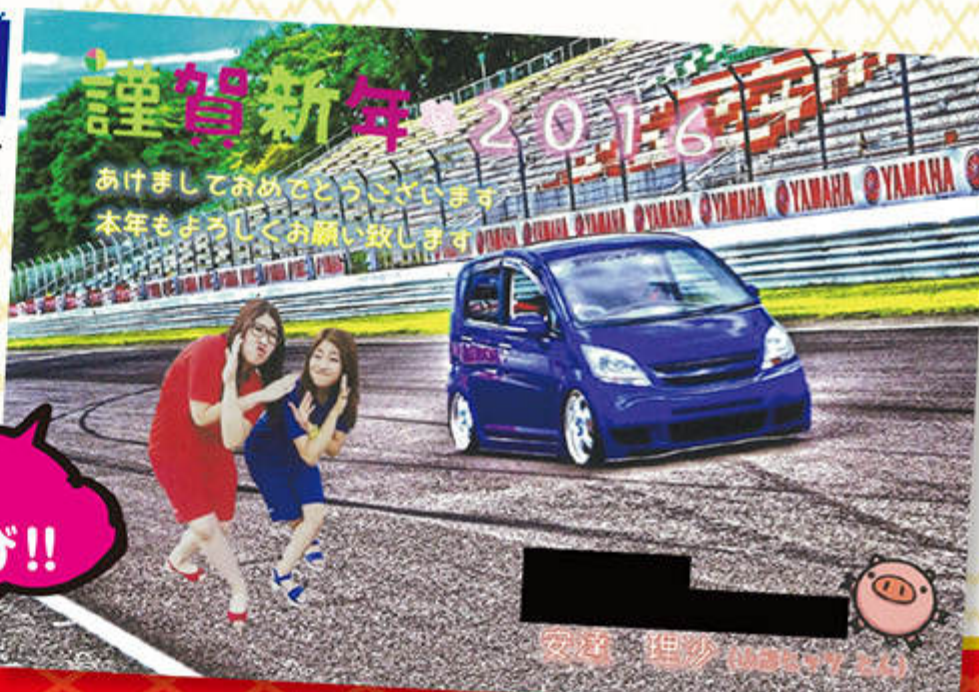


かあくん(静岡県)

スポーティにドレスアップしたかあくん号の後ろに見えるのはドリームプラザの観覧車。

安達 理沙さん
〔山形県〕

アナサーストーリーでテツ&トモに扮した際のひとコマ。息のあったふたり。



衝撃の
テツトモ再び!!



今年の主役は
ウッキーだ!?



田中正和さん
宏核さん
(愛知県)

夫婦そろってガルウイング仕様の田中さん夫妻。ご近所さんにもさびつくりしたことでしよう。



中野和政さん(香川県)

中野タントはクリスマスのイルミとコラボ……に目がいきがちだれどベタベタ具合も必見だ。



答谷
麗未さん
(大分県)

キティちゃん中毒のからあげ姫こと麗未さん。クルマもオナーもキート。



川田政昭さん(北海道)

ベタベタのミラコアを自作したことで知られる川田さん。現行コペンも純ベタ化する!?

2015年を彩った
珠玉の名車達

カバーカー&マスターピース



林 勇樹さん・美香さん・美桜さん・姫乃輔さん(神奈川県)

いつでもタンクトップの林さん。79ページでは冬なのにタンクトップ姿を披露しています。



伊藤義八さん
(三重県)

東西王座に向けてフルリメした伊藤さん。BMWモチーフのボディワークは半端じゃない迫力。



青山佑樹さん(千葉県)

本誌をはじめ先日のオートサロンにも出展を果たすなど2015年は飛躍の1年だった。



2015年3月号
COVER CAR



あんみ姫さん
(和歌山県)

事故を乗り越え表紙を獲得。さらに挙式に出産とプライベートも充実した1年だったあんみ姫さん。



佐満正一さん
(神奈川県)

佐満さんの愛車はライフステップバン(1972-1974!)。大切に乗り続けてください。



前田智美さん
(三重県)

記憶にも新しい先月号の表紙車。この車高でガンガン走れるというのだからすごいよね。

2016年2月号
COVER CAR



上田祥平さん
(兵庫県)

ワゴンRを続けて3台乗り継いだ上田さん。三度の目の正直で理想のフォルムを獲得した。

2015年12月号
The Masterpiece



米本尚幸さん
(広島県)

広島特集に登場。2月にはふたり目のお子さんが生まれる予定。166ベジをチェック。



最新エアロ一眼見せ! / ニューエアロコレクション

NEW AERO COLLECTION



サイドは、純正ステップ下に追加するその名の通りのアンダーエアロ。前後エアロとの高さを合わせるために開発したエクステ系だ。フロントほどではないものの、アンダーエアロでもしっかりと自己主張できるデザインを念頭に置いたリア。純正マフラーにも対応。

SPECIFICATIONS

●フロントハーフスポイラー Ver.1	3万7000円(5万7000円)
●フロントハーフスポイラー Ver.2	3万7000円(5万5000円)
●デイトライトLED19mm・8発セット	1万8000円
●上記2点セット	5万5000円(7万5000円)
●アンダーサイドスポイラー	2万6000円(4万3000円)
●リアアンダースポイラー	3万2000円(4万7000円)
●ボンネットスポイラー	2万1000円(3万3000円)
●フルキット	11万6000円~(18万円~)

ホイール/ワーク・イクサ04C(17×6J+45)

タイヤ/グッドイヤー(165/40-17)

※価格は税抜き。()内は塗装済み価格



2Pのメリットを活かした、様々な別注カラーにも対応するイクサ04C。デモカーは6.0J装着だが、定番の5.5Jもあり。

ブレス●LA150S ムーヴカスタム

BLESS MOVE CUSTOM LA150S 対応

問:ブレスクリエイション ☎042-730-3218 <http://www.bless-pt.com>

昨秋から矢継ぎ早にエアロを発表し、ブランドの存在を一気に高めているブレス。最新作LA150エアロは、カテゴリは純正バンパーを活かして楽しむハーフであるものの、ご覧の通りハイインパクトな仕上がり。一見ではハーフとは判らないほどだ。じつは新作のフロントスポイラーは、効果はバンパーエアロ寄り、手間やコストはハーフエアロ寄りという、バンパーとハーフの良いところを両立した、俗にいうビッグハーフタイプ。純正パーツの脱着は一切要らず、単純に被せるだけでこの表情を手に入れることができるスグレモノ。未来ちつくに生まれ変わったLA150には、派手なデザインこそが似合うはずと考え挑戦した、意欲作となっている。

派手さを一段と加速させる、貫禄のビッグハーフエアロ



リップ中央の3本柱付きのブリッジやフォグまわりのアレンジなど、純正のイメージにあわせ先進的にデザインしたフロント。別売デイトライトの追加可否で2種類から選べる(写真はVer.2)。最大3色までの塗り分けにも対応する。ボンスポは、両面テープとビスで固定するため、高速走行時も安心安全だ。



jufarre EVERY WAGON

DA17W
対応

問:シンケ ☎0725-53-3719 <http://www.shinke-box.com>

シンプルなオトナ感を宿す スマートユーロスタイル

ジュファールがエブリイに与えたのは、シンプルで飽きのこない王道のスタイリング。腰下のエアロはすべて、いったん軽くフレアさせてから、ボトムをグッと引き締めるというオトナ感に長けた意匠が採用される。

このエアロのシンプルなデザインに個性をプラスするのが、スポーティさを醸成させたサブアイテムの数々。ヘッドライトに先端を

被らせたバッドフェイスなユーロボンネットや、メッシュが精悍なワイドタイプのフロントグリルは特に効果的。シンプルでオトナな、かつ躍動的なユーロスタイルの演出にどれも大きく貢献しているのだ。

フォグとデイルイトを組み合わせたランプなど、個性が生きるヒカリモノも充実。シンプルながら変化度の高い一台だ。

プレーンな面を強調したリアスポイラーも、ボトムを内巻いた王道のスタイル。さり気なく上級感を演出できるデザインだ。

サイドスポイラーも前後同様、いったんふくらんでからボトムを絞るオトナなデザイン。純正に物足りないボリューム感も的確に補正できる。

フロントスポイラーはシンプルに面を魅せるデザイン。中ほどに弧を描いたプレスラインを刻み、そこから下をグッと絞って躍動感も表現した。

デイルイトをバルカン風に連ねたスタイリッシュなフォグランプ。ナイトシーンではもちろん、消灯状態でも高いドレスアップ性を発揮。

フェイスのアクセントとなるカラーダガーニッシュ、カラーベゼルなどサブアイテムが豊富なのも魅力。表情にメリハリを付けられる。

さり気ないバッドフェイス化が可能なユーロボンネットは、これだけでもユーロ感を強烈に発揮。グリルはワイド、精悍なメッシュ仕様。

リアゲート用パネルはワイパー取り外し後の穴を隠し、すっきりとした印象にするだけでなく平面的なリアビューにアクセントを加える。

SPECIFICATIONS

●フロントスポイラー	3万円	●LEDフォグ&デイルイトランプ	3万9000円
●サイドスポイラー	5万円	●リアゲートスモークジグパネル	1万8000円
●リアスポイラー(マフラーカッター付)	3万3000円	●ホイール/ワークリザルタードメッシュ(17×6J+38)	
●フロントグリル	2万8000円	●タイヤ(165/35-17)	
●ユーロボンネット	3万8000円	※価格は税抜き	
●カラーダガーニッシュ	2万4000円		
●カラーベゼル	1万2000円		
●上記2点セット	3万4000円		

デモカーに装着していたのはリザルタードメッシュ。ユーロスポーティな印象のフェイスとの相性を考えれば、スポーツ系は狙い目だ。





SPECIFICATIONS

●フロントフェイスキット	21万円
●フェイス用部品・灯火類一式	6万円
●リアキット	6万円
●灯火類一式	1万1000円
●リアゲートパネル	7万5000円
●タイプ3グリル	2万5000円
●ホイール/アクセス・アネーロコラソビケ (16×5J+43)	
●タイヤ/ハンコック (165/45-16)	

※価格は税抜き



フェイスキットは装着後も手前側に開ける構造。フェイスまるごとを変身させられるから化け度も文句なしだ。



パネルをリベットで留めたような処理がさりげなく施されるのもポイント。レトロな空気感を随所で楽しめるのだ。



3分割のスクエアウィンドウへと変身できるリアゲートパネル。これもバスっぽさ演出に効果を発揮してくれる。ノスタルジックな色使いも注目。



ヘッドは定番の丸目仕様で、ウインカーやサイドマーカーとセットで販売される。ブギーライダーらしいビレットを並べた風のグリルが独特。



リアキットはリアバンパーとバンパーバンパー、編板パネルの3点で構成。編板パネルは特にバスっぽさ演出に効果的だ。灯火類もレトロ感大。

spice Boogie Rider EVERY

DA17V
対応

問:ブロー ☎042-777-0453 <http://www.blow-net.co.jp>

オールドアメリカンな スタイリッシュバスへ変身

スパイスが展開するのはエブリイの雰囲気をも劇的に一変させるキュートでレトロなカスタマイズプログラム。西海岸のクラシックなスクールバスをイメージした人気のブギーライダー仕様で、オールドアメリカンな薫りを十分に味わえるのが魅力だ。

前後ともにキット化されているためオーダーしやすく、確実に変身できる構成となっているのがポイント。フロントはまさに古き良きアメリカなただずまいで、一方のリアはシンプルながら、丸形のテールランプを縦2段に積むなどノスタルジックな空気感が絶妙に演出される。

デモカーのようにボディ色を抑え気味にすれば、スタイリッシュさもグッと際立つ。エブリイだからこそ可能なバス風スタイルリング、思う存分に楽しめる。



RIDE TECH EVERY&EVERY WAGON

DA17V&W
対応

問:ネクストステージ ☎042-554-7020 <http://nextstage.tokyo.jp>



フロントバンパーもリフトアップのために開発されたショートタイプ。力感あるボトムラインの意匠、ダクトネット付きのダクト形状が躍動的。

リアバンパーはシンプルなデザイン。リフトアップ感を強調できるショートタイプとなるのが特徴だ。側面にはプレス&ダクト、精悍さも上々。



DA17W用のリフトアップコンプリートセットを用意。リフトアップスプリングだけでなくラテラルロッド、キャンバーボルトも含まれる。



リフトアップスプリング装着時には車高を約30mmアップさせることが可能。ホイール&タイヤもワイルド系でまとめれば雰囲気は倍増だ。

マッシブ&ダイナミックな リフトアップ用エアロ

コンプリートカー販売も手掛けるネクストステージが展開するブランド、ライドテックからエブリイ用のプロダクトが登場。前後バンパーのみのシンプルな構成だが、実はショート化されたリフトアップ専用のデザインとなるのが個性的。ワイルドで力強いアゲ系でエブリイを楽しみたいなら、絶対に注目なプロダクトに仕上がっているのだ。

フロントは両端ボトムの手渉を防ぐために切り上げつつ、ダクトネット付きのマッシブなスクエアダクトを連ねるといって攻撃力のある装い。リアも側面にダクトを刻むなど、ダイナミックな走りを予感させるアレンジを採用している。鍵となるのはオリジナルのリフトアップスプリング。約30mmの車高アップで迫力のシルエットを実現可能。

SPECIFICATIONS

●フロントバンパー(ダクトネット付属)	5万3000円
●リアバンパー(ダクトネット付属)	4万8000円
●足まわり/アップスプリング	3万5000円
●ホイール/MLJ・エクストリームJ(13×4J)	
●タイヤ/ナンカン(165/70-13)	

※価格は税抜き



おめでとうございます!!

2015年11月に結果発表がおこなわれたギャルソンウェブダイレクト主催「DAD オーナーズミーティング 2015」。
ケータイ★スタイルワゴンでは雑誌掲載が特典となった K.S.W. 賞を設置。今号ついに受賞車を公開!



D.A.D. オーナーズミーティング 2015 K.S.W.賞 受賞 市岡 正樹様



▲リアもオデッセイのよさを活かしながら、よりシャープに仕上がっている。直線でまとまりのあるデザインが美しい。



▲エクステリアのタイトさとは異なりインテリアは濃厚な DAD 愛を感じる。アイテム選びは居住性やドライビングタイムの楽しさを重視している様子が伝わってくる。

【受賞者のコメント】

今回のギャルソンオーナーズミーティングの投稿は今のオデッセイが 11 年目になり来年で降りようと考えてた時で最後になるかもしれないという事で応募させていただきました。
長年ギャルソンが好きでギャルソンオリジナルのパーツを使ってた思い出の車両で今回このような賞を頂けて凄く嬉しいです。スタイルワゴンさんにも何回か載せて貰い凄く良い思い出になりました。

ユーザーが雑誌に載れる。
「スタイルワゴン」「Kコーススペシャル」
公式モバイルサイトはココからアクセス!



入会キャンペーン
実施中!!

▽他にこの2台が編集部賞に選出!!▽



▲田中和人 様



▲D.K 様

おめでとう!



LIVE!
660
OWNERS

- 開催日:11月29日(日)
- 開催場所:霧島高原国民休養地
- 主催:最終決戦事務局

九州全域の猛者が集まるBIGイベントとして知られる「最終決戦」。九州のオーナーは我が道をいく個性派が多く、今回もひと目見てわかるようなキャラクターの立ったクルマがたくさん登場。自作している人が多いのも、その傾向を後押ししているようだ。家族での参加率が高いのも特徴かも。

2015最終決戦 in 鹿児島

～ Last decisive battle ～

走りを意識させる
小技テクが満載



L250V
ミラ
平成 17 年式

OWNER
安部 心さん
(大分県)



リアシートを外し、鎮座するウーファーボックスは自作。これから煮詰める予定だ。頑丈そうなロールバーは6点式。



極小径のステアリングはドラッグマシンのような雰囲気。マットをひかず、鉄板むき出しのフロア部がスバルタン。

足まわりは自分で加工したという安部さん。昨年10月に結婚したばかりで「ドレスアップはちょっとストップかな」。

フェンダーのプレスラインに細いカッティングシートを貼り、オーバーフェンダー風に。ビス部分もデザインして、かなり凝っている。



SPECIFICATIONS WHEEL ●メーカー不明(15x7J+38) TIRE ●ATR(165/45-15) AERO PARTS ●F/S/R=ワンオフ INTERIOR ●シート=コブラバケット SUSPENSION ●車高調&リアアクスル=ワンオフ MUFFLER ●直管 MAKING SHOP ●BooBee



この車高ではるばる奈良から参加



室内にはレカロシートをツインで装備。腰面と背面は赤ステッチのタイヤキルト生地に張り替えている。スポーティさ中にオシャレ感を。

MH21S
ワゴンR
平成 16 年式

OWNER
ゆかさん
(奈良県)



OZステアリングも赤のステッチを入れて巻き替え済み。ふきだし口や内張り部分はラップ塗装でワンポイント。

「この車高でどこでも走れることが自慢です。あとフェンダーのキレイさ」とゆかさん。こうきくん、ゆりはちゃん、よしをパパもニコリ。



キャンパー角に合わせたツライチが見事。アーチ上げを施し、インナーまできれいに加工しているという。奈良の職人ガレージBの仕事だ。

SPECIFICATIONS WHEEL ●アイフォース・FD486 TIRE ●ヨコハマ AERO PARTS ●F=スベリール加工、S=ブローデザイン・モードバルファム、R=エヌデザイン EXTERIOR ●ウイング=オーバーテック、フェンダー=アーチ上げ&インナー加工、ヘッドライト&テールランプ=ワンオフ INTERIOR ●ステアリング=OZ張り替え、シート=レカロ張り替え、インパネ=ラップ塗装 SUSPENSION ●車高調=メーカー不明加工、リアアクスル=バルテック BRAKE ●イデアル MAKING SHOP ●ガレージB

2年かけて自作した金ムーヴ



2年かけて自作したオーバーフェンダーは「VIPセダン意識」。アーチのラインやリアドア部の処理にこだわりを感じる。



内装も赤を基調に強烈なインパクトを放つ。シートカバーはオーダーメイドで、モモステアリングも赤を選んでいる。



キャンバーを切ったタイヤの見せ方もポイントのひとつ。自作したとは思えないでさ。



L175
ムーヴ
カスタム
平成19年式

OWNER
開田 翼さん
(鹿児島県)

以前はムラサキ、今回はゴールドメタリック、次は赤にしたいという開田さん。次も2年後かな？

SPECIFICATIONS WHEEL ●ワーク・マイスター S1(16×F8.5J+28, R8.5J+11) TIRE ●ナンカン(205/40-16) AERO PARTS ●F/S/R=プロデザイン・モードバルファムファントム雅夢加工 EXTERIOR ●フェンダー=自作F4cm&R7cm叩き出し INTERIOR ●ステアリング=モモ、シートカバー=オーダー SUSPENSION ●エアサス=ボルドワールド、リアアクスル=チビ鬼 MUFFLER ●ワンオフ BRAKE ●イデアル AUDIO ●アンプ&ウーファー=ロックフォード

普段の通勤車としても活躍中

車高調、アクスル等の取り付けやセッティングはすべて自分でやっているという福永さん。さらに煮詰めたという。



ラゲッジオーディオも自作。狭いスペースを活かすためロックフォードのウーファーの上に、サブの2段重ね。

SPECIFICATIONS WHEEL ●ウエッズ・クレンツェ ケルベロス(15×7J+36) TIRE ●ハンコック(165/45-15) AERO PARTS ●F/S/R=ESB-CLSネオエディション EXTERIOR ●フェンダー=純正加工 SUSPENSION ●車高調=Fバーディークラブ、Rストリッドライド、リアアクスル=アヒル商会 AUDIO ●ウーファー=ロックフォード



EBSのエアロはデザインが気に入っているため加工はせず、左右の開口部横にLEDを埋め込んでいる。

L250S
ミラ
平成17年式

OWNER
福永瞬也さん
(鹿児島県)



「この最終決戦に出すために離職してしました。現在、職活中です(笑)」。奥さんとお子さん2人のために頑張ってくださいね。



L550S
ムーヴラテ
平成19年式

OWNER
松崎 愛さん
(宮崎県)

旦那さまとの出会いをきっかけにドレスアップを始めたという愛さん。この春にお子さんも出産予定で、幸せいっぱいのおふたり。



リアバンパーもワンオフ。アンダー部にデフューザー風のラインを入れ、ブラックアウトして起伏を強調している。



立体感のあるフォグまわりが自慢



フォグまわりは現行BMWの3シリーズを意識した自作ワンオフ。立体感のあるカタチは、なかなか個性的な仕上が。



ピラーやフードまわりはヒョウ柄に張り替え。「なるべくお金をかけたくない」ので、これも自作です。

SPECIFICATIONS WHEEL ●ワーク・ネッツァルト(16×7J+38) TIRE ●カイザー(165/45-16) AERO PARTS ●F/R=自作ワンオフ EXTERIOR ●アイライン=自作ワンオフ INTERIOR ●シートカバー=ベレッツァ SUSPENSION ●車高調=レオン、リアアクスル=純正加工 AUDIO ●ウーファー=MTX

もともとは黒ボディからイメージ一新。光沢のあるメタリックカラーで、より存在感アップ。ガルウイングにも大注目だ。



2連のプロジェクトにイカリングを設置。さらにグリル横のスペースには新たにプロジェクトを装備している。

LA100S
ムーヴ
カスタム
平成25年式

OWNER
上田 浩人さん
(熊本県)



九州を代表する個性派ユーザーのひとりである上田さん。「テーマは戦うイメージ」ということだが、確かに強そうだ。

ラゲッジにはエアサスのタンクやウーファー、アンプなどを所狭しとディスプレイ。NOSのニトロボンベもさりげなく。

SPECIFICATIONS WHEEL ●ヨコハマホイル・AVS モデルT5(17×F8.5J+40, R9.5J+38) TIRE ●ATR(F185/35-17, R195/30-17) AERO PARTS ●F/S/R=セレスティア EXTERIOR ●ヘッドライト=ワンオフ、テールレンズ=純正加工 INTERIOR ●ステアリング=モモ、シート=日産純正 OP SUSPENSION ●車高調=辰巳屋興業加工、エアバッグ=エアサイン、リアアクスル=ワンオフ MUFFLER ●ワンオフ MAKING SHOP ●セレスティア

艶やかなラッピングでイメージ一新



内装も同じオレンジとブラウンで張り替える。厚みのあるモケットっぽい生地で、暖かそうなイメージ。パネル類も自家塗装。



前後エアロともにワンオフ加工。フェンダーはさりげなく叩き出している。



内外装をオレンジでまとめる



ヘッドライトも自作加工。3連プロジェクターをバランス良く押し込んで、その下にブルーのLEDを収めている。

SPECIFICATIONS WHEEL ●ギャルソン・DAD ツェンレイン (18x7.5J) TIRE ●ナンカン (215/40-18) AERO PARTS ●F/R=純正加工、S=ムーヴ純正加工 EXTERIOR ●ヘッドライト&テールランプ=純正加工 SUSPENSION ●車高調=テイン MUFFLER ●純正加工 AUDIO ●アンプ=ボーズ、ウーファー=ロックフォード

L800S
Opティビークス
平成11年式

OWNER
川辺翔太さん
(鹿児島県)



「ツェンレインの18インチが手に入った時点で、方向性が決まりました」と川辺さん。SUV的に大きく見える所もお気に入り。

感性のままに作ったOpティビークス



シルバーのウイングはセリカ用を流用。これにより、より車種不明感がアップする。



立体感のあるダイヤブロック塗装はツヤ消しブラック。近くで確認しないとわからない所もひそやかな自慢。



JB1
ライフ
平成14年式

OWNER
園田真奈美さん
(宮崎県)



「Vlad Style」というカーショップを立ち上げた園田さんはやる気まんまん。かわいい娘さんは星結(らむ)ちゃん。



ヘッドライトには3連プロジェクターを投入し、ウinker&ポジションはLED化。ブラックマスクで昼と夜とでは、違う表情を見せてくれる。

SPECIFICATIONS WHEEL ●ケイブレイク・リリス M-01 (16x6J) TIRE ●クムホ (165/40-16) AERO PARTS ●F=ダムド加工、R=ケイブレイク・コンプリート加工 EXTERIOR ●ヘッドライト=3連プロジェクター、テールランプ=純正LED加工、フェンダー=純正加工 SUSPENSION ●車高調=日正タイヤ、リアアクスル=純正加工 MAKING SHOP ●Vlad Style

旧車仕様

個性派 L700 ミラ

シャークマスク

L700V
ミラ
平成17年式

OWNER
中村知美さん
(福岡県)



「Z乗りの主人とは結婚4年目。夫婦でクルマバカなので、これからも頑張ります」と中村さん。製作担当は旦那さまなのだとか。



チンスポはジャパン用を加工。ワイドホイールとこの車高のため、フェンダーはアーチ上げをしてビス止めフェンダーを装備。これからはロングノーズに挑戦する。



シートはRX-8用を流用。若干大きいので、運転席と助手席とのスペースはまったくない。



インパクト満点の旧車仕様

SPECIFICATIONS WHEEL ●ワーク・エクイップ01 (14x F8J-18、R8.5J-25) TIRE ●ナンカン (F155/55-14、R165/55-14) AERO PARTS ●F=スカイラインジャパン用チンスポ加工、R=純正加工 EXTERIOR ●フェンダー=ワンオフ、ヘッドライト=純正加工、テールランプ=Gino純正加工 INTERIOR ●ステアリング=当時のナルディ32φ加工、シート=RX-8純正加工 SUSPENSION ●車高調=ワンオフ、リアアクスル=ワンオフ可変式 MUFFLER ●ワンオフ42.5φデュアルフルストリート MAKING SHOP ●Garage Kiss



極太エクイップは前後ともバンにタイヤを引っ張っている。タイヤサイドの丸みが往年のレーシングタイヤ風だ。



米軍の戦闘機のようなシャークマスクが目玉を引く。これはカッティングシートによるもの。

L700S
ミラ
平成14年式

OWNER
小野稜太さん
(福岡県)



「人と違うことが好きで、その結果がこのミラです」と小野さん。ほとんど自作しており、なるべくお金をかけずにカスタムするのがモットー。



戦闘機のようなシャークマスクに注目



ヘッドライトカバーは湯豆腐などを使われている「アミシヤクシ」のようにも見える。



なぜかボンネットの上にはツインの機関銃が。もちろんダミーだが、なかなかのリアル感。

SPECIFICATIONS WHEEL ●エンケイバハ (14x6J+4) TIRE ●ピレリ (155/55-14) AERO PARTS ●F/R=純正加工、S=MH21用純正 EXTERIOR ●フェンダー=叩き出し、ヘッドライト=純正加工 INTERIOR ●ステアリング=イタルボランテ SUSPENSION ●車高調=Fのみシェビーゲル、リアアクスル=不明 MUFFLER ●自作

2015年のドレコンシーズンも終盤を迎えた11月。秋晴れの中開催されたトップスタイル杯も今回で9回目。セダンを中心に全国各地からドレスアップ雑誌を賑わせる車両が集まったほか、地元からも多数のドレスアップ自慢がエントリー。早速、会場に並んだドレスアップKカーの中から、Kスぺ的に気になったクルマをお届けするぞ♪



TOP STYLE杯 9th Stage

目指すはおしゃれなシンプル仕様



MH23S
ワゴンR
平成23年式

OWNER
平岡竜一さん
(福井県)

「土井さんのワゴンRにあこがれて作りました」と平岡さん。このイベントがリメ開け一発目。



フロントまわりは、ベンツEクラス純正フォグ&浮かせたルーバーでシンプルスタイルを追求している。



インテリアは好きな色であるオレンジを基本に薄いグレーをコーディネート。室内を明るく演出。



リパレルのBBS-RSや白から白への全塗装など、シンプルさにこだわったワゴンR。「おしゃれな感じを目指してます」。



「見えないところもおしゃれにしようと思ったんです」と、マフラーのパイプはS字にデザインした。

SPECIFICATIONS WHEEL ●BBS-RS(16×F6.5J+38、R6.5J+32) TIRE ●ナンカン(165/40-16) AERO PARTS ●F/R=ブローデザイン・モードバルファムジュン加工 EXTERIOR ●ドアミラー=ラバン純正、各部スモーキング INTERIOR ●シートカバー=メーカー不明、各部張り替え SUSPENSION ●車高調=日正タイヤ、リアアクスル=大澤商会 MUFFLER ●ワンオフ ほか MAKING SHOP ●パラダ、スパークファイ

ユーロエディションに純VIPフォグを投入!



ルーフにはサンルーフ。ここもセダンを意識しているポイントとなっているのだ。



MH23S
ワゴンR
スティングレー
平成23年式

OWNER
山本彩加さん
(山口県)

イベント当日は、友達の結婚式に参加していた彩加さん(右上)。目指すは男前仕様だ。



ボディを包むのは、全塗装したばかりのレクサスRCFブルー。フロント7度/リア8度のキャンバーなど、足元もセダンを意識してメイクする。

SPECIFICATIONS WHEEL ●ウェッズ・クレンツヴェーラーエ(17×F7J+34、R7J+24) TIRE ●ナンカン(165/35-17) AERO PARTS ●F/R=エイムゲイン・ユーロエディション加工、S=エイムゲイン・ユーロエディション EXTERIOR ●ヘッドライト=リミテッド純正、テールレンズ=LED加工 INTERIOR ●シートカバー&フロアマット=エイムゲイン、インパネ=ワンオフ SUSPENSION ●エアサス=ボールワールド、リアアクスル=ジェーライン BRAKE ●キャリパーキット=イデアル加工 ほか MAKING SHOP ●K-PRODUCE



「デモカーを見て、入れたいと思った」という純VIP用フォグに合わせて、開口部も純VIPらしく加工した。

リアはユーロエディションがベース。左右出しに変更したマフラーの開口部をギリギリに配置してワイド感を演出。





LA100S
ムーヴ
カスタム
平成23年式
OWNER
佐古 豊さん
(広島県)



LA100Sに乗って5年になる佐古さん。フロントの仕様変更など、大幅なリメイクを計画中だ。



「広島らしいトータルでキレイなクルマ作り」を目指す佐古LA100S。ドレスアップのテーマはユーロスポーツ。



外向きに作ったオーディオがインパクト抜群。「外装と内装のギャップを見て欲しいです」。



大きく開いた開口部が特徴のフロント。「カナードは店からのサプライズです」。

SPECIFICATIONS WHEEL ● BBS-RS(16×7J+38) TIRE ● クムホ&ハンコック(165/40-16) AERO PARTS ● F=ケイブレイク&ブレーダーマウス、S/R=ケイブレイク・コンプリートムラチナム加工 EXTERIOR ● ヘッドライト=ブラックアウト、テールレンズ=コーリンプロジェクト INTERIOR ● シートカバー=ディオム、各部張り替え SUSPENSION ● エアサス=ボルドワールド、リアアクスル=アヒル紹介 MUFFLER ● プレジアティシモ加工ほか MAKING SHOP ● イーブンジャパン、アフェット

トータルでキレイなムーヴを目指す！



リアのプリスターフェンダーは、片側約4cm。スタンスを意識した足まわり。



フロントバンパー以外はすべてワンの谷村ビート。ボディカラーは326パワーのレクサスRCから。



PP1
ビート
平成6年式
OWNER
谷村和志さん
(広島県)



「渋さを出すために当時モノの13インチを使っています」というSSRフォーミュラメッシュをハットバッドで。

SPECIFICATIONS WHEEL ● SSR・フォーミュラメッシュ(13×F7J-1、R9J-1) TIRE ● コルサ & ナンカン (F165/60-13、R195/60-13) AERO PARTS ● F=RS マッハ・レーシングハマー、S=ケンスモード加工、R=バックヤードスペシャル加工 EXTERIOR ● プリスターフェンダー=バックヤードスペシャル加工、ヘッドライトカバー=RS マッハ、テールレンズ=ワンオフ INTERIOR ● シート=S2000純正 SUSPENSION ● 車高調=ファイナルコネクション、スプリング=326パワー MUFFLER ● ワンオフほか MAKING SHOP ● 井上銀金

オリジナリティで勝負!!!

DA64W
エブリイ
ワゴン
平成20年式
OWNER
吉田智哉さん
(奈良県)



内装の作り込みを予定している森田さん(右)と、足まわりを仕上げていきたいという吉田さん。

MH21S
ワゴンR
平成17年式
OWNER
森田賢司さん
(奈良県)



零戦をモチーフにドレスアップする森田さん。イメージは、戦場から帰ってきて、傷んでいる感じだ。



フェアリングやバランスバイクなど、スタンスシーンでも馴染みのアイテムをルーフに載せて、雰囲気アビる。



吉田エブリイは、旧車っぽさに加えてUS感を取り入れたスタイルでドレスアップされている。

SPECIFICATIONS WHEEL ● XXR-913(15×8J+25) TIRE ● ハンコック(165/45-15) AERO PARTS ● F=はろーすべし EXTERIOR ● オーバーフェンダー=はろーすべし、フェアリング=スーリーほか MAKING SHOP ● ガレージイル

人がやってないスタイルに挑戦！

ドレスアップのテーマは「零戦」



フロントのチンスポと合わせて、旧車ワークスを思わせるウイング。コンセプトに合わせてワンオフ製作。



インテリアは、零戦のコクピットを意識。「シフトノブは空自のF-104で実際に使っていた操縦桿です」。



ビス留めフェンダーは、グッドウィンファクトリー製。「ワークスっぽさも出したかったんです」と森田さん。

SPECIFICATIONS WHEEL ● ワーク・マイスターCR01(15×F8J、R9J) TIRE ● ナンカン(F165/50-15、R185/45-15) AERO PARTS ● F=ワンオフ EXTERIOR ● ウイング&ヘッドライトカバー&テールレンズカバー=ワンオフ、オーバーフェンダー=グッドウィンファクトリー INTERIOR ● ステアリング=モモ、シート=ダットサン(レプリカ) SUSPENSION ● 車高調=ボルドワールド、リアアクスル=アヒル商会 MUFFLER ● ワンオフほか MAKING SHOP ● ガレージイル

ブレーン意識のフロントバンパー



ボディカラーに合わせて赤を基調に張り替え。「差し色のページは、使いたかった色なんです」。

Kカーにはないブレーンをモチーフに加工したバンパー。「飽きのこないデザインに仕上げました」。リアバンパーもニコイチしただけではなく、アクリルフィンを加えてオリジナリティを高めている。



MH23S
ワゴンR
平成22年式

OWNER

今城侑也さん
(大阪府)

「次は、ホイールの変更に、トランクオーディオの製作をしようと思っています」と今城さん。

SPECIFICATIONS WHEEL ●ワーク・リザルタードメッシュ(17×F7J+38, R7J+20) TIRE ●ナンカン(165/35-17) AERO PARTS ●F=ケイブレイク・コンプリート加工, S=ケイブレイク・コンプリート, R=ケイブレイク & バタフライシステム EXTERIOR ●ヘッドライト=プロジェクター加工&インナー塗装、テールレンズ=LED加工、ボンネット=フィール INTERIOR ●ステアリング=イゾツタ、シートカバー=エルティード、各部張り替え SUSPENSION ●車高調=JIC、スプリング=326パワー、リアアクスル=バルテック MUFFLER ●ワンオフ ほか MAKING SHOP ●K's BPA、アディクト



「かわいい仕様からのイメージ」を目指してガンメタに全塗装。ユーロをエアロとの相性も抜群で、クラス上の質感をゲット。



DA62W
エブリイ
ワゴン
平成16年式

OWNER

りきぽんさん
(山口県)

「ホイールを変えたい」とりきぽんさん。同時に、キャンパーLOOKにも挑戦予定なのだ。



バンニングらしさを狙っているりきぽん号。リアゲートにエアブラシを入れて、さらに「らしく」する予定。

SPECIFICATIONS WHEEL ●メーカー不明(17インチ) TIRE ●ナンカン(165/40-17) AERO PARTS ●F/S=メーカー不明&エイムゲイン&ケイブレイク, R=メーカー不明&リアルスピード&ケイブレイク EXTERIOR ●ウイング=自作、ヘッドライト&テールレンズ=LED加工 INTERIOR ●ステアリング=ファブレス、シートカバー=クラッツィオ、各部張り替え&塗装 SUSPENSION ●エアサス=ボルドワールド MUFFLER ●純正加工 ほか MAKING SHOP ●プラスアルファ

ドイツシユホイールで差をつける



注目は「最近誰も履いていないから履かせてみた」というドイツシユホイール。ボディ色に合わせて高級感を底上げ。



L235S
エッセ
平成18年式

OWNER

ジョンサン
(広島県)

2月にはふたりめの「子ジョン」が生まれる予定のジョンサン。「エアロ加工したいです」。

SPECIFICATIONS WHEEL ●Gコーポレーション・エスティタスタイルD2ML(16×6.5J+38) TIRE ●クムホ(165/40-16) AERO PARTS ●F=シュビーゲル・アルティスタ加工, R=アルティスタ加工 EXTERIOR ●テールレンズ=LED加工 INTERIOR ●ステアリング=モモ、シート=レカロ張り替え、フロアマット=プレジャスト、各部張り替え SUSPENSION ●車高調=IBS、リアアクスル=ワンオフ BRAKE ●フロントキャリパー=ブレンボ、リアディスク化 ほか MAKING SHOP ●IBS

スポーツカーにありそうなデザイン



「赤に塗るとき、どんな赤にするかや悩んだけど、仲間の意見を参考に、レッドメタリックを選びました」。



「参考にするに寄ってしまう」と自分で考えたバンパー。オリジナリティを重視。



フェンダーは小振りに製作。前後8Jを履き、太さとキャンパー角をアピール。

MH21S
ワゴンR
平成17年式

OWNER

せーやんさん
(愛知県)



「いままで純ベタだったので、エアロに挑戦してみました」というせーやんさん。

SPECIFICATIONS WHEEL ●メーカー不明(15×8J+28) TIRE ●ナンカン(165/50-15) AERO PARTS ●F/R=メーカー不明加工 EXTERIOR ●フェンダー=ワンオフ INTERIOR ●シートカバー=クラッツィオ SUSPENSION ●車高調=RS-R、リアアクスル=グラウンドゼロ MUFFLER ●ケースバック加工 ほか MAKING SHOP ●S.S Factory

N-WGN最速シャコタン仕様



JH1
N-WGN
カスタム
平成26年式

OWNER
山本竜二さん
(大阪府)

「目指すは、フロントキャンパー8度&着地です」と山本さん。N-WGN最速車高短計画進行中。



クルマいじりをやるつもりで買ったN-WGNカスタム。「カッコいいエアロが出るのを待ってます」。



「アイボリーとワインレッドは決めましたが、あとはおまかせ」というオーダーメイド。



「結局、やめられなくて半年でシャコタンになっちゃいました(笑)。キャンバー角はF3度/R8度。」

SPECIFICATIONS WHEEL ●ワーク・デュラダルDD10.5(16×F6.5J+32、R6.5J+27) TIRE ●ナンカン(165/40-16) INTERIOR ●ドア内張り=張り替え、SUSPENSION ●車高調=RS-R、リアアクスル=ジェーライン MUFFLER ●純正加工 AUDIO ●ヘッドユニット=カロッツェリア、アンプ&スピーカー&ウーファー=ロックフォード、追加モニター=10個 ほか MAKING SHOP ●メイクアップ



HA1W
平成15年式

OWNER
相庭明大さん
(広島県)



「アクスルは、1個別で用意して具合を見ながら作りました」と相庭さん。なかまっちゃんと。



通をうならせるアドバンOni



相庭さんは、いち早くサンルーフを取り入れたオーナーのひとり。もちろんアイにも即装着!



SPECIFICATIONS WHEEL ●ヨコハマ・アドバンOni(16×F8J+27、R8J+12) TIRE ●フェデラル&クムホ(165/40-16) AERO PARTS ●F=KLC・プレミアムスポーツ、R=ダムド INTERIOR ●ステアリング=モモ、シート=RX-8純正 SUSPENSION ●エアサス=ボルドワールド加工、リアアクスル=ワンオフ MUFFLER ●ワンオフ ほか MAKING SHOP ●IBS

40代以上のドリ車好きにはたまらないアドバンOni。「8Jなのでハミホイです(笑)」。

スーパーカー意識のスタイリング



HA23S
アルト
平成14年式

OWNER
あっちゃん
(広島県)



「とりあえずロールバーを入れます」とあっちゃん。内装の張り替え&植毛塗装も計画中ののだ。



「他にはないスタイル」を目指して、スーパーカーを意識。GTウイングなどのアイテムが雰囲気を盛り上げている。

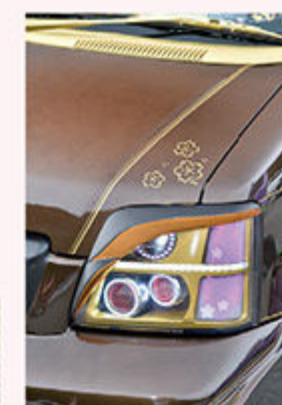


エアロは4分割タイプのHTデザイン。ボンネットとフェンダーを延長して製作したバッドフェイスも見所のひとつだ。

SPECIFICATIONS WHEEL ●BBS-RG-F(15×6.5J+38) TIRE ●ナンカン(165/45-15) AERO PARTS ●F=ガレージデライト・HTデザイン、S=ESB・STDコレクション、R=ESB&ケイブレイク INTERIOR ●ステアリング=スバルコ、シート=レカロ SUSPENSION ●車高調&リアアクスル=ちび鬼 BRAKE ●キャリパーキット=ケイブレイク MUFFLER ●ESB ほか



「ゴツい感じが好きで、買ってすぐ付けました」というブラックマフィア。もちろん注目ポイント。



ヘッドライトの加工や、各部のカッティングに桜をアレンジ。ホイールも桜で、全身桜仕様だ。

フェンダーやホイールの変更に加え、内装を張り替えたという福岡さん。

MC11S
ワゴンR
平成9年式

OWNER
福岡龍治郎さん
(岡山県)



MCワゴンRを買ったのは、MH23Sが出た頃。「この型が好きで、エンジンもなおしてます」。

SPECIFICATIONS WHEEL ●アールブライド・和道桜5分咲き(16×5J+43) TIRE ●クムホ(165/45-16) AERO PARTS ●F/S/R=ギャルソン・ブラックマフィア EXTERIOR ●ウイング=メーカー不明、ヘッドライト=ワンオフ、テールレンズ=ユーロテール INTERIOR ●ステアリング=モモ、シートカバー=クラッツィオ、各部塗装&張り替え SUSPENSION ●エアサス=ボルドワールド、リアアクスル=KMオートガレージ MUFFLER ●ケースベック ほか MAKING SHOP ●FEEL ONE

大好きなブラックマフィアでキメた

LIVE!
660
OWNERS

●開催日:11月22日(日)
●開催場所:舞洲スポーツアイランド(大阪府)
●主催:はろーすべしゃる
☎0774-65-5095
http://hello-special.com

「世界に広げよう!軽トラの輪」の合い言葉とともに始まった「オフ会だよ!軽トラ大集合」も今年で4回目。このイベントのおかげで、軽トラブームが始まったといっても過言ではない。ここで交流を深め、さらにカスタムのレベルも格段にアップ。今回は猛者たち12台をピックアップ。

第4回 オフ会だよ! 軽トラ大集合2015



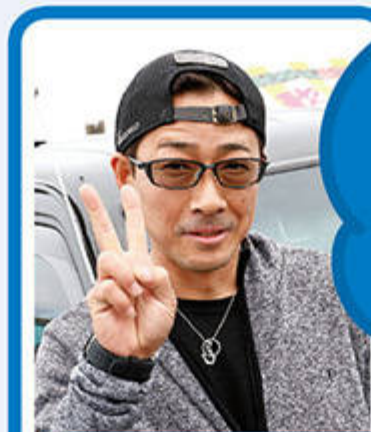
F6ツインカムターボ搭載で走りもイケル



軽トラとは思えないようなスバルタンな室内。でも助手席には息子さんのチャイルドシートが。



フェラーリのようにアクリルカバー越しにエンジンを見せている。小型のロールバーもワンオフ品。



DC51T
キャリイ
平成3年式

OWNER
堤 和寛さん
(福岡県)

遠路、福岡から駆けつけてくれた堤さん。これからは足まわりの見直しをおこなう予定とのこと。



デコトラを得意にしているショップで製作。



エンジンは先代アルトワークス用のF6ツインカムターボに積み替え。見た目と走りを両立させてるのだ。

SPECIFICATIONS WHEEL ●RSワタナベ・エイスポーク(14×F6.5J、R7J) TIRE ●ファイアストーン(155/55-14)
AERO PARTS ●F=チンスボ、S=ステンレスパイプ加工、R=ワンオフ EXTERIOR ●フェンダー=ワンオフ
INTERIOR ●ステアリング=モモ、シートカバー=オリジナルシートカバー MUFFLER ●オリジナルサイドマフラー
MAKING SHOP ●誠和備美工

アグレッシブなのにオシャレ



フォグダクト内にはベンツ用のLEDデイライトを装備。オーバーフェンダーはビス止めではなく、パテ埋めされている。

SPECIFICATIONS WHEEL ●ロンシャンXR4(13×8J) TIRE ●ナンカン(165/50-13) AERO PARTS ●F/S/R=エクセレントセゴナ加工 EXTERIOR ●ヘッドライト=&テールランプ=ワンオフ加工、ウィンドウ=フロント上下ぼかしガラス
SUSPENSION ●車高調=ケイゾー MUFFLER ●ワンオフ5本出しマフラー MAKING SHOP ●オートサービス林

S201P
サンバー
平成25年式

OWNER
野田佳秀さん
(北海道)



北海道から参加した野田さん。実は堤さんとは昔からの知り合いなのだとか。娘の佳恵ちゃんと。



軽トラでは意外に少ないヘッドライト加工。バルカンを入れ、そのまわりを白く光るアクリルカバーで囲む。



テールはダンプカーを意識してミニキャブ用を上下2段で埋め込んでいる。マフラーはセンター5本出し。



荷台のフック部分をきれいさっぱりスモーキング。「荷物は積まないで不要です(笑)」。



車高を極めるためガソリンタンクは荷台に移設。ダンパー付きのトノカバーもワンオフで作ってしまった。



エアロは翔プロデュースをベースに、フォグレスやデイルイト化などで造形を変えている。



荷台には凄みのあるスカルのエアブラシを描く。あおりは腐食したため取っ払っている。



「解体寸前をレストアしながら作り直した。内装もボロボロだったんですけど、外装に合わせてイエローで統一。」



DA63T
キャリイ
平成15年式

OWNER
須崎久光さん
(大阪府)

中古屋さんを営む須崎さん。このキャリイはまったくの遊びクルマで「勢いで作っちゃいました(笑)」。

SPECIFICATIONS WHEEL ●メーカー不明(16インチ) TIRE ●ダンロップ(165/55-14) AERO PARTS ●F=翔プロデュース加工、S/R=翔プロデュース EXTERIOR ●フェンダー=翔プロデュース INTERIOR ●ステアリング=モモ、シートカバー=ベレッツァ MUFFLER ●バイク用加工 MAKING SHOP ●Evolution



センター部分にはスポーツテイな4連メーターを設置。夜間に見ると、よりメカニカルな雰囲気のアピールできる。



インパネは3Dダイヤモンドブラック塗装で、高級感のある輝き。天井も同じブラックウ生地張り替えている。

赤からブロンズに変更し、大人の雰囲気



言葉がありすぎて荷物を積むのをためらってしまいそう。



S201P
ハイゼット
ジャンボ
平成22年式

OWNER
石本寿史さん
(佐賀県)

佐賀県から参加した石本さん。翔プロデュースの大ファンで、赤いブルゾンも翔プロ。



翔プロデュースのエアロが気に入っているため、加工はしない。ブロンズカラーは三菱アイの純正色だ。

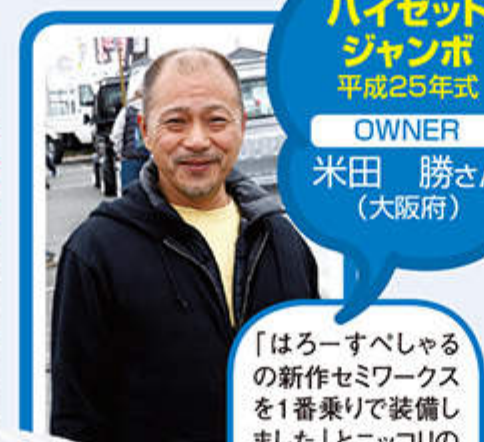
SPECIFICATIONS WHEEL ●レオマスター・バルクインパクト(16×6.5J+38) TIRE ●ケンダ(165/40-16) AERO PARTS ●F/S/R=翔プロデュース EXTERIOR ●テールランプ=純正加工 INTERIOR ●シートカバー=ファイナルコネクション SUSPENSION ●車高調=シュビーゲル MAKING SHOP ●古賀板金



マフラーはセンター4本出し。リアバンパーのアンダー処理は赤色を選び、よりメリハリのあるリアビューに。



周囲をミラー風加工した他、背面は鮮やかなシエラ仕様に變更されたメーターまわり。



S201P
ハイゼット
ジャンボ
平成25年式

OWNER
米田 勝さん
(大阪府)

「はろーすべしゃるの新作セミワークスを1番乗りで装備しました」とニコリの米田さん。

新作のセミワークスを一番にゲット



エアロははろーすべしゃるで統一。新作のセミワークスが車体を大きく見せる。

SPECIFICATIONS WHEEL ●SSR・プロフェッサー SP1R(14×7.5J, R8J) AERO PARTS ●F/S/R=はろーすべしゃる・ベリキ・ノスベリアル EXTERIOR ●ルーフスポイラー=VIP沖縄、オーバーフェンダー&リアウイング=はろーすべしゃる INTERIOR ●インパネ=はろーすべしゃる SUSPENSION ●車高調=Fシュビーゲル、Rケイゾー MUFFLER ●ワンオフ4本センター出し MAKING SHOP ●はろーすべしゃる



一般にローダウンに向きとされている4WDモデルをベースに、地上高2cmを実現させている。



痛車テイストも大好きな大西さん。フロントリッパや荷台などにも出沒。

荷台の背面にはマリン用の完全防水スピーカーを取り付ける。



リアはホーシングとリッパを逆転させて、タイヤが荷台から顔を出すほどの超ローダウン。カバーも作る予定。

SPECIFICATIONS WHEEL ●FSSR・リバースメッシュ&R SSR・マーク1(F15×7.5J-5, R14×5.5J+38) TIRE ●ATR(F165/45-15, R155/55-14) AERO PARTS ●F/R=62エブリイ用スズキスポーツ、S=MHワゴンR用 EXTERIOR ●フェンダー=ワンオフ、ロールゲージ=63用加工 SUSPENSION ●車高調=KT63用流用、ホーシング=純正逆転加工 MUFFLER ●シャドウ1100用ガソリンマフラー加工 MAKING SHOP ●TOSHLOW-ISM



DB52T
キャリイ
平成11年式

OWNER
大西敏晴さん
(兵庫県)

今後はエンジン、ミッション、燃料タンクの移設を行い、さらなる低さにチャレンジすること。

荷台からタイヤが出るほどの低さ



**U61T
ミニキャブ
トラック**
平成14年式
OWNER
林伸一郎さん
(徳島県)

「ミニキャブ用パーツは少ないだけに、そこが悩みのタネ。でもそこが楽しいです」と林さん。



テールランプの台座から作った星形ワンテール仕様。さりげないけれど、かなり個性的。



リアビューはダンプカーをイメージしてシンプルに仕上げ。グリルは三菱のロゴをワンオフ。



三菱マーク入りのマッドフラップも、林さんが作ったオリジナル。

大好きなダンプの重厚さを加える



SPECIFICATIONS WHEEL ●はろーすべしゃる・エイトシックス(14×7J) TIRE ●ナンカン(155/55-14) AERO PARTS ●R=ワンオフワンテール仕様 EXTERIOR ●フェンダー=はろーすべしゃる INTERIOR ●シート=ジュビーゲル SUSPENSION ●車高調=ケイゾーン MUFFLER ●自作



サーキットや峠もガンガン走る

エンジンをK6Aツインカムターボに積み替え、07タービンでよりパワーアップ。足まわりにはクスコのLSDも組んでいる。



左右ともフルバケットシートに変更。その走り屋的な印象は軽トラの室内とは思えない。



SPECIFICATIONS WHEEL ●RSワタナベ・RS-8(14×F7J+28、R7.5J+25) TIRE ●Fヨコハマネオバ&Rドリフト用廃タイヤ(165/55-14) AERO PARTS ●F=不明ハーフ、S/R=キャンディモービル EXTERIOR ●ヘッドライト=62用純正塗装、フェンダー=3cm叩き出し INTERIOR ●シート=フルバケット2脚 SUSPENSION ●車高調=グレッディMH21用加工 MUFFLER ●ワンオフ MAKING SHOP ●バリアスタイル



**DB52T
キャリイ**
平成13年式
OWNER
木谷彼方さん
(広島県)

「仕事でもプライベートでも使ってるキャリイですよ」と木谷さん。春には第2子が誕生の予定だ。



おじさん世代には懐かしいチエリテールを埋め込む。少し引込み気味にオフセットしてる所がポイント。



63キャリイのキャビンにワンオフでジャンボ化。荷台から飛び出す2本のカミオンマフラーも迫力満点。



つややかなキャンディグリーンは、実際見るとそのキレイさに驚くはず。



荷台部分は鏡板でカバーし、背面下にはオリジナルの工具BOXも設置。

完成度の高いキャリイジャンボ?



**DA63T
キャリイ**
平成23年式
OWNER
緑のキャリイさん
(富山県)

ヘッドライトは新型エブリイ用を移植。はろすべエアロはフォグとダクトを追加する。

SPECIFICATIONS WHEEL ●SSR・マークⅢ AERO PARTS ●F/S/R=はろーすべしゃる・ベリキーンズスペシャル EXTERIOR ●ヘッドライト=DA64エブリイ用、テールランプ=チェリーテール INTERIOR ●ステアリング=モモ、シートカバー=ケイブレイク MUFFLER ●荷台2本出しカミオンマフラー



設備業の仕事グルマとして活躍中

ケイゾーンのバンパースポに、はろすべのチンスポを合体。なんとも個性的な顔つきになった。



作業工具の外部電源用として十分な発電パワーを発揮してくれるソーラーパネルも設置。



後付けで追加された日本リフト製のパワーリフト。昇降操作はリモコンで可能だ。



**S500P
ハイゼット
ジャンボ**
平成27年式
OWNER
勝田賢吾さん
(大阪府)

このハイゼットは給排水設備業を営む勝田さんの立派な仕事グルマ。毎日、工具を積んで走りまわっている。



SPECIFICATIONS WHEEL ●はろーすべしゃる・エイトシックス(14×7J) AERO PARTS ●F/R=ケイゾーン+はろーすべしゃるチンスポ、S=ケイゾーン・魔虎 EXTERIOR ●フェンダー=はろーすべしゃる INTERIOR ●ステアリング=はろーすべしゃる、シート=レカロ2脚 SUSPENSION ●車高調=ケイゾーン MUFFLER ●ウィルズウイン

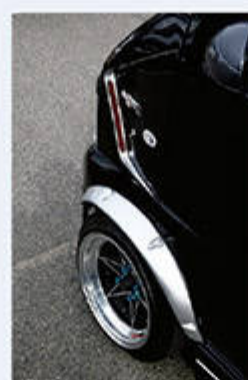
真っ赤なレカロシートをツインで装着。腰に負担もかからないし、仕事でも快適なドライブを約束してくれる。

自慢の矢沢エアブラシ



DB52T
キャリイ
平成13年式

OWNER
今里勝広さん
(奈良県)



フェンダーにはワンオフダクトを設
け、トヨタ86(ハロー)のエンブレ
ムを装着している。



矢沢エアブラシのボンネットを移植するためにヘッドライトと共にエブリイ用に変更。

はろーすべしゃると矢沢永吉が大好きな今
里さん。コンサートにも良く行っていたという。

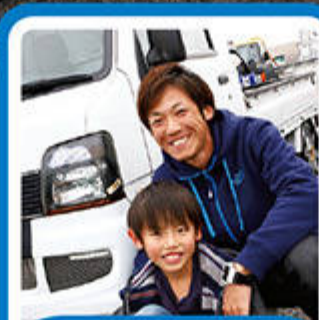
SPECIFICATIONS WHEEL●はろーすべしゃる・エ
イトックス(14×7J) AERO PARTS●F/S/R=は
ろーすべしゃる・ピリキーンズベシヤル EXTERIOR
●ヘッドライト&ボンネット=エブリイ顔面ワンオフ加
工 INTERIOR●ステアリング=モモ、シートカバー
=はろーすべしゃる SUSPENSION●車高調=ケ
イゾーン MUFFLER●勝井ベシヤル

マイクを持って熱唱する永ちゃんの
エアブラシ。赤い英文字とモノクロ
調のコントラストがシブイ。

現行車風のLEDテールが注目の的



フロントはサンバーディアス用を加
工して3連ダクトをプラス。ワン
オフ車高調でのベタ落ちも自慢。



大翔くんと一緒に軽トラ大集合
に参加した北山さん。軽トラが
大好きで通勤にも使っている。



ヘッドライトもポジション部をLEDに加工。ま
わりをブラックアウトして引き締める。



友人に作ってもらったというLED仕様のテ
ールランプ。現行車ちっくな雰囲気を出している。

TT2
サンバー
平成18年式

OWNER
北山勇人さん
(岡山県)

SPECIFICATIONS WHEEL●シュティッヒ・レグザスD800(16×5.5J) TIRE●クムホ(165/40-16) AERO PARTS●F=サンバーディアス用加工 EXTERIOR●ヘッドライト&テールランプ=LED加工、フロントガード
バー=アクティ用加工 INTERIOR●ステアリング=純正加工、シートカバー=シュビーゲル SUSPENSION
●車高調=ワンオフ

S201P
ハイゼット
ジャンボ
平成21年式

OWNER
近本和典さん
(京都府)



この軽トラ以外にも、
実際にトラックを所有し
ている近本さん。最近、
彼女ができたとか。



鳥居付きのダンプをモチーフにドレスアップ。だから屋根の上に通称こだ
まマーカーをセットしている。バンパーには縞板を張り、雰囲気アップ。

SPECIFICATIONS WHEEL●
SSR・マークⅢ(13×6.5J-
10) TIRE●ブリジストン
(165/65-13) EXTERIOR
●フェンダー=はろーすべしゃ
る、その他=コダママーカー、
リア荷台あり INTERIOR
●シートカバー=花柄仕様
SUSPENSION●車高調
=ボルドワールド MAKING
SHOP●シューブリームオー
トサービス



ペロア調の花柄生地が主で、内装は完全に
デコトラ仕様。もちろん水中花も付いています。



縞板で鳥居を作って、まさにダンプ風。セ
ンター部にスペースを作って視界も良好。

外装黒、内装赤の衝撃



キレイなアーチを描くオーバーフェンダーはパテ埋め。ライトはブラウンキャンディに塗装。



ボディカラーはブラックマイカメ
タリックに塗装。スライシャーク
ホイールの赤が効いている。



DC51T
キャリイ
平成9年式

OWNER
西野尚伯さん
(大阪府)



「この黒い軽トラに乗っていると月イチのペースで
職務質問されます(笑)」と西野さん。

SPECIFICATIONS WHEEL●SSR・スターシャーク(14×
6.5J) TIRE●ポテンザ(165/55-14) AERO PARTS
●F=不明、S=KCTレーディング・ブラック加工、R=ラスト
ステーション63用加工 EXTERIOR●フェンダー=ブラッ
クス INTERIOR●ステアリング=モモ SUSPENSION
●ダウンサス=ブラック MUFFLER●ウィルズウイン

まるでスーパーカーのような真っ赤なイン
テリアに思わず見とれる。

LIVE!
660
OWNERS

●開催日:12月6(日)
●開催場所:明石海峡公園臨時駐車場(兵庫県)
●主催:ドレフェス関西事務局
☎080-8349-3828(17:00~22:30)
http://www.dorefess.com

明石海峡公園ならではの海沿いに広がる広大な敷地に集結した熱いドレスアップカー! 当日は、風も弱く暖かい一日の中、自慢の愛車とたくさんのイベントで盛り上がったドレフェス関西!! 2015年締めくくりのイベントをとくにとごらんアレ!

第15回 ドレフェス関西2015 FINAL



アメリカントラッカーミラ!



L700V
ミラ
平成11年式

OWNER
水本弘幸さん
(香川県)

ボンネットと天井のラッピング、ワイヤーホイールなどこだわり満載の1台に仕上がりました。次はエンジンチューンを狙う。



ミラジーノのトラックスタイルは、会場の中でもひと際強い個性を放つ。こだわりのワイヤーホイールがお気に入り。

SPECIFICATIONS WHEEL ●フォルクス・ワイザースポーク(16×5.5J+38) TIRE ●グッドイヤー(165/50-15) EXTERIOR ●グリル=社外メッシュ、フェンダー=ツメ切り、ヘッドライト=HID6600、テール=メッキテールカバー INTERIOR ●ステアリング=モモ、シート=レカロ、フロアマット=自作、インパネ=張り替え SUSPENSION ●エアサス=ACC、ブレーキ=コペン純正流用 MUFFLER ●サイド管左右出し TUNING ●L900エンジン載せ替え済み



マフラーはインパクト充分のサイド管の左右だし。迫力満点のディテールだ。



室内には、このイベントのために付けてきたという水槽がディスプレイされる。

エンジンには、L900M1V用を載せ替え。コペン純正ブレーキなどチューニングもバッチリ。
ボンネットは、黒モケツト&ゴールドのラッピングでカスタム。独特なフェイスを作り出す。

さらなるフルリメイクを思案中



オーバーフェンダーやフロントバンパーの大きなダクト、そこから見えるインタークーラーなど、迫力満点のミライース!



LA300S
ミライース
平成24年式

OWNER
天ヶ瀬一也さん
(大阪府)

「うき〜っ」と、バナナがとても似合うオーナーの一也さん。次のリメイク内容は、内緒です!



オーバーフェンダーはESBのバルブフェンダーをチョイス。タイヤを見せることで迫力を演出する。



フロントのダクトから顔を出す大きなインタークーラー。ドレスアップ用にダミーをチョイス。



インテリアもトータルでコーディネート。LED加工などはすべて奥様の自作加工という。



ラゲッジルームはボディと合わせたグリーン基調のオーディオボックスがレイアウトされる。

SPECIFICATIONS WHEEL ●ワーク・マイスター CR01(16×F7J, R8J) TIRE ●ハンコック(165/45-16) AERO PARTS ●F/S=ESB-CLS, R=ESB-CLS&ケイブレイク・コンプリートクワンタニコイチ EXTERIOR ●ウイング=汎用、フェンダー=ESB、ヘッドライト&テール=ごんた屋 INTERIOR ●シートカバー=ベレッツァ、フロアマット=ZERO、インパネ=張り替え SUSPENSION ●車高調=ESBワンオフ、アクスル=バルテック MUFFLER ●ループ加工

マフラーはスズキスポーツのワゴンR用をチョイスしスポーティなリアフォルムに仕上げる。



フロントにはアルトワークス顔面を移植。ディフューザーやカナードでスポーティ感を与える。



アルトワークスのエンジンに載せ替え、スポーティな走りも味わえる。

CR22S
アルト
ハッスル
平成 3 年式

OWNER
杉山さん
(滋賀県)



仲間と一緒に記念撮影のオーナーは、アルトハッスルが大好きな真ん中の杉山さん。



アルトハッスルのボディにワークスのフェイスを移植し、カナードやディフューザーなどで装飾された杉山さん号。エンジンを載せ替えるほどの作り込み!

SPECIFICATIONS WHEEL ●バーディークラブ・P1レーシング (15×5.5J) TI RE ●ビレリ (165/45-15) AERO PARTS ●F/S/R=アルトワークス EXTERIOR ●テール=LED INTERIOR ●ステアリング=ナルディ、シート=スズキスポーツ SUSPENSION ●ブレーキ=アルトワークス+スズキスポーツパッド MUFFLER ●スズキスポーツ (ワゴンR用)

スポーティ、アルトハッスル!



シートはクラシカルなデザインのCOBRAをチョイス。レーシーなスタイルに!



低車高を突き詰めるために、ガソリントラックはラゲッジルームに移動される。



シンプルな外装とは裏腹に、驚くほどの低車高で存在感をアピールする横井さんのミラジーノ。とにかくビックリするほど低い!



インパネまわりはウッドテイストでコーディネート。全体のイメージとマッチさせる。

L700S
ミラジーノ
平成 12 年式

OWNER
横井慎一さん
(滋賀県)



ボロボロになりつつも愛車を作り込んだ、職人の手を見よ!というおふたり!!



16インチホイールが、めいばい被るほど落とされた車高がインパクトを放つ。

SPECIFICATIONS WHEEL ●SSR-エグゼクーター-MB01 (16×6J) TIRE ●ハンコック (165/40-16) INTERIOR ●シート=コブラ、インパネ=純正ウッド SUSPENSION ●車高調=レオン

驚きの極低フォルムを手に入れたミラジーノ!

ベティちゃんとスクラム!



キャルステージのシェビートラックフェイスがスクラムを一新する。



ベティちゃんだけでなくブリキの看板などをあしらったクラシカルなテイストを加える。



DG63T
スクラム
平成 24 年式

OWNER
中島祥吾さん
(愛知県)

ベティちゃんと鯉のぼりのコラボがいでしょ?というオーナーの中島さん。

今回のおすすめポイント
はこれ。汎用ライト加工で七色に輝くルーフライト。



リアにドカッと描かれたベティちゃんが、クラシックアメリカンなイメージを加速させる。



キャルステージのチェンジキットでスクラムのスタイルを変貌させた1台!

SPECIFICATIONS WHEEL ●鉄ホイール、ホワイトリボン&メッキホイールキャップ (12インチ) TIRE ●ヨコハマ (145/6PR-12) AERO PARTS ●F/S/R/グリル&フェンダー=キャルステージ・シェビートラックキット EXTERIOR ●ヘッドライト=キャルステージ、テールレンズ=VWタイプII純正 INTERIOR ●シートカバー=キャルステージ

目指すはUSカスタムスタイル!



独特なデザインのエムプロのテールレンズがリアにクールなテイストを与えている。



ステアリングなどにアクセントとしてアートされているのは、人気のジャグアート。



室内は、プレジァティシモとジャグアートのコンビネーションでクールに仕上げる。



欧州車のヘッドライトを思わせるLED加工で高級感をアピールする!

B11W
eK カスタム
平成 26 年式

OWNER
中川聡志さん
(大阪府)



次はUS系にフルリメイクを考えています!ご期待ください〜。



サイドステップのエンド部分にデイライトを埋め込みアクセントを落とす。



リアバンパーにテールを埋め込んだり、ヘッドライトやテールレンズを自作したりと試行錯誤しながら仕上げられた自慢の愛車！



カスタムは自作が基本です！



MH23S
ワゴンR
スティングレー
平成21年式
OWNER
黒木広人さん
(鹿児島県)

次は、ホイール変更とオーバーフェンダーなどに手を付けたいと、オーナーの黒木さん。

SPECIFICATIONS WHEEL ●ウェッズ・クレンツェ ヴェラーエ(16×F6.5+30、R7J+24) TIRE ●(165/40-16) AERO PARTS ●F/S/R=ハーテリー・V-LUX加工 EXTERIOR ●グリル=ハーテリー、ヘッドライト&テールレンズ=自作 INTERIOR ●シートカバー=グレイス、インパネ=自作 SUSPENSION ●エアサス=ボルドワールド、リアアクスル=バルテック



MH23S
ワゴンR
スティングレー
平成21年式
OWNER
カロエさん
(兵庫県)

仕事場出禁の禁断仕様になってしまいました。でも辞められません。

シックな大人スタイルで
シンプルにキメる！



レオンのグリルをベースにメッシュをオレンジに塗装、統一性を持たせる。



ケイブレイクのエアロをチョイスしブラック基調でシブいスタイルで登場のカロエさん。差し色のオレンジがアクセントとして効いています！

SPECIFICATIONS WHEEL ●ワーク・マイスター(16×F7J+42、R7J+37) TIRE ●ハンコック(165/40-16) AERO PARTS ●F&S&R=ケイブレイク・コンプリート EXTERIOR ●グリル=レオン、テール=ステラファイブ SUSPENSION ●エアサス=ボルドワールド、リアアクスル=アヒル商会、ブレーキ=イデアル MUFFLER ●ケイブレイク



テールは、純正加工しオシャレなデザインに！とてもかわいいです。



全体的にシブくてかわいいスタイルに仕上がる中間さんのラパン。フロントのLグリルを残すあたりがオシャレです。

L顔を残して
素敵コーデ！



SPECIFICATIONS WHEEL ●SSR・プロフェッサー-MS3(16×F6.5J+39、R6.5J+39) TIRE ●ルッチーニ(165-40-16) AERO PARTS ●F=ブローデザイン・モードバルファムファントム雅夢、S/R=エヌデザイン SUSPENSION ●車高調=レオン、リアアクスル=バルテック MUFFLER ●ワンオフ



HE21S
ラパン
平成19年式
OWNER
中間祐維さん
(鹿児島県)

シブいらパンのオーナーは、笑顔が素敵なエリート女子の中間さん！



HE22S
ラパン
平成21年式
OWNER
佐伯 知さん
(鹿児島県)

小さなラパンのオーナーはとても大きなジェントルメン！笑顔はラパンによく似合ってます！



かわいくも厳ついラパンで登場の佐伯さん。スズキスポーツのグリルとアイラインを一体化したグリルまわりがとても特徴的！



フロントホイールはSSRのフォーミュラメッシュをど迫力で履きこなす!



会場でも一際目立つこのスタイル。低く派手に、軽トラドレスアップの醍醐味を見せる。



リアには攻撃的なガトリングタイプのマフラーが装着されインパクトを放つ。



完全防水のオーディオシステムが荷室内にレイアウトされる。サウンドも抜群なのだ。



こだわりのスタイルとキャラと!

リアのホーシングを逆転させ、さらなる低くさを追求した大西さんのキャラ。



DB52T
キャリイ
平成11年式

OWNER
大西敏晴さん
(兵庫県)

このキャラがどうしてもよかったんです。と強いこだわりをアピールしてくれました!

SPECIFICATIONS WHEEL ● SSR-フォーミュラメッシュ&マークII (F15x7J+20, R14x5.5J+38) TIRE ● (F165/50-15, R155/55-14) AERO PARTS ● F=63エブリイ用スズキスポーツ流用、S=MHワゴンR用流用、EXTERIOR ● Rウイング=KTV GTウイング、フェンダー=F ハロースベシヤル/R ワンオフ、ヘッドライト=スーパーブラックペイント、テールレンズ=逆さ付け INTERIOR ● シートカバー=FSC MC33用モケット流用、インパネまわり=ラップペイント SUSPENSION ● 車高調=KTV63用加工、ホーシング逆転 MUFFLER ● シャドウ1100用ガトリングマフラー加工

2015年ラストはこのイベントで!



ヘッドライトはディーバ後期用。バルカンスタイルでスパルタンにキメる。



セダンサイズの18インチを装着する足元。新調したエアバルブが光る!



インテリアは、メタリックブルーとピンクで派手にコーディネートされる。



ディーバの後期顔に変更されるフロントマスクをはじめ、オーバーフェンダーなど存在感溢れるスタイルで度肝を抜く!



18インチのビッグサイズの装着を可能にするど迫力のオーバーフェンダー!



JB5
ライフ
平成16年式

OWNER
高田直樹さん
(千葉県)

2015年最後のイベントなので、千葉からはるばる走ってきました!

SPECIFICATIONS WHEEL ● リバーサイド・アルトシュタット グランズ (18x F8.5J, R9.5J) TIRE ● ナンカン (F165/40-18, R205/35-18) AERO PARTS ● F/S/R=ケイブレイク加工 EXTERIOR ● ウイング=社外加工、オーバーフェンダー、ヘッドライト=ディーバ後期用、LEDテール(スモーク) INTERIOR ● ステアリング=セッション、シートカバー=グレイス、フロアマット=エルティード、インパネ=塗装 SUSPENSION ● 車高調=RS-R、リアアクスル=ジェーライン、ブレーキ=イデアル、キャンバーボルト MUFFLER ● ワンオフフルストリート

「魅せる」をテーマに作り上げる!



ホワイトボディをベースにピンクの差し色でコーディネートされる北村ワゴンR。オーディオの完成に向けて製作中。



ケイブレイクのコンプリートブラチナムに、シックスセンスのジュール(ヴェルファイア用)デライトキットを移植。



トランクオーディオは、LEDを多用しヴィジュアルを追求した「魅せる」仕様!



足元にはクレンツェのヴェラーエ17インチがセッティングされ、高級感を放つ!



MH23S
ワゴンR
平成22年式

OWNER
北村良彦さん
(京都府)

次はオーディオの着手できていないところを完成させていきます!

SPECIFICATIONS WHEEL ● ウェッズ・クレンツェ ヴェラーエ (17インチ) TIRE ● ナンカン (165/35-17) AERO PARTS ● F=ケイブレイク・コンプリートブラチナム加工、S=ケイブレイク・コンプリートクワンタ タイプII、R=ケイブレイク・コンプリートクワンタ加工 EXTERIOR ● ウイング=ケイブレイク、フェンダー&ヘッドライト=純正加工、テールレンズ=ハーテリー、ボンネット加工 INTERIOR ● ステアリングカバー&シートカバー&フロアマット=ハーテリー、インパネ=水圧転写&植毛塗装 SUSPENSION ● エアサス=ボルドワールド、アクスル=JIC MUFFLER ● ケイブレイク



MH23S
ワゴンR
平成23年式

OWNER
北橋 竜さん
(兵庫県)

リアのオーディオが間に合わなくて残念!と、アピールしてくれる北橋さん!



足元には高級ブランドカールソンが配される。シブルだがこだわりは強い!



2本出しのマフラーはケイブレイク。リアセクションをスタイリッシュに演出する。



ケイブレイクのエアロをベースに、他はすべて自作加工でドレスアップを効めているという北橋さん。次までにオーディオを完成させるとのこと!



ケイブレイクのクワンタをベースに自作加工を施すフロントバンパー。



SPECIFICATIONS WHEEL ● カールソン・エコライン1/16 (16x6J+45) TIRE ● クムホ (165/40-16) AERO PARTS ● F=ケイブレイク・コンプリートクワンタ自作加工、S/R=ケイブレイク・コンプリートクワンタ SUSPENSION ● 車高調=ファイナルコネクション バネレート変更、アクスル=JIC

もちろん、全て自作です!

NEW PARTS Information !!

ニュー パーツ インフォメーション

欲しいが見つかる!

IDEAL

イデアル

問:イデアル

☎0800-000-9999

http://www.ideal-japan.net

▶ エニーワン

スマッシュヒットを次々に送り出すイデアル。待望の新作車高調がこのエニーワンだ。フルタップ式、減衰力調整機能など欲しいスペックを満たしながら、一部車種でアッパーマウントを純正流用するなどより求めやすい価格とした。

価格●9万6120円

対応●Kカー多数



エアサスが 価格据え置きで パワーアップ!

目玉はエアバッグの変更。自社開発としたことでゴムが厚くなり、安全性と信頼性が大きく向上した。そしてカラーリングがパープルからレッドへ、電磁弁はよりコンパクトに。お値段そのままにルックスと機能性をブラッシュアップし、これまで以上に魅力的な製品に。

▼ シュプレム

価格●51万8292円

車内からスイッチひとつで車高をコントロール。上げ下げはエキスパートより速い。

▼ マキシマム

価格●53万9892円

リモコンひとつで車高を調整可能。その上リモコンに車高を記憶しておくこともできる。



▼ スーパーマキシマム

価格●61万5492円

マキシマムのスペックをそのままに四輪独立化。デジタルリモコンで数値を確認できる。



▼ エキスパート

価格●43万1892円

エントリーユーザー向けに価格を重視した仕様の最廉価モデル。必要な機能は十分揃う。



MONROE

モンロー

問:テネコジャパン ☎045-285-5221

http://www.monroejp.com

▶ サムライ

コスト度外視で制動性、操舵性、安定性、安全性にこだわり抜いて開発したショックアブソーバー。機能性はもちろんのことボディカラーと同色のオレンジ、青、赤を用意しており、見た目もこだわりたい人にもオススメ。

価格●2万1600円

対応●MR31S ハスラー



BATTLEZ

バトルズ

問:ジャオス

☎0279-20-5511

http://jaos.co.jp

▶ EXタイプZS-Ti Sエネチャージ専用

人気のチタンテールマフラーにSエネチャージ専用モデルが登場。スポーティで抑えが効いた小気味のいいサウンドを楽しむことができる。ブランドロゴがレーザーマーキングされたテールエンドはドレスアップ性も抜群だ。

価格●5万5000円

対応●MR41S ハスラー (NA車)

※価格は税抜き



Clazzio

クラッツィオ

問:イレブンインターナショナル

☎072-330-8000

https://www.11i.co.jp

◀ ダイヤ

カスタムオーダーで人気の高いデザインをレギュラーアイテム化。ダイヤキルトはステッチの幅を狭くしたことによりスタイリッシュな印象に。また内側のスポンジは厚くしたことで、ダイヤ形状が際立つデザインとなっている。



予価●2万5000円 (2列)

カラー●ブラック×赤ステッチ、ブラック×白ステッチ、ブラウン×アイボリーステッチ

GARAX

ギャラクス

問:ケースバック・エレクトロニクス

☎0566-54-5788

http://garax.jp

◀ ワイヤレス サンキューハザード システム

好きな場所にハザードランプのスイッチを設置できるワイヤレスタイプ。ワンタッチによるハザード点滅は1~4回で設定でき、ダブルタッチで常時点灯となる。エンジンオフで自動消灯するので消し忘れ防止にも最適。



価格●1万1800円

対応●MH34/44S ワゴンR、LA600S タント、LA150S ムーヴ

※価格は税抜き



Sense Brand

センスブランド

問:センスブランド ☎0467-38-7432

<http://www.sensebrand.jp>

◀ S660用リアピースマフラー

スポーティな重低音が楽しめるTMOプレミアムバージョンと呼ばれるリアピース。テールエンドはリヴォルバー、ゾロ、クルーザの3種類から選択できる。またリヴォルバーは純正バンパーの開閉口に合わせて新開発した90φモデル。

価格●7万8840円～

対応●JW5 S660



REGNO

レグノ

問:ブリヂストンお客様相談室

☎0120-39-2936

<http://www.bridgestone.co.jp>

◀ GRレジェーア

ブランド発のKカー専用モデルがこのGRレジェーア。ブリヂストンのKカー向けモデルのなかでもっとも優れた静粛性と快適な乗り心地を実現している。ハイトワゴンでも車輪のふたつきを最小限に抑えているのがポイント。

サイズ●

155/65R14(1万3500円)、

165/55R14 (1万6308円)、

165/55R15(1万7820円)

ARDIMENTO

アルディメント

問:セルフレーディング

☎075-972-0505

<http://self-tr.com>

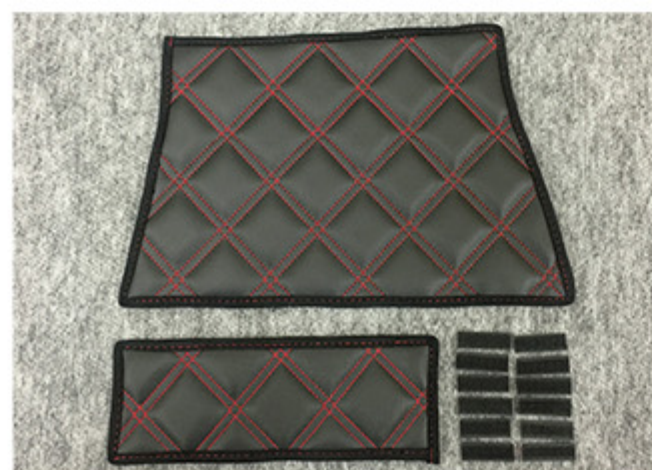
▶ Aピラーレーザーパネル

おしゃれなダイヤキルトデザインのパネルでピラーをお手軽スタイルアップ。付属の両面テープで初心者でも簡単装着が可能。アルディメント製シートカバーと同時装着でインテリアの統一感を高めることができる。

価格●9720円

カラー●全5色

対応●MR31S ハスラー



▶ インパネ トレーマットセット

インパネトレイとセンターミドルトレイに貼り付けるマットのセット。両面テープ付きマジックテープが付属しており、いつでも脱着が可能なのが嬉しいポイント。アルディメント製アイテムとのトータルコーディネートも可能。

価格●3240円

カラー●全5色

対応●MR31S ハスラー

SHO PRODUCE

翔プロデュース

問:翔プロデュース ☎079-232-7877

<http://sho-produce.com>



▶ LEDコンバージョン キット(仮)

軽トラエアロでおなじみ翔プロデュースの純正ハロゲンからLEDへコンバージョンするキット。ヘッドライトやフォグなどに使えるバルブタイプを設定している。オールインワンタイプなのでカプラーオンでOK。

価格●未定

バルブタイプ●H8/10/4(Hi-Low)

▶ LEDバルブ(仮)

エアロから内装までトータルコーディネートできる翔プロデュース。それならばヘッドライトをLED化するならスモールランプも同時にLED化したいところ。そこでT10のLEDバルブも一緒に登場する。

価格●未定

バルブタイプ●T10



JW5
S660

高いフィットリングが人気のライトカバーにS660用が登場した。ヘッドライトとフロントガーニッシュのカバーはダークスモークをはじめ全4色を設定。テール、ハイマウントのカバーはこれにカーマインレッドを加えた全5色。



GARAGE Noah

ガレージノア

問:ノア ☎072-278-5866

<http://garage.noah-osaka.co.jp>

▶ ヘッドライトカバー

価格●1万2960円～1万5120円



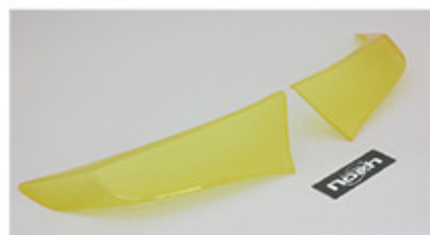
▶ Fガーニッシュカバー

価格●8640円～1万800円



▶ テールランプカバー

価格●1万2690円～1万5120円



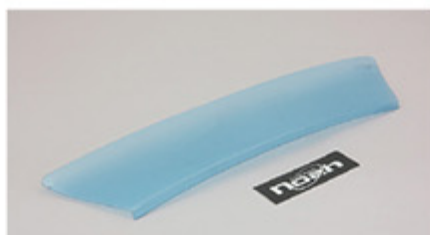
▶ ハイマウントストップ

価格●3240円～3888円



▶ バックパネルカバー

価格●1万2960円～1万5120円



OEP222

オーイービー222

問:オカダエンタープライズ ☎0566-72-5888 <http://oep222.com>

▶ オリジナルKトラシリーズ

幅広い車種を手がけるオカダエンタープライズの新モデルは500系ハイゼット。ハーフながら魅力的なラインワークを塗り分けることで、抜群の立体感を演出する。このほか顔まわりを彩るメッキパーツも充実。ジャンボにも対応。



S500P ハイゼットトラック

●フロントリップスポイラー	4万1040円
●サイドパネル	5万1840円
●リアバンパースポイラー	4万8600円
●ドアパネル	1万9440円
●サイドフィン(4本)	2万1600円
●リアアルーフスポイラー	3万8880円



TOKYO AUTO SALON
2016

東京オートサロン2016

軽改装

最新の
ドレスアップ
Kカー&
パーツを
一気見せ!!



K-CAR
SPECIAL

Kカーズスペシャル2016年3月号
特別付録

GARSON

問●ギャルソン事業部 ☎072-952-0567 <http://www.garson.co.jp>

現行タントカスタムがラグジュアリーに大変身

D.A.D.の最新エアロはLA600Sタントカスタム用EX-Lエディション。かつてN-BOXカスタム用で衝撃を与えた前後リップのフィニッシャー風デザインはもちろん今作でも採用されている。それにより他にはない個性的な表情と、圧倒的

なラグジュアリー感を実現している。さらに会場では東京オートサロンデビューのアイテムも多数。特に「タイプ ディルス」には新色が登場。ブラックベース/ホワイトロゴで従来カラーよりもさらにロゴが際立つ仕様に。



フロント/リアはハーフスポイラー。サイドは純正サイドステップのままだが「ドア部分が寂しい」との理由からモールを設定した。



D.A.D EX-L Edition
LA600S TANTO CUSTOM



D.A.D EX-L Edition
JF1 N-BOX CUSTOM

既存モデルのN-BOXカスタム用EX-Lエディション。スクエアなボディにエッジの効いたスポイラーが良くハマっている。ホイールもD.A.D.



ペット用ドライブボックス(仮)

「愛しのワンちゃんと一緒にドライブしたい」という人にピッタリのアイテムが、このペット用ドライブボックス。



ダッシュマット(仮)

東京オートサロン直前に誕生したばかりのダッシュマット。ベロア生地を使い、ひと味違った手触りと高級感を獲得。



ラグジュアリー
クッションカバー
[SB059] [SB060]
[タイプ クラウン]

ラグジュアリークッション
モノグラムレザー
[HA341]

クッションカバーは3種類を設定。好みの柄を選ぶことができる。また、シートに敷いて使うのにピッタリのクッションもあり。



フロアプロテクションラバーマット

表面のモノグラム柄とロゴ立体的に成型したラバーマット。隙間に落ちた砂は水洗いで一気にキレイにできる。機能性も十分。



シートプロテクション タイプD.A.D

裏表の両面にウェットスーツの生地を採用し、抜群の防水性を実現。シートカバーを汚さないため、アウトドアにも最適。



クリスタルシートベルトボタンカバー

思ってもみなかった部分をドレスアップポイントに変えるという「D.A.D.の得意なノウハウ」が詰まったボタンカバー。



イデアル

IDEAL

問●イデアル ☎0800-000-9999 <http://www.ideal-japan.net>

ロングナットは日本製 新車高調も注目の逸品

イデアルの人気アイテム”ロングナット”がリニューアル。根元部分に12角の造形を加えた他、超タジュラルミン素材を採用し強度をさらにアップ。日本製とも相まって、デザイン性だけでなく機能性・安全性も高まった。新車高調は本誌176ページで詳しく紹介中。



お手軽アイテムとして人気のレーシングナット。3サイズ、8色をラインアップ。

RACING NUT



ANY ONE

新作のエニーワン。「初めて車高調を付ける人」のことも考え、必要最低限の機能に絞ることでコストダウンを実現。



AIR SUSPENSION KIT

電磁弁がコンパクト設計になった上、非常に軽いアルミ製タンクに変更。よりインストールしやすくなったエアサス。エアバッグも品質をさらに向上。



T-SHIRT

体の左側にぐるりと入れたロゴがこだわりのTシャツはイベント限定品。日常生活でも着れるデザイン。

ワーク

WORK

問●ワーク ☎048-688-7555/06-6746-2859 <http://www.work-wheels.co.jp>

新作ホイール3本デビュー Kカーの足元が激変する

今年最初のホットニュースはリザルタードスポークの新モデル誕生。ヨーロッパなイメージを意識したデザインは維持しつつ、より洗練された印象に仕上がっている。また、シーカーには2本の新作がデビュー。“色で遊ぶ”カラリズムに追加されたクリアも要注目。



RIZALTADO SPOKE2

新リザルタード、最大のトピックはカラー設定の変更。今作ではトランスグレーポリッシュを用意。独特の色合いが魅力的。



Seeker NX

8交点のスポークデザインを持つシーカーNX。シンプルな形状で今流行のスタンスメイクにもしっくりとハマるネオクラ系の最右翼ホイール。



Seeker GX

ディスク面にまるで5本スポークのような形状の穴を開けた新しいシーカー。新しくどこか懐かしいデザインを持つ1本と言って良い。



ワークエモーションCR極
COLORism



新しいカラリズムはディスク全面をクリアカラーで仕上げる“カラリズム クリア”。透明感と鮮烈さを両立させた色がホイールアレンジの選択肢を増やしてくれる。

COLORism
Clear

HELLO SPECIAL

問●はろーすべしゃる ☎0774-65-5095 http://www.hello-special.com



存在感たっぷりに跳ね上げたウイング。リアビューのインパクトを「これでもか!!」と増してくる。



前後とも5.5cmワイドと、ボリューム感を持たせたフェンダー。深リムホイールとの相性もバッチリ。



四角いレンズもハコスカテール。この空気感が好きな人にはたまらない。リアバンパーはディフューザー風。



ボーターにビレットを組み合わせたシートカバーも旧車をイメージして設計。往年の雰囲気色を濃く醸し出す。カラーはブラックを設定。

フェイスはまるでハコスカ
楽しさ120%のアルト登場ALTO GT-RR birichino Full Kit
HA36S ALTO

東京オートサロンの会場でもひと際異彩を放っていたのが、はろーすべしゃるのアルト。それもそのはず、見た目はどこからどう見ても“往年のハコスカ”。特にヘッドライト&グリルまわりの作り込みは秀逸。バンパー一体型のライトの枠は下側に縁取りを加えることで別体感を強調しつつ、グリルは左右に2分割。旧車好きなら乗っているだけで楽しくなるのは間違いない。なお、オーバーフェンダーキットはエアロ専用品。だからこの完成度。



特攻うさちゃん人形

オリジナルキャラクターのうさちゃん。が特攻服をまとってカワイイぬいぐるみに。しかも、この服は脱いだり着たりもOKだ。

和風つり革
ガングリップスポーツステアリング

つり革は全部で5色。ステアリングは全4色を設定。自分の好みに合わせて色を選ぶのが嬉しいアイテム。



テールランプ



特攻うさちゃんステッカー



ステッカー ハチマキタイプ

フロントガラスに貼るためのハチマキステッカーもニューリリース。カタカナでブランド名をあしらひ、硬派なイメージとオシャレ感を両立。

ハイゼットの200系後期&500系用テールランプに新色がデビュー。レッドメクリア、オールクリア、スモークメクリアの3点が追加に。

特攻うさちゃんのラインスタンプをリリースしたはろーすべしゃる。そのラインスタンプをステッカー化したのが、この新商品。

birichino special
DA63T CARRY

キャリア用の新作は背面タイヤキット(タイヤ&ホイールは別売)。加工ナシのビス留めでフレームにホイールを固定できるようになる。



新型ハイゼットをセミワークスフェンダー化できるキットが注目アイテム。リップの鋭いフロントエアロと組み合わせれば迫力十分。

birichino special
S200P HIJET TRUCK JUMBO

TOKYO AUTOMOBILE UNIVERSITY SCHOOL

問●東京自動車大学 ☎0120-02-2535 http://www.taus.ac.jp

ハスラー純正パッションオレンジで彩られたキャリイは、350mmのキャビン延長を施したスポーティ仕様。ショーテッドされた荷台にはワンオフカバーをセットして、ベンツV280ボンネット用ヒンジで開閉式に！ 学生が4か月以上かけて製作した、軽トラカスタムの秀作だ！

CARRY SPORTS
DA63T CARRY

キャビンを延長した
スポーティ軽トラ！



キャビン後部をカットして350mm延長。そのぶん荷台を短くして、全長を軽規格内に収めているのがポイントだ。



純正ドアトリム下部にあるポケットをレスしてスッキリとしたルックスに。オレンジのボディにブラックカラーが映える！



拡大されたキャビンにはリクライニング式のレカロシートをセット。ワンオフシートレールでスポーティなポジションを実現した。

LC

問●エルシー ☎0774-52-3331 http://reiz.biz

NEW 3D LIGHT BAR ALL LED TAIL LAMP



3Dライトバーに立体的なキューブブロックを採用するエブリイワゴン用LEDテールランプ。ウインカー部は流星と点滅を切換え可能。

LED WINKER MIRROR LENS



クリアとスモークのレンズカラー2色と白、青、アンバーのライトバーカラー3色を選べるLEDウインカーミラーレンズ。

REIZ
DA17W EVERY WAGON

ライツブースに展示されたDA17Wエブリイワゴンはフルバンパータイプのエアロを装着。スピンドルデザインを採用しエッジ感のあるアグレッシブなフォルムが特徴。リアには流星バージョンのオールLEDテールランプも設定。立体的なキューブブロックを採用する。



スピンドルを取り入れた
エブリイ用バンパーが登場

run together

●ラン・トゥギャザー

問●ラン・トゥギャザー ☎058-229-3777 http://www.runtogether450.com



バツと見はイタリア生まれのフィアット500だが、ベースはエッセ。バンパー・ボンネット・フェンダーの3点で構成される、フェイスキットを披露した。

JK Heart660
L235S ESSE

リアはバンパー&リアゲートカバーを開発。ナンバーを上に移設することで、フィアットの雰囲気に近付けた。デリバリーは4月頃を予定。

エッセがフィアットに変身

NA JACK

●エヌエージャック

問●ナカオート ☎072-270-8671 http://www.na-jack.jp

ALLURE
DA17W EVERY WAGON

ハーフシリーズ「アリュール」のDA17Wエブリイワゴン。フロントグリル、バンパービレット、フォグガーニッシュ、アイラインでフェイスをチェンジ。



変わった感を存分に楽しむ

WITH CORPORATION

問●ウィズコーポレーション ☎048-464-1351 http://www.cockpit-wako.com

カーボンスポイラーで
レーシー感をアップ

WITH Racing Project ORIGINAL
JW5 S660

ウィズコーポレーションのS660はカーボンを用いたフロントスポイラー&ボンネット&リアウイングでスポーティテイストを徹底的にアップ。疾走感の強さに加えて、例えばボンネットダクトはグラマラスに仕上げるなど、ドレスアップ性の高さも大きな魅力。



滑らかなアールを描くようにセンター部分を後ろに伸ばしたリアウイング。S660の走りの快感を強く活かしたデザイン。



LEDのウインカーをライン状に入れたサイドミラーは純正がベース。サイドミラーを送って施工してもらったことも可能。



ブレーキもエンドレスと共同開発。フロントはスーパーマイクロー6ライント、リアはバッド&ローターなどのセットとなっている。

K-BREAK

問●ケイブレイク ☎072-931-1000 <http://www.k-break.com>

ケイブレイク今年の注目はトレゾアマフラーを復活!

毎年大盛況となるケイブレイクブース。要目の展示アイテムとなるのがトレゾアマフラーだろう。セダン界の風雲児セッションが開発した伝説のマフラー。今ここにケイブレイクの手により復活を遂げる。現在は試作段階で春頃の発売を予定。人気のスーパーレーシングナットはタイプ2へと進化。ラッキーアイテムのKBダイスは新しいインテリアの吊り下げとして人気が出そう。Kカー向けエアロとしてはLA600S後期用アスリート+Sが大阪オートメッセに登場予定。



SUPER RACING NUT Type2

人気のスーパーレーシングナットはタイプ2が登場。カラー、デザインを一新。全8色、3サイズで展開される。



KB DICE

新しいインテリアの吊り下げアイテムとなるKBダイスは白、黒、赤の3色を設定。上質な触り心地で気持ちいいぞ。



TRESOR MUFFLER

まだ試作段階となるケイブレイク版トレゾアマフラー。タイコ部の“大和魂”はサンドブラストから製品では盛り上がるエンボス処理へと変わる。汎用テールマフラー。



設定されるテールカラーは5色を予定。同仕様で登場のマフラーカッターはKカーにも対応するべく、ショートタイプとなっている。



トレゾアマフラーの最大の特徴となるテール部に刻み込まれるブランドロゴ。製品版ではもう少し文字を小さくして刻印するという。



リリースDXゼロワンのオプションで登場したキャンディカラー。こちらにはKカーサイズがないが、もしかしたらKカー向けホイールで展開するかも。



こちらがベースとなるSESSION製トレゾアマフラー。セダン界で一世を風靡した伝説のマフラーをケイブレイクが復活させる。

エヌラボ

N lab.



ドアミラーは市販パーツから小ぶりなデザインをセレクト。クロームメッキ加工を施すことでレトロ感を増幅している。



リアビューもアールを多用した普遍的なレトロデザインでリメイク。テールはN-ONE用を天地・左右逆にしてセット!



ワンオフでリメイクされたフェイスまわり。N-ONEヘッドライトと特徴的なグリルデザインでクラシカルな雰囲気を出した。



S660 NEO CLASSIC JW5 S660



アルミホイールは市販品からクラシカルなアイテムを厳選。セーリングしてメッキ加工を施した。



マットホワイト&ウッドのエクステリアに合わせて、インテリアもホワイト&ブラウンでコーディネート。



ボディ後部をカットしたピックアップトラック風スタイル。荷台にはリアルウッドを多用して温かみのあるイメージを生み出した。



FRIENDLY 2 SEATER JG1 N-ONE

コンセプトカー顔負けの
ハイセンスな2台!

MIKI SUZUKI

問●三木スズキ ☎0794-86-1900 <http://miki-suzuki.jp>

両端を立ち上げたフリップ。ボンネットは昔のワークス風のダクトを採用。ルーフスポの造形もかつてのワークスを意識。



SCS
HA36S ALTO WORKS



スズキ車のドレスアップを スズキ副代理店が盛り上げる

兵庫のスズキ副代理店、三木スズキが立ち上げたカスタマイズブランド。今回はアルトワークスとハスラーの2台を出展。ワークスは同じくエスシーエスに加盟する、クモイモーターズと共同開発したエアロを装着。そしてハスラーはリフトアップでワイルドに。



内装はラッピングしたルーフやドアミラーに合わせて、赤のシートカバーを装着。この仕様でのコンプリートカー販売もおこなっている。



SCS
MR31S HUSTLER

COLIN PROJECT

コーリンプロジェクト

問●コーリンプロジェクト ☎092-957-0811 <http://wheel.co.jp>

今年も続々と新作LEDテールランプが登場！

M-BRO Thunder Tail Lamp Kit



ウェイク用



スペーシア用

コーリンプロジェクトが展開する人気のM-BROサンダーLEDテールランプキットに新作となるウェイク・スペーシア用が登場。ウェイクは独特な乳白色のLEDブロックを内蔵し、くの字でウインカーが流れる。一方、スペーシアは有機的な3Dライトバーを配置し、アグレッシブなリアビューを作り出せる。

MONZA JAPAN

モンツァジャパン

問●モンツァジャパン ☎029-247-7772 <http://www.monza-japan.co.jp>



JP STYLE Vercely



老舗ブランドが放つ 新色BBCカラー！



Warwic Verune Type Rena

Warwicの新作はVeruneタイプRena。ツイン8本スポークを均等に配し、天面をポリッシュ処理したBBCと斬新な足元を演出。

JP STYLE
Uni Five Special

新色となるBBC(ブルーブラッククリア)を採用し、復活を遂げるUni Five。エッジ感のあるツイン5本スポークは安定感抜群。

SUPER STAR

スーパースター

問●スーパースター ☎072-975-3600 <http://www.superstar-wheel.com>

ネオクラシックへ向けたシンプルコンセプト



LEONHARDT
ProgressLine
Reize

レオンハルト「プログレスライン」専用開発されたライゼ。ネオクラシックを意欲させるシンプルなか抜き星型スポークデザイン。



▶ CHEVLON RACING MESH

20年程前に販売していたシェブロンレーシングメッシュ。ド定番メッシュとしてスタンス系へ向けて現代へ甦らせる予定。

CAR STYLE

カースタイル

問●カースタイル ☎0774-46-8272 <http://www.carstyle.jp>



「大人でもカッコよく乗れる」がコンセプト。スポットライトの採用やスチールとFRPの組み合わせによってインパクトとオシャレさを両立。



「現代風」を取り入れた 四駆カスタム

CS JIMNY COMPLETE CAR
JB23W JIMNY



タービンを大型化し、コンピューターまでフルチューンを施したエンジンまわり。ジムニーでも走りを楽しむのがコンセプト。

ケーエルシー

KLC問●ケーエルシー ☎0439-88-0450 <http://www.klc-div.com>

ワンタッチで装着可能なカーボン調ハイマウントストップランプカバーは、リアまわりのスポーティイメージをさらに強調できる秀作パーツ。



KLCプレミアムのリアスポイラー&リアディフューザーのほかに、KLCエキゾーストシステムもセット。リアビューの印象をグッと引き締める。



スタンス系に最適な片側30mmワイドのビス留めオーバーフェンダー。組み合わせるホイールは、ワークマスターCR01(F15×7.5J/R15×8J)。

スタンス狙いのビス留めオバフェン!



KLC PREMIUM 極
L880K COPEN



ワイドボディキットの最新ブランド「プレミアム極」からビス留めオバフェンがデビュー! スタンス系にジャストな片側30mmのワイドフェンダーに、ワークマスターCR01をアウトリップでセット。足まわりは、シュピーゲル車高調&ジェライン製リアアクスルキット。

カスタムガレージスパイス

Custom Garage Spice問●カスタムガレージスパイス ☎0476-36-4104 <http://customgaragespice.web.fc2.com>

リアビューでアグレッシブなイメージをアピールするセンター2本出しマフラーは、センスブランドが製作した。



シートカバー&フロアマットはオートウェア。中でもシートカバーはコンセプトデザインをイメージして左右で色を変えた。



ホイールには、ワークのリザルトードスボーク2をセレクト。サイズはフロント16、リア17インチ。

Ultra Evolution S660
JW5 S660



「ほかのS660と差別化を図る」という狙いで、ボディをアイスパープル&マットブラックでフルラッピング! スパイス流の味付けで、S660にさらなるインパクトとスポーツ感をプラスした。エアロはKLCで統一され、足まわりにはシュピーゲルの車高調をセット。



インパクト最強のフルラップS660!

シュピーゲル

Spiegel問●シュピーゲル ☎048-970-2800 <http://www.spiegel.co.jp>

ベースの個性を活かしたローダウンスタイル!

シュピーゲルのコペンとハスラーは、ベース車両の個性を活かしたローダウンフォルムが最大の見せ場。コペンにはKLCの新作エアロとシュピーゲル車高調を装着して、スポーティ&エレガントなイメージでフィニッシュ! ハスラ

ーにはシュピーゲル車高調とジェラインのリアアクスルを組み合わせ、約100mmの極限ローダウンを敢行した。内装は、両車ともシュピーゲルのフルバケ&ステアリング本革チェンジキットでコーディネート済み!



フリップ、グリル、ディライトカバーはKLCの新作。リップはレッドで塗り分けてレーシーイメージを増幅!



Clear Blue Copen
LA400K COPEN



シートはシュピーゲルのフルバケットをセット。ステアリングの本革チェンジキットを組み合わせれば、スポーティイメージをさらに強調可能。



LIMIT DOWN HUSTLER
MR31S HUSTLER



ローダウンされたボディに、レオンハルトの新作プロダクトスライディングの17×7Jをマッキング。ホワイトカラーで統一感も。



フロアマットはシュピーゲルのニューアイテム。既存のチェック柄とは趣向を変えた、シンプルなパイピングデザインがポイントだ。



ワークのリザルトードスボーク2の17×7Jを前後通してセット。鮮やかなレッドが足元に存在感をプラスする。

フルカスタムAZ&アゲアゲキャスト

タイヤ&ホイールの専門店として知られるフジ・コーポレーションと、スタイルワゴンのコラボブース。レアマイスターをはじめ最新ホイールが数多く展示され、ギャラリーからの注目を集めていた。また昨年開催されたスタイル

ワゴン&Kコーススペシャルフェスタで特別賞に輝いたリョーコックさんのAZワゴン、KLCが手がけたキャストも出展。イジリ尽くされたユーザーカーと最旬モデルのリフトアップ仕様、どちらも目立っていたぞ。



KLC
LA250S CAST ACTIVA

問●ケーエルシー
☎0439-88-0450
<http://www.klc-div.com>

グリルにはキャストのために開発された、4発のダミーフォグをセット。クロカンテイストをより一層盛り上げてくれる逸品。



昨年も全国のイベントに参加して優秀な成績を手にしたリョーコックさんだが、「今年は落ち着いて自分を見直そうと思います(笑)」。

SUV色が強いキャストアクティバに、リフトアップスプリング「轟」を組み込み追加。ホイールはプレミックス・バリック。



リョーコックさん(山梨県)
MJ22S AZ WAGON



ホイールはワークの新作、リザルタードスポークIIにチェンジ。レーシングナットはイデアルとトルーのコラボモデルで1点モノ。



外装は風の流れを意識した、新鋭なプリスターが圧巻。内装&オーディオの作り込みもお見事。左ハンドル化したのもポイントだ。

ルートKS

ROUTE KS

問●カワゲン・コーポレーション ジャパン ☎059-392-6677 <http://www.route-ks.com>



フロントハーフスポイラーは中央のフリンが前後にスライド。リップのポリウレタン感を自分の好みに合わせて設定できる。



DK CYBER VARIABLE STYLE AERO S660
JW5 S660

スライドで姿を換える可変式エアロ!?

エッジの効いたスポイラーはそのままでもS660のスポーティ感を大きくアップさせるのは確実。しかし、それで終わりではないのがルートKSエアロの凄いところ。なんとスポイラーやサイドステップの一部が約5センチもスライドする可変機構付きなのだ!!



リアスポイラーの中で可変するのは、左右ダクトの下部分。ウイングもセンターのイエローの部分が動く!!

ハイパーミーティング

HYPER MEETING

問●ハイパーミーティング運営事務局 ☎0493-62-1485(プロクルス内) <http://www.hypermeeting.jp>

コペンで両立させたのはラグジュアリーとスポーツ



COPE-NYAN GO
L880K COPE

九州で行われたハイパーミーティング2015inオートボリスを勝ち抜きオートサロン出展を果たした佳子さんのコペン。「ラグジュアリー&スポーツ」をコンセプトにエアロは自らデザイン。「一生に一度あるかどうかのチャンスなので思い出を作りました」。



ロエンZ4用エアロをモチーフにしたフロントエアロに合うよう大胆なダクトアレンジを施したボンネット。出展の最新仕様。

Amon

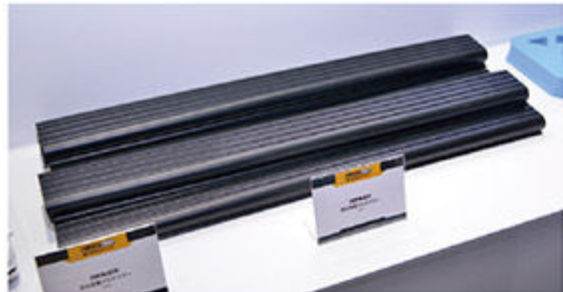
エーモン

問●エーモン工業 ☎0790-22-6262 http://www.amon.co.jp



汚れ防止シートカバー

商用車向けの新ブランド、「ハタラククルマ」シリーズから軽トラ用シートカバーがデビュー。シートのキズや汚れを防ぎ、汚れても水洗いできる。



荷台保護プロテクター

こちらもハタラククルマシリーズの新作アイテム。軽トラックのキャビン背面に両面テープで貼り、キャビンや積載物のキズ・破損を防いでくれる。



DIY エプロン (マルチポケット付)

ブランドロゴを刷新したエーモン工業も出展。新作のエプロンは便利な8つのポケット付き。折り畳めば腰巻エプロンにもなる。



DIY シートカバー

被せるだけでシートを傷や汚れから守る、室内でのDIY作業の必須アイテム。引っかき傷に強いツイル生地を採用。ポケットも付く。

AUTOBACS GROUP

オートバックスグループ

問●オートバックスお客様相談センター ☎0120-454-771 http://www.autobacs.com

全身に手を入れたハスラーをコンプリートでもゲット可能



見やすさ抜群の大きな画面が特徴のビッグX。ハスラー専用モデルを取り付け、クルマの使い勝手をアップ。



一番の特徴は「ハスラーではあまり見ない」センター出しマフラー。白と黒の塗り分けもメリハリが効いている。



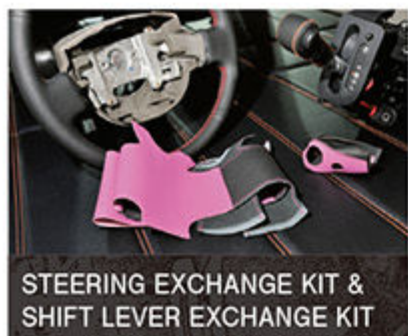
EXCLUSIVE ZEUS SMART LINE MR31S HUSTLER

エムズスピードのフルエアロとホイールで全身をアレンジ。「今回は外装をメインに製作しました。コンプリート販売も可能ですよ」。

ハーテリー

HEARTILY

問●ハーテリー ☎072-339-7778 http://www.heartily.co.jp



STEERING EXCHANGE KIT & SHIFT LEVER EXCHANGE KIT

純正ステアリングを手軽に張り替え風に出出できるエクスチェンジキット。取り付けキット付属で簡単にDIY可能。



LED TAIL LENZ

流れるウインカーLEDテール流星タイプはMH34SワゴンR&スティングレー、DA64Wエブリイが登場。



ハーテリーらしさ満載 内外装ともに網羅する

1台丸ごとカスタムできるブランド“ハーテリー”。会場には新作のDA17WエブリイワゴンLS-LINEを展示。シンプルながら変わった感を主張できるアイテムが揃っている。2016年の今後の予定は春頃に向け新ブランドでS660用のシートカバーを製作予定。年内にはエアロも製作する予定で、これまでにないレーシーなイメージに仕上がろうとのこと。



LS-LINE

DA17W EVERY WAGON



立体的なAラインに両サイドの2本スリットとハーフタイプながら変わった感を演出するバンパーガーニッシュ。



リアはバンパータイプを設定。シンプルな台形のキャラクターをレイアウトし、スッキリとしたリアビューを演出。

grace/M.I.C

グレイス/エムアイシー

問●グレイス ☎072-654-3363 http://grace-cts.com
問●エムアイシー ☎072-654-3977 http://www.mic-miyabi.com

Smart Phone Case SMART KEY CASE

iPhoneケースはシートカバーと同じ高級ラムス生地を採用。キーケースは本革で手触りも抜群。使うほどに良さがわかる。



POP COLOR

シンプルなデザインとポップなカラーリングを両立させたステアリングカバー。通常の太さに加えて極太タイプも設定。



PREMIUM LINE SD-EDITION

座面と背もたれの中央はボーダーデザインを採用。さらに両脇にライン(これはF/Rともに)を入れたシートカバー。約3週間という納期も特徴。



レザーコンビジャケット

腕部分の生地はPUレザー。日常の中での外でもオシャレに着こなせるジャケットが登場。バッグやオリジナルの丸口ゴネックスを揃えたい。



もこもこダウン風バッグ

ヒョウ柄・ボア・ベージュと多数のバリエーションを設定したバッグ。マグネットで口を開けられる上ポケットもあり、使いやすくオシャレ。

SENSE BRAND

センスブランド

問●センスブランド ☎0467-38-7432 http://www.sensebrand.jp

リアビューで魅せる新作カッター目白押し!



DEAMADULA

ハイエンドカーのテールエンドを彷彿とさせる、スクエア&ツインデザインのマフラーカッター「ディアマデュラ」。リアビューで高級感をアピールしたいユーザーにピッタリ!



COLOR ORDER

ほかのクルマに差をつけられるテールエンドのカラーオーダーも今後対応していく予定。レッド・ブルー・ゴールド・チタン・マットなど、カラーバリエーションも豊富だゾ!



REVOLVER RS

重低音のリヴォルバーのインナーをパンチングにして、高音を奏でるリヴォルバーRSがデビュー。また、リヴォルバーに、Kカーにピッタリの90φも登場したのもトピックだ。

BLITZ

問●ブリッツサポートセンター ☎0422-60-2277 <http://www.blitz.co.jp>

カーボンパーツで武装した 大人のサーキット仕様!

カーボン製のフロントリップ、フロントフード、サイドステップ、GTウイング、エアダクトを装備した、S660のサーキットコンセプト「スペックC」。エアロキット以外に吸排気・サスペンションチューンも施され、迫力のスタイリングとスポーティな走りを実現している。まさに「大人の週末サーキット仕様」だ!

DAMPER ZZ-R BB



ZZ-Rよりもさらに車高を落とすことができるユーモデル。Kカー用も順次追加される予定だ。



AERO SPEED R-CONCEPT
JW5 S660



フロントフードは両サイドに膨らみを持たせた流麗な3Dデザインを採用。スポーツ感を極限まで増幅している。



カーボン製の大型GTウイングがパルタンなイメージを演出。左右には冷却を考慮したエアダクトも装備する。



リアセンターに装着されたダブル出しマフラーは、ニュルスベックVSのブラックエディション(プロトタイプ)。

オートビビット

Auto Vivid

問●オートビビット ☎0465-85-3660 <http://www.autovivid.jp>

クルマイメージに合わせ 蝶々のピアスを製作!

SAKURA
MH23S WAGON R

ピンクパールボディカラーに差し色としてボンネットにはホワイトカラーでラッピング。レザー調シートで高級感を底上げさせる。



ホワイト&ピンクでファンシーな仕立ての室内。内張り等はバタフライのモノグラム柄を使用。テッドのぬいぐるみを並べて可愛さ倍増!



初の試み!? 蝶々のピアスを販売



会場では初お披露目されたのが、デモカーとなるワゴンRのイメージに合わせて製作された蝶々デザインのピアス。「業界初の試み」。



板金修理からドレスアップまで愛車のサポートをお願いできるプロショップ「オートビビット」。展示されるMH23SワゴンRはバタフライシステムとハーティーエアロをニコイチした前後バンパーを装着。「春の桜をイメージ」したというピンクボディ、和道桜五分咲きホイールで爽やかな仕上がりを見せる。内装も白&ピンクで統一される。

ガレージZ1

GARAGE-Z1

問●ガレージZ1 ☎042-856-0001 <http://www.garage-z1.com>

17エブリイZ1仕様 DA17W EVERY WAGON



フォグランプは純正を流用。リアのデザインはフロントに合わせてスポーティにまとめている。気になるオーナーは問い合わせよう。



新作エアロにアゲトラ インパクト抜群の2台



アゲトラ
KS3 SAMBER TRUCK



リフトアップした軽トラックはカワサキライムグリーンにオールペン。鮮やかなボディカラーに「ありえない足元」を組み合わせている。

新型のDA17エブリイを開発してきたガレージZ1。ヴェルファイアを思わせるような「現行トヨタ風」のフェイスが最大の特徴だ。装着すればエブリイがよりスタイリッシュに変身するのは間違いない。もう1台のデモカーは思いつきよくリフトアップさせた軽トラ。こちらもインパクト十分。

フォレストオートファクトリー

Forest Auto Factory

問●フォレストオート ☎0479-75-2726 <http://www.forest-auto.com>

チョイ上げにこだわった お手軽アウトドア仕様!

FAFリフトアップスプリングと165/60-15の大径タイヤでノーマル+5cmのチョイ上げを実現。路面クリアランスを確保するため前後バンパーのボトムは切り下げられ、タフ&ワイルドなルックスと悪路走破性を両立している。アウトドア遊びにピッタリのアクティブ仕様だ!



リアバンパーも地上クリアランス確保を前提にデザインされている。レンズガード風デザインなど、タフ&ワイルドなフィニッシュがウリだ!

車両イメージに合わせたマットブラックのホイールは、バンドラ・デザートテックBR-9の15x5J。大径タイヤ装着で抜群の走破性を発揮する。



新作のFAFエブリー・フロントバンパーは、ボトムを切り上げたデザインがポイント。地上クリアランスの拡大で走破性も大幅UP!



FAF EVELER
DA17V EVERY

NATS

問●日本自動車大学校 ☎0476-73-5507 <http://www.nats.ac.jp>哀川翔×NATSのコラボ
哀愁漂うオープンベンツ

オートサロンアンバサダー哀川翔さんの「こんなクルマがあったら……」というイメージを具現化させたブラックオパールショースペック。ベースはコペン。タテのヘッドライト枠のみベンツ純正部品を使い、それ以外ボディワークはすべてアルミと鉄板を板金して製作した逸品。「4ヶ月間叩きっぱなしでした」と製作担当者。

BlackOpal Show-Spec
L880K COPEN

「自分たちが乗れないスーパーカーを作って乗ってやろう!」と学生の卒業製作として製作されたフェラーリテストロッサケーニツヒ風ビート。製作期間は6人で6ヶ月間。「前後バンパーとサイドステップはFRPで、それ以外は溶接と板金で作りました。サロン後に車検を取って、みんなで卒業旅行行きます」と楽しそう。

迫力のケーニツヒフォルムを見事に再現

663TR
PP1 BEAT

「現行ヴェルファイアをモチーフにしてキャンピングトレーラーを作る」と製作されたキャンプファイヤー。顔面は30ヴェル純正と純正バンパーから型取ったものを合わせて加工。ちなみにトレーラーは過去に製作されたミニファードから型取りしている。

トレーラー内は落ち着いた和の空間を演出

CAMPFIRE
S321V HIJET CARGO

OKUYAMA

オクヤマ

問●オクヤマ ☎045-934-5334 <http://www.carbing.co.jp>

ボディ補強パーツで走りをグレードアップ

OKUYAMA ALTO TURBO RS2016 HA36S ALTO TURBO RS



オクヤマ製パーツでボディを補強した「週末走行会仕様」のアルトターボRS。足まわりはKYBのショック&バネでチューニング済み。

ストラットタワーバーフロントタイプI



装着するだけでハンドリング向上を実現できる、お手軽ボディ補強パーツの代名詞。スチール製とアルミ製の2種類を用意。

ロワアームバーフロントタイプI



左右ロワアームに一体構造の高剛性バーをセットすることで、メンバーのよじれを抑えてコーナリング性能を向上させる。

WAYS

レイズ

問●レイズユーザーダイヤル ☎06-6787-0019 <https://www.rayswheels.co.jp>

性能とルックスを両立したシンプルなスポークデザイン!



GRAM LIGHTS 57Transcend

細身のスポークデザインが特徴の鍛造1ピースモデル。スーパーダークガンメタのカラーリングが愛車のイメージを足元から引き締める。



VOLK RACING G25

ハイパワーセダン用として人気を集めるGシリーズ初のKカー向けサイズ! 軽量&高剛性の鍛造1ピース構造で、サイズは16×5.5J~6.5J。

インパル

IMPUL

問●ホシノインパル ☎03-3439-1122 <http://www.impul.co.jp>

昨年末にマイナーチェンジされたデイズハイウェイスターに早くも対応。後期はフロントグリルとフォグカバーのみで精悍なマスクを創造。また、デイズルックスを新たに製作。こちらはデイト付フロントグリル、センターベゼル、フォグベゼルでスポーティな表情に変えてくれる。



IMPUL DAYZ ROOX B21A DAYZ ROOX HighwaySTAR



純正フォグまわりには3本フィンデザインのフォグベゼルを設定。純正フォグランプにはLEDコンバージョンバルブも用意している。



装着するホイールはチームインパルレーシングラインNR-01。コンパクト&Kカー向けに開発されたレーシーなツインスポークデザイン。

LEDデイト付のフロントグリルの下には「IMPUL」ロゴを入れるセンターベゼルを設定。貼り付けるだけで、精悍な顔付きに。



IMPUL DAYZ B21W DAYZ HighwaySTAR

純正フォルムを活かしつつも、手軽に表情を変えられるアイテムを登場させたDAYZ後期。リアはゲートパネル、クロームスポイラーで個性を際立たせる。



デイズ後期にイチ早く対応インパルらしく精悍な表情

FLEDERMAUS

フレーダーマウス

問●フレーダーマウス ☎072-555-8888 <http://www.fledermaus.jp>

Kカーの足元に華を添える新作ホイール2モデル



CUERVO 40

こちらはネオクラシカルなオーラをまとう、繊細なメッシュデザインが特徴。ディスクは全6色、ピースボルトの色は自由に選べる。



CUERVO 8

5.5Jでありながら、ディープなリムがウリのクエルボ8。デザインはハスラーなどに良く似合う、力強さ際立つ8本スポークを採用した。



TOYO TIRES

トヨータイヤ

問●東洋ゴム工業お客様相談室 ☎0800-3001456 <http://toyotires.jp>

OPEN COUNTRY R/T PROTOTYPE

アメリカで人気のMTタイヤオリーブ・カンパニー・R/Tに、ハスラーにピッタリのKカー専用サイズが登場! 正式リリースは夏頃の予定。



TRANPATH Lu K

ミニバン専用タイヤのノウハウを投入したKカー専用トレッドパターン。サイド剛性が高いため、背の高いハイトワゴンとの相性もバッチリ!



動力性能をフルに引き出すKカー専用タイヤ!

JAOS X-OVERLINE MR31S HUSTLER



ジャオスのパーツで内外装をコーディネートしたハスラーは、「アーバンオフロード」がコンセプト。タイヤはオープンカントリーR/Tを履きこなす。

LTIDE

問●エルティード ☎042-313-4123 http://www.vip-ltide.net

CAMEL MOVE
L175S MOVE

ボディカラーは鮮やかなキャラメルピンク、エアロはオートサークルのフル加工。オバフェンとプリスターを違和感なく組み合わせた、リアサイドのラインメイクも絶妙だ。

ポッポなカラーで魅せる
進化した「キャラメル号」



スピーカー2発をインストールしたドアトリムもパステルカラーでペイント&トリム。多色使いでもくどくないカラーチョイスが秀逸!



OWNER ●加奈子さん



シートはスバルコのフルバケをベースに、パステルカラー3色を駆使して張り替え。ステアリングも同様のカラーで張り替えて統一感あふれる内装を演出した。



4色のパステルカラーを組み合わせて天井までフルトリム。女性オーナーらしい華やかなコーディネート術が最大の見せ場となっている。

Custom Project 2300 Wagon R
MH21S WAGON R

OWNER ●垂矢さん



チョコレートブラウンのボディにモールドバルファムのエアロをセット。ワンオフ加工のLEDテールは、ブラックの亚克力を削って模様を浮かび上がらせた個性派仕上げ。



インテリアはレッドとホワイトのツートーンでコーディネート。ホワイトのシートに合わせて、ドアトリムの中心部もホワイトでトリムした。

女らしいカスタムを
さりげなく投入!



ヘッドライトはワンオフ加工済み。まずは、LEDプロジェクターを2連でセット。ウインカー部分は黒の亚克力を削って美しい模様を浮かび出させた。



ホワイトレザーにエアブラシで模様を描き、2500粒以上のスワロフスキーでフチどり。手間ひまかけたフィニッシュで魅せる!

キノクニ

KINOKUNI

問●キノクニエンタープライズ ☎0736-62-6355 http://www.kinokuni-e.com

全身に超絶カスタムを施した
モンスタージムニー!Yellow Bullet
JB23W JIMNY

フロント&リアにワンオフのパイプフレームを組み合わせた、超絶カスタム仕様のジムニー。ボンネット内にはS15のSR20エンジン(400馬力仕様)が搭載され、S15用6速MTをマッチング。足まわりにはS13のサスペンションをメンバーごとスワップしている。



ロールケージを張りめぐらせた、モンスターマシンらしいコクピット。フルバケットシート&4点シートベルトがスバルタンなイメージを増幅する。



パイプフレーム内部に搭載されたS15のSR20エンジン。400馬力のハイパワーを伝えるミッションは、S15の6速マニュアルだ。



S13シルビアの純正サスをワンオフのパイプフレームにメンバーごとドッキング。各種ラインやフィッティングは、もちろんキノクニ製を使用する。

埼玉自動車大学校

SIAT

問●埼玉自動車大学校 ☎048-723-5522 http://www.saijidai.ac.jp

コンパクトなS30Zが登場
ベースは何とスバル360でんどう虫Z
K111 SUBARU360

埼玉自動車大学校の生徒たちが作った今年の出展車両は、S30フェアレディZ? でも、良く見るとちょっとコンパクト。サイドのラインを見ると良く分かるが、実はスバル360をS30Z風にモディファイした1台。しかも中身はイマドキな電気自動車仕様だ。



シートはクラシカルなダットサンバケットタイプ。ダッシュボードにはS30と同じ位置にメーターを埋め込むなど、こだわり満載。



ボディは鉄板やFRPで加工し、テールはS30純正レプリカ品を装着。ボディは漫画「湾岸ミッドナイト」をイメージし、深みのある青でオールペンした。



「でんとう虫」の愛称を持つスバル360。EV仕様だから「でんとう虫Z」。今年の東京国際カスタムカーコンテストで、エコカー部門最優秀賞に輝く。

但東自動車

問●但東自動車 ☎0796-54-0206 <http://www.tantojidosha.jp>

あの人気映画に登場する ハイラックスをオマージュ



J-tanto
S500P HIJET TRUCK

ロールバーや荷台、バンパーには耐久性に強い特殊コーティング剤「ラインX」を施工。耐サビ・耐腐食性を大幅に上げてくれる。



映画「バック・トゥ・ザ・フューチャー」に登場するハイラックスをモチーフに、アメリカ製のKCフォグを装着するなど雰囲気をリアルに再現したハイゼット。エンブレムをダイハツからヨタに交換する小ワザも心憎い。ワイルドな前後のダブルチューブバンパーも圧巻だ。

CAESAR

問●シーザー ☎0833-45-0321 <http://www.caesar.ne.jp>



山口県のシーザーが製作したハイゼットトラックは、農業で頑張る若者がターゲット。音楽を聞きながら農作業を楽しめるように、ワンオフのロールバーの上にスピーカーを設置。足まわりは4インチアップキットを組んでおり、畑までのルートを快適に走破できる。



ユアブランドとコラボ開発したシートカバーは、豊富なカラーバリエーションから選べる。シフトノブやサイドブレーキまでカスタマイズ。



CAESAR
S500P HIJET TRUCK



こちらのフロアマットもアルバーモの製品。車種専用設計となり、フィッティングは文句なし。ワゴンRやタントなどKカー用も数多く設定している。

Albermo
問●アルバーモ ☎0833-45-0500 <http://www.albermo.jp>

**心地良い香りが
車内いっぱい広がる**

シーザーと共同出展したアルバーモは、カーアロマディフューザーを披露。様々な香りをエアコンの風に添えて車内に広げてくれる。

Sexy Custom

問●セクシーカスタム ☎042-730-3505 <http://www.sexy-custom.com>



ホワイト＆ブラックのツートーンでフルトリムしたインテリア。インパネセンター部にはビッグXが違和感なくインストールされている。



前後のドアトリムにもLED＆アクリルのデコレーションを投入。ビジュアルとグッドサウンドを両立させたいたくフィニッシュだ。

内外装のフルカスタムで
最強インパクトをゲット！



フル加工で公認仕様の左ハンドル化を実現したワゴンRスティングレー。モードパルファムのMH23S用フロントバンパーを加工装着したエクステリアは、あえ

てやり過ぎないシンプルな装いだ。アクリル＆LED、オーディオ、レザートリムを駆使した圧巻のインテリアメイクは、まさにセクシーカスタムの面目躍如！



ボディカラーは、あえて純正色のままでシンプルに。エアロはモードパルファム、ホイールはレオンハルト・ヒューゲル17インチ。



WAGON-L
MH34S WAGON R STINGRAY

Kansai SERVICE

問●カンサイサービス ☎0743-84-0126 <http://www.kansaisv.co.jp>



Kansai S660
JW5 S660

カッコ良くて、速い
カンサイ流S660メイク



HKSのフラッシュエディターを使ってカンサイ専用データでECUチューニング。純正と比べて約7馬力のパワーアップに成功した。

カンサイのカーボンエアロシリーズで、オープンスポーツらしさをブラッシュアップしたS660。走りに磨きをかけるべく同社のボディ補強パーツを投入して、HKSのフラッシュエディターでECUチューン。S660にカンサイ流の味付けを施した、「カッコ良くて速い」1台だ。

サイドボディにダクトを装着して、レーシーなビジュアルと導風効果を両立。カーボンが走りのイメージをさりげなく主張する。



HKSリーガマックスプレミアムマフラーで排気系もチューニング済み。オープンスポーツらしいS660の軽快な走りに磨きかけた。



RE Amemiya

問●RE雨宮 ☎0476-90-0007 <http://www.re-amemiya.co.jp>



ROTARY Chantez
KMAA Chantez

エンジンには、NA仕様で280馬力を発生する2ローターの13Bペリフェラルポート。13Bを搭載するため、ノーズは20cmほど延長されている。



RE雨宮の原点ともいえる「REシャンテ」が、オートサロンで35年ぶりに復活を果たした！ 不動車のシャンテをイチから作り直し、一体型のボンネット&フェンダーを筆頭にワンオフパーツをフル投入。ボンネット内部には、280馬力のNA仕様13Bを搭載している。

35年ぶりによみがえった伝説のRE シャンテ！

巨大なオーバーフェンダーは、ファイバーワークを駆使したワンオフパーツ。片側20mmのワンオフサイドステップも迫力満点！



運転席と助手席にはフルバケットタイプのブリッドシートをセット。抜群のホールド性でREシャンテの過激な走りに対応する。



要所にブルーをあしらって、さりげなくボディカラーとコーディネート。ステアリングには360φのナルディをチョイスしている。

トピー

TOPY

問●トピー実業 ☎03-3495-6564 <http://topyep-apdwheels.com>

ボディからバイザーなどの細部まで、メタル感あふれるヘアラインシルバーでフルラッピング。右サイドにドルフレン・フィニート、左サイドにグレール・リデュードと、新作ホイールを左右で組み合わせ、エアロレスながらも抜群の存在感と高級感を実現した。



TOPY
JH1 N-WGN CUSTOM

高級感にあふれた
至高の1ピースモデル

幾何学模様をあしらった近未来デザインがポイント。リムエンドに向かつて広がりを持たせたスポーク形状がスベック以上の大径感を演出する。

Grele REDUDE



DORFREN iFYNITE



トピーのフラッグシップ、ドルフレンシリーズの最新作。ドルフレン初となるアンダーカットの採用で、高級感あふれる3Dデザインを実現した。

ヤチヨ

YACHIYO

問●八千代工業 ☎04-2955-1211 <http://www.yachiyo-ind.co.jp>



高い強度と圧倒的な軽さを両立するCFRP(炭素繊維強化プラスチック)で製作されたエンジンフード。鉄製に比べると驚きの軽さ。



CFRPを用いて製作したオリジナルのハードトップ。中央にクリアパネルを搭載し、開放感のあるドライビングを実現してくれる。



八千代工業の高質感塗装を採用した内装パネルはソフトフィール加工でレッドに。オープンカーだけに内装メイクもアビリティ度抜群。

東京モーターショーにも出展されたS660は品質の高い専用ラッピングを施工。八千代工業のコーポレートカラーでもあるオレンジにブラックのラインを入れて、スポーティに仕上げている。なお、今回はルーフをさらにアップデート。CFRPで軽量化も測っている。



YACHIYO original custom of S660
JW5 S660



ラッピング仕上げの
S660がさらに進化

トータルボディショップエフォート

TOTAL BODYSHOP EFFORT

問●トータルボディショップエフォート ☎048-287-9915

ド派手なカラーが目を引く スポーティ仕様の軽トラ！

インパクト抜群のボディカラーは、現行クラウンのピンクに粗目のパールを増量したオリジナル。エアロはOEPで統一しているが、フロントは原形がないほどのフル加工を施し、サイド&リアにも独自の加工をプラス。オリジナリティ全開のド派手仕様に仕上げた。



SeaSnake style CARRY

DA63T CARRY



OEPのサイドパネルにオーバーフェンダーを組み合わせ、プリスタール風一体化。リアサイドにダクトを追加したのもポイントだ。



足元から存在感をアピールする深リムホイールは、ワークマイスターS1Rの15×7J+0。ボディカラーとホワイトディスクのマッチングも良好だ。



エクステリアに合わせて、インテリアもピンクとホワイトでコーディネート。シートは、純正に肉盛りレザーで張り替えている。

PRO-STAFF

問●プロスタッフ ☎072-333-8733 <http://www.4x4prostaff.com>



出幅60mmのオーバーフェンダーは、自社オリジナルアイテム。リアのスライドドアも問題なく開閉でき、実用性を犠牲にしない。



ZEAL
DA64W EVERY WAGON

ジムニーの魂が宿った
ハイリフトなエブリイ



SUVを得意とするプロスタッフは、何と14インチアップキットを装着した超アゲアゲなエブリイを出展。JB23Wジムニーの純正部品を流用して、走破性を大幅に高めた。さらにパイプバンパーやアンダーガードも装着して、アグレッシブなビジュアルへと導いた。



前後サスペンションやホーシング、トランスファーなどの部品はJB23Wジムニー純正。悪路を走るのがやみつきになりそうなベックだ。

EXE STYLE 310

問●エグゼスタイル310 ☎022-376-7993

足まわりはジェーラインwithモードバルブアム車高調。アクスル&ロアアームは自社でワゴンオフ。珍しいMAEを被せました。



後期はフルバンが少なかったため、KLCの前期用を加工。純正フォグ&ウィンカーを移植し、開口部を修正するなど手が込んでいます。



シンプル仕様のメッカである東北・仙台の名ショップ、エグゼスタイル310が製作したムーヴカスタム。エアロはすべてKLC・エターナルでまとめているが、原型がなくなるまでフル加工。しかし決してド派手に振ったのではなく、あくまで純正っぽく見えるように仕上げたのがポイントだ。

東北のプロショップが製作 純正然なムーヴカスタム



LA100S MOVE CUSTOM



OWNER
松下史嗣さん
(滋賀県)

同社の佐藤さんが作るクルマに惚れ、はるばる滋賀県から足を運んだ松下さん。「外装が完成して大満足。次は内装を上げたいですね」。

326POWER

問●326POWER ☎082-426-3260 <http://www.326power.co.jp>

ディスク・オーバーという ニューカマースタイル登場

326パワーから登場するミツルホイールズ「ヤバKING」がヤバい！スタンス系で人気の兆しを見せる「ディスク・オーバー」をKカージャンルで具現化できる16、17インチが登場。リムよりもディスクの方が外側に突出するというアグレッシブなスタイルで存在感を発揮できる。

326パワーでお馴染みのが先づちが尖ったロングデザインのナットキャップやバルブナット。ディスクオーバースタイルにもマッチする。



ヤバKING MESH



ヤバKING SPOKE

18インチとはデザインを変え、4穴専用に配列を変えたメッシュ。こちらも逆ゾリを与えて、存在感のあるディスクオーバーフォルムを作り上げる。

スポークのディスクデザインは星型イメージの5本スポーク。絶妙に逆ゾリしつつピアスボルト面から大きく立ち上げ、リムよりも外側へ突出する。

N's STAGE

問●エヌズ ステージグループ ☎0120-489-025 <http://www.ns-stage.jp>

存分に釣りを楽しむため
リアにエアスライダー！



N's Limited
MR31S HUSTLER



エアスライダーで室内が広々と使える「釣り仕様」の空間。デモカーのライフスタイル以外にもワンオフで対応できる。

ジムニーやハスラーでコンプリートカー展開をエヌズステージ。会場にはガッツリとカスタムされたハスラーを展示。マグロ釣りが趣味という同社社長用に「釣り仕様」として開発。リアゲートがエアでスライドするなど、オリジナリティ溢れるギミックで圧倒。



リアゲートがエアで延びて室内が広く使える！



リアゲートがボタンひとつでスムーズに入り出るエアスライダーゲートを搭載。デモカーはワンオフ製作となるが、保安基準等をクリアすれば、今後市販化することも視野に入れているとのこと。

ケイゾーン

Kei Zone

問●シフト ☎078-964-2266 <http://www.shift-sp.co.jp>

「働くクルマをカッコ良く!」をコンセプトに掲げる、軽バン専用ブランド「慶番」と軽トラック専用ブランド「慶虎」。そんな両シリーズのパーツで内外装・足まわりをトータルコーディネートしたのが、ココで紹介するエブリイ、ハイゼットジャンボ、キャリイの3台だ。エアロパーツはもちろん、ホイール、車高調、マフラー、小物パーツに至るまで、あらゆるパーツをラインナップしているのが慶虎・慶番ブランドの最大の魅力だゾ!

慶虎・慶番シリーズで働くクルマをクールに

自家用ステッカーをアレンジした娯楽用&道楽用ステッカーやデコトラ風のダッシュボードなど、個性的なグッズが豊富にラインアップされているのも慶虎・慶番シリーズの大きな魅力のひとつ。



慶番
DA17V EVERY

エアロ3点キット、車高調整サス、マフラー、ホイール、内装小物に至るまで、内外装・足回りのすべてを慶番シリーズのアイテムでコーディネート。これなら毎日の仕事も楽しくなるハズ!



「働くクルマをカッコ良く」をコンセプトにした慶虎シリーズのアイテムを、ハイゼットジャンボにフル投入! 車検対応エアロは、給油口&バッテリー開閉蓋付きで実用性もバツグン!

慶虎
S500P HIJET JUMBO



キャリイも、慶虎シリーズのメッキグリルとアンダーエアロでフル武装済み。車高調やアルミホイールはもちろん、マッドフラップ、スリットローター、鏡面デッキカバーなどもCOOL!

慶虎
DA16T CARRY



Gonta-Ya

ゴンタヤ

問●ごんた屋 ☎0774-73-2397 <http://gontaya.co.jp>

流星くん ウインターミニ



速度とバッテリーは1種類固定だが、配線処理は非常に簡単。特にドアミラーウインターミニにオススメだとか。かなりギリギリな衣装のキャンギャルも会場を盛り上げた。

BLACK PEARL Complete

ブラックパールコンプリート

問●ブラックパールコンプリート ☎079-222-8559 <http://www.blackpearl-1.com>

ニューデザインで登場する 豊富なアパレルアイテム!



マフラータオル



これまでのちょっとヤンチャなイメージから一変。アダルトな仕上がりとなったTシャツ。シンプルデザインなので、普段使いにもカッコいい。

KENDA

ケンダ

問●ケンダジャパン <http://www.kendajp.com>

KR20A KAISER

運動性能を100%引き出すトップグレードモデル。高速走行や旋回時、悪天候時まで、あらゆる状況下で高いグリップ力を発揮する。



KR23A KOMET PLUS

ドライビング性能と静粛性を両立したエコタイヤ。ドライ・ウェット路面の両方で転がり抵抗を減らすと同時にロードノイズも軽減。



Kカー用タイヤは ケンダにオマカセ!



MK32S SPACIA CUSTOM



KR20 KAISER

バックスのホイールに組み合わせたのは、KR20Aのスタンダードバージョンに当たるKR20。性能バランスに優れたタイヤだ。

WANLI

ワンリー

問●ワンリー <http://www.wanlitire.cn>

正式発売が期待される カラバリ豊富なタイヤ



カラフルタイヤシリーズ
H220

ワンリーは中国を拠点とし、現在は世界各国市場に進出しているタイヤメーカー。日本をはじめ、150以上の国や地域で愛されている。

「タイヤは黒」という概念を打ち破った、カラフルなタイヤを展示。塗装ではなく、原料に着色しているため色が剥がれる心配はない。全6色、15・16インチを用意。

MODEST

問●モデスト ☎042-777-8955 <http://www.modest.jp>

丸型のレンズをインサートしたリアバンパーに加え、オーバーライダー付きのメッキバンパーも設定。エブリイのイメージを大胆に変える。



PICOT
DA17W EVERY WAGON

懐かしい欧州車風に
味付けされたエブリイ



純正のリアゲートに被せる、観音開き風リアゲートカバーもオススメ。フロントフェイスキットと一緒に装着したい。

Kカー用フェイスキットを得意とするモデストの最新作は、先代の64系で開発して好評だった17系エブリイ用「ピコット」。ヨーロッパの旧車をイメージしてデザインされたフロントマスクは、現代のクルマとは思えないほどクラシカルでオシャレ。



サイドウィンドウの枚数を多く見せる、ダミービラーも開発。マスター状態なので取り付け方法は調整中だが、手間はかからないはずだ。

Blow

問●ブロー ☎042-777-0453 <http://www.blow-net.co.jp>



あのブギーライダーを
新型エブリイで再現!



Boogie Rider
DA17V EVERY



デモカーに装着されたホイールは、アネーロコラソン・ピケ16インチ。足まわりはエスベリアのダウンサスでざり気なく落とした。

昨年の東京オートサロンに出展し、アメリカンスクールバス風のビジュアルで話題を集めた64系エブリイ用ブギーライダー。そしてエブリイが新型になったこともあり、今年は17系をベースにブギーライダーを開発したブロー。クオリティの高さはパッチリだ。



フロントフェイスキットは、64系と同じく逆開きのチルトカウル仕様。別売のフロントエアダムを付ければ車高を低く見せられる。



ルーフ先端に装着するヘッドマークは、スクールバス以外の仕様も楽しめるように今回はシンプルにデザイン。ランプは別売。



ラゲージスペース用のウッドパネルキットもリリース。カラーはマホガニーやウォールナットなど、全6色からオーダーできる。

M'z SPEED

エムズスピード

問●エムズスピード
☎06-6748-2603
<http://www.mzspped.com>

組み付けよりも深い
ディープリムモデル

J-CARAT

“J”シリーズの最新作はディープリムがテーマ。その圧倒的な深さはマルチピースホイールも凌駕する。捻りを加えたスポークも要注目。



ENKEI エンケイ

問●エンケイ
☎053-522-5245
<http://www.enkei.co.jp>

レトロ感が漂う
ディスクデザインの
復刻ホイール!

all fourteen
-Racing-

1974年発売のエンケイレーシングを現代のKカー向けに最新製法で復刻した、ネオ・クラシックモデル。今回のS660のリア向けに16×6Jが追加。



ESB

イーエスピー

問●イーエスピー ☎072-369-7080 <http://www.esb-style.com>

ワークス風のフェンダーを
手に入れるにはこのキット



BATTLE WORKS

今大流行中のフェンダーメイクと言えば、やはりワークスフェンダー。ESBのバトルワークスはKカーのボディラインも変えられる。

PIAA

ピア

問●ピアお客様相談窓口
☎0570-050-555
<http://www.piaa.co.jp>

スポーティ感溢れる
5本スポークの
1ピースホイール

Eleganza S-01

圧倒的な足長感を誇る5本スポークのエレガンツァS-01。軽快な疾走感を表現したホイールは履くだけでスポーツテストを高める。



エイティワンライク

+81LIKE問●+81LIKE事務局 <http://www.81like.com>**セミグランプリのオブティが登場!**

L802S OPTI BEEEX



OWNER

青山佑樹さん(千葉県)



グリルをウィンレーシングの16アリスト用に変更。ボンネットとバンパーの上部も加工して、セダン用ながらも違和感なくハマっている。

昨年開催されたオールカスタムカーミーティング、+81ライクヘラフラッシュ。ハイレベルなクルマが集まった中で、見事セミグランプリに選ばれたのが青山さんのオブティベックス。出展に向け、グリルの加工やアンダーフラップの追加など細部をリメイクした。



昨年末に前後のアンダーリップをカーボンで作成。「これはイケる」と思ったのでサイドのフラップもカーボン化。統一感が増した。



内装に関しては、今回ワンオフでフロアマットを製作。ベイクスのイラストとチームの名前を入れ、足元に熱い視線を向けさせる。

YOKOHAMA

横浜ゴム

問●ワイエフシー ☎03-3431-9981
<http://www.yokohamawheel.jp>

JW5 S660

デモカーのS660には、F15×5J+38/R16×7J+42をマッチング。カラーはレーシングハイパーブラック&リングを合わせる。



ADVAN Racing RZ II

アドバンレーシングとしては、初のKカー対応サイズを設定。レーシングハイパーインディゴ&リングなど、全3色を設定。

WEDS

ウェッズ

問●ウェッズ ☎03-5753-8201 <http://www.weds.co.jp>**上質な輝きを見せるウェッズ Kカー向け2ピースホイール****MAVERICK 709M**

こちらは大口径モデルと同デザインの9交点メッシュをそのままにサイズダウンして落とし込んだ「マーベリック709M」16/17インチ。

**KRANZE Graben klein Form**

昨年登場した大口径モデルに対し16/17インチ4穴専用となる「グラベン クラインフォルム」。8本ツインスポークへと一新させる。



ファイナルコネクション

FINAL KONNEXION問●ファイナルコネクション ☎042-550-4533 <http://www.finalkonnexion.co.jp>

エブリイに力を入れるファイナルコネクションが、ついに現行モデル用のエアロを完成させた。パーツ構成はフロント&リアリップスポイラー、そしてフロントグリルの

3点。大幅な加工をせずに取り付けできるため、新車でエブリイを購入したという理由から加工するのに抵抗を感じるオーナーにもうってつけ。

軽快なムードを放つ 前後のカーボンリップ

K-02

DA17W EVERY WAGON



リアも小ぶりなリップタイプを採用。後方に若干伸びているため、見下ろした時にしっかりリップの存在感が伝わる。こちら取り付けカンタン。



バンパー下部に穴を開け、ビスで固定するフロントリップ。素材はカーボンとFRPの2種類から選べる。マークレス仕様のグリルも要チェックだ。



ステルスキャリバーキットに、キャリバー&ローターを薄くした新モデルが登場。ホイール装着の自由度が一層広がった。

KYOHCO CORPORATION

共豊コーポレーション

問●共豊コーポレーション ☎0120-96-5553
<http://ame-wheels.jp>**Cawaii Decor series**

Steiner SFV/SL5

共豊コーポレーションの人気ブランド「シュタイナー」に2本の新作が誕生。どちらもスポークデザインをベースにしたシャープな意匠。



女の子向けホイールと人気ブランドの新作登場

LEXANI JAPAN

レクサーニジャパン

問●リンクス ☎0492-93-9624 <http://www.links-auto.com>

LEXANI S-LINE 101S 102S 601S 602S

大径デザインを貫く 王道アメリカンホイール

ハヤリの深リムではなく、オーバードライムデザインで大径感を強調するアメリカンスタイルが、レクサーニの変わらぬコタワリだ。



レクサーニSラインは、どのモデルも別料金で好みの色をオーダー可能。カーボン柄なども対応してくれるのでオリジナリティ抜群。

ESQUELETO

問●ファトラスタイリング ☎0550-89-6979 <http://www.esqueleto.jp>



S660のコクピットに合わせて専用開発されたバケットシート。表皮オプションも豊富にそろい、ドレスアップにも最適!

ESQUELETO STYLE

JW5 S660



エスケレートのフロントアンダースポILER&リアスポILERは、S660の純正フォルムを活かしたさりげないデザインがウリ! 素材をFRPとカーボンから選べるのも魅力だ。S660に合うように開発された専用バケットシートも要注目!

さりげなさにごだわる
大人のS660スタイル



エスケレートのリアスポILERは、後方に伸びたスタイリッシュなデザインが特徴。S660のリアビューにアクセントと存在感をプラスする。



エッジを効かせたデザインのフロントアンダースポILER。綾織カーボンがスポーティなイメージをさりげなく演出。

T'z concier

問●ティーズコンシェル ☎052-304-8820 <http://tzconcier.com>



NAエンジンを同じハスラーのターボエンジンに変更。走行性能をアップさせた上、エンジンカバーのメッキ化などで見た目も変更。

シートカバーのカラーリングに合わせてステアリングも巻き替え。デフのメーター追加でレーシーな雰囲気もプラスしている。

ティーズコンシェルではハスラーのリアカメラを固定するアタッチメントも開発。手軽にバックカメラを固定できるのがウリ。

内外装もエンジンも遊び倒したハスラー



シンプルにオリジナルページの1色で仕上げたシートカバーはワンオフで製作。60年代のアメ車を思わせる色使いで内装をメイクしている。



MR31S HUSTLER

「ハスラーを遊び尽くしてみよう」というコンセプトのもとに製作されたティーズコンシェルのデモカー。エアロはフルでエイトデザインを巻き、内装は60年代風LAスタイルにまとめている。実はエンジンも載せ換えて、四駆をFRに変えているのもポイントだ。



AUTO ONE

問●オートワン ☎0466-47-1300 <http://www.autoone.co.jp>

外遊び好きにピッタリのお手軽キャンパー

給電くんポップアップルーフ
DA17V EVERY



開放感バツグンのポップアップルーフを採用することで、コンパクトなボディながら4名乗車&4名就寝を実現。車中泊やキャンプなどマルチに使える1台だ。



車内には薄型家具を装備。フロアベッドで2名が就寝できるほか、大容量インバーター&サブバッテリーで家電の使用もOK!



ルーフには、サブバッテリー充電用の薄型40Wソーラーパネルが標準装備されている。

Tunerunder

DE17V NV100CLIPPER



快適な居住空間を実現するポップアップルーフ。ルーフをとれば普通のKカーと同じように抜群の機動性を発揮する。



レールで可動するラゲージスペースで自転車や大型荷物の積み下ろしもラクラク! 荷物を載せても就寝できる広々とした室内も魅力だ。



ポップアップルーフで大人2名の就寝スペースを確保。車内で最大3人まで就寝可能だ。

FAKE EIGHT

問●フェイクエイト事業部 ☎045-937-6566

欧州車を思わせる
明るめスポーティ



FAKE EIGHT
LA400K COPEN



フォクだけを残してデライトを隠すガーニッシュ。人によっては「ハデハデしく見える」光を隠すアイテム。



「ボリュームを抑えて純正フォルムになじませるようデザインした」というフェイクエイトのコペン用スポILER。そのスタイルはまるでヨーロッパ車のような「明るくスポーティな雰囲気」にまとめあげられている。また、あえて光を隠すガーニッシュも要注目。



縦フィンを用いたディフューザーがスポーティなイメージを底上げするリア。こちらにも光を隠すガーニッシュを設定。スッキリとした装いを実現する。

各地のショップが手がけた 強烈デモカー&ユーザーカー



「4発は多いので」、15インチのサブウーファーを6発も投入。さらに運転席を取り、アンプをインストール。もちろんシートの装着も可能。



こちらはeKオーナーの谷崎恭之さん（滋賀県）。「エアロをさらに加工し、アクセラでキャンバーを付けたんです」。



極太のプロフェッサーSP3Rに合わせ、F5cmR8cmのオーバーフェンダーを製作。エアロでガッツと落とした。



全国のプロオーディオショップが製作したデモカー&ユーザーカーが並べられ、ひと際華やかだったACGブース。Kカーも3台出展されたが、どのクルマも内・外装インパクトの高い仕上がり。ダブルビジョンが作り込んだeKワゴンには、前席まで取っ払ったオーディオシステムが圧巻。オートバックス北越谷のハスラーは、「宇宙」をテーマに曲面を多用した内装で魅せる。そしてパワーサウンドMのコペンは、純正らしさを残したワンオフブリスターでアピール！

18クラウンのトランクヒンジを加工し、ボンネットを逆開き化。22インチのモニターが埋め込まれる。



ドアとダッシュも面影がなくなるほど作り込まれる。純正のメーターはダッシュ左下に移設。センターパネルにはiPadを収め、その奥にはナビが隠されている。



ショーカーとして製作したハスラーは、何と19インチのレーベンハートLV5をセット。フェンダーは純正風にワイド化されている。

AUTOBACS Kitakoshigaya
MR31S HUSTLER



エアロはNRFをフル加工。フェンダーには前後9JのVS-XXを収めた。オーディオはMTXで揃え、ドアの作りも秀逸。



トランクスペースにはエアサスタンク&コンプレッサー、アンプを仕込む。ルーフを格納しても干渉しないようにフラットな仕上がり。

POWER SOUND M
L880K COPEN

ENDLESS

エンドレス

問●エンドレスアドバンス エンドレス事業部 ☎0267-68-6888 <http://www.endless-sport.co.jp>

S600専用のツインチューブ車高調がデビュー!

BRAKE CALIPER ORDER COLOR



ブレーキキャリパーのオーダーカラーに耐久性を向上した新色が追加された。個性派ユーザーに最適なアルマイトカラーもチョイス可能。

ZEAL Function Racing 2in



エンドレス初のツインチューブダンパーをS660専用に新開発。シェルケースをはじめ各部にアルミ素材を採用して高剛性と軽量化を両立!

CUSCO

クスコ

問●キャロッセ ☎027-352-3578 <http://www.cusco.co.jp>

クスコのKカー用では初の全長調整式モデルが登場!

STREET ZERO

クスコのKカー用車高調としては初となる全長調整式車高調。もともと8段だったリア減衰調整機能が価格据え置きで14段調整にグレードアップされ、乗車人数や荷物の量に合わせてさらに細やかなセッティングが可能になっている。



TEIN

テイン

問●テイン ☎045-810-5501 <http://www.tein.co.jp>



街乗りからサーキットまでS660の足元を支える!

FLEX Z

グリーンのシェルケースでお馴染みのサスペンション専門メーカー「テイン」。S660用に高品質と圧倒的なロープライスを実現するフルスペック車高調「FLEX Z」が登場。フロントはストロークを稼ぐため上部をオフセットさせている。さらに低価格となるネジ式車高調「STREET BASIS」もラインアップ。

FUJITSUBO

フジツボ

問●フジツボお客様相談係 ☎055-998-0130 <http://www.fujitsubo.co.jp>

ルックスとサウンドを両立したスパルタンモデル



RIVID

車検対応品でありながら、ヘアライン&BG加工を施した小型砲弾タイプのサイレンサーがスポーティなルックスと迫力のサウンドを実現。現在はワゴンRステイグレイ用のみだが、今後Kカーの対応車種も追加されていく予定だ。

CSE

シーエスイー

問●シーエスイー ☎0944-51-7117

海外で名を轟かすパーツ会社がホットなジムニー業界に参入!



デモカーはリフトアップされ、砲弾マフラーやけん引フックもセット。リアゲートのスコップは、悪路を攻めるジムニー乗りの必須アイテム。

LEDテールランプも開発。左側はレッド、右側はクリアタイプを装着する。ヘッドライトはウインカーがLED仕様となっている。



JB23W ジムニー
中国のアフターパーツメーカーが、新ブランド「シーエスイー」を引っさげて日本での展開をスタート。KカーはJB23W ジムニーに力を注ぐ。

BRIDE

ブリッド

問●ブリッド ☎052-689-2611 <http://www.bride-jp.com>

2シーターに最適化された最新フルバケットシート



A.I.R.

S660に対応するフルバケットシートのニューモデル。2シーター用に最適化されたデザインと別体式のグロメットが最大のポイントだ。



JW5 S660

鮮やかなブルーのボディにブリッドロゴがよく映えるS660。コクピットにはレッドカラーの最新フルバケットシート「エアー」が装着され、スパルタンなイメージを演出。

ASTRO PRODUCTS

アストロプロダクツ

問●アストロプロダクツ ☎048-501-7873 <http://www.astro-p.com>

使いやすさを考慮して1m単位で購入可能!



APカーボンフィルム

会場で人気だったのが1.52×1mにカットされた使いやすいサイズのカーボンフィルム。ブラックとシルバーの2カラーが販売されていた。各店舗でも購入可能。

SOFT99

ソフト99

問●ソフト99コーポレーション ☎06-6942-2851 <http://www.soft99.co.jp>

オレンジボディのガラコカー



シートは女性向けカー用品ブランド「ゴットリコ」の生地を使ってワンオフ製作したもの。ショールームのサンブルモデルとなっている。

glaco wagon SCRUM

フルラッピングでオレンジ色のボディに変えたスクラム。フロントフェイスもかなり特徴的なオシャレなデモカーだ。足まわりはオートサロンに合わせて車高調に。

ホンダ

HONDA

問●ホンダお客様相談センター ☎0120-112010 <http://www.honda.co.jp>S660のカスタムは
レーシングマインド全開

ホンダブースの今年の主役はS660。Kカーミッドシップオープン2シーターとして、そのスポーティな持ち味を存分に発揮していた。純正オプションブランド“モデュール”はスタディモデルを展示。荷物スペースの不足を解消させるリアキャリアを参考出品していた。一方“無限”はRAプロトタイプを展示し、RA専用となるエンブレムにドライカーボン製グリル、ビルシュタイン車高調にBBSホイールを装着し、底知れぬオーラを放っていた。

Modulo S660 Drago Modulo Special Model
JW5 S660

昨年スーパーGTレースに参戦し活躍した、ドラゴモデュールNSXコンセプトプロトタイプのカラリングを再現するスペシャルモデル。

S660 MUGEN RA Prototype
JW5 S660

エアロアイテムはドライカーボン製のフロントグリルのみ。エキゾースト、足まわり、インテリアを専用デザインで製作。

S660 Modulo Study Model
JW5 S660

現段階では参考出品となるリアキャリア。2人で1泊旅行する荷物を積めるを実現。カバーも含めて今後に期待したい。

MUGEN S660
JW5 S660

S660オーナーに人気のMUGEN。スポーティなフォルムに仕立てられるエアロダイナミクスアイテムは装着率高し。

N-WGN Daily Luxe Collection
JH1 N-WGN

“リッチカジュアル”をコンセプトに女性をターゲットにする「デイリーリュクスコレクション」。N-WGNの他に、N-ONEでも同仕様を展開する。



スズキ

SUZUKI

問●スズキお客様相談室 ☎0120-402-253 <http://www.suzuki.co.jp>ALTO WORKS GP
HA36S ALTO WORKS

モトGPカラーをまとったアルトワークスはカーボンボンネットなどで走りの要素をプラス。内装にはロールバーも備えるなど本格的な作り込み。



ボディサイドに入れたオリジナルロゴは内装にも。また、ヘッドライトには四駆風のガーニッシュを施すなど“ラフロードスタイル”を表現。

クルマに乗るのが楽しくなる
2台のコンセプトカー

スズキのコンセプトカーはレーシーに振ったアルトワークスとJスタイルIIをベースにデコレーションとリフトアップを施したハスラーの2台。前者はワークスマシンをイメージさせるスピード感が特徴。後者はデカールでアウトドアでも活躍するクルマをイメージ。

HUSTLER ROUGH ROAD STYLE
MR31S HUSTLER

ダイハツ

DAIHATSU

問●ダイハツお客様相談室 ☎0800-500-0182 <http://www.daihatsu.co.jp>市販車をベースにした
コンセプトモデルが大集合

ダイハツブースで最も注目を集めていたのは、コペン・セロを元に「よりクーペ感を強く強調した」コンセプトモデル。しかも、市販車とルーフ&トランクまわりを交換するだけで変身できるというから驚きのひと言。「ドレスではなくフォルムフォーメーションです」。

COPEN Robe SHOOTING BRAKE CONCEPT
LA400K COPEN Robe

ステーションワゴンのように荷室を大きく広げたシューティングブレーク。内装はオフホワイトでスリキリ。「市販化は反響次第」とのこと。

COPEN ADVENTURE
LA400K COPEN XPLAY

一般から募集したドレスフォーメーションのアイデアを実際につけてしまったデモカー。「タフSUVライク」なコペンに仕上がった。

COPEN Cero COUPE CONCEPT
LA400K COPEN Cero

ワインレッドのボディと滑らかなリアのボディラインが特徴的なクーペ・コンセプト。内装はタンレザーを用いて製作してある。

CAST SPORT RACE Ver.
LA250S CAST SPORT

エアロボンネットやオリジナルのフロントスポイラーなどを装着し、サーキットを走るかのようなレーシングスタイルに仕上げたキャスト。

KCAR SPECIAL

Kカーズスペシャル2016年3月号
特別付録

